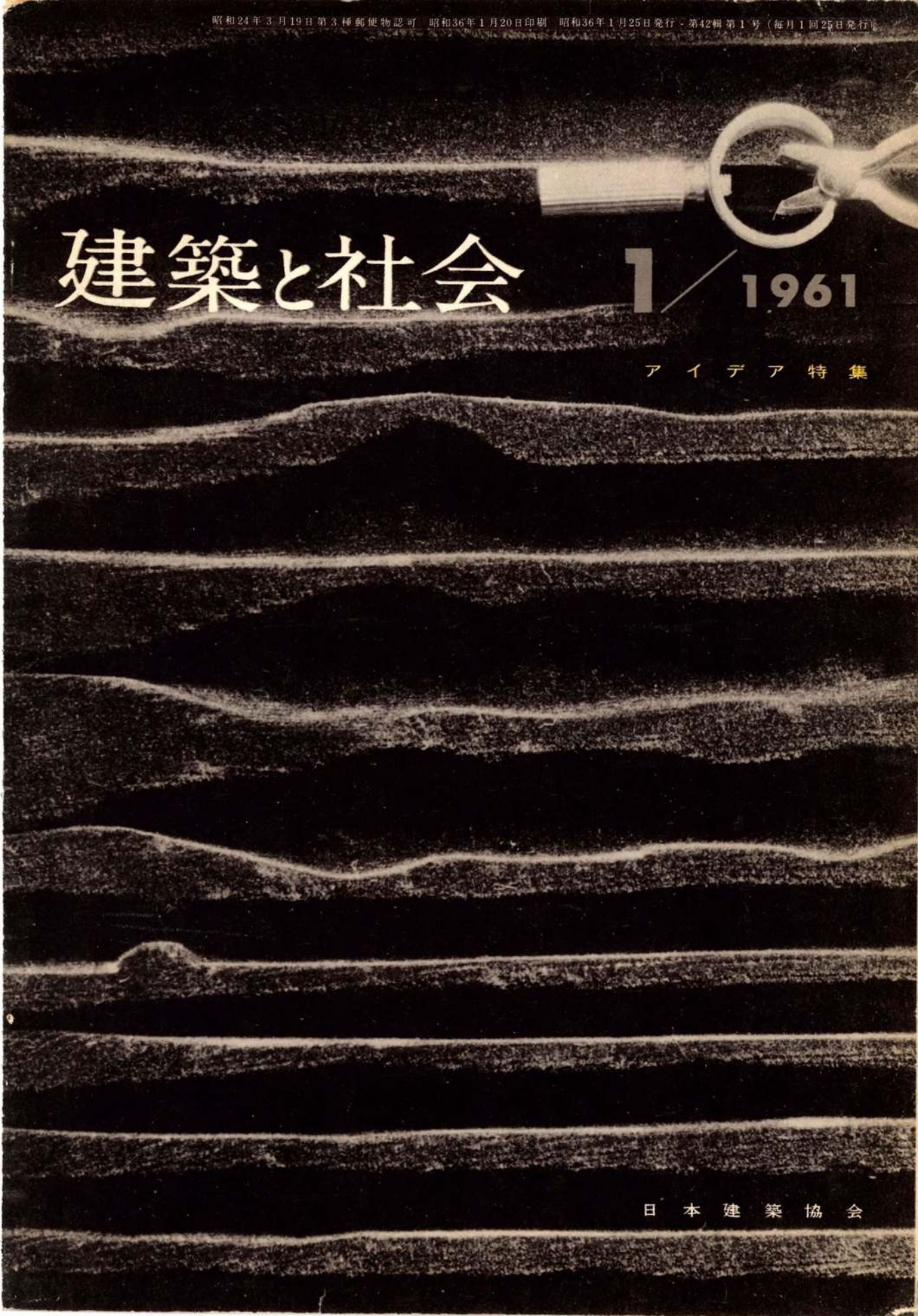
昭和24年3月19日第3種郵便物認可　昭和36年1月20日印刷　昭和36年1月25日発行・第42輯第1号（毎月1回25日発行）



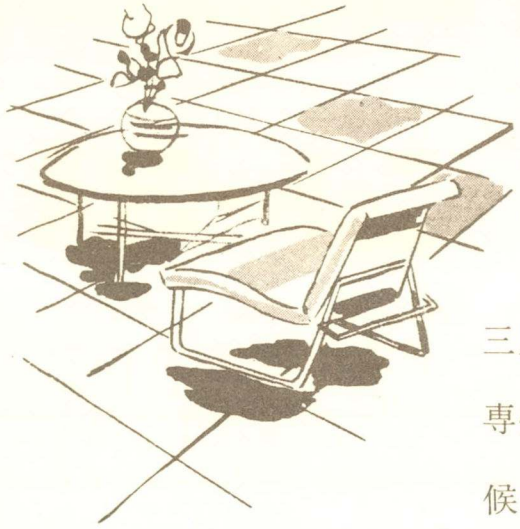
建築と社会

1/1961

アイデア特集

日本建築協会

明るい床材
三星プラスタイル



三星アスファルトタイル
三星Pタイル（2耗厚）
三星マチスタイル

規格寸法　304.8㎜×304.8㎜　厚サ 3.2㎜

価格　3.3平方米　2,300円 ～ 4,800円（材工共）

三星の弾性床タイルは何れも製法の専売特許品で、日本の多湿多雨の気候でも優れた性能をもつ、舶来品の追随を許さない製品です。

●屋外には使用出来ません

●各製品毎のカタログ見本
技術報告書を御請求下さい

◆特　徴

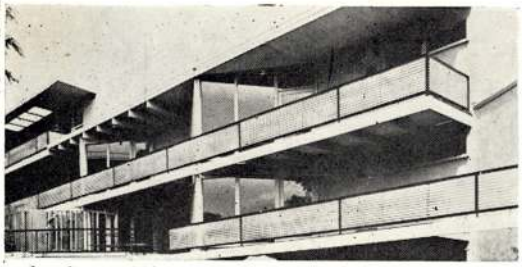
施工後故障が少い・工期が早い
価格が手ごろである・手入掃除が簡単
色彩が自由に選沢出来る・永持ちする

三星ルーフイングの

田島応用化工株式会社

工場小台営業所　東京都足立区小台町６３３　TEL (911) １１８１(代)
本社神田営業所　東京都千代田区神田岩本町１３　TEL (866) ６１４８(代)
大阪出張所　大阪市西区京町堀上通１～１４　TEL (44) ５９５１(代)
夜間管理人室用　TEL (44) ９９１０(代)

日東紡の新建材



丈夫で明るい採光材の決定板



美しく丈夫なプラスチック床材

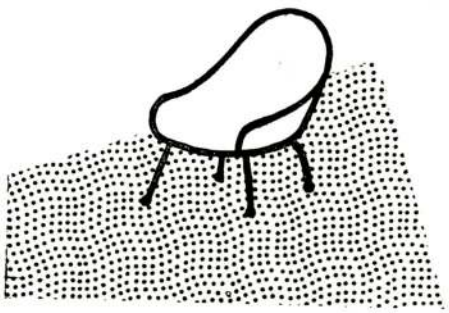
日東紡
FILON
ファイロン　ニットータイル

日東紡績株式会社

東京本社　東京都中央区八重洲6−1　TEL (281) 0211　大阪支店　大阪市東区北浜2−90　TEL(23)2125〜9

名古屋営業所　名古屋市中区御幸本町通り9〜8　TEL(23)0945・4414　福岡駐在所　福岡市天神町8 西日本ビル三井物産内　TEL(4)7631〜7

皆様の設計と施工に東洋の床材



◇ソフトな感触
◇優秀な耐久力
◇美しい色彩

カタログ進呈

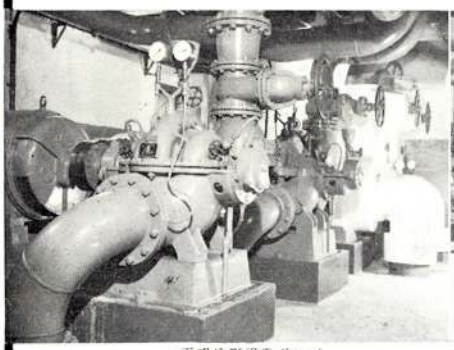
リノリューム
リノタイル
ビニール系新製品
ビニラートタイル
ビニール製
スポンジシート

東洋リノリューム株式会社

本社工場　兵庫県伊丹市伊丹558
電話 伊丹 代表3531・大阪㊽4490
東京支店　東京都中央区銀座4　三和ビル
電話 (561) 1701・2564
大阪事務所　大阪市東区瓦町2　三和ビル
電話 (23) 0375〜0379

近代建築の機能を生かす！

建築の設備とこれを生かすそれぞれの機器は近代建築美に調和した設計と機能を備えねばなりません。
日立製作所では、ビルディングに不可欠の各種ポンプを、多年の経験を生かして製作し各方面から絶大な称賛を博しております。

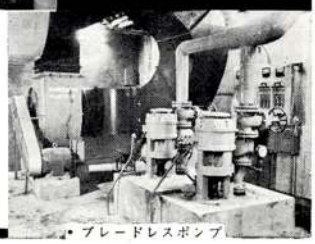

・両吸込形渦巻ポンプ


・タービンポンプ

建築設備用
日立ポンプ

OV型渦巻ポンプ
DV型両吸込渦巻ポンプ
GMC型タービンポンプ
モートルポンプ
汚物用ブレードレスポンプ
水中モートルポンプ
ボアホールポンプ

日立製作所


・ブレードレスポンプ

特許

平川-MPボイラ

煙管式ボイラの「革命兒」現る！

経費節減527万円の利益を生む

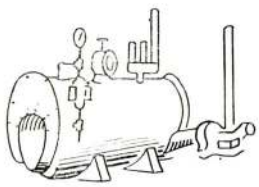
☆高性能・輻射型
☆石炭・オイル・ガス焚
☆1年間(7200時間)の燃料節約額

7′×30′ランカシヤボイラと比較して

527万円益

(但し E.E.2000kg/hr.
6000カロリー石炭6000円/屯
1日24時間1月25日として)

大阪府立工業奨励館
公式試験成績
汽缶効率 **81.2%**
石炭焚にて
排ガス温度 197°C



◁営業科目▷ 平川～水管ボイラ、平川～機関車型ボイラ
平川～竪型ボイラ、外ボイラ全般・輸送機械

株式會社 平川鉄工所

本社・工場 大阪市大淀区大仁西2の1 電話福島㊽1975－8
東京営業所 東京都中央区八重州6の7 電話(281)5883・7787－8
九州出張所 福岡県小倉市富野545 電話 小倉⑤1362

あなたの忠実な…

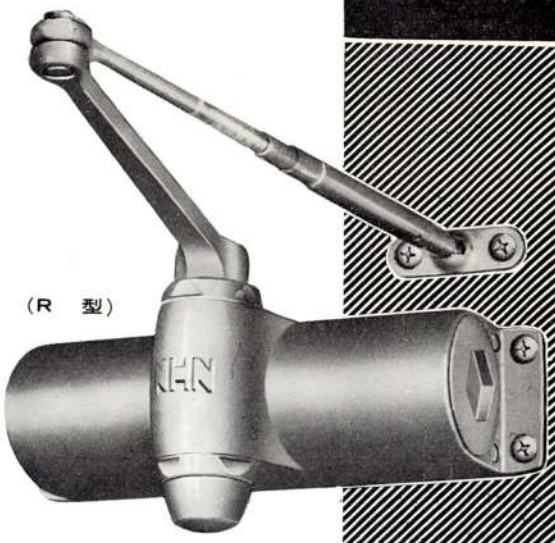
ドアーボーイ！

NHN

＊紫綬褒章に輝く＊

日・米・英・独，各国特許

ニッカナ ドアーチエック



(R 型)

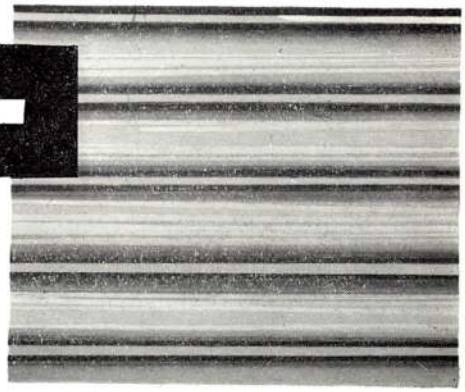
日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

型状優美
故障絶無

亜鉛鍍金の上に塗装した

東洋シヤッター



キングスプリングシヤッター

見えない所まで心をくばった…

■スプリングシヤッター ■重量スプリングシヤッター

■自動シヤッター ■手動電動スチールシヤッター

詳細カタログ呈上

東洋シャッター株式会社

本社・工場 大阪市西淀川区佃4ノ33 TEL㊼−2812〜3・3116・0414
東京支店 東京都大田区蒲井帝5ノ547 TEL (771)−1171
名古屋支店 名古屋市中区下日置町2丁目7番地 TEL㊷ 5954・6324
出張所 岐阜、京都、神戸、横浜、津、福岡
その他出張所特約店は全国主要都市にあり

最高水準を行く

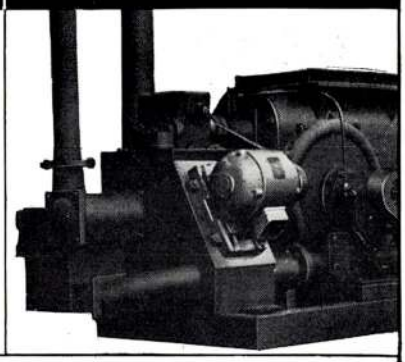
サンレー 重油は
全自動 ロータリー
重油バーナー



サンヒート 軽油は
全自動 ガンタイプ
軽油バーナー



サンレー 石炭は
全自動 ニューマチック
スプレッダー ストーカー



NIKKYO
日共冷熱機材株式会社

本社 大阪市大淀区天神橋筋六丁目五（天六阪急ビル）、
電話 大阪 ㊽ 代表 1476（直通）7071（交換）

東京出張所 東京都千代田区神田神保町1丁目
電話 東京 (291) 2718

最も進歩した建築には最も進歩した床材

ビニアスタイル（2粍厚）

新製品

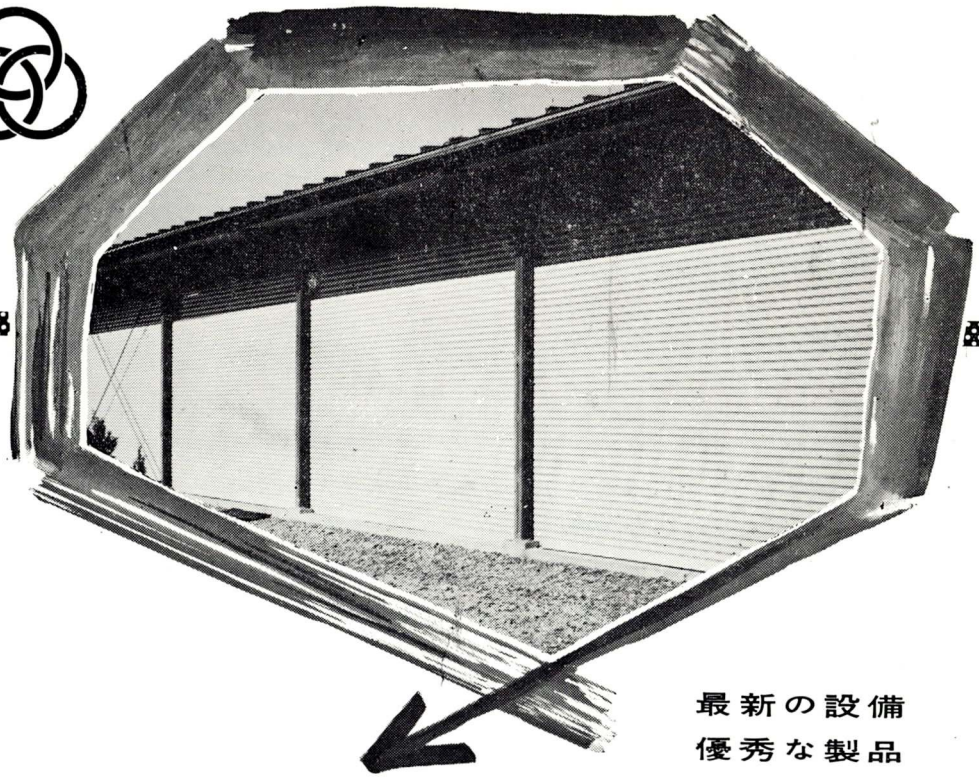


K－タイル（1.5粍厚）

アスタイル

藤森建材株式会社

東京 東京都中央区日本橋通1－2（大倉ビル） 電話 (271) 6432—5
大阪 大阪市西区土佐堀通1－1（大同ビル） 電話 (44) 9417—8
九州 福岡市薬院大通 2－73 電話 (4) 1945 (5) 3473
北海道 札幌市南二条西10丁目 荒善（株）内 電話 (4) 2511－3



最新の設備
優秀な製品

三和シヤッター

甲種・乙種防火シヤッター
電動式・手動式・スプリング式
其他のシヤッター全般

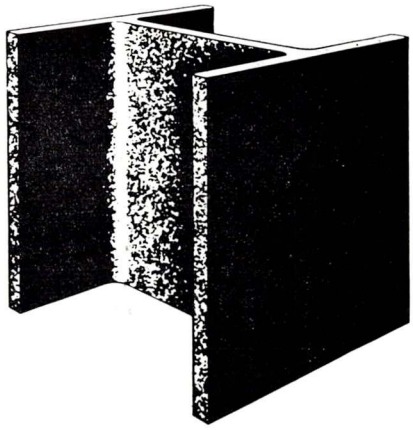
三和シヤッター株式会社

本　店　尼崎市久々知字コエ23　電話大阪代表(40)5341

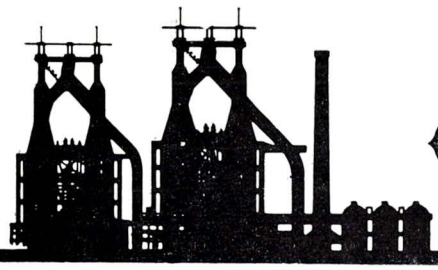
札幌支店 札幌市琴似町琴似522 電話(5)6873(3)7438
旭川営業所 旭川市常盤通3丁目 電話(2)5097
帯広出張所 帯広市西二条南7丁目6 電話3856　3857
東北支店 仙台市土樋112 電話(3)3296・9618
秋田営業所 秋田市楢山虎ノ口外張新町9 電話278　3
新潟営業所 新潟市春日町西2丁目 電話(3)1443
会津若松出張所 会津若松市西栄町496 電話238　8
東京支店 東京都新宿区新宿1丁目60 電話(341)2478・9678・3696
神田営業所 東京都千代田区神田松住町12山京ビル 電話(291)3841－5
神奈川営業所 横浜市中区宮川町116 電話(3)8023
群馬営業所 高崎市下和田町(観音塚四ノ角) 電話2166
栃木営業所 宇都宮市旭町1丁目3428 電話7722
甲府営業所 甲府市紅梅町21 電話2442
名古屋支店 名古屋市中村区広井町2丁目46六和ビル 電話(54)2846　(55)9786
静岡営業所 静岡市音羽町188 電話(3)28・46
長野営業所 長野市妻科町739 電話(2)5292
松本出張所 松本市岩町149 電話2497・4744
四日市出張所 四日市市四ノ谷新町2823 電話244　3
大阪支店 尼崎市久々知字コエ23 電話代表(40)5341
大阪南営業所 大阪市阿倍野区　明町1丁目22ノ3 電話(77)8217
神戸営業所 神戸市長田区菅原通3丁目196 電話(5)9451
金沢営業所 金沢市土胡桃町36 電話(2)1387
足椙営業所 足椙市四番町88 電話2053
高松営業所 高松市塩上町809 電話(3)4290
高知営業所 高知市旭町3の50 電話(2)1576
広島営業所 広島市千田町3の856 電話(4)3756
九州支店 福岡市渡辺通5丁目92 電話(5)5181・6901
熊本営業所 熊本市東外坪井町73 電話(2)893
佐世保営業所 佐世保市島瀬町140 電話5513
鹿児島営業所 鹿児島市平野町119 電話(2)6762

●明日の日本を礎く…H形鋼

Ⅰ構造用H形鋼
Ⅱ基礎杭用H形鋼



用途・橋梁　地下鉄　建築(ビル
工場　発電所　学校　その他)
船舶　機械　鉄塔　鉄道　土留
各種基礎杭　岸壁　下水渠



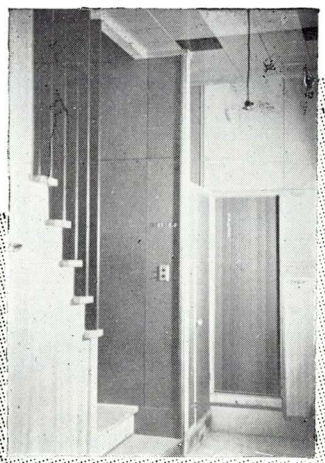
八幡製鐵株式會社

新建材

防火材
アルマイト吸音板
ヤハズラス
木毛セメン特殊板

化粧板
メラミン樹脂製品
ボード特殊合板
プラスチック製品

吸音断熱
スロール天井板
大建ボード
スロール断熱板

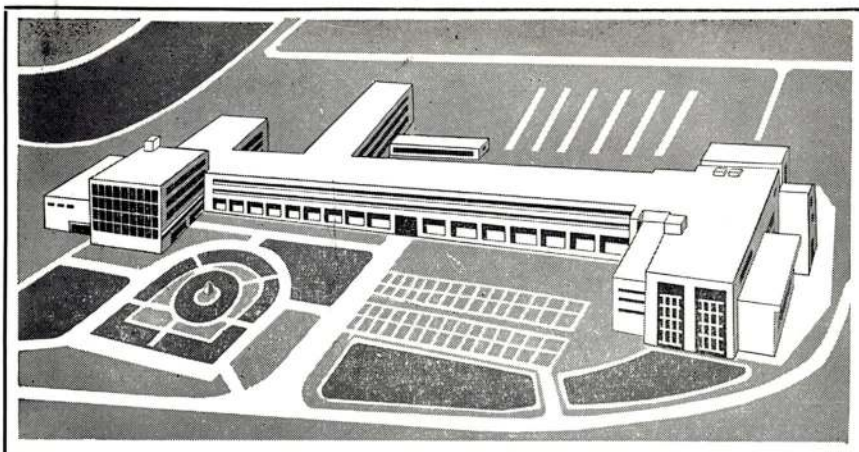


ロッ都
ナモト
生きる近代建築に
魂ある文化材

モデルハウス展示
すまいの開発店
西区立花通2電(53)2843

30メーカー代理店

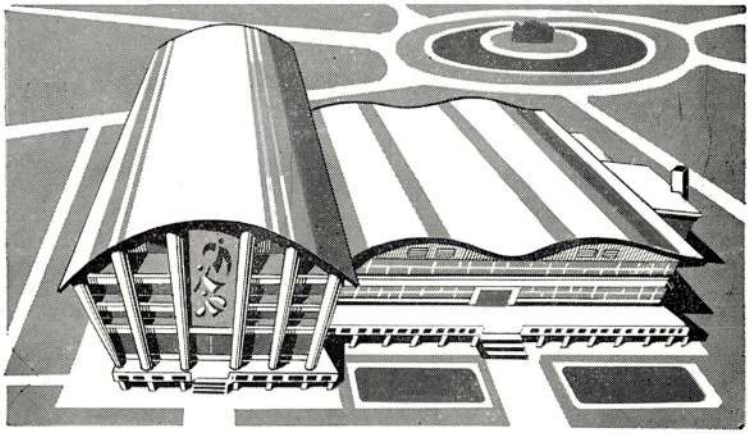
大阪・四ツ橋
株式会社 山本建材
TEL (54) 1861～5・2131・2233



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーキング材　シールセメント



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL(271)7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町6—101
　　TEL (807) 代表 0161～5

大阪営業所及大阪工場
　　大阪市東淀川区堀上通り3—39
　　TEL(39)0924～5・2045・2079

東陶の衛生陶器と付属金具

L-92 に代る

L-220

オパール



ビル・アパートはもとより一般住宅

にも御採用頂けるよう寸法や価格の点では従来最もよく

Toyotoki 御愛用頂いていた製品L－92を基準として考慮いたしました。

定　価

陶　器(1級)L 220 ¥ 2,750

金　具（Toyotoki印）

立水栓 T205Y
@¥ 600 (2個) ¥ 1,200

止水栓 T4AY
@¥ 670 (2個) ¥ 1,340

排水金具 T6P ¥ 1,210

バックハンガ
取付木ネジ TL220D ¥ 200

計 ¥ 6,700

参考定価

陶　器(並級)L 220 ¥ 2,200

金　具（TTK印）

立水栓 K205Y
@¥ 510 (2個) ¥ 1,020

止水栓 K4AY
@¥ 570 (2個) ¥ 1,140

排水金具 K6PC ¥ 1,030

東洋陶器株式会社

本　社
小倉市篠崎町458
TEL ⑤ 2481～5

大阪営業所　大阪市東区高麗橋5－32　TEL ㉓ 4518～9

各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌・仙台・富山　TEL 2105～8

茅ヶ崎工場
神奈川県茅ヶ崎市



床材の王座（キング）！

新発売

ロンタイルK

30 cm × 30 cm ・ 厚さ 2 mm

ロンリウムK

182 cm巾 ・ 厚さ2mm、3mm ・ 長尺

従来のロンリウム・ロンタイルの姉妹品として、川口ゴムの最新の設備で完成したビニル新床材で、色調・摩耗性・耐燃性・耐油性など格段と優秀性を有します。ロンリウムK・ロンタイルKはいずれも全層同質で耐摩耗が強化され、然もソフトな質感は公共建築・ビル・車輌の床にピッタリとし価格も一層経済的になっています。

コンプレート
網入等各種類そろった塩ビ波板

ニューロンプレート
使いやすい、トタン小波の普及品

ロンガラス
用途の広い、透明・半透明塩ビ平板

ロンフイックス
丈夫で汚れない最新の壁・襖貼材

ロンリウム
品質随一と定評のある床張材

ロンタイル
あらゆる床にマッチする美しい床材

川口ゴム工業株式会社

本社・工場	東京都葛飾区本田四ッ木町54	電話	東京(697)6141(代表)
蒲生工場	埼玉県越谷市大字蒲生2740	電話草加(0871)2033蒲生112	
外国部	東京都千代田区神田鍛冶町2－16	電話	東京(291)3588～9
神田営業所	東京都千代田区神田鍛冶町2－16	電話	東京(291)0003～4
大阪営業所	大阪市南区北炭屋町33	電話	大阪(27)4358～9



DK ダントウ タイル

滋陶株式会社

滋陶株式会社　福良工場全景

壁に張り上げて見て気持のよい色合無暗に余分の光沢を放たない表面／何時までもアキが来ない●セラミックの良さを生かした**ダントウタイル**を……

伝統と技術を誇る
淡陶の製品



床には新しい床材料
ダントウフロアータイルP

モダンリビングの設計に！
オフイスのレイアウトに！



淡陶株式会社

大阪支店　大阪市西区阿波座南通り1の1
電話代表（54）8523
東京支店　東京都中央区日本橋浜町2の47
電話(671) 7309 (661) 7297

本社及阿万工場　兵庫県三原郡南淡町伊賀野　電話　阿万　10・110　福良工場　兵庫県三原郡南淡町福良　電話　福良　19・322

会員増加期間中会員動態報告

会員倍加運動中の増員を下記のとおりご報告申しあげます。会員諸氏の絶大なるご協力に深く感謝いたしますとともに，なお今後とも会勢発展にご尽力賜わりますよう，よろしくお願い申しあげます。

日本建築協会会勢審議会

記

月別	入会					退会					差引増				
	正会員	団体会員 会員数	団体会員 口数	地方会員	準会員	正会員	団体会員 会員数	団体会員 口数	地方会員	準会員	正会員	団体会員 会員数	団体会員 口数	地方会員	準会員
9月	44	25	234	0	3	14	2	2	0	0	30	23	232	0	3
10月	77	12	28	3	15	18	4	4	0	2	59	8	24	3	13
11月	19	7	11	1	4	5	2	3	0	2	14	5	8	1	2
計	140	44	273	4	22	37	8	9	0	4	103	36	264	4	18
総計	161件 • 389口														

昭和36年1月

会と催

新春の若い会員の集い

西山卯三氏をお招きして躍進中国の実状を聴く会

1，　と　き　　1月20日（金）午後6時～8時

1，　ところ　　ミュンヘン別館＜大阪市北区神明町・梅田新道の同和火災ビル東へ一つ辻南へ入る・電話（34）3547番＞

1，　申　込　　1月13日までに電話でお申込み下さい。
定員は50名です。

1，　会　費　　300円（別に補助があります）

新春の懇親会は，昨年10月末より中国建築学会の招きで約1ヶ月間，中国を視察してこられた，西山卯三氏（京都大学助教授）を囲んで，スライドを併せて建築事情を中心にお話しをお聴きすることになりました。少しでも日中友好に役立てば幸いに存じます。何卒奮つてご参加下さい。

新年交礼会開催

と　き　1月4日（水）
午後1時――2時　随時

ところ　大阪建設会館6階

会　費　300円

共催団体　大阪府建築士会
大阪建設業協会
日本建材協会
日本建築学会近畿支部
日本建築家協会関西支部
本　会

本会後援 <建築学会関係>

建築基礎構造規準講習会開催

とき　昭和36年1月26～27日（2日間）午前9時～午後5時

ところ　大阪府職員会館（大阪市東区大手前・大阪府庁裏）

科目および講師（敬称略）

1月26日	1月27日
1条～26条	27条～65条および設計例
竹山謙三郎（建設省建築研究所長・工博）	山肩邦男（京都工芸繊維大学助教授）
大崎須彦（建設省建築研究所員・工博）	小泉昇（竹中工務店設計部次長）
馬場善雄（大阪大学助教授）	貝戸俊一（大阪市役所建築局技師）
	陶浪貞彦（清水建設大阪支店設計課長）

会費および申込方法

(イ)　800円（学会々員・後援関係官公庁・団体の職員・会員）　(ロ)　1000円（左記以外の方）

お申込みは会員種別・氏名・勤務先・住所を明記の上，会費（テキスト代を含む）を添えて，期限までにお申込み下さい。定員に達すれば締切ることがありますから，お早めにお申込み下さい。

申込場所　日本建築学会近畿支部　大阪市東区北浜3の37　TEL ㉓9649

テキスト　建築基礎構造設計規準・同解説　**定員**　420名

近畿支部研究発表会原稿募集

昭和36年4月開催予定の支部研究発表会の原稿を募集いたします。

発表部門，発表題名，勤務先，氏名（共同研究のときは発表者に○印）を記入の上，下記によりお申込み下さい。なお，今回は活版印刷で支部在住の全会員に無償配布するほか関係方面に広く配布を予定しております。

原稿〆切日　昭和36年1月23日（月）正午

発表制限　1人1題を原則とし，1題9,600字以内とする。

採否の決定　原稿〆切後研究連絡委員会を開催し，発表論文を審査し採否を決定する。

原稿送付先　日本建築学会近畿支部事務局　（大阪市東区北浜3—37　㉓9649）

謹賀新年　昭和36年元旦（追加分・順不同）

渡辺節
渡辺道輝
大阪市東区北浜1—6北浜野村ビル
渡辺建築事務所

坂倉準三建築研究所
東京都港区赤坂桧町6
大阪市西区京町堀通2—12

栗林一馬
日本建築協会和歌山支部長

岡田平蔵
名古屋市西区菊井町2—12 電(53)0121・2057
岡田建材株式会社　取締役社長

清水和弥
勤務先　山下寿郎設計事務所
自宅　豊中市桜塚東通5—8

今村騰
大阪市北区梅ケ枝町25
中央電気工業株式会社　取締役社長

謹賀新年　昭和36年元旦　(50音順)

青木友一
大阪市天王寺区大道3—125
東洋洋瓦株式会社社長

青柳貞世
株式会社竹中工務店

青盛繁男
広島市鉄砲町108
青盛建材株式会社

浅海正雄
宝塚市切畑字長尾山2—161

浅沼猪之吉
大阪市天王寺区石ケ辻町13
株式会社浅沼組

井上浄夫
自宅　西宮市甲子園三番町71
KK井上浄夫商店

井上福蔵
大阪市都島区東野田町2—15
株式会社井上組　代表取締役

猪飼幸次郎
大阪市生野区勝山通9—72
江東電気工業株式会社　取締役社長

五十嵐芳雄
株式会社大林組

伊丹久吉
大阪市東区両替町1—13
株式会社藤木工務店　専務取締役

伊東恒治
大阪市東区伏見町2—22 青山ビル
新構社　伊東建築設計事務所

伊東正也
大阪市東区南久宝寺4—7
伊東建築設計事務所

伊藤鉱一
日建設計工務株式会社　取締役社長

飯田精次郎
大阪市北区富田町11
共同設計株式会社　代表取締役

池田宮彦
大阪市西区京町堀通2—37
株式会社大阪建築事務所　取締役社長

石川寛三
大阪市天王寺区茶臼山町111
石川建築事務所

石原達偉(季夫)
大阪事務所　大阪市北区宗是町1番地 大ビル916号室
東京事務所　東京都港区芝南佐久間町2—9 小里ビル

一圓俊郎
名古屋市中区南大津通4—1
社団法人日本建築協会東海支部長

稲垣皎三
株式会社大林組

岩崎甚太郎
大阪市東区京橋3—75
株式会社大林組

謹賀新年　昭和36年元旦　(50音順)

内田成之
須賀工業株式会社

岡本行善
株式会社　昭和建築設計事務所

浦辺鎮太郎
倉敷レイヨン株式会社

笠原梯治郎
田島応用化工大阪出張所

小笠原昕
大阪市東区伏見町2—22
株式会社　小笠原建築事務所　代表取締役

梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町392
八千代電設工業株式会社　取締役社長

尾亀清四郎
株式会社　三晃商会

金光五郎
大阪市西成区千本通7—11
万年スレート株式会社

尾崎久助
大阪市東区横堀2—38
日建設計工務株式会社　取締役会長

川口哲雄
尼崎市南竹谷町2—89
田中工業株式会社　大阪出張所長

置塩章・置塩光
大阪市北区堂島上1—2　新山本ビル
神戸市生田区京町70　松岡ビル
置塩建築事務所

川崎盛治
大阪市北区太融町寺83
株式会社　小坂井組　代表取締役

大阪生コンクリート株式会社
大阪市北区堂島浜通1—25（新大ビル3階）

河井覚弘
大阪市北区兎我野町18　電㊿3339・3330
河井建築設計事務所

大林芳郎
株式会社　大林組

河津喜之助
大阪市北区堂島上1—24
河津装飾株式会社

岡三郎
株式会社　岡組　取締役社長
自宅　箕面市桜丘205

木戸口信義
大阪市天王寺区北河堀町54
大洋建設工業株式会社　取締役社長

奥村太平
大阪市阿倍野区松崎町1—51
株式会社　奥村組

久保幸一
大阪市北区真砂町5
株式会社　久保商店

謹賀新年　昭和36年元旦　(50音順)

栗田政次郎
大阪市西区南堀江1番町14
大阪朝日瀝青株式会社

貞永直義
豊中市曽根東1—41
貞永建築士事務所所長

小林清周
自宅住所　豊中市曽根東町4—3—7
勤務先　株式会社　鴻池組

澤田宗二郎
大日本硝子工業株式会社大阪支店　取締役支店長

小林得志
大阪市北区堂島北町20
小林得志建築事務所

設楽貞三
自宅　神戸市須磨区桜木町3—23
電　⑦0324

古林義敦
日本建築協会中国支部長
事務所　広島市鉄砲町　青森建材KK内

島田孝治
大阪市大正区南恩加島町1
株式会社片山鉄工所　代表取締役

鴻池藤一
大阪市此花区伝法町北3—67
株式会社鴻池組　取締役社長

庄野勝
大阪市南区鰻谷仲之町57
不動建設株式会社　取締役社長

佐藤音松
大阪市天王寺区上本町7—34
株式会社　今西組

白杉嘉明三
自宅　神戸市東灘区本山町野寄19—1

佐藤重夫
広島市千田町3 広島大学工学部建築教室
広島大学教授

菅谷三郎
大阪市西区江戸堀南通1—37
株式会社　大阪電気商会　大阪暖房商会

佐藤太
大阪市北区南扇町12
近畿電気工事株式会社　取締役社長

鈴木清市
大阪市東淀川区新高南通1—14
株式会社　ケントク　取締役社長

佐野正一
大阪市東区淡路町2—34
安井建築設計事務所

仙田四郎
大阪市住吉区万代東6—3
関西煖房工業株式会社　取締役社長

坂内幾男
坂内建築設計事務所

銭高輝之
大阪市西区阿波座上通3—2
株式会社　銭高組

謹賀新年　昭和36年元旦　(50音順)

太刀川達太郎
勤務先　大阪市西淀川区御幣島町中3—4
不二サッシ工業株式会社大阪支店
自宅　大阪市西区川口町12

塚本猛次
大阪市東区横堀2—38㉓2261—5
日建設計工務株式会社

田辺信
株式会社大林組

土田吉堯
大阪府北河内郡門真町
松下電工株式会社建材事業部

田村巍
大阪市東区南久宝寺町4—47
亀井株式会社　取締役社長

東畑謙三
大阪市東区伏見町5—19
株式会社　東畑建築事務所

滝邦一
大阪市西区北堀江通1
栗本建設工業株式会社

内藤資忠
京都市左京区田中大堰町13
株式会社　内藤建築事務所　代表取締役

竹内成夫
大阪市浪速区元町1—742
株式会社竹内建築事務所　代表取締役

中沢誠一郎
守口市滝井元町3—27 中沢建築事務所　電㊾　1848
分室　大阪市北区富田町12(富田町ビル)電㉞　6814
(312)1810

竹中錬一
株式会社　竹中工務店

中西六郎
大阪市北区中之島3　朝日ビル

高橋慶夫
大阪市西区京町堀通2—37
株式会社　大阪建築事務所　専務取締役

中松通明
大阪市東区高麗橋5—32
東洋陶器(株)大阪営業所

知見義夫
株式会社　斉藤省三商店大阪支店長

中道朝男
大阪市都島区相生町27
株式会社中道組

千原大五郎
東京都港区赤坂溜池町30　溜池東急ビル
株式会社　大阪建築事務所東京支所　取締役所長

長尾正大
大阪市大淀区天神橋筋6—5 天六阪急ビル4階
日本エレーベータ工業株式会社　代表取締役

地頭政人
大阪市北区若松町30　電㉞9004・9016・4825
株式会社 小俣製作所大阪支店 取締役支店長

西嶋徳太郎
大阪市西区京町堀通2—37
株式会社大阪建築事務所　常務取締役

謹賀新年　昭和35年元旦　(50音順)

長谷川武彦
大阪市東区淡路町5—2
株式会社　長谷川工務店

伴　秀雄
株式会社　西原衛生工業所大阪店

彦谷邦一
京都市北区小山北上総町21

平田作太郎
京都市下京区大宮四条南

藤井徳義
大阪市北区絹笠町16　大江ビル
新晃工業株式会社　取締役社長

藤木正一
大阪市東区両替町1—17
株式会社　藤木工務店　取締役社長

藤原巧
大阪市東区今橋1—14　㉓5539・㉗4404
株式会社　増岡組大阪支店

藤村清一
大阪市北区永楽町8　日産ビル6階
株式会社　日新建築設計事務所
電　㉞　5731—3・2348

藤本三郎
大阪市東成区東今里3—4
不二化学工業株式会社

藤本庄之助
大阪市城東区西鴫野6—43
株式会社　工盛社

藤本久次
大阪市生野区猪飼野中1—5
株式会社　藤本組

宝来佐市郎
大阪市東区京橋3—75
株式会社　大林組

前野慶太郎
大阪市北区堂島上2—11
株式会社　あめりか屋　取締役社長

牧村利勝
大阪市東区横堀2—70
株式会社　間組大阪支店　取締役支店長
自宅　伊丹市昆陽字宮本26

町田信治
伊丹市伊丹558
東洋リノリューム株式会社　社長

松田昌平
福岡市下西町2　明治屋ビル
松田建築事務所　(自営)

松村雄吉
株式会社　松村組

三国利道
大阪市東区淡路町2—34
株式会社　安井建築設計事務所

南長吉
大阪市南区順慶町通1—44
斎久工業株式会社大阪支店　支店長

向井保晴
伊丹市伊丹558
東洋リノリューム株式会社

謹賀新年　昭和36年元旦　(50音順)

村石秋吉
大阪市浪速区幸町通3—20
浪速合板株式会社

村上一郎
大阪市北区芝田町35
浅野スレート株式会社大阪支店　取締役支店長

室谷山水
株式会社　室谷商店

森幸治
大阪市東区横堀2—14
株式会社　森組　取締役社長

森田慶一
大阪市西区京町堀2—37
株式会社大阪建築事務所　顧問

八十島健二
株式会社　竹中工務店
自宅　西宮市甲子園2—24

株式会社　矢橋大理石商店　大阪出張所
大阪市東区高麗橋2丁目　野村ビル
電　北浜㉓4257・4258

山口吾郎
大阪市西区阿波座上通4—8
不二建設株式会社　社長
自宅　豊中市栄通2—5

山口武雄
大阪市西区阿波座南通1—1
淡陶株式会社大阪支店
電代表㊺8523

山田文次
大阪市西区京町堀上通1—7
山田工業株式会社　代表取締役

山中茂一
大阪市東区高麗橋詰54　電㊾0473・4936
栄興建築株式会社
工場電㉟1360・8101

山本末男
大阪市南区大和町1
株式会社　大末組社長

山本博三
大阪市北区中之島3—3
朝陽電気株式会社

山本義樹
株式会社　銭高組

山本竜太郎
大阪市北区西堀川町15
株式会社　ヤマト電気商会　取締役社長
自宅　大阪市住吉区帝塚山西4—21

吉田信武
大阪府大東市三箇1140

若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町2—6
二葉屋装備工業株式会社

若林季雄
大阪市阿倍野区阿倍野筋2
鹿島建設株式会社大阪支店

鷲尾健三
大阪大学工学部構築工学教室

渡部圭吾
大阪市北区絹笠町16
株式会社渡部建築設計事務所㉞1521
自宅　大阪府箕面市桜井20電大阪(0287)2209



梁の被害

白蟻

の駆除予防工事専門

諸官庁・諸会社御指定

調査無料!!

全国各地方に社員が出張いたしておりますから
遠近に拘らず御一報次第蟻害対策の御相談に参
上致します

和歌山市小松原通四丁目一番地（日赤病院前）

前田白蟻研究所

電話（和歌山）②１３８９番

建物樹木の害虫

白　蟻





和歌山市小松原通四丁目一番地(日赤病院前)

前田白蟻研究所

電　話（和歌山）②１３８９番



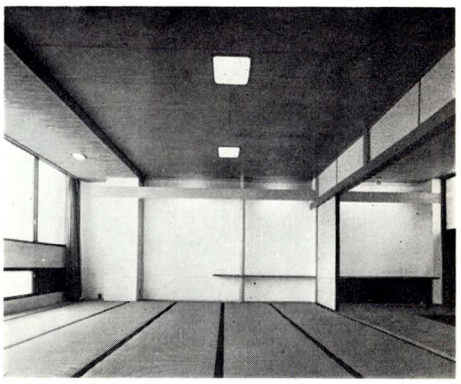
朝日毛糸株式会社豊中独身寮

設　計　大成建設株式会社

設計管理　笹川　秀男

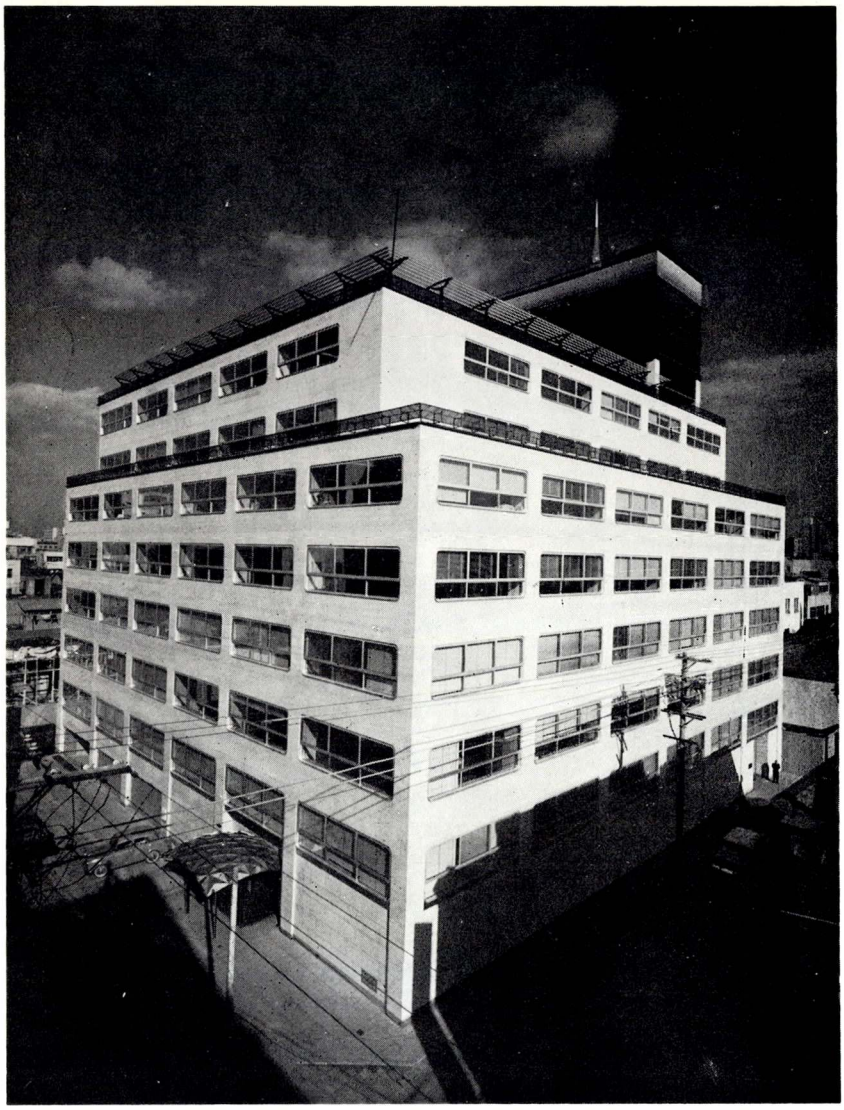
設計担当　中村銀之助・小沢　久弥・平田泰次

施　工　大成建設株式会社



所在地	豊中市桜塚本町1丁目
敷地面積	759.11m²
建築面積	440.98m²
延面積	1,004.47m²
構造規模	鉄筋コンクリート3階建
竣工	昭和35年8月

昭和35年中に竣工した新建築

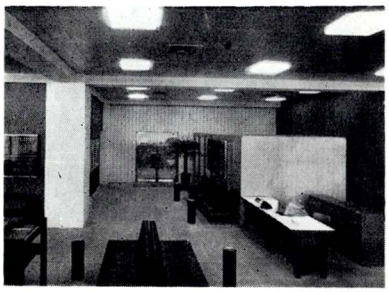


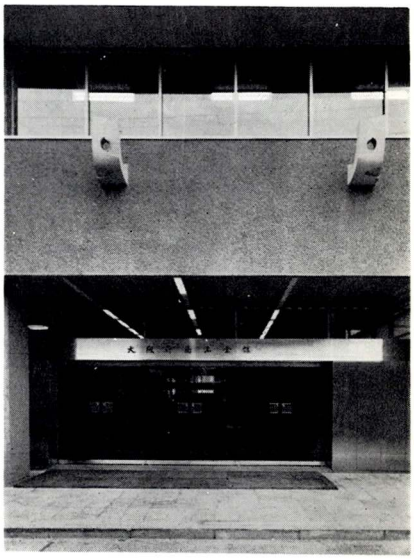
所在地　大阪市東区備後町4～4
敷地面積　1,751.54m²（530.7坪）
建築面積　1,368.50m²（414.0坪）
延面積　15,260.23m²（4,585.9坪）
構造　鉄骨，鉄筋コンクリート造
地下3階　地上8階　塔屋4階
柱と梁の大きさをできるだけ小さくするため鉄骨は強度の高い高張力鋼を使用し溶接で組立てコンクリートは4階以上は軽量コンクリート使用
高さ　標準地盤より　軒高　26m
〃　塔屋　38m
〃　基礎下端迄　14m
仕様概要　外装
南西面—イタリー産トラバーチン貼り
北東面—モザイクタイル貼り
塔屋—硝子モザイク貼り
外部建具
アルミサッシュ・アンチサン併用ペアー硝子入
内装
一般事務室—柱，壁プラスター O.P仕上
床　—リノリューム
天井—吸音テックス
主要集会室—壁，柱共ベニヤ練付（オート・ウォールナット類）
床　—ゴムタイル貼り
天井—プラスター O.P仕上
エレベーターホール
床　—1階トラバーチン貼り，その他ゴムタイル貼り
腰・壁—テラゾーブロック，ゾラコート，一部大理石，硝子モザイク貼り
天井—プラスター O.P仕上
竣工　昭和35年11月9日

株式会社 輸出繊維会館

設計　村野・森建築事務所
株式会社大阪建築事務所
施工　株式会社 戸田組







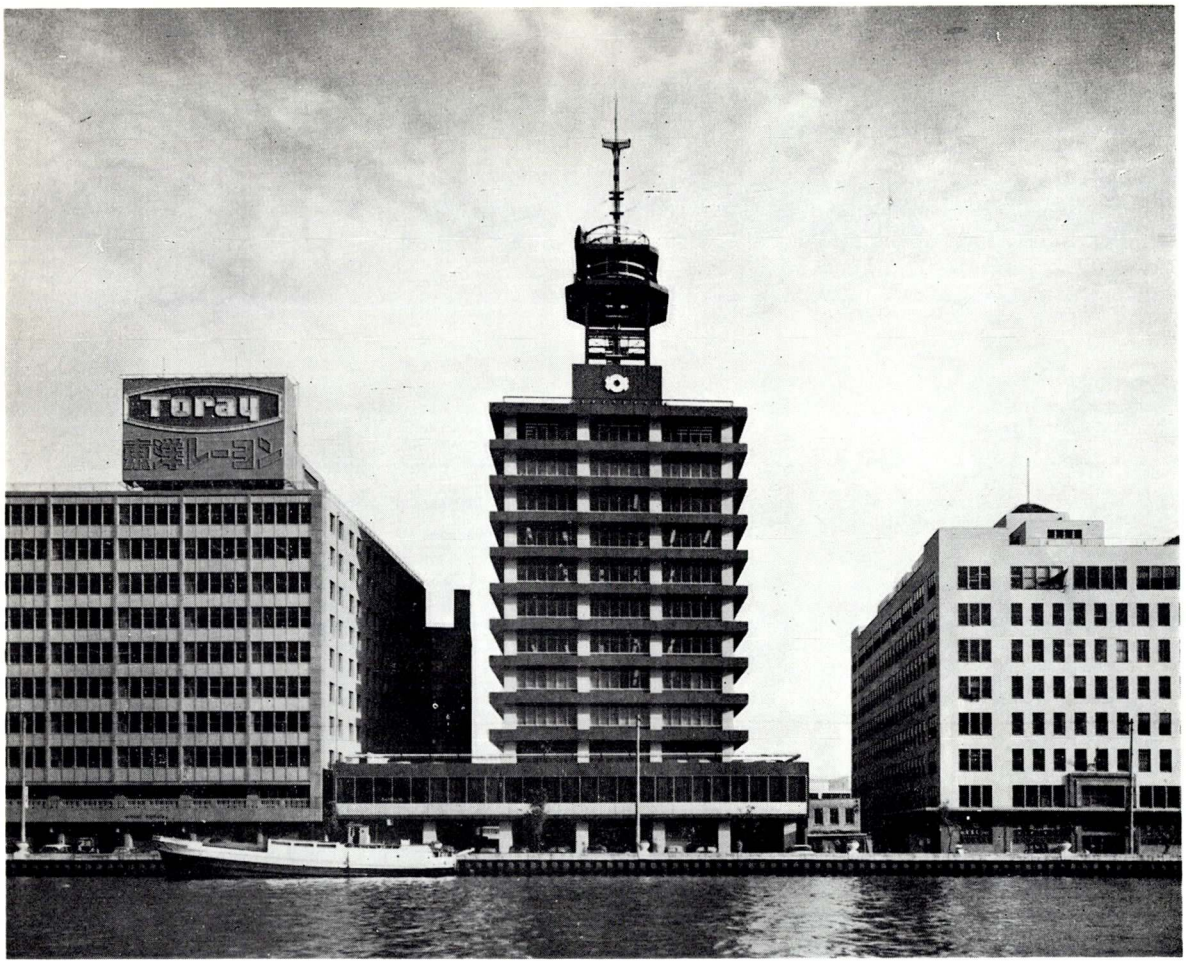
大阪府商工会館

設　計　日建設計工務ＫＫ
現場管理　大阪府建築部営繕課

施工　ＫＫ奥村組

所在地	東区南本町５ノ１６
敷地面積	1,670.82㎡
建築面積	1,394.87㎡
延面積	8,148.60㎡
構造	鉄骨，鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階 塔屋2階付
工期	昭和34年3月～昭和35年5月

昭和35年中に竣工した新建築

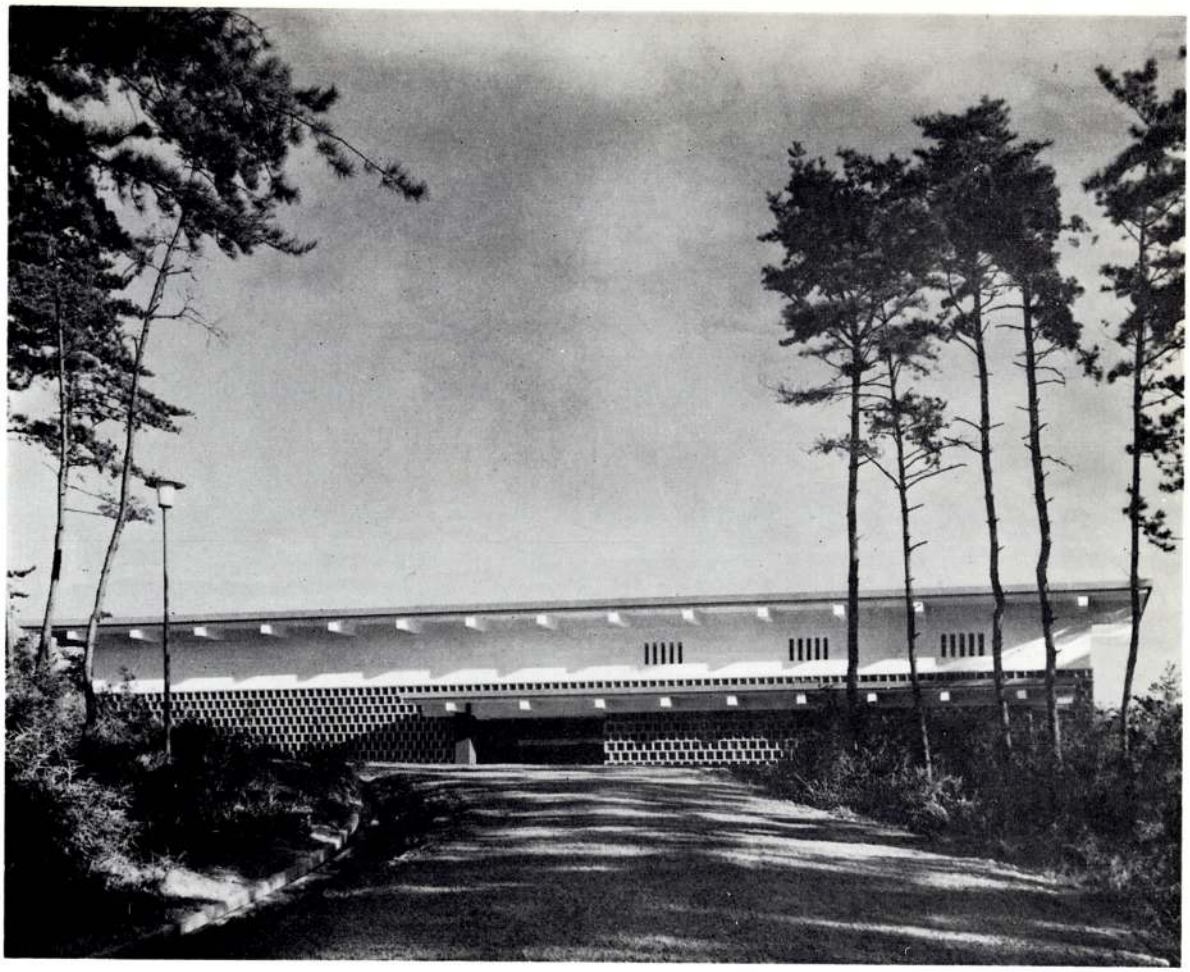


関　電　ビ　ル

設　計　KK 竹中工務店設計部

施　工　株式会社 竹 中 工 務 店

所在地	大阪市北区中之島3丁目5番地
敷地面積	4,736.567m² (1,432,805坪)
建築面積	3,091.412m² (935.148坪)
延面積	36,825.867m² (11,139.789坪)
構造規模	地下3階　9,705.152m²
	地上12階　25,734.555m²
	塔屋4階　1,386.160m²
	軒高　GL+45.000m
	軒高最高GL+57.000m
	鉄塔尖端GL+90.000m
竣工日	昭和35年3月31日



大　和　文　華　館

設計者　吉　田　五十八

所在地	奈良市菅原町969
敷地面積	28,050m²
建築面積	1,343m²
延面積	2,324m²
構造規模	鉄筋コンクリート造　地上2階
竣工	昭和35年10月

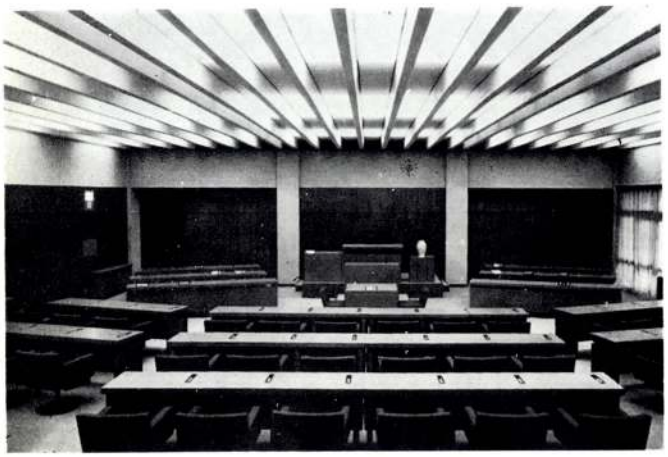
施工　株式会社　大林組



芦屋市庁舎

設計　日建設計工務株式会社

施工　株式会社間組



所在地	兵庫県芦屋市精道町
敷地面積	5,160 m²
建築面積	2,228 m²
延面積	5,611 m²
構造規模	鉄筋コンクリート造，地下（1階），地上（4階），塔屋（3階）
竣工日	昭35年8月16日

昭和35年中に竣工した新建築



三　木　農　協　会　館

設計　笠井建築工匠

施工　KK　浅　沼　組

所在地	三木市福井町
敷地面積	250坪
建築面積	169坪
延面積	520坪
構造規模	鉄筋コンクリート3階建一部地下室
竣工日	昭和35年7月20日



昭和35年中に竣工した新建築

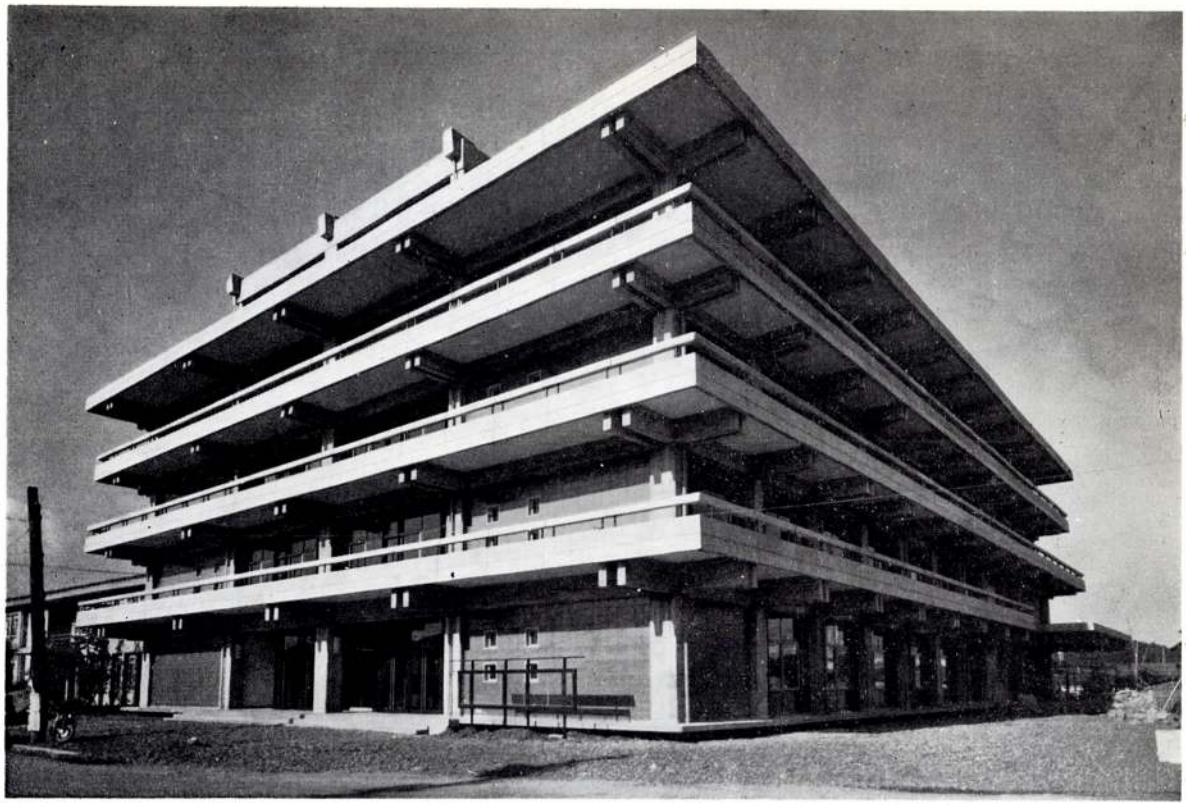


所在地	東京都千代田区神田美土代町2番地
敷地面積	390 m²
建築面積	370 m²
延面積	4, 220 m²
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上9階 地下2階 塔屋3階
竣工	昭和35年5月

長谷川東京ビル

設計　株式会社長谷川工務店

施工　株式会社長谷川工務店

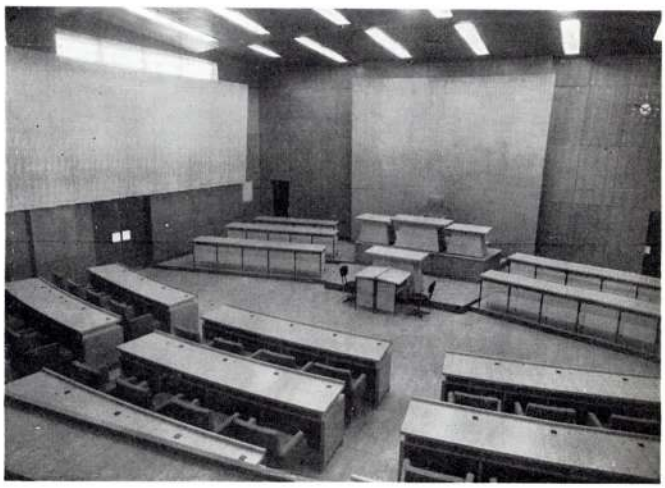


枚　方　市　庁　舎

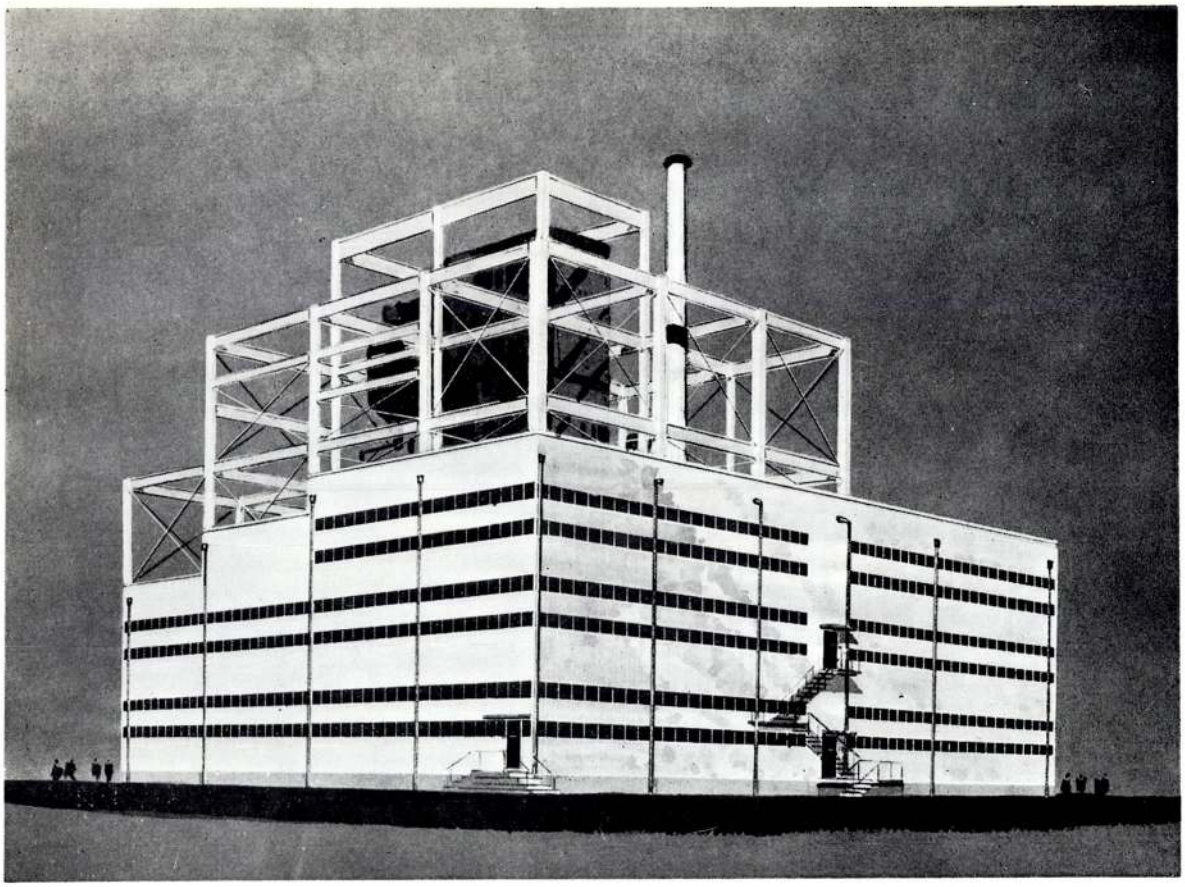
設計　株式会社 K 構造研究所

施工　栗本建設工業株式会社

所在地	大阪府枚方市禁野10番地
敷地面積	3, 3 2 3 m²
建築面積	1, 7 1 0 m²
延面積	5, 4 9 4 m²
構造規模	鉄筋コンクリート，地上4階 塔屋2階 基礎 鉄筋コンクリート杭打
竣工日	昭和 35 年 10 月 31 日



昭和35年中に竣工した新建築



紀州製紙株式会社ボイラー・電気タービン室

設計・施工　不動建設株式会社

所在地	三重県南牟婁郡鵜殿村
建築面積	350坪
延面積	500坪
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート
竣工日	昭和35年12月末予定



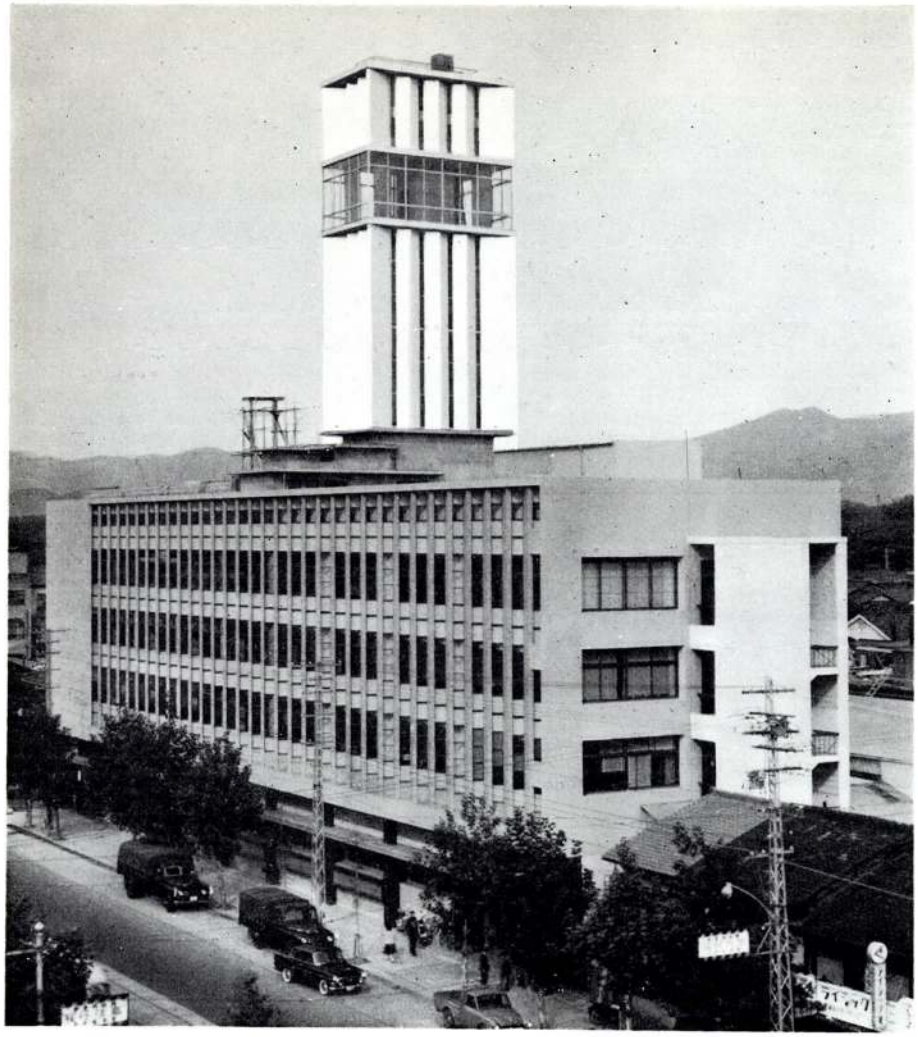
久保田鉄工株式会社本社

設計・監理　日建設計工務株式会社

施工　株式会社　錢高組

建築場所	大阪市浪速区船出町2丁目22番地
敷地面積	4,867.127m²（1,475.19坪）
建築面積	2,867.68 m²（ 867.17坪）
延面積	12,563.05 m²（3,799.55坪） その他ドライエリヤ・クーリングタワー・ピロテイーなど 1,025m²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造，地下1階地上8階，塔屋3階付
外装	柱型コンクリート打放し，シリコン吹付け，壁人造石塗りつつき仕上げ
工期	着工 昭和34年8月8日 竣工 昭和35年9月15日

昭和35年中に竣工した新建築



株式会社 京都新聞社

設計・監理　富家建築設計事務所

施工　清水建設株式会社

構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	
階数	地下1階 地上4階	
敷地面積		2,391.75m²
建築面積	新館建築面積	472.08m²
	総建築面積	1,876.13m²
延面積	新館延面積	2,467.74m²
	無電塔面積	21.35m²
	総延面積	7,558.68m²
建築高	地上	19.36 m
無電塔	地上	41.06 m
建築全長	南北	56.335m（烏丸通）
	東西	34.25 m
着工	昭和34年9月30日	
竣工	昭和35年11月26日	

昭和35年中に竣工した新建築



大阪富士ビル

設計　松田・平田設計事務所

施工　株式会社 竹中工務店

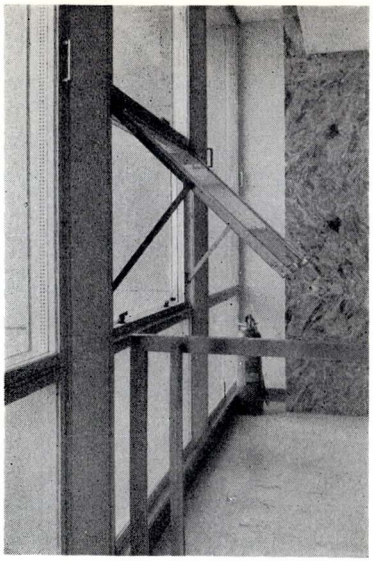


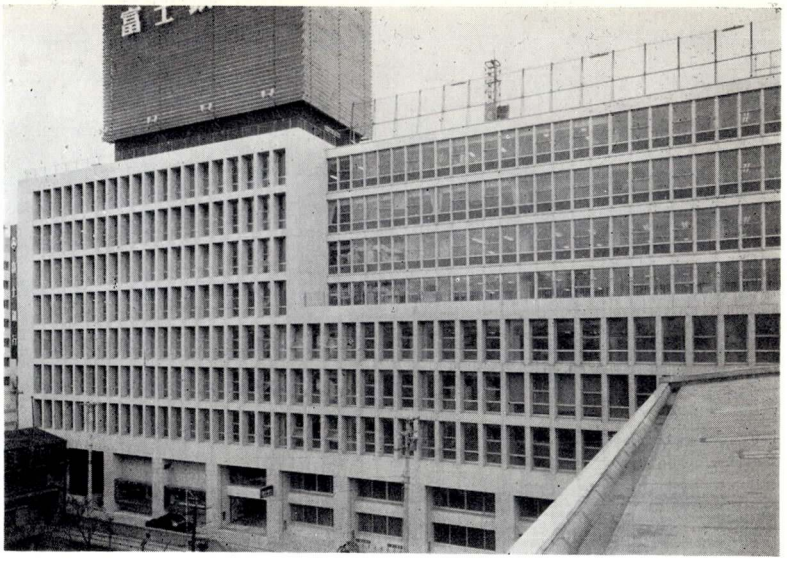
硝　子　工　事

株式会社　大　阪　硝　子　店



大　阪　富　士　ビ　ル





不二式アルミサッシ工事

不二サッシ工業株式会社
大阪支店

大阪富士ビル

ヨドウオルパネル採用例（大阪富士ビル外装）

株式会社 淀川製鋼所



大阪富士ビル



5階会議室および5階以上貸室
プラスタイル貼

プラスタイル使用

田島応用化工株式会社



5階以上各階廊下
プラスタイル貼

大阪富士ビル



サーモペーン使用

日本板硝子株式会社

タフライトドアー使用



大阪富士ビル



イ．1階ならびに営業室　アルミ天井
ロ．西北面外壁　アルミスパンドレル貼
ハ．4階会議室　ハネールーバー
ニ．クーリングタワー南東面　ルーバー

近藤金属工業株式会社



大理石工事

柱　ユーゴー 105号
カウスター天板　スエーデンG3号
腰　伊太利 107号
壁　伊太利 30号

株式会社 矢橋大理石商店



エレベーターホール

大理石・テラゾー工事

関ケ原石材株式会社



日満ゴムタイル使用

（日満ゴムタイル総発売元）

浪速建材工業株式会社

大阪富士ビル



富士銀行大阪支店談話室

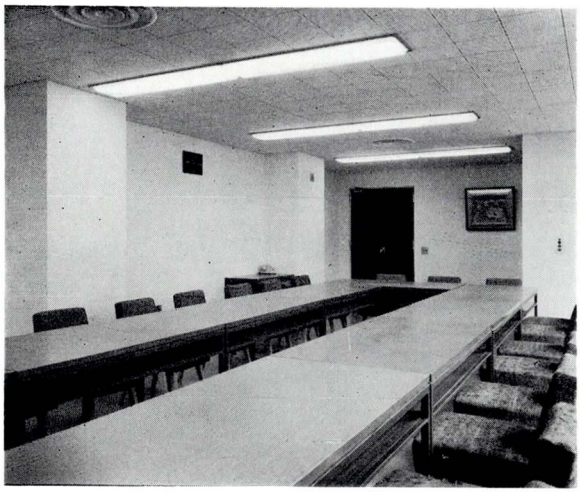
家具施工　大阪三越

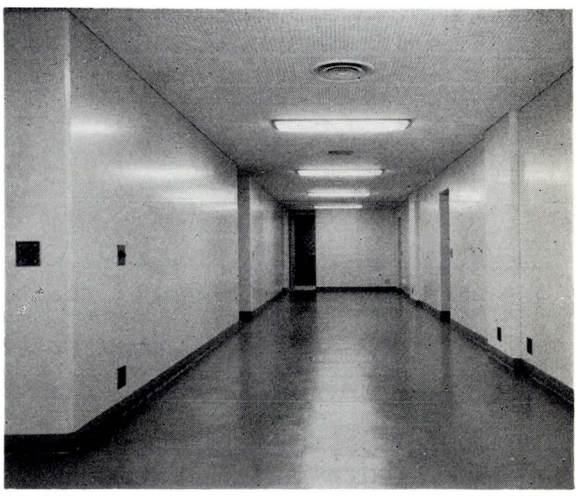
内部塗装工事

株式会社　三木塗装店

マース半艶消し使用

日本油脂株式会社



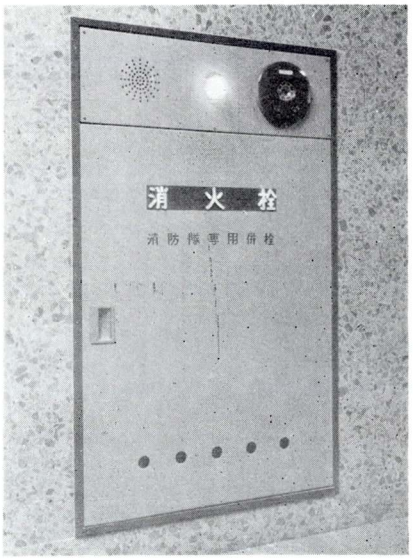


大阪富士ビル



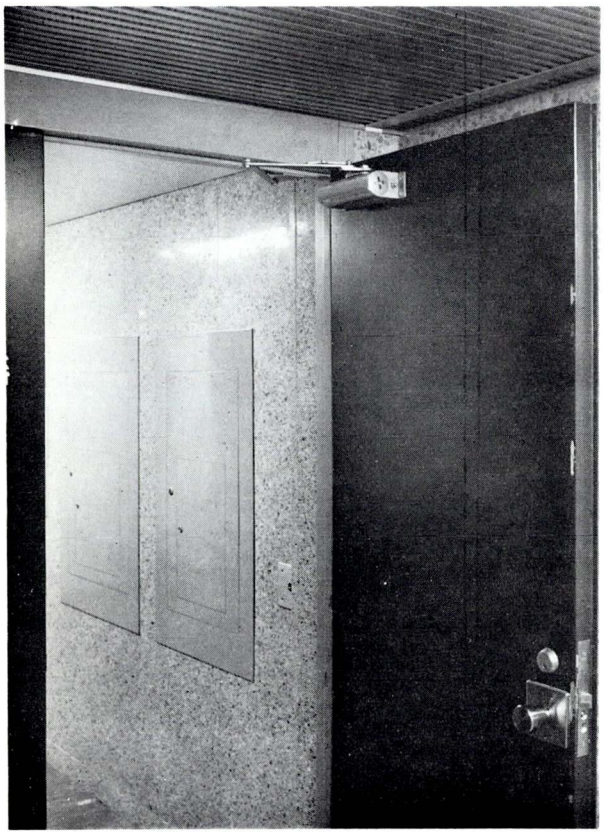
2階特別室
家具カーテン敷物一式

高島屋大阪支店装飾部



能美式自動火災報知装置

能美防災工業株式会社
大阪営業所



ドアーチエック
ラバトリーヒンヂ 使用
フロアーヒンヂ

日本ドアーチエック製造株式会社

大阪富士ビル



磨板ガラス • テンパライト・ドア

旭硝子株式会社

リノタイル使用

東洋リノリューム株式会社





壁：ダイケンＳ２Ｓハードボード㊦５㍉塗装　全館使用



ダイケン吸音板　全館使用

大建ウォールボード工業株式会社

大阪富士ビル

味の素吸音テックス使用

株式会社　室谷商店



シヤタア工事

株式会社　鈴木シヤタア商会

石工事

株式会社　熊取谷石材店

大阪富士ビル



スプレッドサテン使用

石産商事株式会社



9階 階段室

朝日フレシキブル調音板
各階廊下工事施工

朝日フレシキブル調音板工事施工

朝日石綿工業株式会社



大阪富士ビル

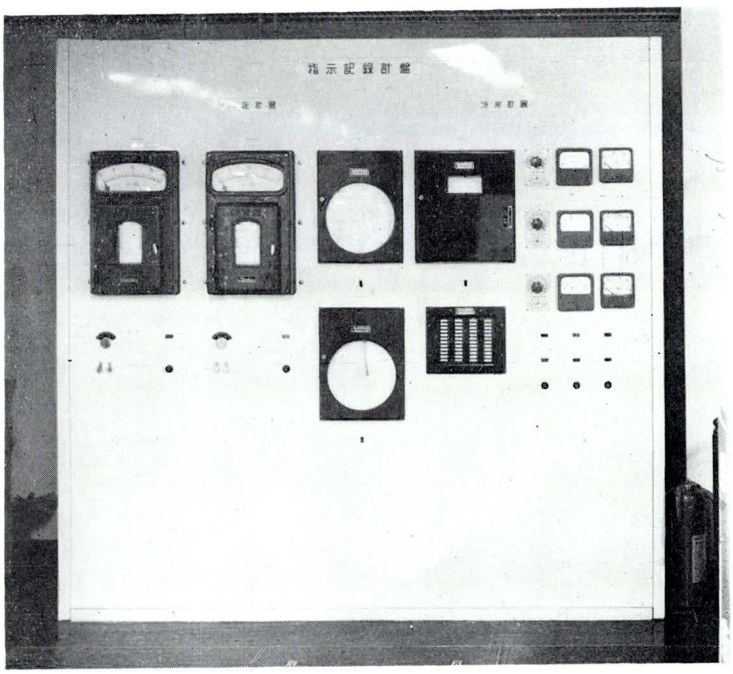


各階化粧室
地下廊下　タイル工事

淡陶株式会社

空調自動制御方式

山武ハネウエル計器株式会社



各階に設置された空調器はすべて電子管方式にて制御を行なっている。また一部窓側系統だけを切り離し，電子管方式にてゾーンコントロールを行なっている。

本空調器には，フエース，バイパスダンパーが使用され，温度コントロールと同時に，夏期における湿度のコントロールにも充分考慮がはらわれている。

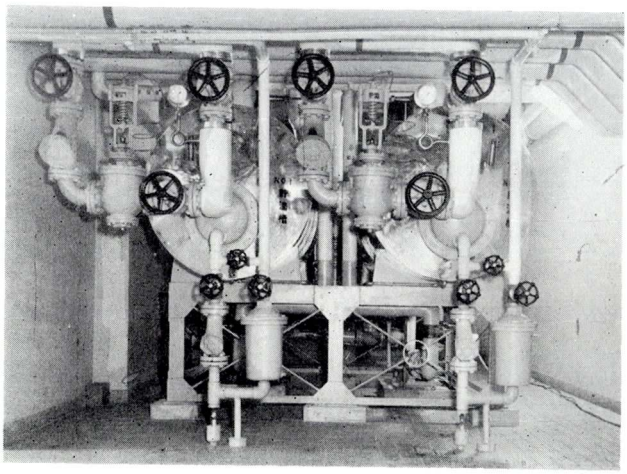
大阪富士ビル



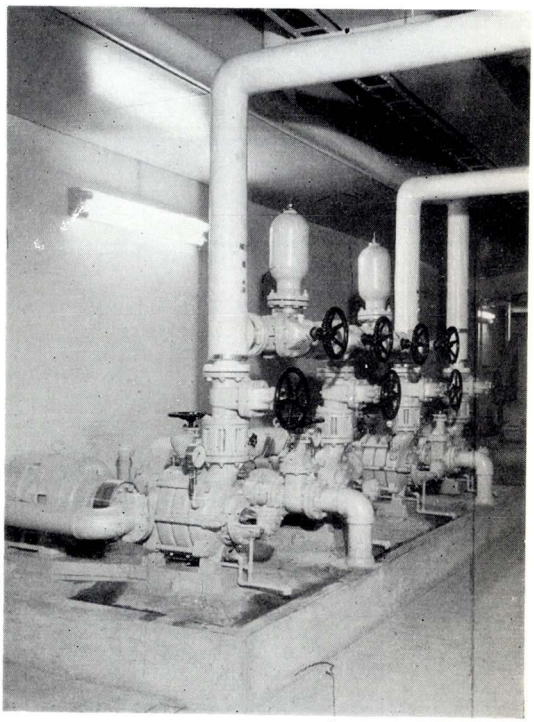
1階男子便所

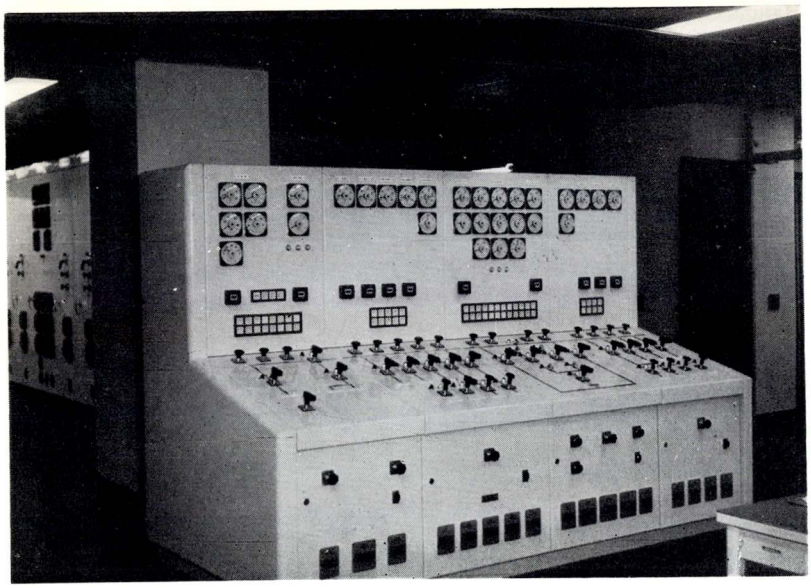
衛生設備工事　　須賀工業株式会社

地下3階貯湯槽廻り配管図



地下3階揚水・消火ポンプ



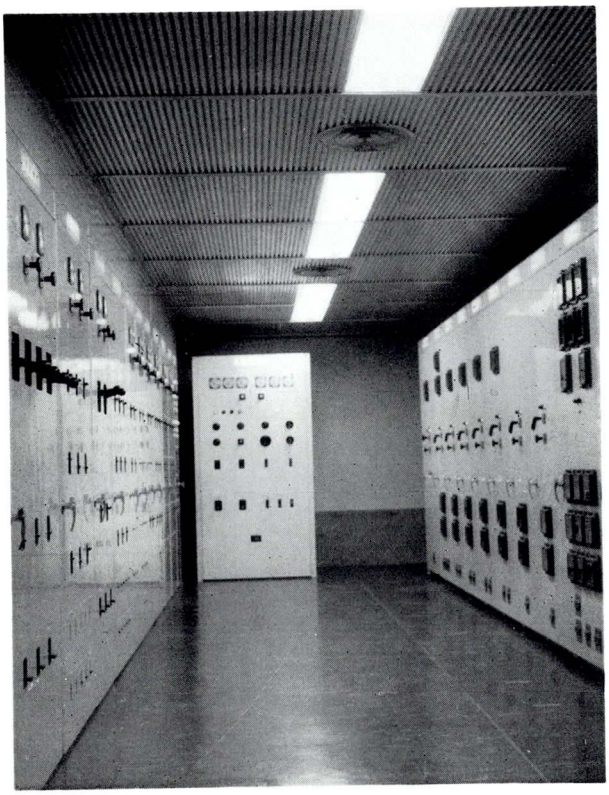


受変電コントロール盤

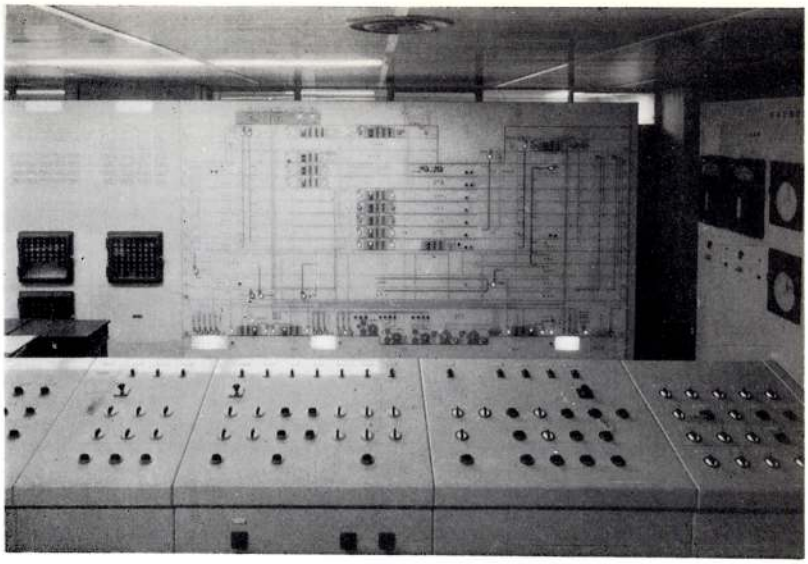
電気設備施工

株式会社 大阪電気商会 大阪暖房商会

高低圧配電盤室 ▶



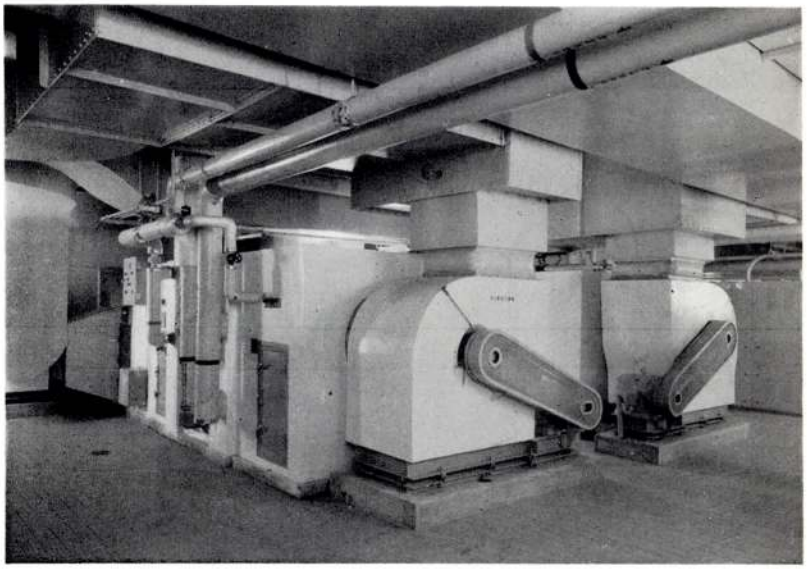
大阪富士ビル

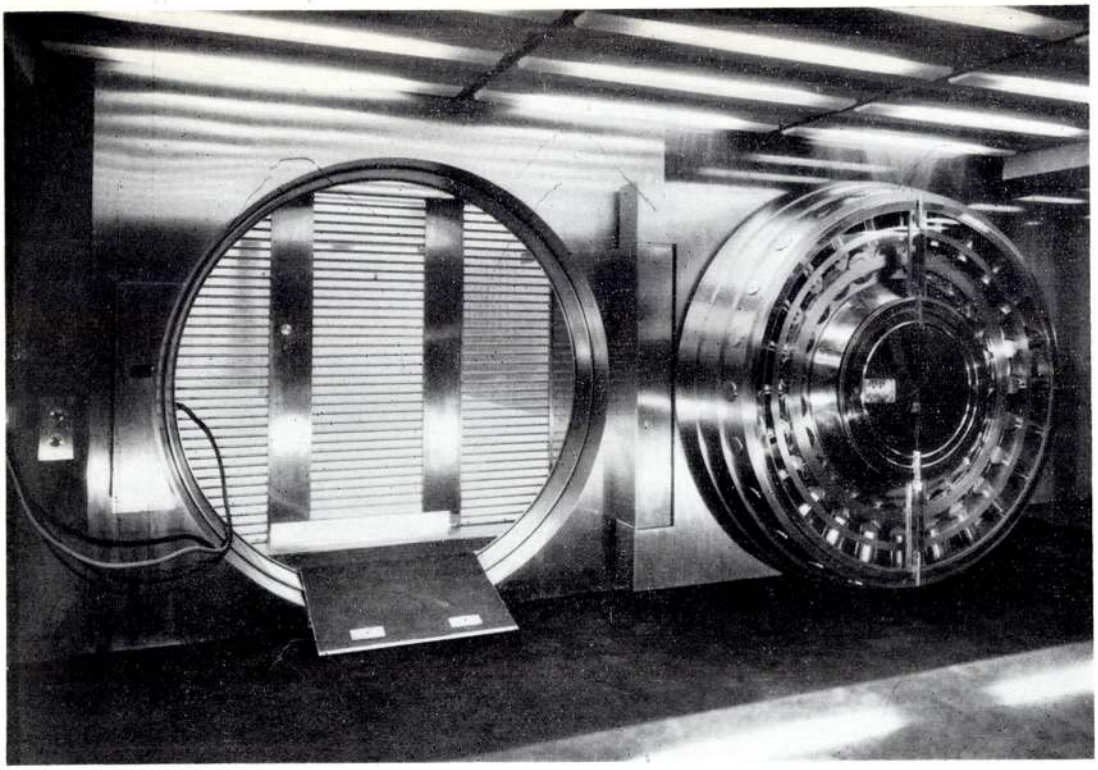


地下3階コントロール室
正面空気調和グラフイックパネル
右手は指示記録計盤
手前は全館遠方換作盤

高砂熱学工業株式会社

地下3階機械室
第1・2系統空気調和機（銀行東，西部分）





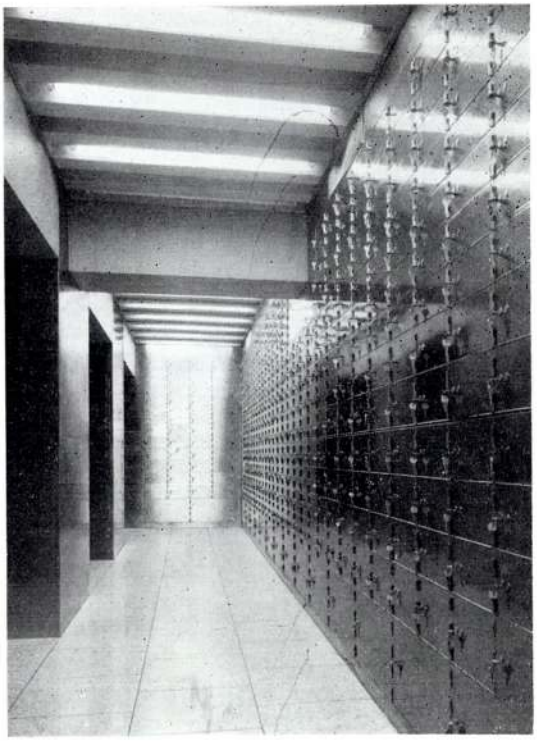
↑ 金庫室・貸金庫室用マンモス型鉄扉

株式会社　熊　平　製　作　所

施　工　1階大金庫室鉄扉・内装
貸金庫設備・同出入口鉄扉
ドライブインウインドウ
書　庫　室　鉄　扉・内　装
夜間金庫（ナイトデポジット）



↑ ドライブインウインドウ

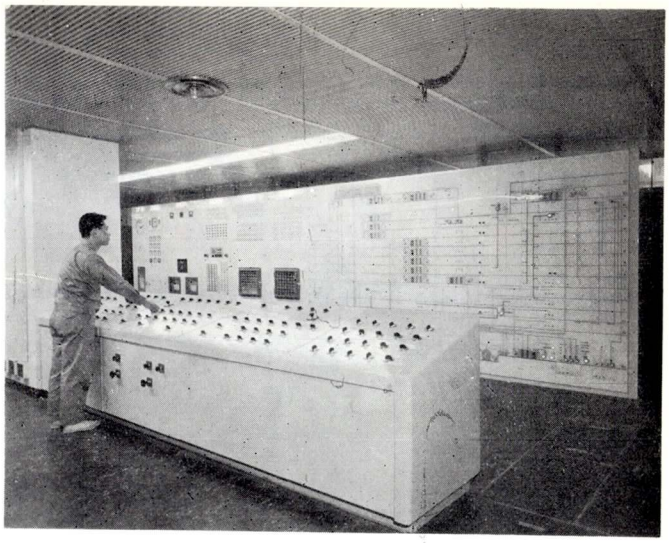


↑ 貸　金　庫

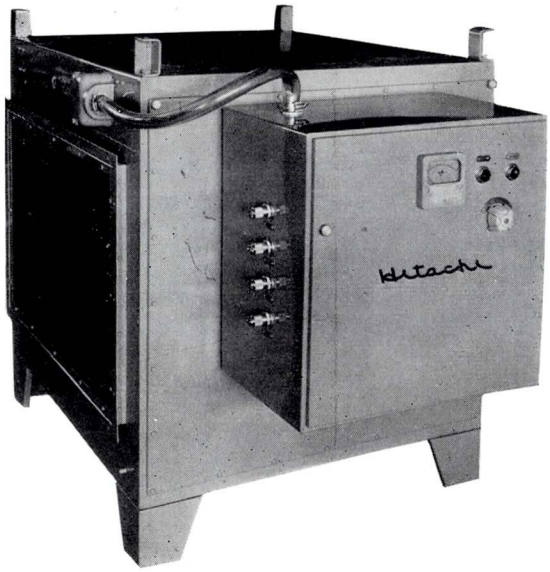
大阪富士ビル

株式會社

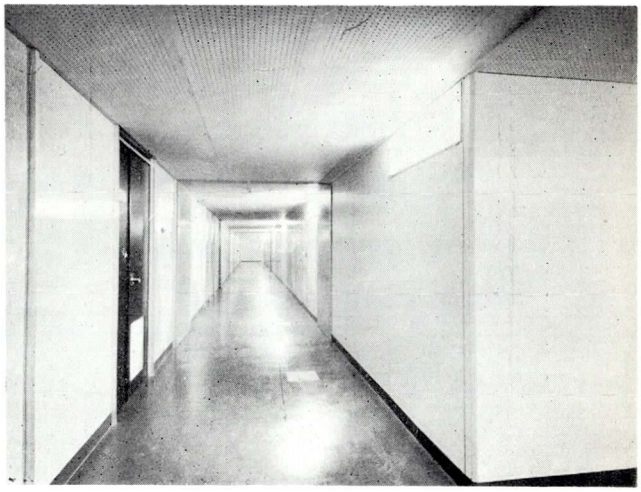
日立製作所



グラフイック盤および電動機遠方制御盤



日立エレクトリックエアークリーナ　型式HB-150



日立メラミンプラスチック化粧板
ヒッターライト

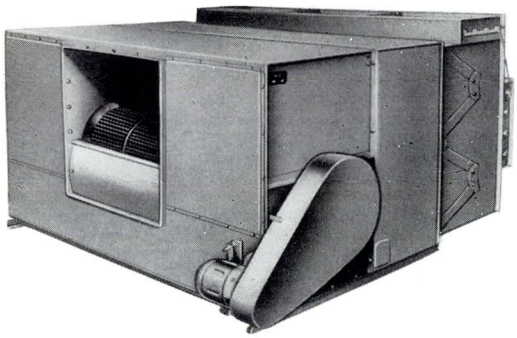
3階，4階使用

SINKO

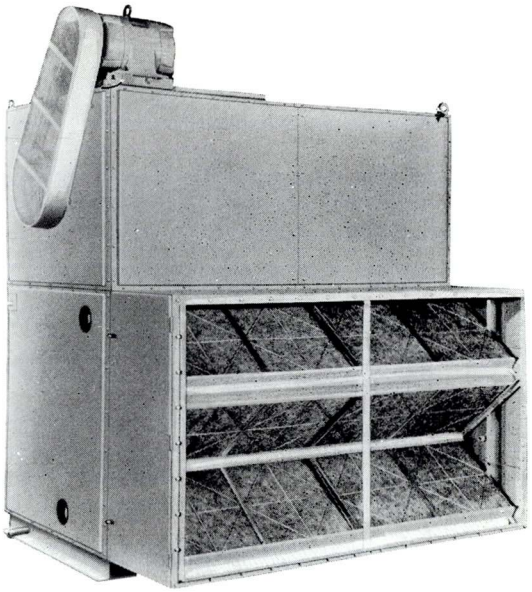
◀ 新 製 品 ▶

空 気 調 和 器

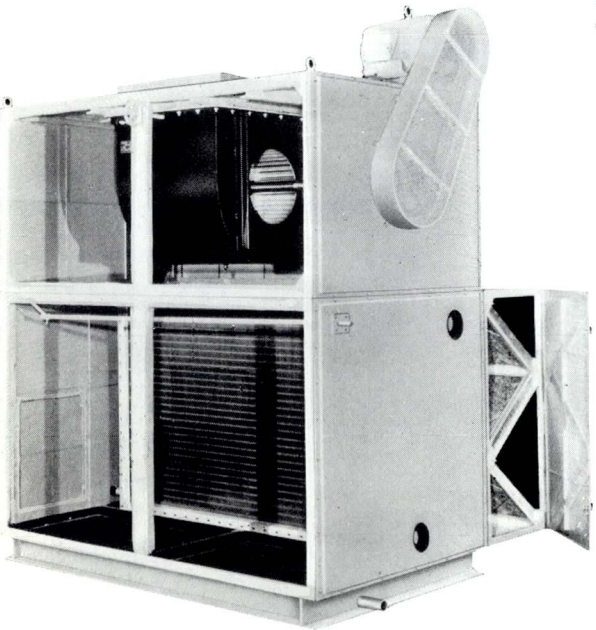
Air Handling Unit



水平型一連ユニット



垂直型一連ユニット



内部構造の一例

低速回転・静粛運転
選択の広範囲性
低圧・高圧用

（型録および設計技術資料はお申越しによりお送します）

新晃工業株式会社

大阪市北区絹笠町（大江ビル1階）
電話大阪（312）局（代表）1171～5

東京新晃工業株式会社

東京都中央区銀座一丁目五番地（大日本図書ビル）
電話東京（561）局（代表）5126

誰れもが認めて下さるプラスチック床材料の最高峰

桂のビニールタイル

3㍉厚 303㍉(1尺角)
4㍉厚 303㍉(1尺角)
5㍉厚 303㍉(1尺角)
6㍉厚 303㍉(1尺角)

- 曲げても 叩いても破損しない
- 耐薬 耐油 耐燃性
- 耐摩耗性にて優れた耐久力
- 色調優美で程良い弾力性

床材料の販売工事(責任施工)

株式会社 桂商会

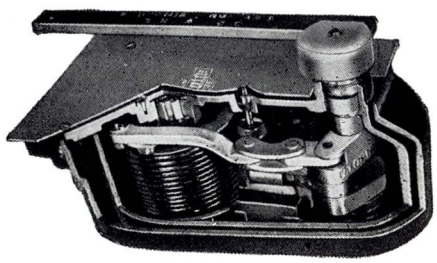
営業部 大阪市大淀区天満橋筋6～12
大阪市天王寺区上本町3丁目23

TEL 大阪㉟6625番
TEL(75) 0695(直通)・8906(27)6409

S.K 敷島金物

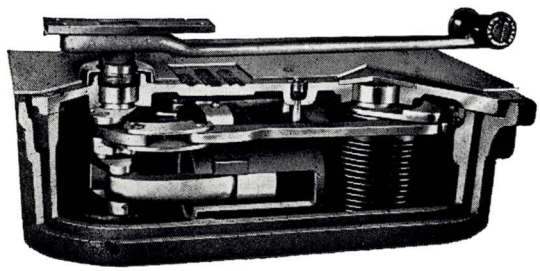
近代人の感覚にマッチする

ユートピア印



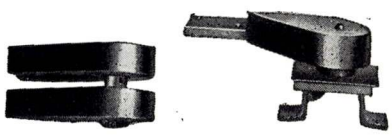
(片開持出吊り型)

フロアーヒンヂ



(中心吊自由開型)

ピボットヒンヂ



(ピボット・ヒンヂ持出し吊り型)

(カタログ御入用の節は御申込下さい)

製造元

敷島金物株式会社

布施市横沼町1丁目46番地 電話布施(72)839・7713番
東京都千代田区神田三崎町2ノ26 電話東京(301)0403(332)5310番

Toray
Reg. Trade Mark
東洋レーヨン株式会社

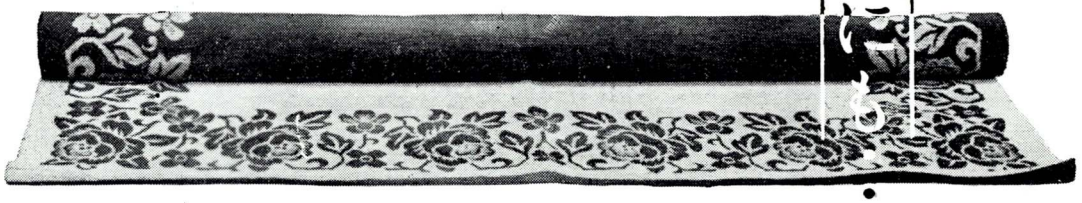
美しい花園をお部屋にも……

丈夫で弾力性に富み、ホコリがたたないので大へん衛生的です。お部屋の雰囲気にマッチしたカーペットをお選びいただくため、あらゆる色柄を豊富に準備いたしております。室内に豪華な感覚と新鮮で楽しい雰囲気を漂わす東レ・カーペットをぜひお試し下さい

東レ カーペット

二重織・銀鈴織・富士織・三重織・装美織・額縁三重織・三美織などがございます

東レ・カーペットのほか、東レ・フラットーヨー使用ファンシーラッグ(夏の敷物)も好評を頂いております



東レカーペット発売元—(株)辻田文平商店(大阪市住吉区南住吉町4の59)　ファンシーラッグ発売元—丸紅飯田(株)

耐火・断熱・軽量骨材

新製品 三井パーライト

パーライトは真珠岩を急速に加熱、膨脹せしめたもので主成分は硅酸であり小さな真空状のガラス質の巣の集りで形成されて居ります。
パーライトは非常に軽く耐火的であるのでプラスターに混じ耐火、断熱用壁仕上に又、コンクリートとしては砂の代りに使って断熱、軽量コンクリートとして使用されます。

用途の一例

(1) 軽量コンクリート用細骨材
(2) 左官材料（セメント・プラスター骨材）
(3) 保温断熱材
(4) 油　井　用
(5) 濾 過 助 材

特　　性

軽いセメントモルタルの½以下（嵩比重0.04～0.20、砂の重量の1/6～1/20）
耐火性が大である　セメントモルタルの4倍の効力がある（熔融温度1000℃以上）
断熱効果が大である　セメントモルタルの2倍以上（伝熱係数λ＝0.03～0.05kcal／mh℃）
亀裂予防になる　殆んど亀裂が出ない
遮音吸音効果が大　セメントモルタルの2倍以上
施工が容易である　他の軽量骨材に比し施工が容易である
化学成分　SiO_2=75.5、Al_2O_3=15.3、Fe_2O_3=0.9　CaO=0.12、K_2O=4　Na_2O=3.5
有機不純物揮発分なく、長期保存するも変質しない



（パーライトを使用した国連ビル）

バーライトセメントモルタル調合その他・パーライトプラスターの配合説明書贈呈

三井金属鉱業株式会社

本　　店	東京都中央区日本橋室町2の1	東　京	(241) 4101～9・2371～9
大阪支店	大阪市北区中之島3の5	大　阪	(44) 3731・3751
東京営業所	東京都中央区日本橋室町2の1	東　京	(241) 4101～9・2371～5
名古屋営業所	名古屋市中村区広小路西通2の26	笹　島	(54) 3171～5
福岡営業所	福岡市天神町39	中　局	(4) 9336～9

建築と社会

1

アイデア特集

1961年・第42集・正月号・目次

年頭のことば……尾崎 久助…43

作品作風

大阪富士ビル……設計 KK松田平田設計事務所…45
施工 KK竹中工務店

建築の眼……54
担当：50音順・木田 幸夫・田代 正尚・山田 勝成・和田 晋弥

本文

アイデア特集・総論……55

第1部 設計……57

設計のオートメ化……岡田 光正…59
電子現像式のドラフト……河合 正一…60
モンタージュ映写機……犬東 徳郎…60
簡単な模型の作成法……木村 喬夫…60
透視図作成器……島田 勝次…60
模型による構造計画の検討……木村 喬夫…60
簡単に応力計算……力武 利夫…61
製図板のかどに金属を……倉石 秀夫…61
アイデアを模型化する方法……佐野 正一…61
ドライバー1本で建つ
組立ハウス…三川 栄吉…61
エアサポート建築……島田 勝次…62
大張間鉄骨構造……高原 道夫…62
鉄筋コンクリート構造……河合 正一…62
まとめ……63

第2部 施工・材料・生産方式……65

施工面から……谷口 尚武…67
土留のない工法……力武 利夫…67
鉄骨新接合法……倉石 秀夫…67
建築施工に関するアイデア……岩崎甚太郎…68
コンクリート溶解剤……倉石 秀夫…69
コンクリート溶剤……島田 勝次…69
無収縮性コンクリート……倉石 秀夫…69
引張り強度に耐える
コンクリート…倉石 秀夫…69
プラスチックス……河合 正一…69
消える材料……小田島兵吉…69
技術革新への道……橋本 良介…70
マスプロダクション……山下 輯雄…71
工期の短縮……吉田 元七…71
まとめ 1. 土・基礎工事……72
2. 主体構造および仕上材料……73
3. 生産方式……74

第3部 設備……75

設備と動力源についての
アイデア…中原 茂…77
建物に内蔵の掃除機……犬東 徳郎…77
エキュプメンタル・コア……上林 博雄…78
家庭用石油系燃料ガス……上林 博雄…78
量産し尿浄化そう……上林 博雄…78
都市における
冷暖房供給センター…木村 喬夫…78
高圧空気輸送管……吉田 吉七…78
空中集水塔で湿度の調整を……川上 秀光…79
ノンダクト冷暖房方式……倉石 秀夫…79
テレビ電話……吉田 元七…79
テレビテレフォンの利用……中原 茂…80
まとめ……80

第4部 都市計画……83

都市の低空間の再考……図師 嘉彦…85
人工の山上都市……河合 正一…86
新政治都市の建設を……北垣 智造…87
呼応計画……松井 昭光…88
建築のイメージを
ささえるもの…西原 清之…90
SHUTO……秀島 乾…92
まとめ……93
その他 ピントはずれ……向井 正也…94
何がアイデアか……三田 一男…94

特別提案

大阪南船場問屋街地区改造の提案……藤田 邦昭…95

近代建築調査委員会報告 13

異人館……大石 健次…99

会員の声——建築教育のこと……葛西 重男 102

会報（11月分）……103

新年おめでとうございます　　編集委員一同
事務局一同

1

建築と社会

第42集

1961

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会
SMデザイングループ

売　価　1部150円・送料共
昭和36年1月20日印刷
昭和36年1月25日発行
編集人　松井昭光
発行所　社団法人　日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話 大阪㊿ 9648・9649・9640番
振替口座 大阪39975番
発行人　沖田誠一
印刷所　株式会社研文社
大阪市北区堂山町66
電話㊿2091～3番
印刷者　網野栄

年頭のことば

尾崎久助

昭和35年の建築界は，非常な好況をもって終った。今年については年末近くにいくらか警戒の声も出たようだが，急にはどうこういうことはありそうでない。当分忙しそうなのはまずご同慶にたえぬ次第である。

昨年の建築界には注目すべき事柄がいくつかあった。

まず，世界地震工学会議が日本で開かれたことである。日本の耐震工学は世界のトップレベルだといっても，明治13年に地震学会が設立されて以来いまだ80年，大正12年の関東大地震で耐震工学は一大進歩を遂げたはずだが，建築の耐震計算はいまだ真相をつかんでおらず，チリの地震がたちまち日本の太平洋沿岸に津浪の大災害を起したには，一般世人はもちろん，学者も不意をつかれたものだ。地震工学会議は，第1回は1956年カリフオルニア州のバークレーで開かれ，昨年のは第2回であった。外国17ケ国からは同伴者を含めて90名が，日本からは約350名が参加し，人類を地震から守るための方法について7月中旬1週間，知識と経験を発表した。その結果，具体的に役立つ大きな成果が得られはしなかったらしいが，耐震工学が世界的に取上げられたことは将来に大きな期待が持てることといえよう。

また世界デザイン会議が，5月に6日間東京で開かれた。出席者は建築関係がもっとも多数であったが，なかにグラフィック，クラフト，工業デザイン，評論および教育の部門も含まれて，参加26ケ国，全参加者約500名，うち外人約90名という盛会であった。そして世界デザイン会議東京宣言なるものが発表せられたが，会議の性格上，成果に具体性を持ったものはなかったようだ。しかし，建築から見て都市計画を改めて重視する議論が多かったとのことであるが，これは時宜を得たものといってよい。

次に国連の都市計画調査団が，阪神，京浜，北海道を調査して，わが国の広域計画に示唆を与えたことだ。これは，昭和33年に国連と，エカフエの主催でアジア地域の広域計画のゼミナールが東京で開かれた際に京浜地域には首都圏整備法があり，阪神間には，阪神都市協議会，大阪市隣接都市協議会という地域計画の母体があるのに興味が持たれ，これらに対して，国連から技術援助を行なってはどうか，これは極東アジア後進国に対してのモデルケースにもなるというので，実行されたものだという。公式には阪神地域を対象としたのだが，京浜，北海道もついでに加えられたとのことだった。国連の団員は6人，国連社会局次長ワイズマン氏を団長に，都市計画，地理学，行政学，公企業等の専門家数名で，これに対しては日本側の委員会は，地理，経済，農業，社会学，都市計画，地方行政等の専門家11人で協力した。日本での調査がわずか40日ほどでは大きな期待をかけるのは無理だが，それでもある程度の示唆と

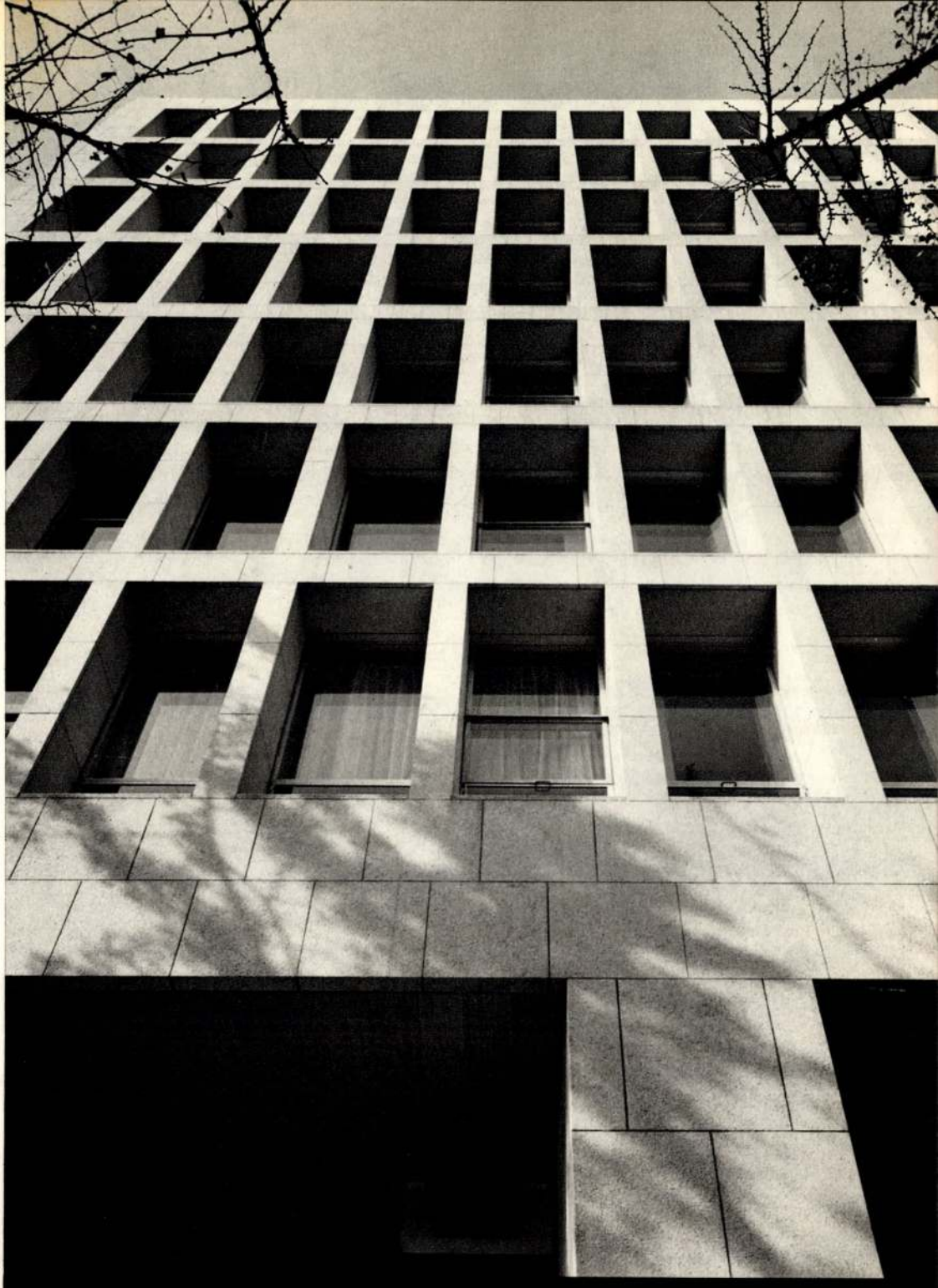
方向を残したことは，注目すべきだといわれている。問題を大きくわけると，土地利用，交通運輸，水，住居となり，今後1.5年ないし2年のうちに交互に連絡しながら計画を完了したいとのことである。要するに，たとえば尼崎，西宮，芦屋は神戸よりも大阪に深い関係を持っているにかかわらず，兵庫県の管轄下でそれぞれの都市別に計画を立てている。道路にしても，埋立工事にしても，水の問題にしても各都市間に共通した計画がない。そこでこれらに対して綜合的な計画を立てようというのが今度の目的なのである。建築家は個々の建築のデザインには実によく情熱を傾ける。しかるに都市計画に対して近頃は比較的冷淡であるようである。大正９年建築基準法の前身である市街地建築物法が公布せられた前後の建築家は都市計画をリードしたものだ。日本の都市の多くが戦災復興をせねばならぬこんにちは，またと得られぬ都市計画の好機である。世界デザイン会議で都市計画が叫ばれたり，国連調査団によって都市計画が刺激されたことはまことに結構である。

更に国内的にみると，広域都市建設要綱案というのが，建設省で検討せられている。これは道路，河川，ダム，住宅，上下水道，都市計画など，公共事業を総合的に推進するため，各地域別に有機的な関連性を確保せんとするものである。そして首都は別途考慮して，京浜，中京，北九州の大都市地域と，これに隣接する都市を特別広域都市圏として取扱い，その他これに準じた地域もこれに準じて取りあつかおうというのである。なお，最近問題になっている地価高と宅地入手難に対処するために，建設省が宅地開発法案と宅地造成基準法案とを考えているとのことである。前者は建設大臣の指定する宅地開発地域内では地方公共団体，日本住宅公団その他に土地の先買権，収用権を認めること等を規定し，後者は宅地造成の最低基準を定める等のものだとのことである。これらの法案は建設省がさきに10ケ年 1,000 万戸住宅建設の計画を発表しながら，土地価格の値上りで宅地が思うように入手できぬのに困っている状況にかんがみて考えられているようである。

最後に，昭和35年に本会ではじめて試みたことがらについて触れておこう。その一はテレビ放送であり，これは「建築の広場」と題して毎日曜日の11時から20分間，毎日放送で昨年５月から11月にわたり27回放送したもので，昨年のスポンサーは大阪窯業セメント，東洋リノリューム日本板硝子の三社であった。その二は海外視察団をまとめて欧米に送り出したことである。総勢12名，それに日本交通公社から１名が附きそい10月12日に羽田発，11月26日羽田帰着，46日間で９ケ国，22ケ都市を視察してきた。この両企画は今年も続けられたら結構だと思っている。

要するに，日本の建築界は世界的視野に入り，国内的にはいよいよ重視されてきたというべく，今年も多忙なことと思われる。会員各位はますます健康で一層の活躍をせられんことを期待する次第である。

（筆者　本会会長　日建設計工務KK会長）



大阪富士ビル

設計監理　松田平田設計事務所
建築士　伊東註亮
建築担当　山本智雄
構造担当　清瀬永
設備担当　増田行雄
電気担当　葉山潔
現場担当　大場広次

施工　KK竹中工務店
主任　武田健一



大阪富士ビル

外壁	東北面	稲田本石貼り
	西南面	アルミニューム板貼り
	窓腰	ホーロー鉄板仕上
	塔屋	アルミ成型板（東塔屋）および稲田本石貼り（西塔屋）
窓サッシュ		1階出入口廻り・ステンレススチール製 3階以上全般・アルミニューム製
ガラス		東北面2重ガラス 南西面複層ガラス
屋根		アスファルト防水，クリンカータイルならびにアスファルトブロック貼り

大阪富士ビルを設計して

松田平田設計事務所 山本智雄

大阪の御堂筋の中心地に1万坪に近いビルを建てるということは，建築家にとってまことにめぐまれたチャンスといえると思います。同時に先人の幾多のすぐれた作品とあいならんで万人の目にふれることを考えると，大きい心配と責任の重大さを感じ，このよい環境をさらに引立たせる建築でありたいとは，われわれの終始念頭をはなれぬ希いでありました。

この建物は，銀行の準本店店舗として，また高能率の事務所建築として計画され，とくに法規上ゆるされる最大限の面積と，考えられる最高の建築機能，今後の事務形態に応ずる完全な諸設備が要望されました。設計の過程においては，建築的，技術的各面にわたって，すべて一項目ずつ新たな目で再検討し，可能性をさらに追求し，慎重な研究と討議を経て実施にうつすなど，万全を期した次第であります。

銀行建築は，とかく威厳を主とし，近よりがたい感を与えるものが在来多くみられますが，とくにこの建物では，堅実な内にも親しみやすい意匠を意図し，アーケードおよび開放的な銀行正面を採用し，またウォークアップ，ドライブインなど利用者の便宜な施設を積極的に取入れております。

技術的には，前述のように限られた空間のうちに数多くの諸設備を完備するために，いかに無駄なくおさめるかに非常に苦心しましたが，あたかも精密機械のごとく複雑なこの建物では，各専門技術者の最高の技術と錬達，努力が結集されたといえます。一般建材においても，高度の機能的要求のため，必然的に工場加工部材が多くなり，反面工期の短縮と精度の向上に役立ったのですが，こんにちの建築産業のこの部門の最高技術を期待するような結果になりました。

直接工事者ばかりでなく，背景となる建設諸産業の従事者まで考えると，ひとつの建物のために積み重ねられる人々の労力，知能は莫大なものだと思わざるをえません。われわれの責務の重大さを思い，ひそかに成果を反省している次第であります。



3.



4.

3. 一階営業室

天井：アルミ成型板
およびアクリライト
壁柱：大理石
応接間羽目：ウォールナット
床　：ゴムタイル

4. 一階東ホール

天井：アルミ成型板
およびアクリライト
壁　：大理石
床　：御影石

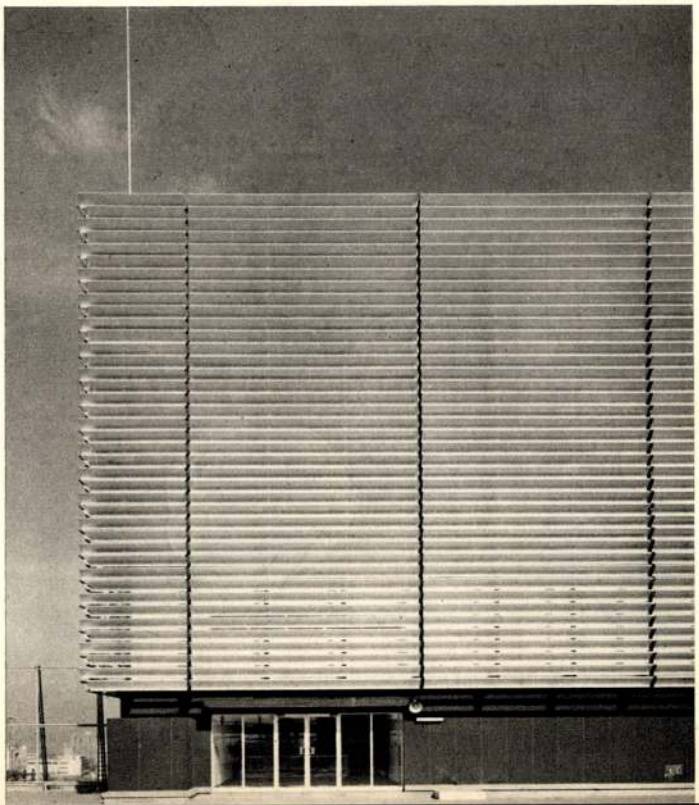
所在地	大阪市東区今橋5丁目23番地
敷地面積	954.69坪
延面積	9,145.25坪
階数	地下3階 地上9階 塔屋3階
工期	着工 昭和34年2月
	竣工 昭和35年10月
高さ	軒高 31.000m
	(GL.=OP+4.364m)
	塔屋最高部 47.300m
深さ	基礎下端 14.900m
基礎	鉄筋コンクリートベタ基礎
主体構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
	鉄骨加工・全熔接，現場組立
	・摩擦ボールト使用



5.

大阪
富士ビル

6.



5. 講　堂　（8 階）

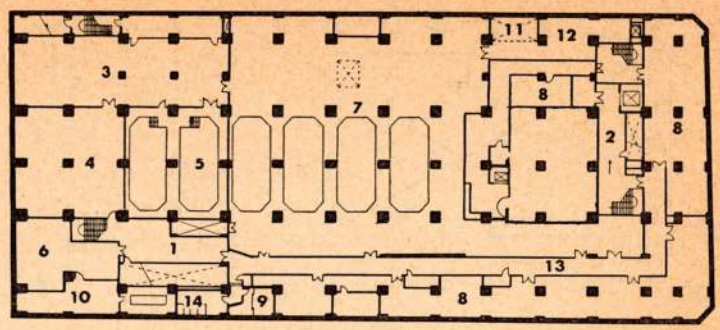
天　井：アスベスト吹付
壁羽目：メラミン合板
床　：リノタイル

6. 東　塔　屋

外　装：アルミパネル

地　下　3　階

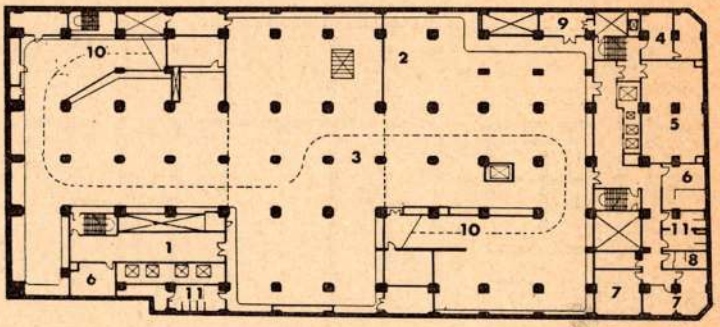
1. 東　ホ　ー　ル
2. 西　ホ　ー　ル
3. 機械操作室
4. 変　電　室
5. 特高変電室
6. 発電機室
7. 機　械　室
8. 倉　　庫
9. 浴　　室
10. 蓄電池室
11. 石　炭　庫
12. 塵埃処理室
13. 廊　　下
14. 便　　所



地下3階

地　下　2　階

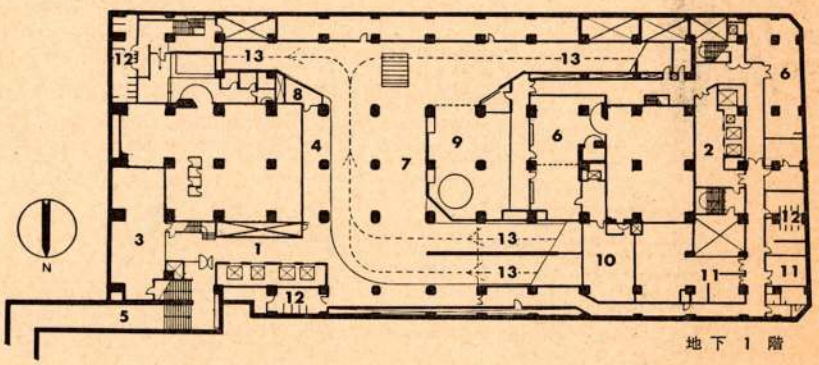
1. 東　ホ　ー　ル
2. 西　ホ　ー　ル
3. 専用駐車場
4. 倉　　庫
5. 倉　　庫
6. 運転手室
7. 管理人室
8. 浴　　室
9. 塵　埃　室
10. 斜　　路
11. 便　　所



地下2階

地　下　1　階

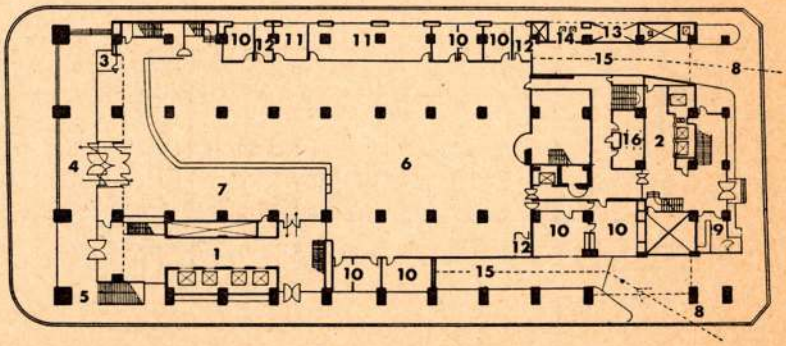
1. 東　ホ　ー　ル
2. 西　ホ　ー　ル
3. 貸　店　舗
4. プラットホーム
5. 地下鉄連絡路
6. 事　務　室
7. ドライブイン
8. 自動車コントロール室
9. 車　　庫
10. 倉　　庫
11. 更　衣　室
12. 便　　所
13. 斜　　路



地下1階

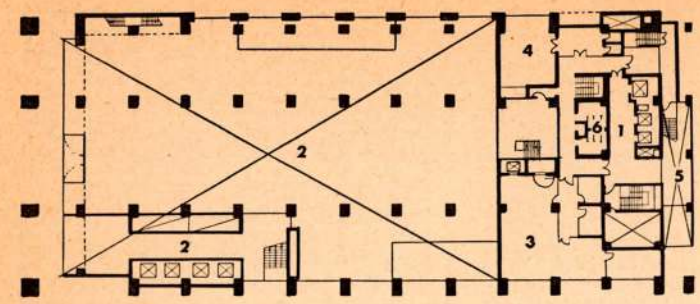
1　　階

1. 東　ホ　ー　ル
2. 西　ホ　ー　ル
3. ウォークアップ
4. アーケード
5. 地下鉄連絡口
6. 営　業　室
7. 客　　溜
8. 自動車出入口
9. ステップイン
10. 応　接　室
11. 機　械　室
12. 湯　沸　室
13. 灰　出　口
14. 石炭投入口
15. 斜　　路
16. 便　　所



1階

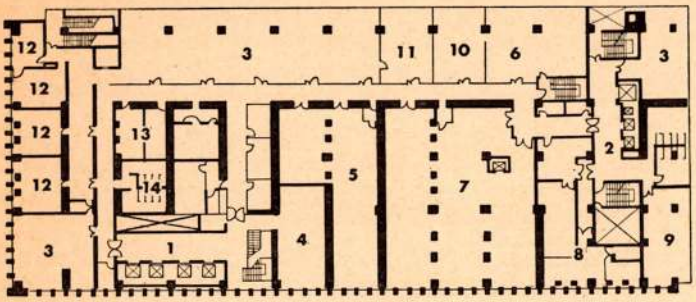
大阪富士ビル平面図



2 階

2 階

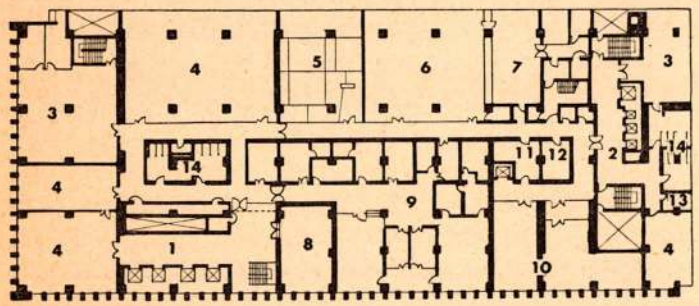
1. 西ホール抜
2. 吹抜
3. 事務室
4. 応接室
5. 吹抜
6. 便所



3 階

3 階

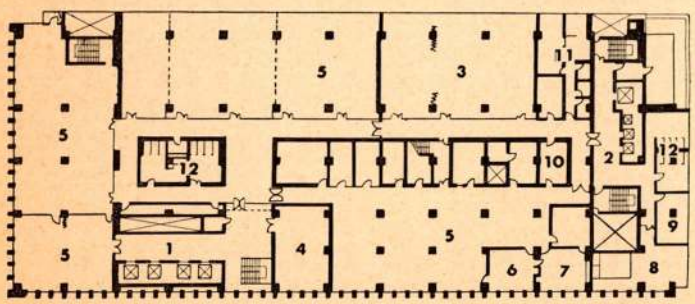
1. 東ホール
2. 西ホール
3. 事務室
4. 機械室
5. 通信機室
6. 印刷室
7. 電子計算機室
8. 電話交換室
9. 会議室
10. タイプ室
11. 会議室
12. 応接室
13. 更衣室
14. 便所



4 階

4 階

1. 東ホール
2. 西ホール
3. 事務室
4. 会議室
5. 日本間
6. 食堂
7. 厨房
8. 機械室
9. 衛生管理室
10. 応接室
11. 配膳室
12. 電池室
13. 浴室
14. 便所



5 階

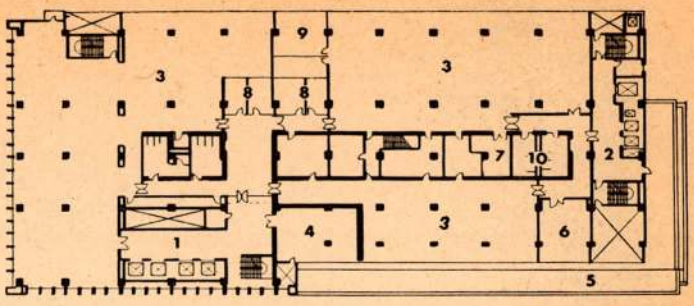
5 階

1. 東ホール
2. 西ホール
3. 会議室
4. 機械室
5. 事務室
6. 支店長室
7. 特別室
8. 談話室
9. 用務員室
10. 湯沸室
11. 電話交換室
12. 便所

大阪富士ビル平面図

6 階

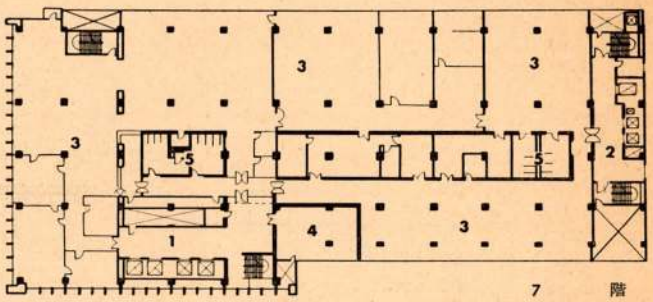
1. 東ホール
2. 西ホール
3. 事務室
4. 機械室
5. 屋上
6. 会議室
7. エレベータ機械室
8. 応接室
9. タイプ室
10. 便所



6 階

7 階

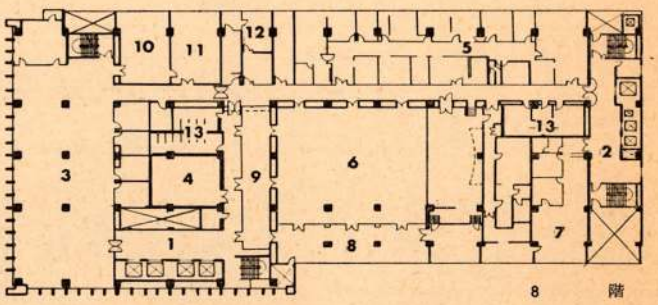
1. 東ホール
2. 西ホール
3. 事務室
4. 機械室
5. 便所



7 階

8 階

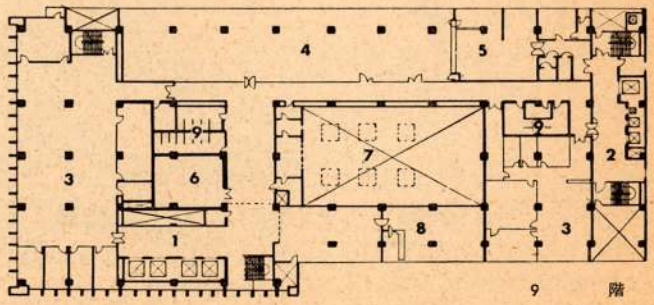
1. 東ホール
2. 西ホール
3. 事務室
4. 機械室
5. 診療所
6. 講堂
7. ビル管理事務室
8. 休憩室
9. 前室
10. 役員室
11. 会議室
12. 電話交換室
13. 便所



8 階

9 階

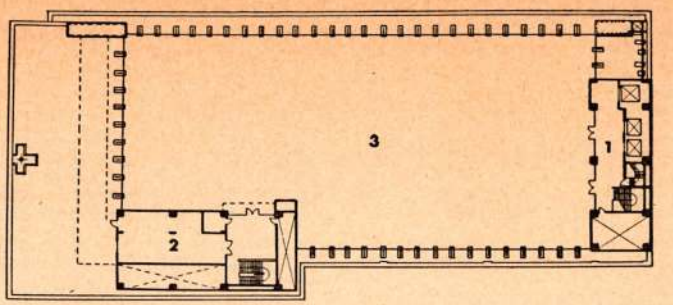
1. 東ホール
2. 西ホール
3. 事務室
4. 食堂
5. 厨房
6. 機械室
7. 吹抜
8. 喫茶室
9. 便所



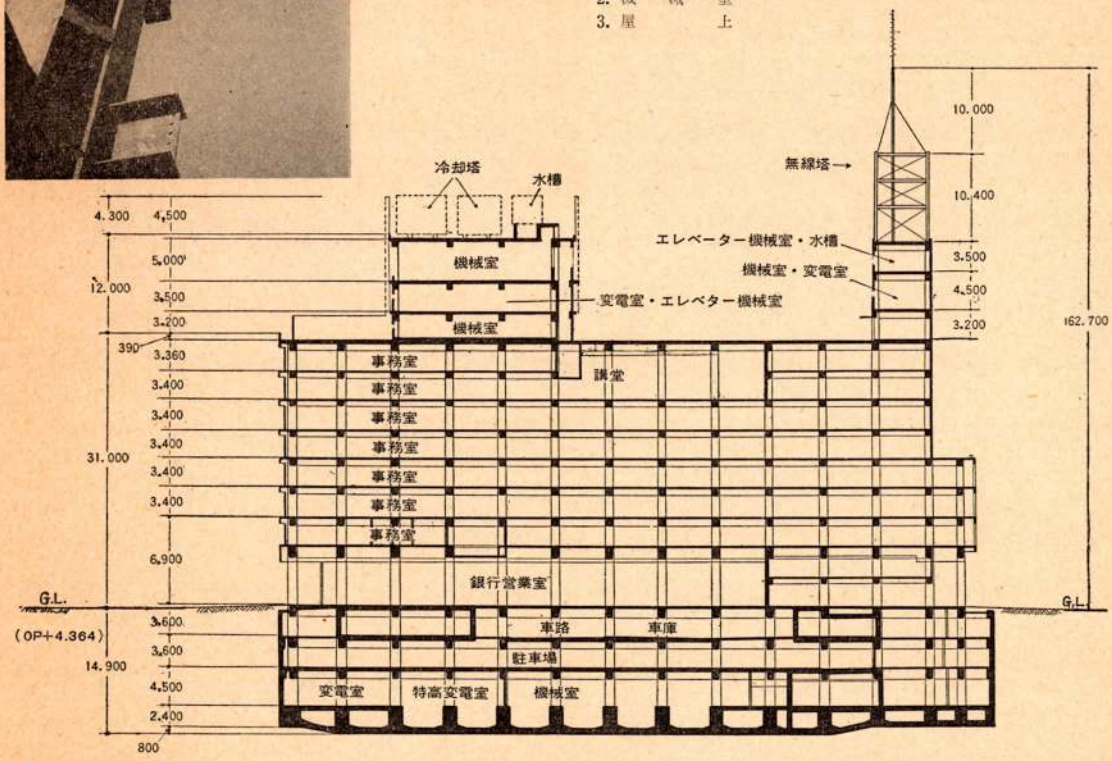
9 階

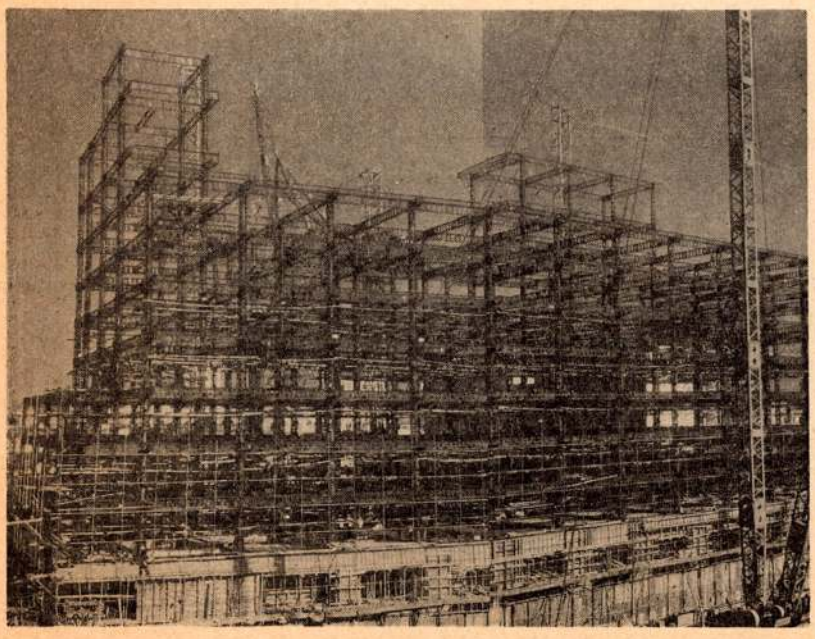
大阪富士ビル平面図

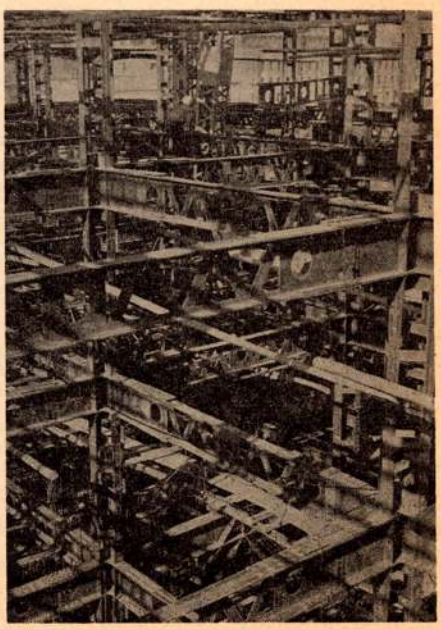




屋 1 階　1. 西 ホ ー ル
2. 機 械 室
3. 屋 上







大阪富士ビル

7. 一　階　営　業　室

8. 貴　賓　室　（2　階）

天井：桜ベニヤ
壁　：ウォールナット，布貼り
床　：アスタイル下地，カーペット敷

9. 支　店　長　室　（1　階）

天井：シナベニヤ下地，布貼り
壁　：チーク
床　：アスタイル下地，カーペット敷



7.



8.



9.

施工者のことば

KK竹中工務店　武　田　健　一

この現場を担当するに当って，わたくしどもがとった施工計画は，安全的には基礎工事にウェートをおき，工期的には軀体工事にウェートをおいて，仕上げ工事に余祐をとるように考えました。

こうして組んだ施工工程計画が昨年9月頃の鉄鋼ストのため鋼材の搬入がおくれて，軀体鉄筋工事の竣工が予定より1月半おくれてしまったのは誤算でした。

ひとくちにいって，このビルは新しい施工計画というものはとっておりません。それは，絶対安全をモットーにして，従来から研究された工法を慎重に間違いなくこなしていくことに努めたからです。とくに基礎には念を入れました。たとえばウエルポイントで基礎地盤を乾燥状態にしたので，後々の工事も順調に進められましたし，また御堂筋の路盤沈下を防ぐために，土留め工法はとくに万全を期し，三段の支保工を全部鉄筋コンクリートでやったことは良かったと思います。

いま，ふりかえってみて，一番苦しかったのは，外・内装の仕上工事です。ひとつは軀体工事でおくれた工期のしわよせが，ここに集中したこともありますが，37段9,100m²の外装稲田石を3カ月半の工期で張りおわらねばならなかったこと，また内部では，仕上げ材に極力乾式材料を使うよう設計されていたので，工場寸法と，現場寸法の誤差をどう調整するかということも大きな問題でした。たとえば工場製品の寸法は，わずか1ミリていどの誤差で作られてきても，現場寸法では，それ以上の誤差をまま生ずるものであります。そのうえ，工場生産による建築仕上げ用材は，尺貫材で素材が作られていますが，設計基準寸法はメートル法になっています。こんな場合，材料の取り合せにも問題があるように思います。こうした点に苦心がありました。

設計者ならびに隣の興銀ビルの施工者大林組の皆さんには，いろいろご協力いただいたことを感謝します。

有効数字3桁

構造計算書で往々有効数字を5桁も6桁も出しているのを見受けることがある。いかにも精密な計算のように見えるが，果してそうであろうか。

もし有効数字の3桁目を4捨5入することを3回おこなって出る誤差は1回に2％として，1.02×1.02×1.02≒1.07すなわち7％となるが，これはよどほ運の悪い時で，たいていは2～3％ぐらいのものであろう。建物全体についていえば，＋と－の誤差が相殺するからさらに条件がよくなるはずである。

この程度の誤差は，構造計算そのものが色々の仮定の上に立って行なっていることを考えれば，まったく問題にならない。

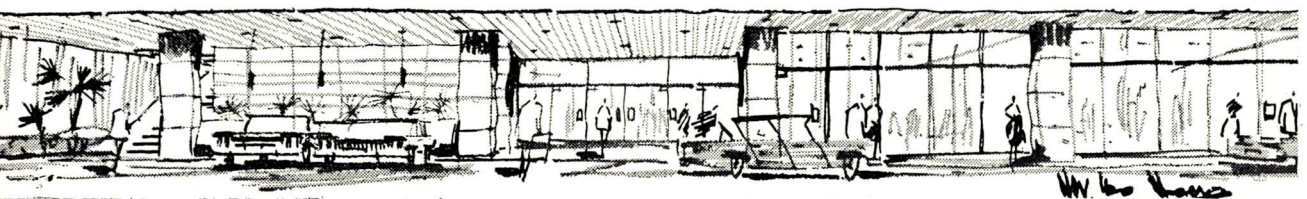
そう考えると有効数字3桁以上出すことは計算者の自己満足以外の何物でもないようである。

数字を多くあつかう無意味な労力をはぶいて，もっと根本的な構造上の問題に意を用いるのが，構造設計者の本当のあり方であろう。 (Ks)

俗流巨匠観

コルビュジェの建築は図面，写真，模型などの間接的手段でしか触れることができないのが残念だが，「ヘブライ語」の建築といわれる，その難解さをいたずらに神秘化して，盲目的模倣におちいる傾向が多いようだ。

ところで，マルセーユやベルリンのユニテだが，なぜあの広々とした緑地に人間の巣をギッシリ詰めこんだ建築にする必要があるのだろう。メゾネットタイプの住居のなかを縫う気送管のような中廊下――のどかな立ち話風景を想像できない。屋上の遊園にわずかに息ぬきを感じるが，子供の姿も思いなしか巨匠のモデュロールの添物にされているようだ。あの環境からいって，ピロッティというすそまくり建築で大地から逃げ出すほどでもなさそうだ。またチャンディガールの雄大さと美しさには感嘆するが，市民の住居がどこにも表現されていないのはどうしたわけだろう。 (TM)



けんちくの眼

担当50音順：木田幸夫・田代正尚・山田勝成・和田晋弥

（本号と次号は上記の新しい執筆者に担当してもらいます）

『造形計画に時間を』

ある雑誌に日本人は，平行，水平，垂直の他に，柔らかい曲線を愛する。それらを生かすことが，日本の建築家の一つの任務だろうと……。

だがどうしたことか，建築には，水平，垂直の構図ばかりが氾濫していて，曲線の美しさがあまりにもかえりみられていないということは一体どうしたことだろう。建築家がT定規の生活に抵抗を感じなくなったからだろうか。あまりにも「造形」に与えられる時間が少なすぎるのではないだろうか。設計計画に対する資料やデティルは，こんにち非常に安易に，しかも詳細なものが入手できるし，構造計画・設備計画も一段と前進してきているので，その面では設計期間の短縮は可能である。もちろん図面化は問題外だ。後に残ったもっとも大きな問題である造形に対しては，できるだけの時間を割当てるべきである。そして造形の美しさを探求せねばならない。現代における建築の生命はそれに尽きる。 (YK)

建築家とP. R.

いまどき，このような言葉を口にするのは，なんだかお古いことのような気がずるが，現実にせっかくの依頼を受けながら，充分な設計能力を発揮しえないことの多いのはなぜだろうか。

もちろん，これにはさまざまの問題が含まれているだろうが，設計以前に解決されるべき重大なことを忘ってはいないだろうか。市場の商品を買うには行き届いたP. R.によって一般の人々に充分な選択の場を与えられているが，生活に強大な支配力を有する建築ではどうだろうか。註文主が設計者の作風にまで立入って事前に選択する機会はほとんどないといってもよい。これで設計に満足な結果を期待することがすでにおかしい。どんな要求にも応じますというごとき質的詐欺行為や，孤高を極めて納得のいかぬ設計を重ねているよりも，われわれはもっと一般に理解される方法で設計の立場を明らかにし，事前にその所信と持ち味を知ってもらうよう務めねばならない。そしてそれを通じ充分な批判と選択の場を提供し，また知識の啓蒙に当ることこそ急務である。 (WS)

アイデア特集・総論

アイデアを求めるアンケート

各産業にわたって，オートメーションの導入，エネルギー革命などにともなって，技術革新が叫ばれている折柄，建築の設計，構造，施工，材料，設備，都市計画の各分野においても，そうしたオートメやエネルギー革命などの技術革新にこたえて，新しい形態，新しい機能を産みだすアイデア（イメージ）を考えておられることと存じます。

つきましては，どの分野のどんな形，方法でも結構ですから，しかるべきアイデア（イメージ）を披瀝いただければ幸いに存じます。ご参考までに下記に駄文を添えましたが，ひとつの分野についてのべていただいても結構ですし，これら以外のことでも結構です。字数は制限しません。短かくても結構です。

1. 設計図面をつくるとき，トレシングペーパーに鉛筆で書いて青図をつくっていますが，これらの方法に，もつと迅速な，もつと革新的なものが考えられはしないでしょうか。たとえば電子写真の利用など。
2. 構造計算に，電子計算機など使われると，どのような利点が生まれてくるでしょうか。また，その計算方法を設計にとり入れるのに新工夫はないでしようか。
3. 施工工期のスピードアップにともない，新施工法や現場のちょっとした工夫など採用されていますが，近い将来，何かその方面で革新的なものが考えられないでしようか。たとえば，高周波ボーリング，プラズマの採用，モノレール方式の導入など。
4. 最近，プラスチックや軽量骨材などの建材が沢山でてきましたが，近い将来，たとえば10年后の建材にはどんなものが出現するでしようか。
5. 設備の分野で螢光体による壁式照明，電子冷房，エアー輸送機なども考えられていますが，このように建築設備の面で近い将来，どのようなものが現われてくるでしょうか。
6. 新しい都市計画においても，自動車の発達，高層建築の発展にともない，近い将来どのような形態が考えられますか。たとえば，ヘリポートの利用，コンベアシステムの道路など。また塔状都市のような遠い将来のイメージでなしに現在の技術で考えられる形での都市のあり方など。

この〝アイデアを求める〟特集（正月号）の企画は，会員諸賢の奇抜にしてユーモアあふれるアイデアを誌面に満載して，屠蘇気分の読者に楽んでもらい，またわれわれ編集子も年末の繁忙期に，編集の厄介な仕事からのがれられるというなかなか要領のよいアイデアから起されものであった。

しかし，そう筋書通りにことは運ばず，集まったアンケートの解答を前にしてわれわれは，これは多少アイデア倒れだったわいと気がついた。それというのも，アンケートの主旨を充分に徹底させなかったこと，内容を，たんに技術革新の問題のみに止めずに，現代建築に関する広汎なテーマに拡張しておかなかったこと等が起因し，解答の内容がひじょうに片寄ってしまったからである。内容をさらに充実して，躍進を遂げようとする〝建築と社会〟1961年新年号の面子にかけても，なんとかしなければというわけで，年の瀬のあわただしいなかで，無いアイデアをむりやりにしぼって，あえて蛇足をつけ加える破目におちいったしだいである。

（アンケートを一応「設計」，「施工・材料・生産方式」「設備」「都市計画」の4つの部門に分けて組んで，それぞれの部門のあとに蛇足をつけた。4つの部門に入らないものは「その他」に入れた。）

× × × ×

ニュートンが，りんごの木から落ちるのをみて，はたと万有引力の法

則を発見したという話を聞かされているが，やはり良いアイデアというものは，絶えずそれを求めていても，何かきっかけがないとなかなか思いつかないものである。それと同時に肝心なのは，おちついて考えられる環境である。昼間製図机に向っているさいには，ちょっと考えださないようなグッドアデアも，帰って一風呂浴びている時などにフット考えつく——といったようなことは，われわれも日常経験するところである。

さて神武以来か岩戸以来か知らないが，建築ブームの続くことすでに数年，いまや建築家(屋？)と名のつくものは末の末にいたるまで仕事に追いまくられている。アンケートをお願いした皆さまも，おそらくご他聞に洩れずに，充分アイデアを練る余裕が無かったものと思う。むしろアイデアはあっても，それを発表し実行に移すいとまがないというのが現実の姿かも知れない。

昨今はまさにアイデアの時代である。「アイデアは身を助く」で，何事によらずアイデア万能の世のなか。株で一世代築くことは困難になったが，大した発明でもしょうものなら，特許料だけで一生遊んで暮せると，アイデア・マンにとってはまことに結構なご時世である。さればこそ「アイデアをただで売れとは何事ぞ」というお叱りも受けるのである。

建築技術者であるわれわれもまた，短かい設計期間に悩まされ，短かい工期にさいなまされているからには，これの解決に対して何等かのアイデアを持合せていないはずはない。それを方々の設計室や，現場や学校や，役所等からアンケートして並べてみたら，何がしかの未来に対する指針が浮彫りにされるのではないか。少なくとも，現在の建築界の一断面が露呈されるのではないか。というのがこのアンケートの主要なねらいであったわけだ。

解答をまとめてみると，前にもおことわりしたように，焦点を技術革新にするアイデアにしぼったために，これ等からは建築全般にわたる未来像は浮び上ってこなかったが，われわれ建築屋の，現在の悩みが何であるかという点について，一応の結果がでたものと思う。

大体建築産業ほどオートメのコンベアーに乗りにくい産業はない。堀方ひとつにしてもパワーショベルは建築現場の間尺に合わず，最後は土方が総出でやんやらさと掘起さなければならぬ。生コンクリートが利用できるようになっても高層の建物に打込む時には鳶のお世話にならねばならぬ。万事この調子で，近代と前近代とが必要やむなく無恰好な状態で結合されているのである。こういう風に，近代産業からみれば，特殊な形態の上でゼネコンなる企業が成立している。そして現場単位で利潤を上げてゆくゼネコン企業では，現在のところ，これ以上のオートメ化は困難なようだ。

ここで注意しなければならぬことは，最近大資本を擁する重工業界や不動産業界がその資本力に物をいわせて，建築生産の近代化に一歩を踏みだそうとしていることだ。現在はこれ等大資本とゼネコンが，ある系列にしたがって直結し，ゼネコンは労力すなわち各下請業者，機械設備すなわち各設備業者，材料すなわち各材料メーカーをプールしていて各現場単位にこれ等をアッセンブリーしてゆくシステムであるが，強大資本が動くとなれば，労力，機械設備，材料にわたる巨大なアッセンブリーラインをまづ造り上げ，いかなる建築の需要にも応える体勢を整えるであろう。

些細ではあるが，この傾向のひとつの現象として軽量鉄骨ハウスのブームを取りあげることができる。これは製造過剰気味の軽量型鋼を，もっとも市場を開拓しやすい小住宅のマスプロで消化しょというアイデアから，端を発したものである。プラスチック産業もこんにちでこそ，まだまだ主要な役割は演じていないがまもなくアッセンブリーラインの強力なメンバーとして登場してくるであろう。

20世紀後半は，近代人の頭のなかに，どっさりと詰め込まれていたアイデアが，強力な資本の助けをかりて，現実の姿となって現われてくる時代である。前近代の尾骶骨を引きついている建築界も，大きく揺さぶられて，成長してゆくことであろう。1961年の年頭に在って，われわれ建築技術者も技術革新の波に呑み込まれないよう，ひとつ新しい建築の在り方について，大いにアイデアをだしあう必要を痛感してやまない。

スケッチ：萩野　勉
漫　画：酒井賢治

アイデア

第1部 設計





♣

設計のオートメ化

岡田光正

「設計のオートメ化なんていうのは誰だ。そんなことをすれば，俺達はメシの食い上げになるのではないか」と世の設計者の方々におこられそうである。しかし「図面を期日に間に合わすのが，せいいっぱいで，じつくり考えている余裕はとてもない」という声を聞くことが多いにつけ，つい，何とかならないものかと考えるのは，筆者だけではないと思う。「設計のオートメ化は，いかにして可能であるか」以下は，この問いに答えようとするものであるが，幸か不幸か，いまだ「アイデア」の段階で，実現の可能性については，保証の限りではない。

オートメ化の方針

よい設計とは，あたえられた設計条件，つまり敷地，予算，使用目的などに対して，一般には無数に存在する解答のなかから，最適，最良のものを選びだすことにほかならない。だが，一口に設計といっても，プラニングから，構造設計，設備設計なども含み，ドラフティング，仕様書の作成にいたるまで，各部門，各段階があり，すべて，高度の知的活動を必要とする。

したがって，設計条件から出発して，最終的な現寸図の作成までを一挙にやつてくれるような，そんな虫のよい機械は，いくら電子頭脳が発達したとしても，至難のことである。かりにできたとしても，そうなれば，すべての設計技術者は路頭に迷うことになるから，社会正義の上からいつても，そのようなことは，なすべきではない。

しかも，建築の設計には，一般にデザインと呼ばれるような，数量的な価値判断を超越したものが含まれている。したがって，オートメ化は設計の各部門，各段階ごとにおこなえばよいわけで，その間に，多少の任意的な判断のはいる余地を残しておいた方がよいことになる。

プラニングのオートメ化

予算，敷地，所要室，使用条件などを与えてやれば，それらのすべてを満足する最適のプランが，自動的にでてくるような，システムを確立しなければならない。

機能や条件の簡単な場合は，何も特別の方法によらなくてもプラニングは容易であるが，病院とか，ある種の工場などのように，条件が複雑すぎて，最良のプランをみだすためには，手間と時間がかかり過ぎる場合には大いに役立つことが期待される。

そのシステムは，各室の面積や所要条件，各室相互の結びつきの程度，面積配分，柱配置，階数，立面構成のための条件などを，種々組み合わせて，そのなかから当初の条件に合うものを選びだすという，はたらきをするものでなければならない。

このようなシステムは，例のオペレーションズ・リサーチ，とくにそのなかのプログラミングの方法などを取り入れることによって，可能であるが，実用上は，電子計算機の使用を前提とする。

しかし，プランをつくるということだけを目的とするものであれば，かならずしも，万能的な計算能力はいらないから，比較的安く造ることができるであろう。

構造と設備の設計

設計過程のなかでは，オートメ化のもつとも容易な部門であると思われる。というのはいずれも一定の方針を立てたあとは，計算を遂行するだけであるから，電子計算機を利用し，あるいは，そのための単能計算機を組み立てることは，比較的容易であろう。

ドラフティングのオートメ化

設計作業のうちで，もっとも多くの時間を占めながらもっともオートメ化の困難なのが，この最後の段階である。しかも，デザインと直結するだけに，この仕事を完全に自動化することは不可能であり，また，なすべきではない。

可能なことは，考えられるすべての細部，すべての収まりを，集大成した標準カタログをつくっておき，それを利用する方法である。利用の仕方はふたつあって，そのひとつは，出版されたカタログを設計者も施工者もつねに座右に備え，設計図書には，建物の各細部についてカタログ番号を指示するに止める，という方法である。標準カタログにない特殊な設計については，むろん特記図面が必要なわけで，現在，すでに常用されている標準仕様書と特設仕様書の関係のようなことになろう。

カタログは相当大部なものとなり，当然高価なものとなるであろうが，長い眼でみれば，スピードアツプによる設計コストの低減の方が大きいから，充分ペイされるはずである。なお，聞くところによれば，この方法は，すでに米国などでは一般化されているといわれる。

カタログ利用のいまひとつの方法は進歩した複写技術の適用によつて可能となる方法である。つまり，カタログから必要なところを自由に選びだして，コピーを取り数多くのコピーをモンタージユすることによって，図面を構成する方法である。そのため，カタログの図面は縮尺や，形式を統一しておかねばならない。モンタージューしてできた図面は，さらに一部修正したり，書きたしたりして，完全な原図として完成される。これから第二原図をとれば，青写真による焼増しも簡単にできる。

上記いずれの方法によるとしても，標準カタログの使用は，それによる部品の生産をうながし，建築施工の工場生産化を推進することになる。つまり，設計のオートメ化は，生産のオートメ化につながるという，大変に結構な結論がでたわけである。

電子現像式のドラフト　河合正一

製図は描く者こそその苦労を知るである。所詮，オリジナルなものは，すべて何によらず，われわれの生の手の動きから発するし，これを捨てようとする必要はない。しかし製図には，一方機械的な繰返し作業があり，また頭のひらめき，こころみる意欲の方がスピードが早く，書いたり消したりするのが，まだるっこしい場合も随分ある。ドラフティング・マシンもまだ幼稚である。次のアイデアは実現可能なもののひとつであろう。

白紙またはトレペをある台の上に固定する。デザイナーは，その紙上の任意の一点を特殊鉄筆のようなものでポイント・タッチする。一方線の太さのセレクター，線方位のセレクター（さし当っては直交 X，Y のみでもよい），所要以外の線を消す装置（すべてこれは タッチ・システム）を操作しながら，図面の上に鉄筆を触れるとあら不思議，線が好みの方向に，好みの太さでするすると伸び，不必要な領域をサッとなでるとたちまち消える，しかも交る線を交点で消すことはない。これは電子現像式の システムを開発すれば，十分可能な ことである。

曲線に対しては次のようなものもできるであろう。任意の点をプロットする。あるいはスケッチ風の，ラフな数本のカーヴを描く。ボタンを押すと最小二乗法的な，これらをまとめる 1 本の実曲線に変る。

簡単な模型の作成法　木村喬夫

設計のスケッチの段階においてアイデアの吟味を行なうのに，模型を作成して検討するのが，もつとも良い方法であるが，現在の模型作成法は材料においても，加工技術においても，ひじょうな労力を要するので，なかなか簡単にはできない。

プラスチックと接着剤の最近の進歩は，かならずや近い将来，誰でもがひじょうに簡単に模型を作り得るようになると，考えられ，その日を待望している。

模型による構造計画の検討および計算の簡略化　木村喬夫

前述の模型作成法と関連してくるのであるが，精巧な模型を簡略に作り得ることになれば，たとえばプラスチック等の弾性を利用して，模型に荷重をかけることにより，構造計画の正否の検討を立ちどころに行ないうるしまた計画を利用することにより，柱，梁各部の応力を直ちに読み取ることができるようになると思う。これが成功すれば，今度はプラスチックを，鉄筋コンクリートなり鉄骨なりに，置き換えて，断面設計がすぐ行なえるという風になることが考えられる。

モンタージュ映写機　犬東徳郎

自分が描いた設計が，実物では どんな 感じに なるのか，その外観や室内の状況を指定した形状や材料のとおり，映写機の組合せを加減して——人相写真のモンタージュのように——立体感をだすためワイドスクリーンに写す装置があると，図面と実物の関係が早く正確に把握できるようになるだろう。これは，大衆のための設計展示にも利用できるであろう。

透視図作成器　島田勝次

設計図面の作成がいつもT定規と三角定規を振りまわし，10年いや100年1日のごとくやつているのは，まことに能がない。一般図と仕上表をリコピーようの図面作成器にかければ，すぐ図面が完成されてでてくるというアイデアはちよっとトッピ過ぎるでしょうが，透視図だけでも，平面図と立面図・断面図または展開図に一定の視点を与えれば，透視図が完成してでてくるという機械が出現しないだろうか。そうすれば，建築空間を設計の途中でいろいろとすぐ検討できて，よりよい建築がつくられる素地になると思うのだが，そしてそれが一定視点ではなく，動く視点に対しても連続して透視図がえられるようになると，ますますはっきりと建築の各部がチェックできてよいのだが……。





簡単に応力計算を

力武利夫

現在の構造計算のやり方であるが，次から次へとまったく同じような計算にはうんざりすることもある。それで黒いガラス板に計算するラーメン架構をはめ込めば，鉛直荷重時と水平荷重時の応力が白の濃淡で各所応力が直ちにしめされるとする。これをわれわれは特殊な装置で，応力に換算し鉄筋の計算ができるようにするわけである。塑性理論が進み，又リミットデザインの考えを入れていけば，あるていど現在のような剛比の考え方は否定されて，もっと自由度が大きくなるに違いない。そしてたんに架構を上述の器具にはめ込むだけで，弾性波の縞目のごときものがでて応力状態がはっきりすれば，現在より更に合理的な配筋も可能となるだろう。上記の器具は，とくにシヤーレとか折版構造とか，H.P.シェル等にはまことに威力を発揮する。現在のごとき労力をつかわずに簡単に応力が判り，とくに困難な水平力作用時の応力がでればどんなに愉快だろう。

ドライバー1本で建つ組立ハウス

三川栄吉

素人でも，ドライバー1本で家が建つ。

早くこんな時期が来ないものか，百貨店でも，建築会社でも，どこでも住宅の組立セットを売っている。パンフレットにより，自分の好みの型を注文し，即日配達されて，青写真を頼りに組立てて行く，家族の者に手伝ってもらい，自分の家がみるみる組立てられてゆく，こんな楽しいことはない。

組立住宅は，現在でもいろいろと売りだされており，世の需要を満たしている。しかし，それはまだまだ試作の段階であって完成されたものはなく，特殊の例として南極観測隊の組立ハウスがあるが，これも普及的なものではない。これを早く，素人がドライバー1本で簡単に建つ組立住宅に持ってゆくにはどうしたら良いであろうか。

製図板のかどに金属を

倉石秀夫

T定規にかわるものが市販されていますが，まだ高価です。製図板のT定規の当る辺の角に，アルミ，ステンレス等の金属をはめ込めば，木の反りによる狂いや，すべりもよくなると思います。T定規の方にも，金属をそえれば，さらによくなるでしょう。

アイデアを模型化する方法

佐野正一

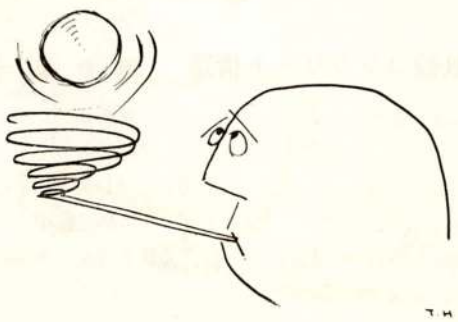
1．アイデアが形つくられる過程で……

アイデアを簡単に模型化する方法が，もっと進歩してほしいと思います。いまや紙や，木や粘土でこしらえている方法では，手数とスピードの点で将来の用には不適です。プラスティック系の材料で，加工後の熱処理または電気的処理で安定させる方法がありませんか。

現行の構造計算方式と電子計算機とはほとんど関係がありません。やはり特殊な計算方式を樹てて，それに適した特殊な計算機を作る必要があります。たとえば計算する過程として，特殊な塗料で模型図を作り，これを電気的な処理で解き，正解をだすために電子計算機（あるいは電子の処理機）がそのカルキユレーションをやるというのなら考えられそうです。

2．アイデアの実現化の過程で……

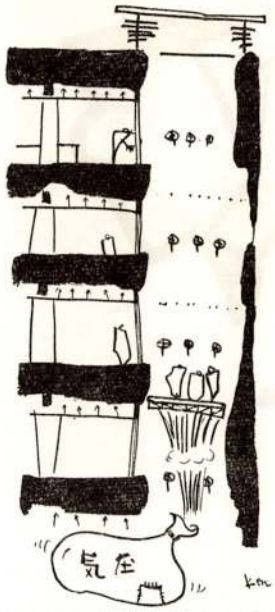
最大の問題は，骨と皮という建物でなく，面と点の建物に変るのではないかの問題。すなわちラーメン＋内外装材料ではなく，プラスティックスの可塑性を極度に生かしたあたらしい建築材料の誕生，それに面または点状の照明，冷暖房設備。それには無機化学と有機化学の結合という，大難問が解決されておらねばなりませんし，前掲ごときは計算方法が案出されて，構造力学の飛躍的な進歩がなければ駄目です。



エヤサポート建築　　島田勝次

とにかく，建築は重力の上にあぐらをかいて建っている。だからデザインも，その上にどっしりとおちついてみたり，それに抗してみせたりする。重力から解放されて，新しい力で建物を支えるようにすれば，建築はまったく異質な展開をするだろう。

たとえば，天井面より上階のスラブに強力な空気を一面に噴射して，その浮力と重力のバランスの上に建物を支えるような方式ができないだろうか。つまり気球のようにである。そして空気の噴射量を適当に調節して，固定した土地から浮かび上って移動できれば，「ブラジリヤ」も一夜のうちに完成するし，「海上都市」建設も恐るに足らない。　　妄言多謝



大張間鉄骨構造　　高原道夫

A）プリストレスドスチールトラス

1．鉄筋またはケーブルを利用して，トラスメンバーにプリストレスを与え，予想荷重に対する存在応力を，できるだけ少なくする方法。ベルギーの航空機格納倉に実例あり。

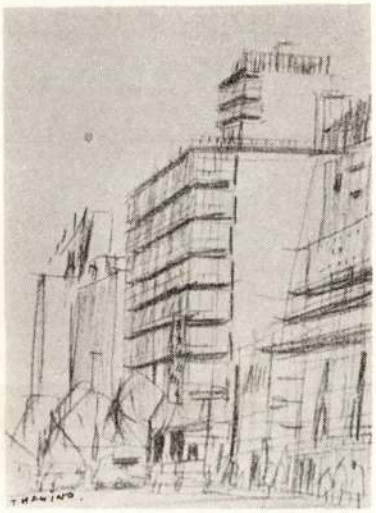
2．不静定トラスに対して，温度低下による収縮を利用して所要部分にプリストレスを与える。すなわち，あるていど高温にしたメンバーを最後に取付け，その常温化にともなう収縮を利用して応力的に有利に導き，よって大張間構造に利用する。

B）浮揚力利用のトラス

空気中の特殊気体の浮揚力を利用して，トラスメンバーを無応力に近い状態にもってくることによって，超大張間トラスをたくらもうとするものであるけれど，防爆，浮揚力の大小，動荷重あるいは水平荷重に対する安定性の問題多数あり。しかし，もし実現可能となれば，野球場，競馬場等の大面積を覆うこともできそうである。

鉄殻コンクリート構造　　河合正一

構造手法としてやってみたいのは，鉄筋コンクリートにあらずして，鉄殻コンクリート。すなわちハイテンション鋼のスキンエフエクトを利用してコンクリート充塡構造とし，必要なパイピングやダクトは構造体中に納め一方仮枠を不要にする。これはすぐにも可能である。



まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・

設計

建築設計の過程は計画・デザインという創造的な部分と，それを図面化，もしくは記号化する機械的な部分から成立っている。前者は精神活動すなわち形而上的なものであり，後者はたんなる技術に過ぎない。

さて，技術革新の波が一層大きなうねりと速度をもって，迫ってこようとしている1961年を迎えるにあたって，建築設計という作業が，この波の洗礼を受けて，どのような変貌を遂げるか，ひじょうに興味のある問題である。

アンケートの解答の多数は，やはりあまりに手工業的であり過ぎる現在のドラフティングを，多少なりともオートメ化しょうとするアイディアであった。もっともこれらのアイディアは，現代科学の寵児電子工学の可能性に，希望を託した夢物語に近いものであるが，裏返してみれば，設計家の最大の悩みが何であるかをあらわしていて面白い。

大企業の事務屋は「ユニバック」とか「IBM」とかの強力なユニバーサルビジネスマシンの出現で，年末も涼しい顔をして余暇を楽しんでいるのに，ひとり建築屋だけが年がら年中製図板にかじりついて「9H」の芯を切出小刀でとがらし，3，4本線を引いては，また紙やヤスリで鉛筆をこすって線を引く，といったまだるっこしいことをしなければならないかと思うと，実際いらだたしい思いがする。

元来線を引いて物の形を描いたり，字を書くということはひじょうに単純な作業で，建築のドラフティングも惰性でついそのままで，こんにちまできてしまったのであろう。アメリカの打上げたスパイ衛星は幾時間かかけて撮影した相手国の写真を，自国の基地上空を通過するわずか数分の間に，地上に送ってくれるという。こういう超スピード，超能率の時代に，ギリシヤローマ時代と何ら変ることのない方法で，設計図を描いたのでは，急速に成長してゆく経済の要求する性急な需要に，建築生産は応じてゆくことができないであろう。

アンケートの解答は抽象的に過ぎて，現状打開のヒントになるようなものがすくないのは，ひじょうに残念であったが，ドラフティングの能率化については，各設計家の間で，相当論議されているものと思う。

音楽家は作曲というあの複雑にして霊妙な精神活動の所産を，わずかの符号を使って五線紙の上に，余すところなく表明する。建築設計の内容も，何かこのような記号だけで，施工者へ手渡せないものか。建築部材の規格化と大量生産に一日の長のあるアメリカでは，この「図面の記号化」がかなり進行しているようである。このような高度の記号化は，図面を「IBM」のような機械で，生産する可能性も約束するように思われる。

話は建築設計の技術的な部分，すなわちドラフティングのオートメイション化の問題が先になって終ったが，設計の本質である計画，デザインは今後どのように変質してゆくであろうか。これは今後の建築家の使命と絡みあった難しい問題である。

構造技術の発達，新建材の止るところを知らない発掘，建築の設備化の進行，需要家のますます複雑にして精密な要求，これらの傾向が増大するにつれて，建築の企画デザインを一人のアーキテクトの才能で，カ



バーすることは不可能になってくるのではないかという見解が，最近有力になってきている。ちょうど機械の生産工程のように需要家の側で，用意されたデーターにもとづいて企画が決定し，デザインは生産の一工程に過ぎず，建築家はこの与えられた範囲内でデザインすることしか，まかされないようになるのではないかという危惧である。

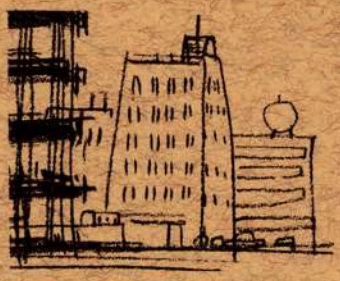
このような技術革新の波に押しつぶされた建築家の，未来の姿を想像することは，われわれ建築家自身にとつて，決して喜ばしいことではない。1961年という時点にあって，われわれ建築家はいかにしてこの問題に対処してゆくかということにこそ，全建築家のアイディアは向けられなければならない。

大企業，官公庁の組織に従属している建築家は，現在でもすでに多少ともこの傾向の歪みを受けており，また民間の零細な設計事務所も，建築生産のオートメ化が，完全に軌道に乗っていないこんにちでこそ，陽の目をみているが，近い将来には現在のままの形態では，存続を許されなくなるであろう。

しかし，機械文明に人間的な秩序と，生の喜びを与える役割を果すべき建築家が，このような没落を遂げるということは，人類の将来にとってまことに不幸なことといわねばなるまい。

建築家は，この重要な使命を自覚し，目まぐるしく変化してゆく社会，広大な分野で連鎖的に起る技術革新に対処し，それらの主導権を握ることに努力しなければならぬ。それには，こんにち建築界のあらゆる場で現代文明の矛盾に悩み，建築生産の非近代性に，なかば絶望感を抱きつつも，真に時代の要求に応じた建築を社会に送りだすことに心の糧をみいだしている一人一人の建築家の現状打開に関する良きアイディアの結集が，ぜひとも必要である。

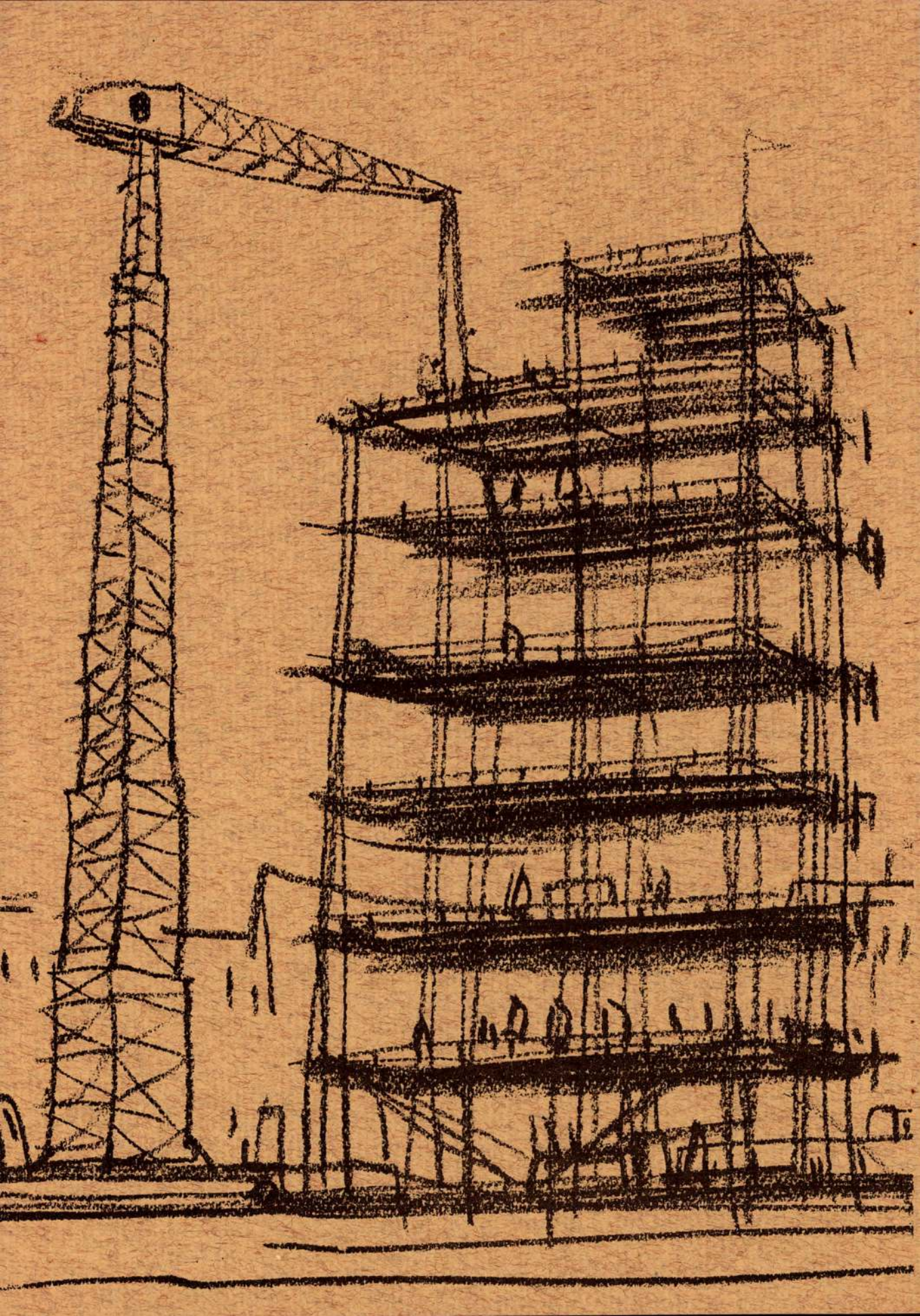
このような努力が結実して，建築の黄金時代が到来するかどうか。



第2部

施工
材料
生産方式

アイデア



施工

♠

施工面から……

土に密接したものと，土に拘束される度合の少ないもの

谷口尚武

「アイデアを求む」のご要求にはそいませんが，ただ，こうなればよいと考える具体性のない夢を，施工者の立場から描いてみたいと思います。

建築の施工はふたつの性格の異なる要求からなりたっています。土木工事，基礎工事のように，その構造物のつくられる土地に密着したものと，主体工事，仕上工事のように，土地に拘束される度合の極めて少ないものです。この両者によって進歩の方向と速度とが異なるのは当然です。

後者は土建業以外の，一般産業と同じ方向に進むべきで，従来の特殊性は次第に除去されねばなりません。造船と同様に，建築は運搬可能な，最大限のユニットにまとめて工場生産し，現場の仕事はその接続部の施工にのみ限るべきです。施工が容易で，金属に優る強度を発揮し，しかも安価な接着剤の出現によって，その方向への進出は急速化されるでしょう。組積式は，耐震的でないという考え方は，これによって一掃されます。建築工事の大部分が天候に左右されないこととなると，工事はひじょうに計画化され，労務者は，はじめて完全に定期的な休日がとれるようになります。

しかし，前者，すなわち，土に密着した仕事は，そう簡単にいきません。敷地ごとに，土質は千差万別であり，あらゆる土質に適用して，しかも経済的な工作は，ひとつにしぼれないでしょう。土質調査の重要性は，なかなか消失しないと考えられます。さて，あらゆる土質には適用できないかもしれませんが，次のような工法はないでしょうか。最近，水による採炭法が注目されていますが，強圧力でふきだす粘土水等によって，敷地周辺に巾の極めてせまい溝を穿ち，注入できる高強度の合成樹脂液で，粘土水を置換し，この樹脂壁を土留壁として内部を無支保工で機械掘さくできたら，土工事はひじょうに簡単になります。もちろん，天候の影響は多少うけましょうが，問題にならないていどでしょう。高熱であらゆる土砂を熔融する熱噴射機で，敷地周辺にうすい熔岩壁を土中構成する方法でもよいと思いますが，この方が実現への道は遠いように考えます。

♠

土留のない工法

力武利夫

建築の工場生産という形は，オートメーションの進歩にともない，必然的に進んでいくことはまちがいないとしても，現場作業を無くすることは，いかに技術の進歩があっても不可能であろう。そこで現場施工で主要な部分を占める基礎工事に，何かすばらしいアイデアが無いものかと考えた。それは，つまりこんにち，われわれがもつとも望むところのものであり，ぜひとも早急に改善されねばならないからである。

まづ山留の無い工法。これは多分土の性質を流体から固体に変えなければならない。もちろん土は流体ではないが，また弾性と塑性を有するまったく不可解な代物であるが，含水比または塑性指数等を変換することで，完全固体になれば，はなはだ有利である。現在のウエルポイントや電気固結法以上に，急速に土の性質を変える方法が発明されたら，レール打ちやシートパイル打ちの騒音から解放され，工期も短縮されるだろう。

そして，たとえば粘土層の圧密沈下も急速に行なえるから，現在のごとき杭打工事というのは姿を消すだろう。それには大仕掛の電気的方法か，または特殊な薬液の注入等はどんなものだろうか。

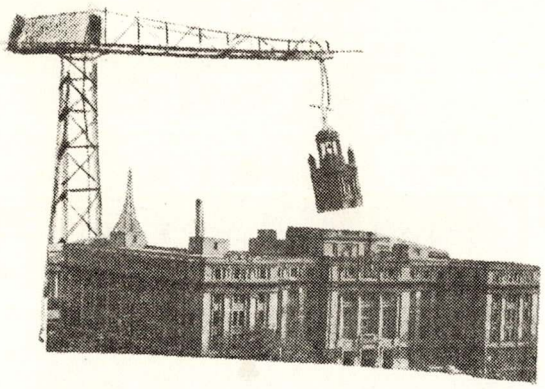
♠

鉄骨新接合法

倉石秀夫

リベットも，ハイテンションボルトも時代遅れです。鋲打すべき箇処の裏表から，これを当てて電気を通じれば，立ちどころに，リベットと同等もしくは，それ以上の接合ができる。そんな機械ができれば……。





建築施工に関するアイデア

岩崎甚太郎

さきにアメリカは，人工衛星からカプセル回収に成功したが，今回ソ連では2匹の犬をのせた宇宙衛星船第2号を，地球からの信号により，地上の予定地域に着陸せしめ，史上初めての，生物生還に大成功を収めたと報じている。いよいよ夢が現実となって，人間の月への宇宙旅行もほど近いことと思われる。

このとき，わが建築界において，とくに建築の施工面における，工法の進歩ならびに技術の革新はいかがであろうか。戦後の15年間外国からの優秀な工事機械や，施工技術を取り入れるとともに，国内でも創意工夫を重ね今日著しい進歩発達をきたしている。今後の10年間建築ブームの波にのって，かならず他の産業に劣らず，なお一層の革新を示すものと思い，楽しいイメージを描いているものである。

私は，紙面に限りがあるので，市街地におけるビルの施工についていささか書くことにする。

いつも建築の場所は交通の頻繁なところで，しかも狭い敷地，隣家と接触して，寸地も残さず建てるのが普通である。これに空へ空への制限一杯の高層建築であり，地下へは3階，4階，ついに地下5階の深層建築が多くなった。

施工はだんだん難しくなるし，工期の短いのが普通となった。これからの10年後を考えると，地下階は深くとも堅い地盤まで掘り下げて，杭打などの地業を施さず，地下5階程度のビルを建設するのが一般化するものと思う。

今日では，近隣や一般に迷惑をかける騒音や，振動が許されなくなった。杭打や土留工事は，無音無振動の工法でないと，工事を進めることができなくなる。そのため無音振動工法をかね，深層工法が各業者で研究考察されて，ますます進歩するものと思う。杭や鉄矢板の打撃による打込みは影をひそめて，これにかわる新しい工事機械や，施工法がつぎつぎと出現してきた。

深層井戸，ベノト，オーガー，カルウエル方式など，とくに鉄矢板に代る土留兼用の鉄筋コンクリート擁壁を造るイコス方式のような方法が広く実施される。次に深く掘り下げるために起る周囲軟弱地盤のヒービングを防ぐため，また，隣接建造物の沈下を防ぐために，電気固結法やグラウト工法，その他確実な防禦策が実施されるものと思う。

それから掘鑿について考えたい。今日では，土留切梁をいれるまでの掘方は，パワーショベルか，バックホーなどによって能率をあげているが，切梁下になると威力のある機械が使用できず，ベルトコンベアーによる人海戦法であって，はなはだ心細い。それで掘鑿にはアースドリルが考案されて，砂でも粘土でもうまく掘られて，土砂を上部にあげるバケットコンベアーまで容易に運搬できる。

こんな重宝な掘鑿機械が出現すると，労務者を少くして，うんと能率をあげることができ，まことに結構なことである。

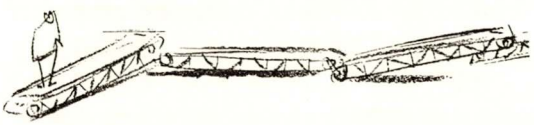
次に鉄骨工事における騒音をなくするために，熔接が主となり，リベット打に代るハイテンションボールト締めが普通となる。

また，現在基礎から鉄骨の組立にいたるまで使用されているガイデリックが，ヨーロッパで多く使われているタワークレーンに代り，着工から竣工前まで活用されて，なお一層，施工のあらゆる面に便益を与えるものと思う。

コンクリートのプラントは，これまで工事場に設けていたが，だんだん敷地狭隘のため姿を消し，もっぱら工場から生コンクリートの供給を受けることとなる。そしてタワークレーンやケーブル，またはモノレール方式によって運搬，打設することになる。ポンプクリートも建築用の軽便なものが考案されて，広く使用さるることになるだらう。こうなると思うように能率よくコンクリートが打設できて，はなはだ便利である。

施工技術革新の夢が人工衛星と同じように現実となって，人力を減じて大いに能率を増進し，施工の完璧はもとより，工費の低減と工程の短縮に役立てば，まことに喜ばしいしだいである。

その他施工の科学化において，原子力，高周波，プラズマなど利用すべきことが，研究の進むにつれて多々あろうと思うが，この辺で擱筆する。



材料

♠

コンクリート溶解剤

倉石秀夫

適当な商品名は思いつきませんが，なんらかの手段によって，たとえば薬品とか強力な熱線をあてると，その部分のコンクリートがとろりと溶けてしまうようなものができればよい。10年後にはコンクリーにかわる材料が出現するかも知れませんが，旧建物を取りこわすときなど，偉力を発揮すると思います。

♠

コンクリート溶剤

島田勝次

コンクリートというシロモノは，一度建ってしまうとなかなか厄介で，簡単に増改築や撤去もできず，はつりも大変だ。「鉄筋バラック」には頭を痛めねばならない。そこで，コンクリートを溶かすか，分解させる材料ができれば，大いに助かると思う。ただそういうものが出現すると，今度はそういう溶剤を厳重に監視しないと1階の柱がひと晩のうちに消えてしまったというスリリングな心配もでてくるわけだが……。

♠

無収縮性コンクリート

倉石秀夫

現在のコンクリートの収縮性クラックは鉄筋を細かく入れたりウエルドメッシュを入れることによって，あるていど防げますが，それでも，頭痛の種です。強度その他は同じで収縮クラックを生じないコンクリートができないものでしょうか。

♠

引張り強度に耐えるコンクリート

倉石秀夫

現在の鉄筋コンクリート構造は，普通コンクリートの引張り強度を，無視して計算されています。もし引張り強度にも耐えるコンクリートができれば，複雑な配筋も不要です。建築界に一大センセーションをまきおこすことは確実です。

♠

プラスティックス

河合正一

プラスティックスに対する期待は大きい。理論的には矛盾することかも知れないが，その耐火性の問題は，コンクリートに抗張力を分子的に与えることと同様，望まれる。建築の革命によってのみ可能であろう。

♠

消える材料

（たんなる想像です。深い意味も根拠もありません。）

小田島兵吉

アンケートには10年後の建材にはどんなものが出現するだろうか，というようなことも含まれているようですので，建築材料のうちの一部について，ほんの思いついたままを書いてみます。どんな材料が出現するかということは，大変興味のある問題ですが，過去20～30年間のうちに，どんな材料が消えて行ったか，また消えつつあるかを振りかえってみることも，面白いことだと思います。しかしこれはアンケートの主旨ではないので，詳しく触れませんが，その消えて行った材料の代りに，現在使用されている材料があり，現在使用されているものがやがて消えてさらに新しい材料が生れてくるのです。ここで消えるという表現をしましたが，どうも穏当ではないようです。材料というものは一度出現すると，それが全然姿を消すにはかなりの時間がかかります。ジエット機が出現しても，辻馬車がローマの街に屯しているようなものです。

さて今後10年先に，どんな材料がでてくるかというと実の所私にはわかりませんが，10年位では多分そんなに変った材料はでてくまいと思います。現在使用されている材料の改良されたもの位だと思うのですが，30年位先というと，これは確かに大変だと思うのです。その手がかりとして消えて行くだろうと思われる材料を想像し，そのためには，どうしてもこんな材料がでてこなくてはならないということから，新材料の想像を逞しくしてみましょう。

まず煉瓦が何時の間にか主構造の座からすべり落ちたように，耐震耐火永久を誇る鉄筋コンクリート造という牙城も，やがて潰えてしまう時がきそうです。コンクリートという材料そのものは永久に残るでしょうが，建物の主体構造としての役割は30年先あるいはもっと先にはもう終ってしまうに違いありません。取扱いが不便でしかも何ケ月もかかって現場打をして天候に気をつかいながら乾燥を待つというようなことは，万事能率化し進歩したその時分の人々には堪えられない焦燥だと思うのです。代って主体構造となるのは鉄鋼とプラスチックスです。ここにプラスチックスというのは合成繊維や容器などに利用されている所謂高分子構造のものだけでなく，もっと広い意味のいろいろの物質，たとえば，金属岩石

などをも熔融して造り上げた，温度にも化学変化にも耐え，相当な強度を持ち，しかも目方も軽いといったものです。（そんなものなどできるものかという人は，人工衛星のことを考えて下さい。）そういうプラスチックスを工場にて加工し，リベットなどを使用しないでつくりあげた鉄鋼の架構に簡単にとり付けて壁体および床を構成します。壁はこれに豊富な色彩を持つ化学塗料を施しますから，石を貼る手間もタイルを貼る面倒もありません。したがってタイルや石材は壁貼材料としては，やがて姿を消す運命にあります。琺瑯鉄板，アルミ板のお化粧も過渡期のものになる日も近いと思われます。

いろいろの仕上材料は，プラスチックスがとって代りましょう。金属，造作木材等の天然材料は当然漸減になります。建具にとりついているドアチェックなども近いうちになくなり，自由に開閉速度を調節する蝶番が登場します。まさにプラスチックス万能の時代です。……

抽象的に漫然とプラスチックスなどとゴマ化して，ここまで書いてきましたが，実のところ，私には何ひとつ具体的にこれこれしかじかの材料が出現するといった豊富な想像力はありません。

生産方式

♠

技術革新への道

橋本良介

建設工業は，他の生産工業に比較して特異な生産方式の採用を余儀なくされている。その主要な原因は，生産物（建設物）の多様性と，生産にともなう立地条件が個々に変化するためであるが，さらに労務者の不定性，各種各様の使用材料に対する技術的管理の困難さ，機械力を利用し得る範囲の限界，天候による響影等が，建設工事の合理的運用を阻む宿命的な隘路となっている。

このような隘路を克服する手段のひとつとして生産方式の職種別統合と，その組織化が要求されよう。工事に従事する労務者の職種はきわめて多い。それぞれの職種はその責任の範囲内で作業を行なうが，その技術的管理の能力において，その職種と他の職種との相関性の調整において，その職種が消化しうる工事量において，すでにある限界を持っている。これらの個々の職種が調整統合され，特定の工事種目を施工する企業体として成長するならば，建設工事現場におけるマネージメントは，ひじょうにやり易いものになる。たとえば「型枠工事株式会社」「コンクリート工事株式会社」「土留工事株式会社」等の部門別専門企業が出現して，豊富な材料と機械設備，優秀な技術者，熟練した労務者を擁し，その工事の計画，施工，管理を専門的に実施することになれば，現在，綜合施工業者が行なっている煩雑な技術上，管理上の問題が解決され，それぞれの専門工事より技術的に研究され，材料の面からも，労務の面からも，組織的な運用が期待できるのではなかろうか。そのためには，現在大工，土工，鳶，左官等と分かれている職種が，形を変えた組織体のなかに分割整理統合されなければならない。型枠工事は，型枠製造工場の延長となり，コンクリート工事会社は，工場で製造したコンクリートが型枠内で硬化成形するまで責任を持つ——こういった形態は，工事現場と，製造工場を直接結びつけることとなり，工事の計画的施工管理，機械力の利用，技術度の向上に大きく貢献するものと思われる。



また天候によって，建設工事の工程が左右されることは，いかにも近代工業とは縁の遠い話である。原子力を利用して雨雲を遠くへ追いやるというような着想は当分実現が困難であろうから，工事現場をすっぽりと覆うプラスチックス製の傘を考えてみたい。ゴム風船のように空気を柱にした半球型の傘を架設すれば，おのづから全天候施工が可能となる。

「オートメーション」は，いまや産業界の流行語となった感がある。建設工事のオートメーション—いかにも魅

力的な言葉であるが，技術の近代化，生産方式の近代化等といった抽象的な意味でのオートメーションはさておき，いわゆる生産の自動化の対象としての建設工事は，まだはなはだ遠い距離にあるようである。生産物の多様性，立地条件等，建設産業の持つ特殊性が，そのオートメ化を阻む大きなエレメントとなっているのである。元来オートメーションとは，自動化された生産工程が人間の判断と同じような判断を各所で行ないうるようになっている。つまりフィードバックの回路があるということである。工事現場のオートメーション化とは，このような意味で，工事現場における作業形態が，自動化，機械化されるとともに，現場での作業の状態，材料の入着使用状態，機械の運用状態，労務，資金の状態等が，直接経営の主体である中央機関に，即時即刻に連絡され，綜合的な判断の資料となっていなければならない。つまり工事現場と，中央機関との距離が解消して，一体となるならば，ほんとうの意味でのオートメーション化が，実現することになるのである。工事現場から電信回路を利用して，各種の数字的なデーターが，本社の担当者の机上に送られ，現場に備えつけたテレビカメラによって，本社の会議室で直ちに工事の状況を把握することができ適確な指示が通達される。工事現場にはきわめて少数の人員がいて本社から送られた指示を労務員に伝え，あるいは，機械を作動し，資料の整理に当っていればよい。このような夢物語りは，はてしなく拡がってゆくが，これを実現するためには，各種の建設用材料の性質や工法が飛躍的に向上することが前提条件である。コンクリートのような欠点の多い材料が，まづ必要でなくならねばならない。すばらしい性能を持った接着剤が出現すれば工場で生産された規格部品が現場で楽々と組み立てられるようになる。フィールドワークからファクトリーワークへ——建設工事が現在のような，いわば手工業的生産方式から脱皮して，ラジオやテレビの組立工場のように整然と一糸みだれぬ態勢のもとに，運営される日はいつのことであろうか。

♠

マスプロダクシヨン

山下暢雄

「アイデイアを求む」というアンケートである。

新年号に載せるからには，お正月映画のように何か派手なものを書かなければならないだろうが，素人うけのするような華やかなものは，たちまちにして読者諸君の燗眼に見抜かれて，失笑を買うのがオチであるから，いささか野暮ったい意見を述べることにする。

テーマでは，「大体十年後を目標にして」ということであるが，現在のようなシステムで，建築の設計（または施工）がなされている限り，大いに飛躍は望めないことは，逆に過去数十年の建築の歴史を振返ってみればわかる。「近代建築」らしきものの要素の大部分は建築の仕上材料の新しさであって，狭義の建築家のworkの範囲では，技術的には戦前と大差が無いといって良いであろう。（設備と仕上を変えて「近代建築」になりすました大正時代のビルあり。）

そこで私はいい古されたことながら「建築のマスプロダクション」をふたたび提唱したい。

日本に何千万戸の建築が有るかわからないが，これらのほとんどは注文生産によって，手工業的に作られたものである。市井の建築家は千差万別な条件（全体からみれば，にかよった条件が多いと思われるが。）に適合するように職人的な労作に追われて，建築の本質的な，品質の向上を追究する余地がない状態である。これがいかに精力の浪費であるかは，テレビ，ラジオが注文生産によって製作されている状態を想像してみればよい。

マスプロダクションといっても工場製作，現地製作の別や，注文生産と計画生産，あるいは工事までのものと設計までのもの等色々種類が有るが，これらは環境，条件等によって決定されるものとして，細目はここではふれない。もちろんこれは，デザインによって，若干設計変更されることは妨げないものとする。

マスプロダクションによって，品質の完全な管理が行なわれると同時に，建築物の組織的な研究がなされねばならない。

たとえば，戦後おびただしい数に上る新材料が売りだされているが，これ等のなかには，耐久力の無い見掛倒しのものが多い。簡明な，材料試験機関が望まれるゆえんである。

また高層建築物では建築自体の重量が内容物の十倍近くに上ることは（電車では三倍位），はなはだ「非近代的」なことであるので，材料的な研究が要求される。

さらに構造設計では，根本的なことで不明な箇所が多いことは，研究部門の，力不足にもとづくものと想像されるので，マスプロによって生じた余剰精力を，この部門に傾注して，機関の強化を図りたいものである。

これらの「脚下照顧」によって，明日の輝かしい飛躍が望めるものと思う。

♠

工期の短縮

吉田元七

工期の短縮は，第一に地下工事の簡易化を考えねばならない。それには掘鑿作業を全面的に機械化することを要する。さらに機械化するためには山留工事を省略する方法を考えねばならない。したがって，土壌，とくに粘土層のごときものを，掘鑿前に硬化せしめる手段を創造する必要がある。

第二には，いわゆる左官仕事を可及的に減少せしむるような設計を採用しなければならない。壁体や，天井はすべて組入材料，貼付材料をもって弁じ，床材にしても現物研作業を極力避けることが望ましい。

第三には主体コンクリートの硬化時間を短縮することである。これはセメント製造業者の努力にまつ問題であるが，その努力に対しては，学会をはじめ一般の現場管理担当者が，同情と鋭敏さをもってただちに取り挙げる態度を持つ必要がある。

第四には，作業場内の運輸と通信施設を整備することである。これには，施主側の予算編成態度の改訂を求める必要を感ずる。すなわち，従来は，仮設工事といえば直接工事費の，何パーセントというような規格を定めているので，施工例にいかなる名案があっても，実施に移せない状態である。ここに意を決して，踏みだせば，直接工事費の逓減と，工期の短縮は自然に達成される。安全衛生の問題も同様である。

まとめ

1. 土・基礎工事

技術を基調とするあらゆる生産工業が，その製造過程においてのみ，独自の改革を行なうことが不可能であるごとく建築の生産過程，いわゆる施工面においても，この部門だけが他の要素に先んじて飛躍的な革新を遂げるものとは考えられない。しかし，施工法の進歩や新らしい材料の出現は，建築が質的に向上するための重要な要素であり，さらには建築そのものが根本的な変貌を遂げる前提であるともいえるのである。その意味では，アンケートにあらわれたいろいろのアイデアや着想は，まことに貴重なものであり，未来への建築の歩みをいろいろの角度から描きだしてくれるのである。

建築の施工には異なった二つの面すなわち土工事，基礎工事のように土地を切り離して考えることのできないものと，主体工事，仕上工事のように土地に拘束される度合の少ないものとがある（谷口尚武氏）。わけても前者は，工学的にも未知な因子の多い土が相手の工事であるから，建築の設計に当る者も，施工に携わる者も，ひとしくこの部門の発達に期待するところは，きわめて大きい。最近における土質工学の進歩は，土の性質を解明し，土の処理法，基礎工法の改良等に大きく貢献しているが，どちらかといえば，基礎的，理論的な面でやや停迷の状態をつづけており，その反面，施工の面，すなわち土や基礎に関係ある工法，施工技術の面で，めざましい発達をつづけている状態である。しかし，現在行なわれている各種の工法はそれ自体性格的にも限界をもっており，そのいづれをとってもこれならといった決定的な要素のないのが不満である。決定打がでていないのである。

土や基礎の工事計画には，まづ土質調査が先行する。土質調査を簡便に，正確に実施する方法はないものであろうか。現在もっとも一般的な方法となっているボーリングやサンプリングは，いかにも前時代的な陳腐なもので，昔からある上総堀りをやや改良したものに過ぎない。いろいろな調査器具が考案され，工夫されてはいるが，いづれも土の診断法としては一長一短がある。土質調査がもっと容易に，しかも適確に実施されるようにならなければ，土や基礎の工法の発達が，その出発点から阻まれてしまうことになるのである。また，数年来の努力が実を結んで本年初春出版された「東京地盤図」のような貴重な資料が，日本国中の大小都市にわたって収集整理されているならば，業界を益すること大なるものがあるであろう。

土質安定工法は，土・基礎工法の本命といえよう。いかなる土に対しても，もっとも好もしい工学的特性を，自由に賦与することができるならば土質工学の他の課題も自ら解決されるはずである。土質安定工法が理想的な発達を遂げると，土や基礎の工事はあたかも主体工事や仕上工事と同様に，土をひとつの素材として，自由に扱うことができるようになる。谷口尚武氏は，粘土中の水分を高強度の合成樹脂液で置換し，この樹脂壁を利用することによって，土留工事が不要になると考えている。また電気化学的に，あるいは薬液の注入による土性改良法（力武利夫氏，岩崎甚太郎氏）の提案は，現在すべて実施されている方法を一層高度化したいという意味であろう。また，高熱を利用して敷地周辺に薄い熔岩壁を構成して，土留壁とする考案（谷口尚武氏）も，土質安定工法の一環と解されるものである。その反対の凍結工法というものも，すでに実施された例がある。いづれも，物理的，あるいは化学的手段によって，土の本来の性質を改変しょうとするもので，この方面の工法の飛躍的な進歩を期待する声はすこぶる大なるものがある。

さて，現実の問題として，軟弱地盤上に建設される建物の基礎には，杭やウエル，ピアー等が用いられる。この種のものの施工には，叩きこむ，ねじこむ，押しこむ，孔をあけておとしこむ等，いろいろの方法があるが，いづれも振動や音響，周

囲地盤の沈下等の障害を発生するものが多い。これらの障害を除去し，あるいは軽減して建築物の施工にともなう不快な現象を，なるべく少なくしょうという目的から，これに代る工法や施工技術が考案されているが，これならといったものはなかなかあらわれてこない。今回のアンケートにも，この点に触れたものはなかったが，結局は，前述したように土地を改善することによって，このような工法を採用する必要がないようにすることが建築家の理想となるのではなかろうか。

戦後，地下の掘削工事にも機械力が利用されるようになって，工事現場の様相を一変したかの感があるが，現実には，機械力の利用範囲に限界があって，まだまだ人間の労力に依存している度合は少なくない。建築物の地下工事には，土木用の大規模な機械を，そのまま利用することができず，それにもまして土留といったような邪魔物が，どうしても，必要であるといったような条件が，地下工法を極端にむつかしいものにしている。土留のない工事（力武利夫氏，吉田元七氏）は施工業者の悲願のようなものである。また掘削の方法にも，アースドリルの応用（岩崎甚太郎氏），超高圧水の利用（谷口尚武氏）等，活潑なアイデアが提案されている。超高圧空気による掘削，超真空機械による土砂の浚いだし工法等も考えられよう。高周波土砂切断機等というのも夢ではなかろう。

その他，土・基礎工事に関係ある問題は数多い。たとえば地盤や杭の支持力と沈下の問題，地下防水の問題，建物の沈下とアンダーピンニングの問題，杭の腐蝕の問題等々数えあげるに，いとまのない程であってそのいづれをとっても現在解決ずみのものは何ひとつないという状況である。それだけに，この部門の発達によせる期待は大きく，夢は果てしなくひろがっていくのである。

2. 主体構造および仕上材料

建築の材料を考える時フィールドウワークであることを前提に，当然土と密着したものと，土と無関係なものとに分かれるだろう。また材料そのものも，現在の鉄筋コンクリート造，鉄骨造から脱却して，軽くて強度もあり，また撓れやたわみ剛性の強い材料となっていくであろう。そして鉄筋コンクリートや，鉄骨による不自由な構造上の制約は取除かれて，あらゆる形が自由に，そして充分な応力解析がなされながら出現しょう。

さて，まづ構造主体から考えてみよう。それには現在の鉄筋コンクリート構造や鉄骨造を肯定して，これを押し進める方向に向って考えれば，まづコンクリートの軽量化が考えられる。これには現在そろそろ不足勝ちな骨材に代って，Steel ball コンクリートが出現するだろう。丁度ピンポン球を steel または plastic で作れば，強度的にも，重量的にも今より，うんと進歩する。さらにコンクリートの断熱性を考えてもすぐれた材料となる。また鉄骨造についても，倉石氏の案のごとく通電により接合部を今の熔接よりも，さらに完全に接合できるかも知れない。現在でもフラッシュバット法で鉄筋等も接合させているが，もっとポータブルで瞬間的に接合することができれば現場の工程はどれほど助かるかわからない。それはプラズマの利用により，または接着剤の進歩により，当然なされるだろう。ここに接着ということの物理的意義である。異種のものの分子間隔を，同種の分子間隔に近づけてもよいし，また接合剤で分子間をつないでもよい。また分子を変化させても接合という目的には充分であろうが，所期の目的に充分なだけの接合の分子構造というか，ミクロスコピッシュな研究が建築でも必要となろう。

次に材料そのものについて考えてみよう。ここ数年いや十数年といって良いかもわからないが，たしかに材料の変化だけが建築の進歩であったかのごとく，つぎつぎと目新しいものが出現し，ある物はすでに消滅して終った。これは逆にいえば万能薬がなく決定打を欠いたためといえぬこともないわけであるが，何とか万能薬はでないものだろうか。

倉石氏ならびに島田氏より提案のコンクリート溶解剤は今後，都市の再開発のためにも，必要となっていくであろう。これもプラズマか，さらに原子力が登場してくるかも知れない。フランスに膨脹性コンクリートがあるそうだが，無収縮コンクリートも，ともに現在強く要求されるものである。収縮を防ぐには，水を使わなければ良い。夢の建築には左官という仕事はなくなって，現在のように技巧に頼ることなく，吹付け塗装を現場でやるにしても，モノレールトランスポーター式に自動的に行なえるだろう。

それに，アルミかプラスチックのごとく，アルカリに強く，かつ軽くてさびないものが，構造体，仕上材として，使われれば稀金属であるチタニウム等も建材の仲間入りすることになるだろう。タイルがまた今のままで存在するにしても，モルタルで下地を作って貼るのではなく，タイルを並べるだけで附いて，かつ耐薬品的にもすぐれた接着剤が欲しいものである。

結露しない硝子，そして構造体と見合う強度を有する硝子も要求される。硝子の表面にフイルム膜を作るぐらいで結露が防げたら，紡績工場等の設計はもっと楽になるだろう。

このことはまた将来の建築が有窓になるか無窓になるかの別れ道にもなる。完全なShelterとしての建築には無窓の方が適しているが，断熱材が耐火的にならないものであろうか。その他乾かす必要のないペンキ，完全な防水材料等々，建材の将来にかける夢は多いしまた大きい。硝子はともかく，将来の構造体のchampionとなる可能性もある。熱線，赤外線の吸収，反射，透過等いずれも思いのままに行なえる硝子が出現すればどんなに今の建築の形が変るかわからない。

最後にプラスチックの発展である。これは石油化学の発達とともにどれだけ進むか，またどんな方向に進むか，まったく我々には不可解である。そして，安価に，今の粘土，石膏，セメント，ウットファイバー等の気安さでどしどし使われる時代がかならずくるであろう。

プラスチックとならんで電子工学から新材料が供給されるだろう。ゲルマニウム，シリコン，クーラー，ヒーター等設備関係だけでなく，建材にも利用されるだろう。現在の材料の欠点の征服，これが現実的な夢の明日の材料である。

3. 生産方式

生産方式に関するアイデイア，イメージは案外少なかったが，現在の建築生産が注文生産であり，フィールドワークであるというなかば宿命的なあきらめが，すでに概念として脳裏に刻み込まれているためか，あるいは政治，経済，社会機構にまで関連する大問題で，ひとり建築家が力んでみてもどうにもならないためか，いささかさびしい感じがするが，橋本氏の職種別の統合と，その組織化に関する意見はひとつのあり方を提示したものである。

現在では請負会社が各種下請を寄せ集めてひとつひとつの建物を造り上げているが，これを改めて型枠工業KK，コンクリート工業KKといった企業体を作り，材料の生産工場と現場を直結して施工を担当すれば，たしかに管理技術，材料等の面で組織的な運用が期待できると同時に現在限界にきている工事量消化の問題もあるていど解決するように思われる。しかしこれは建築産業の形態を根本的に改変することを意味しよほどの利点がない限りむづかしいであろうが，現在でもすでにサッシや天上仕上げ等はこの段階に入っており，生コンクリート会社も現場コンクリート打ちまで施工することはさほど困難なことはなかろう。小企業による材料生産にも良い点は多々あるが，生れて半歳もすれば消え去るものが実に多いことを思えば，大企業がしっかりした研究に基づいて生産したものを自ら責任をもって施工すれば，美しく早くできるに違いない。そうなれば請負会社は各工事場の進捗状況に応じて指示を与え，オートメーションで中央機関へ集まるデーターを整理しておればよいので，商事会社のような性格を帯びてくる。

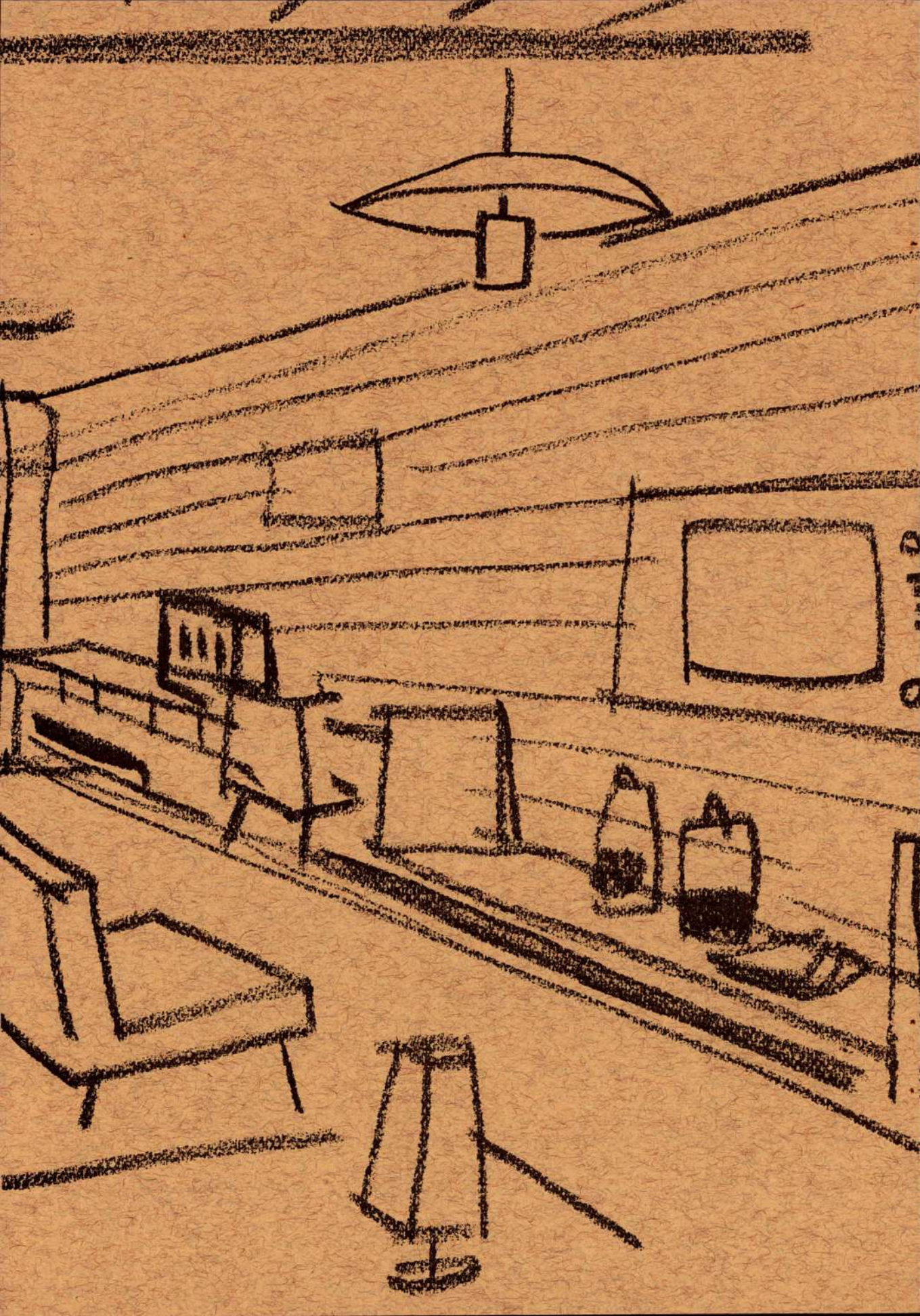
またこのように，各材料が，明確に，規格等級別に生産されれば，完成した建物全体を一個の製品として等級をつけることも，容易となる。商品には，すべて等級がある。美術骨董品のような，わけのわからないものは別として，衣料品，食料品，電化製品なんでも等級がある。建築にも坪何十万円の豪華邸宅からセメント瓦のバラックまで等級はある。しかし学会の標準仕様書はなにもかも結構づくめで，等級を規定していない。これはあくまで標準であって別に規制される必要はないが，はっきり等級を明文化しておけば施工の良否に関するトラブルも，幾分減少するのではなかろうか。

つぎに生産方式で毎度問題になるのはマスプロである。TILT-UP工法も相当の成果を収めているが，まだ住宅の範囲をでない。しかし10年後には優秀な接着剤が発明されて規格化された部材が現場で組立てるだけといった工法が考えだされれば，もはやマスプロなどは問題でなくなるだろう。そして現在の壁は，さらに多くの機能を持ったものとなる。ハニカムボード型，オールプラスチック型などの薄い壁が構造体，仕上げ材，インシュレーション，照明，冷暖房等すべての機能をはたすようになる。基礎的な物質が電子頭脳の働きによって，オートメーションで建築家の思うままの製品とすることができる。強度，型，色，組織，機能といったものは個々に任意の性格を与えられるから，決して単純なものではなくサーモエレメント，熱のサンドイッチパネル，電子照明パネル等は電流のサイクル，強弱によってその温度や色を任意に変えることができるし，また室内ムードをオートマチックに調整することも可能となる。すでにカナダでは2，3行なわれているが，工事現場を半球型やドーム型のゴム風船で覆い，天候にわざわいされることなく，これ等のユニットを構造体として組立て，あるいは構造体にはめ込んでゆくといったことも，あながち夢ではない。そうなればコンクリートの硬化時間も，さほど気にならず，もっとも面倒な左官工事もなくなり，工期の短縮云々も，もはや問題でなくなるだろう。



第3部 設備

アイデア



設備と動力源についてのアイデア

中原　茂

近き将来として約10年後の新しい建築の形態を想像する場合，まづ考えられることは，各産業のオートメーション化に強く影響されて，建築の生産形態も一変するに違いないだろうが．とくに建築設備のいちぢるしい高度化発展が，その動力源の革命的進歩にしたがって促進されるものと思われる。この時には建築物の維持管理的な経済性が明確に基本計画に計算されることは当然であり，建築物の耐用度についても，局部ごとに割り切った方針を打ち立て，建物の骨組以外の部分については自由に変形し，改修することを容易に行なうことが通念化しているだろう。

さて，ここで，将来の建築設備と，その動力源について，イメーヂを職場の設備屋さんから聞いてみる。

設備用エネルギーに太陽熱および太陽光線の利用

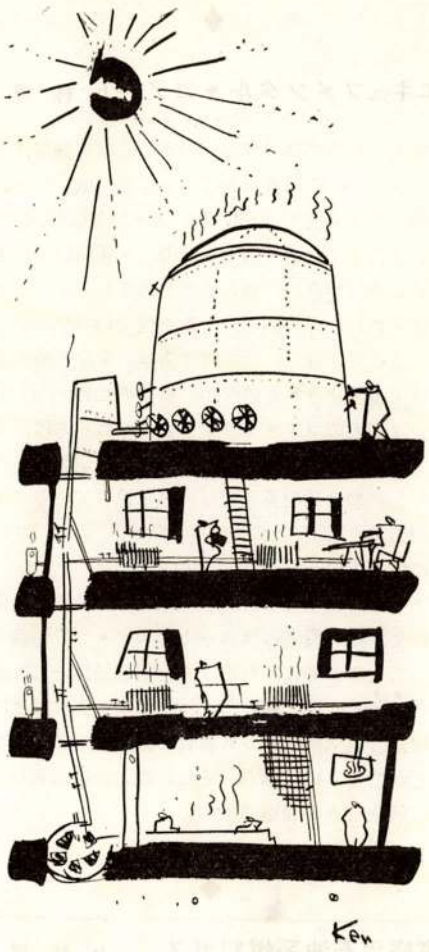
最近の傾向からみると，石炭，石油等の諸燃料は化学工業の原料資源として利用されるようになり，将来は一般エネルギーとしては，原子力および太陽熱がさかんに利用されるであろう。原子力はその取扱いが複雑であるが，太陽熱は簡単で，建築物の冷暖房，給排水用の動力としての利用の道が大きく開けてくるものと思われる。最近，すでに太陽熱を利用した太陽熱機関，太陽炉，太陽熱暖房装置，太陽熱冷凍機，太陽熱ポンプ等が試作され，研究の域を脱し，すでに実用に供されつつある。さらに，また充電エネルギーとして，太陽光線を利用した太陽電池が一般化されることも考えられ，現在では，まだその容量も少なく，試験的なものに過ぎないが，やがてこれが大容量のものに展開してくれば，現在の照明や動力源の供給資源として，あらゆる分野に利用されることは明らかである。

赤外線装置の利用

人が近づくと自然に開閉するドアーはすでに実用に供されているが，これをさらに範囲を広めることにより，自動開閉式水栓，水洗便所用自動フラッシュ弁等が，衛生設備の常識になってくる。

自動制御の利用

自動制御の長足の進歩は，設備関係の維持管理にも大々的に利用されることになり，建物の温湿度調節，給排水，給湯，防災，電気関係は全部自動制御装置になる。たとえば，エレベータの昇降は乗客が近づいて，階数を呼ぶだけで自動的な運転が行なわれたり，電灯照明についても，環境に適応した照度調節が自動的に可能となるであろう。



建物に内蔵の掃除機

犬束徳郎

床面や棚面の巾木または雑巾摺に，自動的に開閉するようなスリットが設けられ，エアードアーと同じように，高速の空気が一定の時間に走り，空気とともにゴミを吸い込む。空気に静電気を帯電した粒子をまぜて，微細なゴミも吸引させる。また，紙片や大きいゴミが吸引口をふさいだときは，渦巻の気流となって壁の近くで回転し，小さいゴミだけをダクトに吸引する。

窓ガラスの両面にも，サッシ枠のスリットから，空気や薬品が流出し，清掃・乾燥させる。

こうなると，うっかり散らかした書類は，壁ぎわを探せということになるだろう。

◆

エキュプメンタル・コア　上林博雄

住要求が質的に高くなっていること，零細な住宅建設のマーヂンが一般の取引とくらべて甚だ低いことから，いわゆる組立て住宅の事業については大きい疑問がある。いま住宅で台所・浴室・洗面所・便所は設備工事が集中する処だから，それらをまとめてレデイメードとして量産すれば，経済的で，しかも住宅のバラエションをそこなうことがない。この考え方は，2次大戦直前にアメリカで事業化されたのだが，戦争のためにつぶれたようだ。「住宅のコア・プラン」といわれるのは，元来設備コアをもったプランという意味で，池辺陽氏あたりがいいだしたのは和製英語でないかと思っている（反論はあるが文献としてみせてもらっていないので，まだこのように信じている）

アメリカのエキュプメンタル・コアでは給湯設備がついていた。次の段階はユニット・エア・コンの設備までがついたものが考えられる。また附属設備として量産し尿浄化そうも必要となろう。エネルギー源はなににしてもよいが，電気機具やガス器具の製品を附属品として売ることができるのだから，それらの大会社が乗りだせば簡単に解決できる問題であろう。

◆

家庭用石油系燃料ガス　上林博雄

「ガ・水」これは住居の広告では都市ガスと上水道がきているということで，もちろん電気はきているが，下水道はないというシンボルである。ガスがきていることが便利だというのは，主として熱経済的な理由によっている。

いづれ家庭用のエナーヂは全部電気になることと思われるが，それには少しひまがかかりそう。で燃料ガスが用いられるわけだが，都市ガスよりプロパンガス（ブタン等を含めて）の方が安いなら，もう都市ガスは必要ない。しかも実際にはプロパンの方が安い場合があるというものがややこしくなる。

プロパンの 10 kg 入ボンベでは，都市ガスの最低料金 10 m³ までの使用者には，有利になり，50 kg ボンベでは 100 m³ までの使用者には有利になる。なおプロパン等の価格は今後とも値下りが予想されるので，配給機構さえ改善されれば，原価がタダのように安いものであるだけに将来性があろう。問題はアメリカの一部でおこなわれているように，タンク・ローリー車で戸別に配給する会社をつくる企業家がでてくるかということと，一般需要家，とくに建築家の認識にかかっていよう。これは販売企業家とガス器具製造業者・建築家・プロパン製造会社（これは今のところもうかりすぎて動きださないような感じがする）が連繋すれば解決できよう。これが成功すれば，まづ都市ガス税がなくり，電気の方も税をかける訳にゆかなくなるのではなかろうか。

◆

量産し尿浄化そう　上林博雄

田舎連合といわれるわが国の都市では，下水道を完備することが緊急事であることは当然。しかし郊外住宅や農村住宅にあってはどうだろう。最近茨木県の農事研究所で汚水処理と燃料ガス発生装置を組合わせた処理方法が研究され，その実験農家では，年間の全家庭燃料をえることに成功したと伝えられている。郊外住宅では標準し尿浄化そうオンリイというところで，平面型の異形のものでは実験的に浄化不充分という結果がでている。

考えようによっては10万円位でできるし尿浄化そうは安いものだ。しかし，もっと製品化されたコンパクトなものが望ましい。浄化が主として生化学的なものでおこなわれる以上，ある程度の容積と反応時間は不可欠だろうが，それにしてもこのところ幾十年も全然進歩しないことは残念至極というところ。じつはいろんな研究団体や研究者がこの問題について研究しているが，充分な成果はえられていない。次の10年間にはなんとかいいものがでてくることを世界的に期待するが，あるいはいわゆるノーベル賞ものといわれる難研究のひとつかも知れない。

◆

都市における冷暖房供給センター

木村喬夫

都市の高層ビル各々に，冷暖房設備を設けることは従来の建物では当然であったが，こんにちのごとく，近接して高層ビルが立ち並ぶようになれば，ガスや電気と同じように供給センターができて，各ビルへ供給する方が経済的であり，かつ企業として充分成立しうると思われる。

◆

高圧空気輸送管　吉田元七

設備工事の面でつねに考えられるのは，冷暖房工事のダクトスペースの過大さである。あれを，高圧空気輸送管に切りかえうるならば，階高を少なくし，釣天井を廃止し，工期の短縮，工費の逓減，土地の利用度の増大，等大いに貢献するところがあるであろう。



◆

空中集水塔で湿度の調整を

川上秀光

昨年の夏のように，猛暑がつづくとやりきれません。冷房機を使うところがふえていき，また自動車が急激に増加していくとなると，これらのものが吐きだす熱量も馬鹿にならないでしょう。そこで将来，都市の気候調節が期待されます。調節といっても，都市の温度をさげるのは巨大な太陽エネルギーに対する挑戦であって，たとえ1度さげるにしても，まず絶望的と思った方がよさそうです。

そこで考えられるのは湿度の調整です。都市の方方に空中集水塔をたてて，このなかに秘密の機械が入っています。これによって空中の水蒸気から水をとって湿度を快感帯までさげるわけです。もちろんオートメーションになっていて，人間が操作する必要はありません。冬になって湿度がさがれば逆に作用して湿度をあげることも考えられます。フエーン現象もうまく処理できるかも知れません。空中からとった水分は，その附近の建物に給水ないしは給湯します。都市の上水難解決の一助にもなるでしょう。問題は集水塔のなかにある秘密の機械ですが，その仕組はアンケートではなく，もっと別の場所でないと申しあげられません。

◆

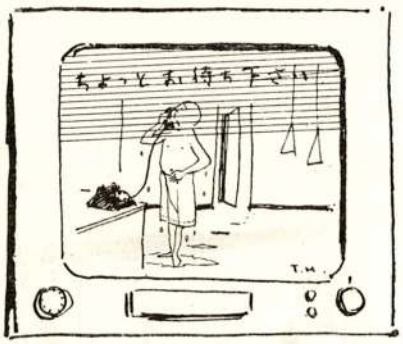
ノン・ダクト冷暖房方式　倉石秀夫

ビル建築の現在の段階では，まだ天井裏をはいまわるダクトに，いつも頭を悩まされます。もっと安価な冷暖房パッケーヂ，あるいは電子冷暖房のごときものが出現しないものでしょうか。

◆

テレビ電話　吉田元七

大都市への人口の集中は，建物を高層化し，したがって極小地城に自動車の洪水をきたす，これは，人々人々の接触態度が昔ながらに，席を同じうする習性からきている。電話がありながら，その活用をしないためと思われる。そこで思いつくのは，少なくとも，大都市の電話をテレビ電話に改めて，いながらにして相手の顔をみつつ会談できるようになれば，同席の癖は改められるのではなかろうか。したがって，自動車の動きも減ずる可能性が生ずる。



◆

デレビテレフオーンの利用

中原　茂

外部との交互通信方法は，現在では電話が唯一のものであるが，音声のみに頼る通信は時代遅れとなり，これに画面を加えた立体的なものとなって，短時間に処理が可能となる。たとえば複雑な写真，図面，書類についても，適確に相手方と意見交換や連絡が即刻に行なわれ，極度に通信労力は節約されるだろう。

まとめ

設　備

コンストラクションの理論は振動論等を含めても，建築界が指導性をもっていると考えられるので，10年先の（実現の可能性のある）新しいアイデアが突飛にでそうではない。この方面では理論よりも施工法に（それが経済組織につながる生産方式の問題として）また新人工材料の出現に，新しい着想の重点があろう。

これに反して，われわれの生活の便益にあづかり，またその物理的環境を調和する建築のエキュプメントの方面では，それが広く，近代科学の進歩の恩恵を，直接的にうけるものだけに，10年さきの豊かなアイデアに恵まれているはずである。いいかえれば現在の時点においても，〝必要性さえあれば〟相当なニューアイデアがだせて実現できるのである。別ないいかたをすれば，科学の進歩の段階からすると，建築を含めた生活面において，すでに10年位は遅れているということにもなろう。

ここで問題になるのは〝必要性があれば〟ということで，これは，われわれの生活様式や，生活の理念の変化に支配されるので，10年先にはどうなるかということの予測ははなはだむつかしい。たとえば10年前に，不連続なスペクトル分布をもった螢光灯が，このように普及することを誰が予測しただろうか。また洗濯機の爆発的普及にしても，既設の公営アパートを，建築家不信のモニュマンにしてしまっていることを誰が予測しただろうか。こう考えてくれば，設備に関するアイデアの問題にも別のところに決定的な隘路があるということになる。

集ったアイデアを通読すると，設備の関係者の分は，当り前のこととも考えられ，着想の新鮮さがなく，部外の方の分は面白さはあっても，技術的な裏付けにとぼしいうらみがある。では個々のアイデアにふれよう。

×　　×　　×

中原茂氏の，太陽エネルギーの直接的な利用のアイデアは，集熱および蓄熱に技術的な問題があり，いづれもその効率がはなはだ低いことに疑問がある。それでもなお，太陽熱の直接的利用を考えなければならないケースは，建物の特殊なローカリチイのみに基くと思う。原子力以外は，石炭にしろ石油にしろ水力にしろ，われわれは一番上手な方法で蓄積された太陽エネルギーを利用しているので，この上，天日温水器的な太陽の搾取反対。しかし太陽電池のみは，半導体物質の飛躍的進歩が期待できるので，この限りではない。

赤外線の遮断を利用して，手洗いの水栓，便器のフラッシュバルブ等を作動しょうというアイデアは，先に述べたように〝必要性〟の問題であろう。すでにガレッヂの開閉，トイレットの中扉の開閉に実用されているが，それさえもコマーシャリズムの悪臭を感ずる。真に用の問題が第一義的な事柄については，足ぶみや肘おしの繰作によるメカニズムが優先しょう（熱風タオルのように）。このようにオートメーション化への多くの着想は，技術的に解決されていることであっても，社会や経済とのつながりに問題があるので，空調のオートメーション化が，きわめて遅い速度ながら，ちよっとづつ前進しているように，堅実に実現の過程をふんでゆかなければならない。

犬束徳郎氏の掃除設備の発案は，本人がフェミニストなのか，モノグサなのか，興味のあるところ。掃除用のヴアクウム・パイピングは，ひと頃病院や事務所建築にみられたのに，現在ではどういうわけか，あまり採用されていない。エアードアーにみられるように，大容量のブロアーが必要になるが，高速ダクトをもっている建物なら，夜間それを転用できるだろうし，またその容量にあわせて，建物を多くの区画に分けて

運転することも考えられる。ただし建物のパイピングは，いまの何倍も面倒になろう。ここで，電気的に集塵することにふれていられるが，空気の輪道の，どの部分に用いるのか不明であり，また電気集塵機にしか，かからないような1/10ミクロン程度の微細な塵埃は，衛生上ほとんど無害であることを附言する。一方窓ガラスの自動掃除装置の提案は，空調によりはめ殺しの窓が増えてきているだけに，重要であり，室内側はさておき，室外側には噴射水の清掃装置等がほしいところ。

上林博雄氏の量産し尿浄化そう・家庭用石油系燃料ガス・エキュプメンタルコアについての一連のアイデアは至極ごもっともというところだが，予算数十億円のビル計画に直面している建築家や，夢多き都市の未来像を追求している建築家からみると，ミロクの世界のできごとのようなものかも知れない。しかしこれ等の問題が，いま流行の組立住宅のキイ・ポイントの重要な部分を占めていることは，確かであろうし，また技術的解決の問題とともに，企業的な解決を求めているところが妙である（妙というのがいろんな意味にとれるところがミソ）。

空気調和は設備関係の中心的課題であるだけに，多くの人からアイデアをいただいた。まづ高圧空気輸送管について，吉田元七氏から提案があるが，現在も大建築では高速ダクト・システムが採用されている。一般に，高圧になれば空気を量的に輸送する上に，送風機が低効率となることは常識でわかることで，その上騒音の問題がはねかえってくる。なお近時空調において要求されるゾーニングに対しては，高圧では技術的処理がよりむつかしくなる欠点があろう。このように考えれば，パッケーヂのユニット・コンデショナーとの併用が有利になってくる。これが極端にゆけば倉石秀夫氏のノン・ダクト冷暖房方式となるわけである。

ノン・ダクト冷暖房方式としてはご存知のように，中央機械室から，冷水または温水の供給をうけて，室内のユニット・コンデショナーに用いる方式と，独立した冷凍サイクルをもつ小型のコンデショナーを用いる方式がある。後者は住宅の規模には多用されても一般建築の規模では採用しがたい。しかし冷凍サイクルが電子熱交換器にかわると，後者の方にも広い利用方法が可能になる。ただしこの場合にも冷却面が考えられれば，放熱面がそれだけ必要となるわけで，交換器全体ではエネルギーを消費しているだけ発熱の度が大きくなることを考えあわさねばならない。また冷却面にはつねに結露があることにも注意を要する。一般にノン・ダクトのシステムでは，空気の湿度調節や衛生条件の悪化に対処することがむつかしくなる。なお空気条件については後にもう一度ふれよう。

各建築の空調の問題より拡大して，地域冷暖房の問題には木村喬夫氏の提案がある。地域暖房の問題は外国には，その実例も多くみられるし，わが国においても衛生工業協会に，その特別委員会があった。これは技術的に問題はなく企業の問題であり，最大の隘路は，わが国の都市計画，およびそれにつながる公益の保護法規にあるといわれている。一方地域冷房はいまの処，不可能のよで，暖房の場合スチームでは温水になるときに，860 Kcal/Kg の熱がえられ，温水の場合でも使用状態が60°C を見込めばよいので，40°C の温度降下が見込めるのに対し，冷却水では精々 20°C の温度上昇しか見込めない。また特殊な安価な新冷媒が発明されれば，このへんの事情は変ってくるが，これも10年先のアイデアとしては頂けないだろう。

地域の空調のつぎには，当然都市全域の空調が問題となり，より拡大すれば，ソビエートにみられるような自然改造の問題となる。ここでは川上秀光氏の都市の湿度を調節するアイデアがあるが，都市の空調はいづれにせよ21～22世紀の問題となろう。すでに10年程前に，建築的夢物語として，空調された都市の建築の様相がアメリカの雑誌にあつかわれている。ここに提案された集水塔を用いて，都市の空気の脱湿を計るということは，どうも理解の範囲を逸脱しているように考えられる。一般に脱湿と冷却とは併存すべきものであって，それであってこそ，脱湿された冷い空気が，塔頂から生活圏に降下してきて，有効に都市を冷却することになろう。脱水剤による吸湿



建築界待望の新扉錠……！
ゴール ユニロック
GOAL
日本住宅公団・公営住宅御指定
シリンダーレバーハンドル錠
押ボタン式シリンダー錠
アンチ式シリンダー錠
シリンダーナイトラッチ
シリンダー抽斗錠
各種高級彫込錠
株式會社 谷山製作所
本社工場 大阪市東淀川区三津屋北通四丁目 電（301）5231－4
東京営業所 東京都港区芝浜松町四丁目 電（431）8708

は熱発生をともなうので，これも役に立たないことになる。むしろそのような高い塔から，強力なファンによって，高圧の冷い空気を直接地上に送る方が有効であろう。なお空気中の水分を水として利用するというのは，もっとも非能率な取水法であることもつけ加えたい。いづれにせよ核融合によって，必要なだけの電気エネルギーがえられ，また物に対して，人が比較にならないほど尊重される社会になるならば，都市の気候調和のメソードは何とでもあるはずである。

× × ×

アイデアとしてでなかった二三の事項についておぎなおう。まづフレツシュ・エアーの問題であるが，ヤグローが換気の指標ににおいを入れてから約10年を経てきた。次の10年に何か決定的な新鮮空気についての解明がなされないかという期待がある。すでに一般の空調システムにおいて，都市の外気の悪染は目にあまるものがあり，ダクトは外気の取入系統のみならず，供給系統においても，はなはだ不潔な状態になっていることは公然の秘密である。物理的に完全なエヤー・フィルターが採用されるだけでなく，イオン交換樹脂（すでにボイラー水等には用いられている）による不純物質の排除，また空気の衛生条件として正負イオンの調節等があげられる。もう一歩進めるとフレツシュ・エヤーの人工化というアイデアがでてくるわけで，これができれば先のダクトレスの空調も解決されよう。

つぎには熱交換に関することで，電子熱交換器は前にのべたので省き，冷媒について考えよう。現在多用されるアンモニアは，約100年の歴史をもち，フレオン系の冷媒も約50年の歴史をもっている。この10年で劃期的な高能率で，安価なものができないかということである。これができると，電力のコストダウンと相まって，広くヒート・ポンプ法が利用できることになる。すなわち，太陽熱の利用も考え直さねばならないし，また地域冷暖房の可能性もでてくることになるわけである。なお別に，冷房のためには吸水能力が大きく取扱いが簡単な新脱水剤にも，大きい期待がよせられる。

照明と音響については全然アイデアが頂けなかった。前者は当然，パネル光源の高性能のものの出現が予想される。これは輝度の連続的調節のみならず交流サイクルの変化によって色光の調節・選択が可能になろう。これ等は電子熱交換の問題と同様に，半導体物質の研究の進歩にかかっているといえよう。また衛生照明ということが考えられ，人工光線のみで，充分健康が増進できるようになるだろう。

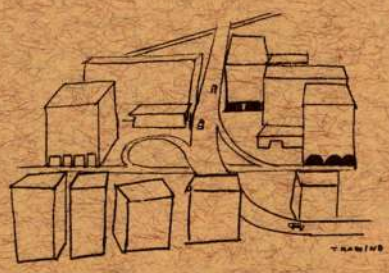
室内音響の問題は，壁面吸音特性の調節によって，室の使用目的に応じた環境をえられるようにすることが実用化されよう。外部騒音については，空調の一般化とともに，壁体（窓を含む）の遮音性の向上について考慮が払われよう。しかし都市の空気調節が問題になる以前に，騒音の発生源についての，対策が考えられることになるならばである。音の暴力については近代人が敏感なだけに，この方は案外早く実現するかも知れない。爆発しないと動かないような野蛮な乗物は都市圏から追放されてゆく。

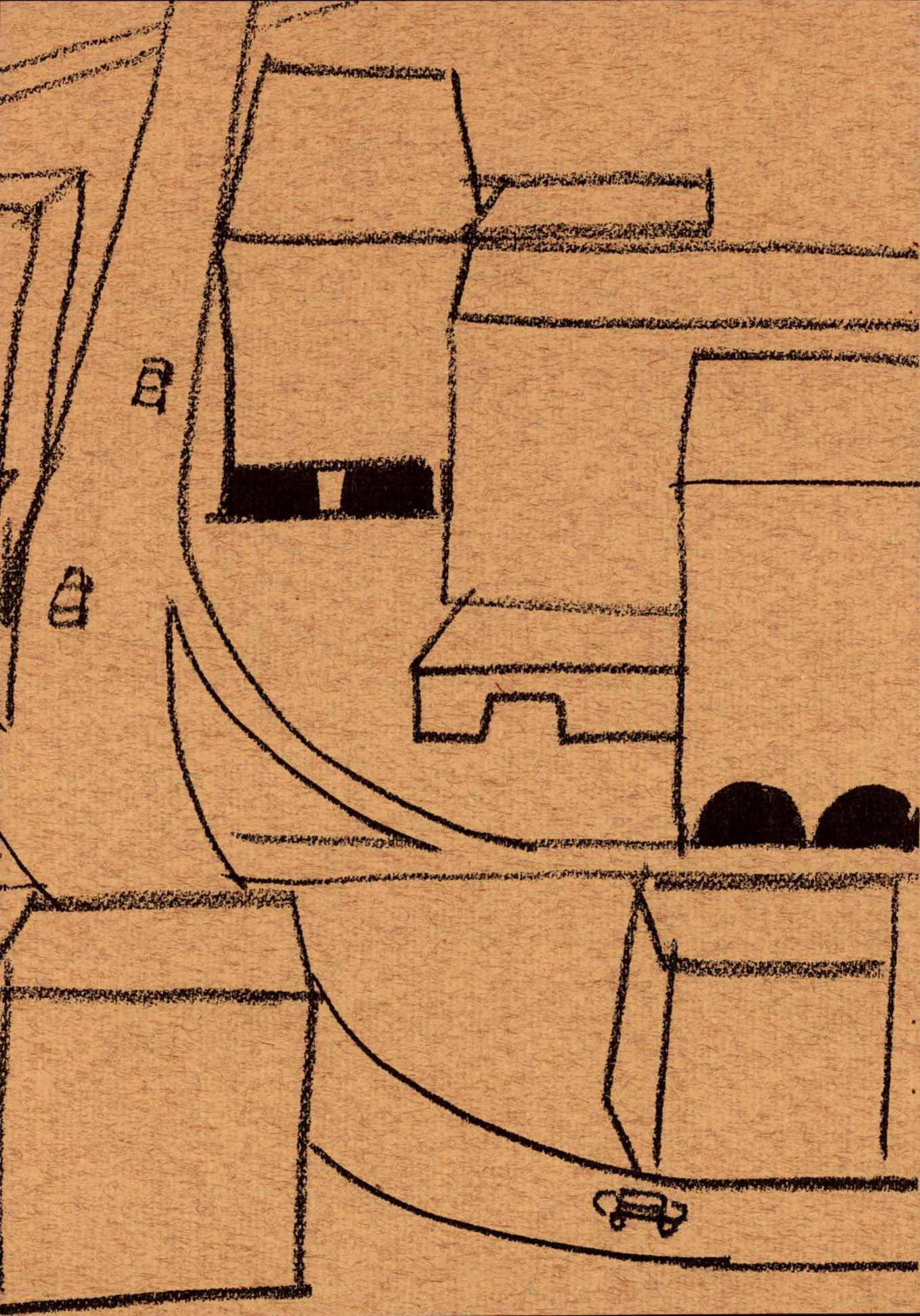
建築材料の選び方使い方の専門誌
建築技術者と材料業者の必読書
建築雑誌 材料と設計
毎月1日発行
B5 ¥150〒共
全国書店で発売
建設文化社
本社 東京都文京区小石川町1—1 電話(921)2739
支社 大阪市西区西長堀1—5 四ツ橋ビル 電話㊿9200

杭
株式会社 武智工務所
取締役社長 福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話 ㉖ 3606・4089

アイデア

第4部 都市計画





都市の低空間の再考

図師嘉彦

泥縄計画はご免こうむりたい。具体的計画は，その国情や現実的諸条件を，もっとも巧みに組入れたものであってもらいたい。むしろ，そのもつ条件の弱点を逆に生かした計画だとすばらしい。私の専門からは逃げて，専門外のことを例にとってみると，現代都市の交通難の解決など日本の現状をみると，全く泥縄で，シーソゲームを繰返えしている。無能もはなはだしい。

専門外だから気楽に勝手なことをいえるのだが，日本の都市構成と先進欧米諸国の都市構成とは，色々な面で大きな差位のあることは周知だ。なかでも，その構築物の規模と質に大きな相違がある。最近は高層建築ブームだとはいっても，それは盛り場を中心とした限られた地域に集中していて，全体としてはあいかわらず，1〜2階木造建の建物がばかばかしい拡がりをみせているのが実状だ。土地取得難などといってもせいぜい地上10mまでが満員なので，それから上部は六大都市などとといっても広莫たる原っぱみたいなものだ。弱点だが，これが日本の大都市の大きな特徴だ。これを生かして，従来とは全たく別観点に立って，新道路網を計画し，実施したらどんなものか。

新高速道路網は，地上10m以上の原野地帯に自由自在に新設する。既設道路を僅か数m拡げるにも，地下鉄1本通すにも，土地買収，地主との話合い，土地収用法の適用だ，既設物の徹去だと大変な手間がかかる。営業補償にしても馬鹿にならない。

土地収用法の改正を行なって，地上10m以上の空白地帯の一定空間の，公共使用権の取得を単純化することは，そう難しいことではないだろう。

障碍物のない広い道路を，地下に構築するより上空に構築する方が，はるかに容易だし，経済的でもある。現在家が建ち，人々が生活し，仕事をしている地上の必要区域を接収し，壊すより，上空道路の足の部分だけを接収し，壊す方がはるかに犠牲が少なく，経済的である。

10mも高い所に道路が縦横につけられては陽当りは悪くなるし，うっとうしくして仕方がないかもしれない。しかし，それはいつまでも，現都市の状態を考えているからの話であって，それ相応の，新都市の構成が形成されてゆけばよい。立体的道路網の構成を主題とした都市造型などなかなか乙なものができそうだ。

新道交法などは，交通の発達にブレーキをかけているような消極法だ。車は早く走って早く目的地に達し，目的地の至近距離で停車するのでなければ意味がない。ニューヨークなど，自家車用は市内に自由にはいって停車できない，東京もやがてそうなるだろといわれる。しかし事情は違うのだ。日本の都市はあまり高くない所に自由な広い空間をもっている。この天から与えられた空間を，都市の再建のため真剣に再考慮してみられないものだろうか。

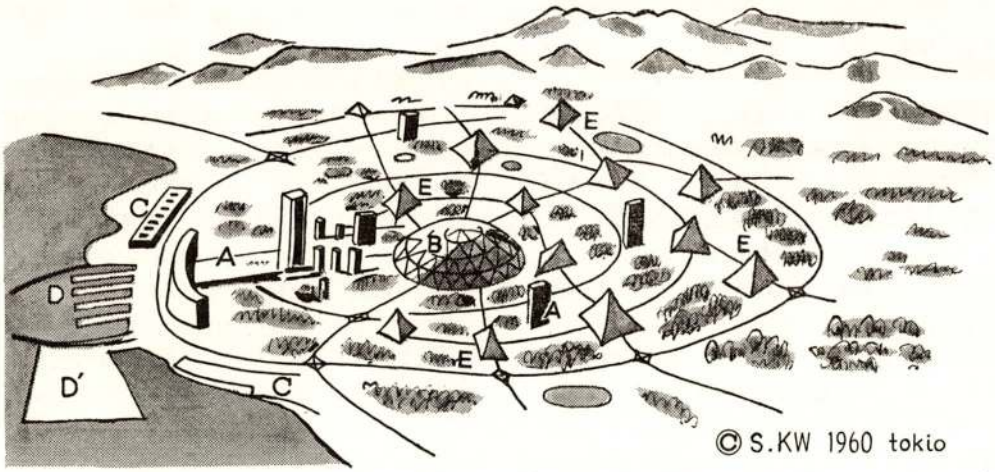


人工の山上都市

河合正一

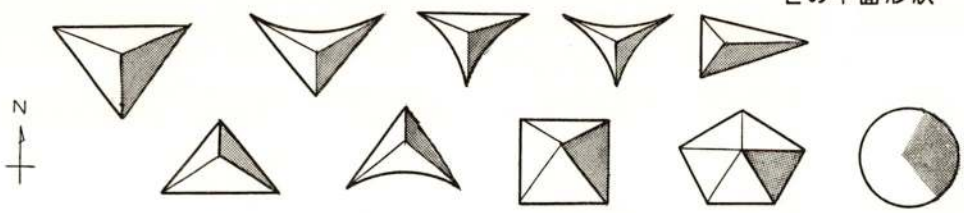
ヨーロッパにごろごろしているとき，若い邪気のない大学生から，なぜそんな，天災の危険な日本に帰って，一生暮すのか，と聞かれて弱ったことがあった。わが国の建物の特色は，その耐震性につきるであろう。そしてそれを美しく表現するとき，世界にそれを誇ることができる。現在ではまだまだ十分ではない。第一国民の大多数の人々は，耐震的な建物で保護されていない。大火は繰返され，風水害は年中行事である。都市は建設されず，人災の量が増えつつある。建築家はこれに対し，ど

河合正一氏提案の人工山上都市

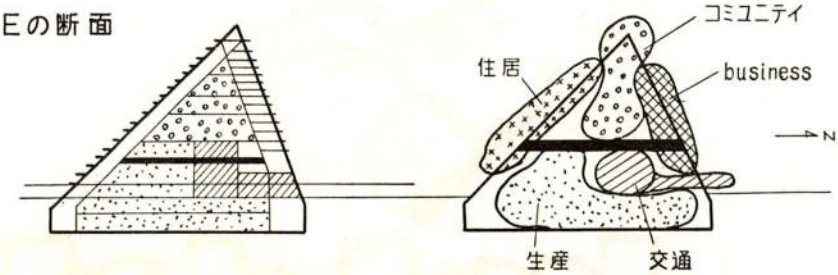


集中コロニイ：A＝シヴィック中心・B＝フラードームに蔽われた商業中心・C＝海浜工業地区・D＝海・空港・E＝人造山コロニイ

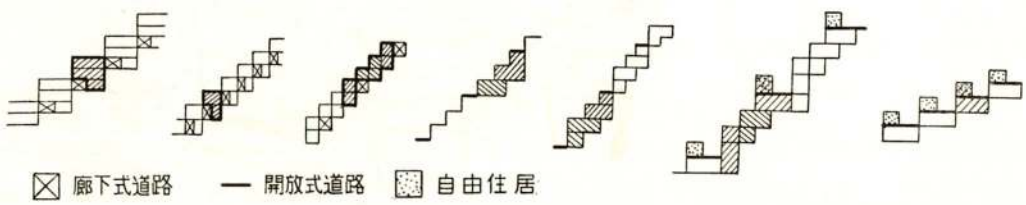
Eの平面形状



Eの断面



住居表皮層の種々



れだけ奉仕しているだろうか。私はもっと大きなスケールで，この問題と取組む必要があることを痛感した。われわれの時代の建築は過去の時代のそれのように，一軒の建物を完璧に，美しく仕上げるだけでは足らないのである。私は北イタリイの昔にみるような，人工の山上都市を造ることを提案する。山を造るのである。ダムのような，土木構造物的スケールをもつ，大きな耐震構造体を地表に載せる。そしてマカ不思議な地震動を，この構造体を通して，工学的解折のできる力のベクトルや振動に変化させ，それに見合う建物を建てるのである。山の恰好は安定した形態をもたねばならぬ。山は同時に，人間の集団生活環境の一コロニーとなる。それはある大きさのコミュニティとなろう。平面的な用途地域制ではなく住居と職場の緊結した立体的な都市ユニットとなる。山の表皮の，よいところは住居空間となり，山のなかは仕事場—コミュニティ・ユニットの生産・消費・厚生の空間が収められる。住居から，職場には垂直に降りてゆけるのである。それぞれの山は地方計画的な機能分担と生産組織をもつ。互いに高速道路によって結びつけられる。天然地表面は，農業と余暇の空間に還元される。もちろん，特殊な工業の平面的集団は，許容さるべきである。山の形にもさまざまなヴァリエーションがあろう。住居は，山の東南西を蔽う表面に，かなりコンパクトにしかし，それぞれの庭をもって，階段状に造られる。多分その1・2階はコンクリートで規格ユニットのものとなる。だが最小 100 m² は確保される。第 3 層には，好みの材料，好みの形の住居の部分建物と庭がある大きさの制限内で，自由に造られる。もちろん他方，独身者やより簡素な合理的生活を欲する家族に対しては，アパート式建物群が造られる。これは山の絶壁部にはめこまれたり，より急な階段状であったり，または踊場的高原に，地上の塔状建物のように（この場合は垂直交通シャフトの構造と関連してくる）建てられるであろう。自然気候条件の比較的悪い西・北傾斜面は，強度のエアコンを使えるオフィス等のビジネスの空間および学校が急な斜面にくみこまれる。山頂や山の内部の半分より上は厚生・娯楽・日常買物の空間で，ヘリポート，通信施設，展望台，公園等は頂に，大集会施設，劇場，映画館，体育館その他文化施設は上部に，その下にショッピングの街が設けられる。地上第 4 層は，山内を平面的に結ぶ交通の場であり，山同志を結ぶ高速道路は第 3 層に入り交通のターミナルとなる。生産工場の施設はこれより下，地下に至る空間を占める。生産手段，種別によってその規模は異なるが，原則として生産従事者は山内に住むようにする。山の規模は人口3万をいれるコロニイを最小とし，5 万，10万のユニットの 3 種類を原則とする。構造は大構造システムとし，できるだけ大きな無柱内部空間をとる。つまり山全体が立体トラス式の網目で組立てられ，必要な大空間が ポコポコ その中に 開いている 感じである。

これらの山が，大コロニーをつくって大都市圏を構成する。時間をかけて，もう少し具体化してみたいと思っている。

♥

新政治都市の建設を

北 垣 智 造

日本の敗戦は，戦力以前の「問題」，日本の「文化」の敗退であったと思う。

日本の「近代」を推進し，それを支えてきたと考え，自負もしてきた人々の，「近代化」のなかには，その本質的な人間形成という，もっとも基本的な問題であり，しかもその確立が最も困難を伴ったものである，ということを全く等閑視して，「近代文化」というものを単なる，固定化された「習得」としてのみ受け入れ，形だけの「近代」へ飛び込むことに終始していたと考える。

日本を西欧と違った，一つの文明として自覚させ，「文明としての日本」が，どこに，どう定位すべきか，という足場なり，構えを追究しょうとしなかった。

日本の文化がその「精神」という大きな基石の上で，いかに無力であり，単なる砂上のものに過ぎなかったかを，私達は身をもって体験してきたと思う。

「習得」されるものとしての日本的な方式が，すでに一度，日本を破局に導く前奏であった苦い経験を，改めて思い直してみたいと考える。

敗戦によって，日本は再びふりだしにもどり，第一歩から踏みだすことを余儀なくされたが，反面，これまでの混沌，未熟の中にあった日本の文化に，反省と自覚を与え，確固たる秩序と，基礎をもたらし，さらに飛躍するためには絶好の機会となったと思う。

それにもまして，ブラジリアほど，私をして堪能せしめるものはなかった。

その宏大な着想と，実行力は，この狭く貧しい，人口過剰の日本では想像されうべくもないが，新しく理想的に計画された政治都市を，何物にも制約されず，建設してゆくことは，未来の国の発展に重要なことだと思う。

日本の政治，文化，経済，などあらゆるものが東京，次いで大阪と，その周辺に集約され，人間も，都市も，疲労し，混乱していることは残念なことと思う。

日本も政治都市建設の構想を提案してみたら，どうであろう。場所は中原の地「信州」へ。ただしそこには過去の日本において，政治にまつわってきた寄生的なるもの，不合理を遮絶した政治都市でなければならない。

♥

呼応計画

松井昭光

1.

交通機関の発達，産業立地の整備，市街地再開発，宅地開発，福祉施設などの必要性，その他にともない，こんにちほど，建築家が「都市」というものに対して責任をもたねばならぬときはないであろう。また，個々の建物の設計や建設においても，ただそれだけに責任があるのではなく，都市に対しても責任を負うものであることはもちろんである。こうしたなかで，都市計画との関連さらに広域都市圏との関連のもとに，建築をも考えていくことが大切だといわれる。このことは，もうすでに，理念としては常識になってきている。こんにち，よくいわれるマスタープランという考え方が恐らくこれに当るであろう。

ところが，いかにして，都市を現在の困乱から救済し新しい都市改造をなしとげていくかについては，まだまだ建築界のなかでは意志の統一ができていない。いうなれば，いかなるマスタープランが，どのようにしてつくられ，いかにそれが建設されていくかについては，イメージがなさすぎるのではないか。

そこで考えられるひとつの案を提示しよう。私はそれを「呼応計画」と名づけている。

この計画の呼称は，ソヴエトが社会主義建設途上で唱えられた名称である。しかし内容において同じでない。私はこの考え方はすでに1955年頃から，いだいていたが，1960年代にいたつて，それを具体化する必要があると考えたので，ここにその概案を示すものである。くわしいことは，またあとの機会にゆずる。走り書きみたいで論理はまだ整理されていない。

2.

この計画を考えた理論的根拠ないし前提条件はつぎのとおりである。

＜第一点＞

都市計画ないし，都市建設は，綜合されたすぐれた技術であること。このことから技術とは何かを真剣に考える必要がある。技術とは，単に発明とか設計とかの静止したものでなく，社会の生産体系のなかで，あるいは流動し発展する社会のなかで，労働の生産性をになう要因として，みることが大事である。この観点にたてば，都市計画とか都市建設という場合に，労働生産性との関係をはっきりと認識していかなくてはならないのである。

これを人間の生活からみれば，人間の生活が生産と消費とで成立っていることは，だれでも知っていることであるが，この両者の媒介をするものが労働である。それが全社会的にみた場合に労働生産性となるのである。家庭（住宅）は消費と結びつき，職場（ビル・工場）は生産と結びつく。その間に交通網がはいる。またいろいろの施設がはいって，ひとつの社会的生産がおこるわけでいる。より高い社会的生産は，より高い労働生産性のあるところにある。したがって，都市計画ないし，都市建設がより高いものを望むならば，つねにこの労働生産性を向上させるものでなければならないのである。

＜第二点＞

都市には，こんにちの経済水準に応じて，様々の社会集団がすんでいる。それが，地域的にみれば，問屋街の集団であり，官公庁の集団であり，小企業の集団である。さらに，これを職業別にみれば，労組の集団であり文化人集団であり，経済者集団，あるいは，主婦の集団である。郊外から一歩農村に目を転ずれば農村にもいろいろの階層に応じて農民ないし地域住民の集団が形成されている。

これらの社会集団の意志・エネルギーが都市の活動を決定づけていることをはっきり知る必要がある。

この意味において，都市計画ないし，都市建設には，これら社会集団の協力と，その意志・エネルギーを強くとり入れていく必要がある。職業別と地域別に考えていく場合（ある場合は階層別，年代別）には，このことが必要な条件である。

もちろん，この社会集団そのものも，発展するもの，滅びゆくもの，未来のあるもの，未来のないものとがあることを考慮にいれなければならないであろう。

＜第三点＞

労働生産性の向上と，社会集団の意志・エネルギーを都市計画ないし都市建設に入れていくためには，つぎに建設技術者側の体制の問題がある。

建築設計ないし建設体制は，現在の各府県の事業体や公団，公庫などの諸事業体がより集まって行なう諸機関協議会方式（これをI.A.方式＝Inter-Agency 方式と呼ぶ）—もっとも現在はこのI.A.方式すらにも達していないかも知れない—では，各個ばらばらで予算のぶんどり合い計画の重複，計画の蔽行性はまぬがれえない。そこで少しでも，ひとつの河川の開発はひとつの問題で，考えていく方式＝one river,one problem 方式，たとえば TVA の方式などがもっと考えられてよい。

ある地域の開発には，ひとつの開発機関があって，その開発機関のもとに，住宅，下水道，道路，産業配置，港湾，尿屎，その他開発に必要な事業を統合していく。

この地域別に（その選定については大いに論じるところがあってしかるべき）ひとつの開発機関をぜひつくるべきである。広域都市計画といっても，この機関のやり方にかかっている。

建築設計事務所などの設計組織は，自分の得意とする専門に応じた仕事のある開発機関に所属する。どの開発機関に属するかは自由であるが，しかし，どの開発機関

からのプランにはずれた設計をしてはならない。

民間の企業は，それが社会の生産と住民に役立つように，その新規の活動（設備拡充）がなされる。しかし建設計画はその開発機関の許可を必要とする。

建設会社は，それぞれの開発機関に登録される。大きな綜合建設会社は当然，二つ以上の開発機関に属することができる。おそらく全国の開発機関にも登録されるだろう。小さな建設会社でも，その会社規模の拡充に応じて，ひとつの開発機関から他の大きな開発機関への登録がえ，もしくは二つ以上の登録権をもつことができる。

仕事はすべて，他の開発機関との調整によって継続を保障される。

建築労働者は，職能別に組織化され，その最新の技術にもとづいた技能の向上がはかられる。

建築資材の生産会社は，開発機関との契約のもとに，一定の生産量を持続して，部品，資材の工場生産化に力を入れられるよう保障される。

以上のことは，もっと有識者なり，経験者によって，もう少し，現実味のある方法をとられてもよい。

いずれにしても，建設体制は，労働生産性の向上と，社会集団と密接にむすびつくような組織であるとともに，独占企業のためのものでなく，広く社会のためのものであるべきである。

3.

以上の三点が，「呼応計画」の理論的根拠ないし前提条件となるものである。それでは，どういう風にその計画を進めていくのか。

＜第1段階＞

開発機関は，その地城の開発に必要なあらゆる調査をして，その資料をもとに，都市計画のマスタープラン第1案をつくる。

そして，それによって，開発機関は，建築資材会社にその計画の骨組と必要な資材の生産量を提示する。建築資材会社は生産を開始する。設計事務所は，第一案にもとづいた設計を検討する。そして本格的設計の間までに設計体制をととのえるとともに第2段階への活動にそなえる。

開発機関は建設労働者の組織化をおこなう。

＜第2段階＞

マスタープラン第1案は公示される。その地城へ。それは，単に青図だけでなしに，相当大の模型とか立体図形（組立式，開閉式）とか，あるいは映写技術の利用によるとか，パンフレットとかで，その地域の関係ある社会集団に提示して，その討論にかける。

その期間，約6カ月。

社会集団は，必ずその期間中に，そのマスタープラン第1案に対して意見をのべる。修正があれば，どんどん文書で提出する。それだけの討論は充分確保される。

この間に開発機関ならびに設計事務所の建築家や都市計画関係者は，社会にでる。その社会集団に対して技術的な説明をするとともに，自らも学ぶ。そしてさらに高度の設計技術としてとり入れていく。

また，一方，社会集団は，この地域の建設はおれたちがやるんだという建設の意欲にもえる。設計側と社会集団との結びつきは，この段階では，ひんぱんに行われる。そして，技術者は，自己の技術をもって，その住民に奉仕していく心構えができる。同時に，技術はより高度に自分のものとしていかなくてはならない。

＜第3段階＞

開発機関は，社会集団との話しあいのなかからでた意見や要求をもとにして，都市の労働生産性の向上に役立つものへと止揚して，マスタープラン第2案（実施案）をつくる。

設計事務所は，このマスタープラン実施案にもとづいて，具体的に個々の建物の実施設計にとりかかる。その場合，すでに第1段階にととのえた設計体制のもとでスピーディに設計していく。もちろんデザインは自由である。ただし，建築の資材の規格化，骨組の工場生産に合わないものは採用されない。

＜第4段階＞

設計事務所による個々の設計ができ次第，建設にとりかかる。この場合，その開発機関に登録された建設会社が優先される。しかし場合によっては，他の開発機関登録の業社にも発注されることができる。

社会集団は，たとえば，開発機関からだされたマスタープランに応じて，みずからの建設として，あらゆる面で協力する。

4.

以上の4段階で計画は完成する。

第1段階　初期マスタープラン作成時期

第2段階　社会集団に提示，建築家は社会へでる。

第3段階　本格的マスタープラン作成時期，個々の設計。

第4段階　これが文字通りの建設時代。

これが「呼応計画」の概要である。

♥

建築のイメージをささえるもの

西原清之

技術の発展をエネルギー資源の開発や，生産管理に焦点をあわせて考えてゆくと，従来の考えかたから飛躍した新らしい概念でとらえないと理解できない段階として，何か革新という断層を意識させられます。広大な石油精製所が，わづか数人の人たちで管理されていたり，小さなエレクトロ・ユニットが，オートマチックに生産されている工場から放出されてくる尨大な製品の量は，私たちの生活に輝かしき時代を約束するであろうということと，それらのものにしばられて，人間的な生活が機械化されるのではないか，というひそかな期待と，不安とを同時にいだかせるような不気味さをともなってをります。

この期待と不安の均衡関係をわづかに保っているのが現代社会であるということがいえるのではないか。技術のもっている法則性と人間のもっている生活感情を合理的に結びつける方法をみいだすことが現代に生活するものに与えられた課題であると思います。そして，それらのものに秩序を与えるものが，建築計画や都市計画に要求される新らしい意味での，技術体系のイメージであると考えます。人間の基本的な生活感情に根ざした合理的な社会構造と，ストラグルをおこすような技術の尨大な成果をまとめあげるアイデイアは，次のように分けて考えることができます。

問題 1. 交通機関の発達に対して都市が与える秩序。ヘリポートや高速道路やモノレールという施設と，給排水，電気，ガス，というような設備と，建築とが共存できるような都市形態。空間を四角に切り取ったものが，建築であるという概念から抜けだすこと，すなわち，敷地に建築が，限定されるのではなくて，土地に構築されるという考え方を根拠にして立体的な架構のなかに施設が，おのおのの技術的進歩を阻害しないで，機能を発揮しうるようなストラクチヤーをつかむこと。

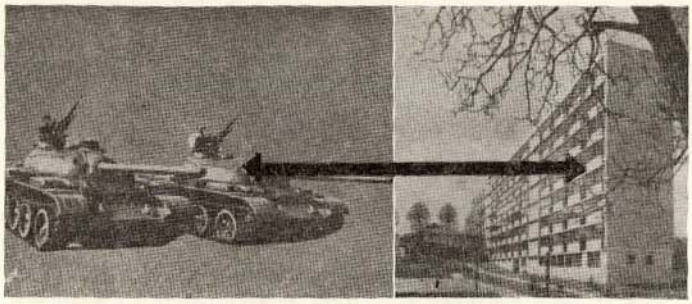
問題 2. そのようなストラクチヤーが，いかなる社会規制によって具体性をもちうるかを考えること。生産が個別的であっては，有機的なコオペレーションは望めないから，建築生産の工業化は急務であり，材料（material）が現場で加工されるような生産形態と前近代的な生産関係から脱皮して，規格生産ができるような工業化を推進させる必要がある。建築の生産構造の近代化はカーテンウオールや間仕切パネルなどの半製品工業（Components）の成長から設備ユニットという段階までの工業製品化（functional elements）が組織的かつ計画的に開発される必要があります。*1

問題 3. 戦時の社会は世界的にいって，生産の社会化や，コミュニケーションの組織化によって，促進される構造変化によって，リースマンなどが分析したように，イデオロギー的な価値基準の混乱がひきおこされてをります。たとえ偏境の地で起った現象であっても，ただちに世界共通の問題とすることができるし，またいかに先鋭的な高い水準にある技術といえども，容易に導入しうる機構になっており，技術あるいは意識の疎外関係は，資本構造によっては分裂した根なし草的繁栄を可能にしております。言語，生活様式の違いからくる思考構造の差によってさらに拍車はかけられ，世界各国の社会は各々違ったかたちではありますが，指導理念の分裂がみられます。かっての社会にゴジックがあり，ロマネスクがあったように，現代社会の法則性に対して適応した時代様式とでもいうべきイメージを発見することが必要でありましょう。

いま混乱は始まろうとしているときに，アイデイアを考えたのではもはや手おくれで，比較的近い将来を予測するとしても，都心における自動車交通の窒攣状態をみて高速道路のイメージをうかべたのでは，決定的なことは何もできません。

私はかなり悲観的であります。私たちの忠告や提案をよそに，おそらく今後10年はあいかわらず中途半端な高速道路ができて，いたづらに交通を混乱させる以外は何もできそうに思えません。部分的なアイデイアがいくつだされたところで，その総合化への道が開けていない現状主義によりかかった楽観論には，何も期待することはできないと思います。建築や都市に関する限り，何も変





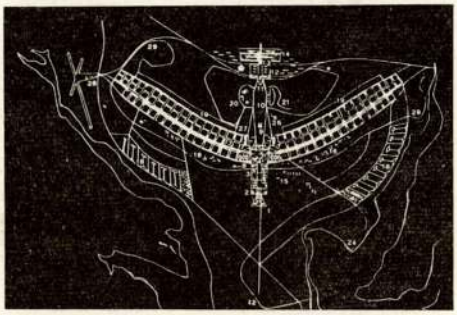
いだろうと思うのは，次の理由からです。

理　由　1．生活水準の成長率が，かなり楽観的な見通しのとおりになったとしても，10年後の国民所得は，やっと現在の西欧の水準に追いつくのが限度であるということ。したがって，どんなにすばらしいアイデアも，大衆のものとなるためにはかなりの年月がかかること。

理　由　2．建築の生産構造が工業化に対して再編成されるためには，建設機械投資と工場設備投資との，両面からの大資本を必要とするにもかかわらず，市場が安定していないため，またこのことが建設産業において，革新的な生産方法が発見される可能性をうすくし，つねに他産業の成果を吸収する立場におかれている理由にもなっていること。

理　由　3．技術的な方法論が実験室的に可能になってから，現実的になるまでにはかなりの年月が必要であるにもかかわらず，建築には技術革新をささえうるような新らしい方法を研究する機関がないこと。たとえばコンクリートに代るような軽量で，しかも耐久力のある材料の組織的開発。

新らしい時代に即応したアイデイアや，イメージは，めざましい発展をとげるという現実的な前提，または保証がないと，意味をもたなくなってきてをります。原子エネルギーのコントロールは錬金術のような，空想的アイデイアから考えだされたものではなく，核反応の理論的成果が，工業力と結びついて可能になったといえましょう。建設産業には理論的に，あるいは工業的に多くの問題を残してをります。ここには新らしいアイデイアを次から次へと大量生産することによって，解決するだろうという楽観論も，新らしい技術から人間を隔離することによって解決しょうという悲観論も，成立しないような気がいたします。いまのところ見通しはないが，最善をつくす，という倫理だけがたよりです。

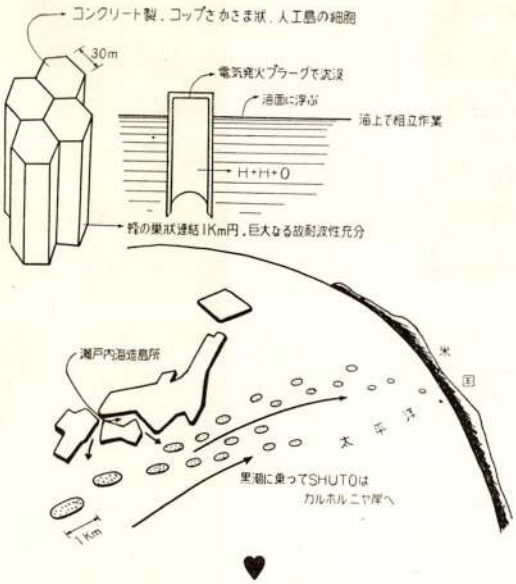


しかし私にはとっておきのアイデイアがひとつだけあります。

そのアイデイアは建築家を総理大臣にすることです。建築家は建設することが仕事でありますし，戦争は破壊をともないます。したがって世界平和はうたがいなしです。そして戦車1台の生産費でアパートが建ち，ジエット戦闘機1機の価額で住宅団地ができあがり，ミサイル1発の費用で小都市が建設できることを知ってをります。これは夢物語でも何でもなく，総選挙のときにでも実現させうることなのかもしれません。

*1 欧州生産本部研究報告第174号の分類による





SHUTO

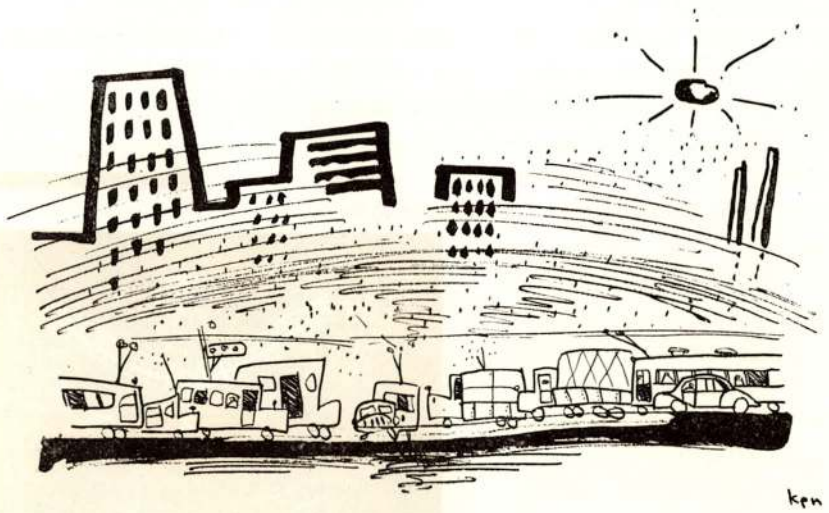
秀島　乾

これは20年前のアイデアーである。いまさらではあるが，近年例の加納構想の東京湾埋立以来，海上都市，塔状都市構想と夢物語が賑やかであるので，ごひろうにおよぶ次第。もちろん太平洋戦争中の米国をやっつける工夫のひとこま。タネをあかせばコンクリート製の人工島（これを暗号で秀，シュー島，トウと呼ぶ）これを黒潮に浮べて太平洋を横断，この人工島から米国攻撃の爆撃機を飛ばそうというこんたん。瀬戸内海を造船所と考え六角形のコップさかさ状のコンクリートブロック（一辺30M)を無数のプラントで造る。この中空部に酸素と水素をH_2O比に入れて海上に浮べ，あたかもハチの巣の加く連結して，1KM円の人工島を製作する。これがSHUTOである。引船で，瀬戸内海の造島所からでて黒潮に乗る。爆撃機はこの流れる島飛行場舞台にニューヨークへ，ワシントンへ。カルホルニヤの沿岸近くに至れば，例のコップ内の酸素と水素は，電気火花で水と化し，SHUTOは太平洋のモクズと沈没。利敵には役立なくて使命を果すといったわけである。幸い日本はコンクリート製造工場としての立地条件にある。なんとなれば河川は急かつ多雨で，砂，砂利は採りほうだい，石炭に石灰の名産地。これを軍某研究所に持ち込んだが，やんぬるかな光栄の敗戦となり果て，この迷案も今日まで日の目をみぬ次第であった。

日本のご臨床がちかずいたとき，ある人が日本の将来をこう論じた。四つの場合

万一神風で勝つとするか ① 楽に勝つ，② 苦しんで勝つ。負ける状態，③ 楽に負ける。④ 苦しんで負ける。最後の苦しんで負けるが日本民族の成長に最も幸いすると。

戦後15年日本の復興（都市）は前向きだろうか，後向きではなかろうか。戦災の都市の方がそのなかでも前向きに近い形状を示しているが，果して，その骨核や体質は健全であるであろうか。都市計画の夢がSHUTOのごとく海上や雲上に逃避して，大地に足のしっかりついた建設の方向を見失っているのではあるまいか。



まとめ

都市計画

都市計画ないし，都市建設についてのアイデアを考える場合，現実の姿を一応捨象してしまって，将来のあるべき姿を想定して，そのイメージに合う計画を考えていくやり方と，現実の矛盾を指摘し，そのなかから発展する要素をみつけだして，都市改造や都市建設をすすめていくやり方とがあると思われる。

前者を空想的だとか，後者をただの改良だとか，と考えられがちではあるが，かならずしもそうではない。われわれのこの1960年代は，両者いずれも必要としている時代である。それだけ，世界の社会体制および科学技術水準のたえざる発展のなかに生きているのであり，発展の法則性にあった将来計画は，現実性のあるものにできうる時代でもある。

前者の考え方のうちには，すでに大高正人氏や菊竹清訓氏らのいう海上都市や塔状都市の提案があげられよう。また，黒川紀章氏らの新陳代謝論やコネクター論，あるいはヒューマンタイプのパターンによる都市計画などもあげられよう。

この海上都市や塔状都市といっても，人工のスラブや垂直スラブの考え方の発展したものに基礎をもっている。ヒューマンタイプを骨格とする都市構想の考え方は，流動する都市機能と都市意識をもったものがその基礎になっている。今回の「アンケート」で示された河合正一氏の「人工の山上都市」という提案は，それらに刺戟されたものかどうかわからないが，それらと並んでなかなか面白いイメージである。しかも，その構想の前提に，わが国特有の地震に対する配慮をしたところが，ひとつの大きな特長だろう。

一方，後者（現実の矛盾のなかから都市改造を考えるやり方）のなかには，すでに現実の進展をみている都市再開発，あるいはスーパーブロックの建設といったことがあげられよう。しかし，現在の都市を混乱させているもののうち，最大のガンは交通の混乱にあることは指摘するまでもない。この交通難を救うことは，それだけではないにしても都市の混乱を救う最大の道だと考えられもする。この現実の問題に対し，図師嘉彦氏は「アンケート」のなかで，10m以上高い空間に新道路網を建設すべし，と提案されている。これは，日本の建物は，ほとんどが1階2階建で，それ以上は大空間が放置されている。この天から与えられた空間（外国よりも都市再建がしやすいという意味であろう）を道路網の整備につかって，都市再建のために利用せよというのである。さらに，この交通問題の解決だけにとまらず，住宅問題の解決，商工業の発展，土地利用の推進，産業立地の整備，福祉施設の拡充，上下水道の完備，大気汚染の処理などといった焦眉の急となっている点などを考えていくにつれ，広域圏都市計画という考え方が194年代より強くなってきたのも，当然であろう。マスタープランの重要性も叫ばれているが，これも，恐らく，そのひとつに当るであろう。

ところが，いかなる広域圏計画やマスタープランがどのようにしてつくられ，それにもとづいて，いかに都市建設がなされていくかについては，まだイメージが少なすぎる。この点で，松井昭光氏が提案している「呼応計画」という考え方は，ひとつの参考になる。この考え方は，労働生産性の向上（技術体系の問題に関連）と，社会集団の意志・エネルギーの導入，建設体制の変革を通じて，広域開発の方法を示しているところに特長があろう。

また時間の概念を導入した4次元都市の構想を考えている人もある。

これらは，先にいった「前者」＝将来の姿と，「後者」＝現実の矛盾の解決とを結びつける環であり，すくなくとも，1960年代ないし，70年代には，このことがもっとも必要とされてくるのではないか。

しかしながら，以上のことは，経済水準や科学水準の問題もさることながら，政治の問題とも結びついてくる。そういう点で，ブラジリアの新首都建設や，チャンディガール市（インド・パンジャーブ州の首都）の建設には，全世界が目をみはった。そこで，われわれも，ひとつ考えてみようじゃないか，新政治都市をつくろうぢゃないか……場所は中原の地「信州」へ……（このあいことばは，なんとこころよくひびくことか）。これは，「アンケート」での北垣智造氏の提案である。まさに，過去の日本の寄生的なるものと絶縁した政治都市……そして，そしてである。建築家を総理大臣に（西原清之氏のアイデア）……。

こうすれば，西原清之氏もいうように，建築家は建設が仕事であり，戦争は，破壊をともなうものであるから，したがって軍国主義もなくなり，世は平和建設の時代になるであろう。

かくて，建築家のアイデアないしイメージは生かされてくる……。そう願いたいものである。

その他

ピントはずれ

向井正也

皮肉ないい方をして恐縮ですが，私は，こういう風なアイデイアを，とくに建築生産面で性急に求めようとするアイデイアそのものが多少ピントはずれにみえてなりません。もちろん世はあげてアイデイア時代ですし，一方産業面にわたる技術革新の波は，いよいよすさまじい進展が予想される今日，建築生産面もいろいろの形でそのアフリをうけて，いろいろの面で画期的な改良が加えられると思いますが，そうしたものは，このような形で安易に生まれてくるものでしょうか。いわゆる「アイデイア売ります」といった風なこざかしい知慧や才覚で片ずくようなものではないと存じます。が，もしここでの「アイデイア」がそういう安っぽいものでなく，もっと高い立場での「イメージ」だとしても，そういうイメージなどというものは，大なり，小なり，荒唐無稽の夢物語や未来建築風景といった風な，いわば子供だましに類するものに終る公算が大きく，いかにも，もっともらしくみえ，すぐさま実施されそうにみえるものでも，実地との間には深いみぞが横たわるものだと思います。それでもいい，そうした夢を買いたいのだとおっしゃるのなら，それに対して一寸一言。ここでの夢というのが10年そこそこの，いわば実現可能のつよい夢というのなら，あれこれを知慧をしぼらずに，もっと手っとり早い，方法をとる方が賢明です。現在の日本にとって，10年やそこらの未来建築風景なら，何のことはない。アメリカをみればそれで結構間にあうことでしょう。ここでくわしく申し上げるまでもなく，何から何まで生活文化の全般に関してU.S.A.は，これからの日本の行く手を指し示している。そのような体勢が，ここ10年やそこらぐらいなら，かならず続くものという予測は，遺憾ながら，十分成立するからです。

何がアイデイアか

三田一男

「アイデアを求むアンケート」？まったく虫のよい話ではなかろうか？　大なり，小なりアイデア売りますでもないが，そのようなカタチをとりつつ生計を立てている私としては，残念ながらまだ慈善事業のできるほどの恒産もないし，そこまでの悟りもひらいておりません。

以上の理由により……アイデアは山ほどありますが，ただではお売りできません。

それでは答にならずP.R.のみではないかと読まれるご仁もあろうかとおもい，次の話題を提供いたします。「ペン・ハー」という映画をご覧になりましたでしょうか？その始めの頃のある場合でキリスト教が生れかかったことについての会話のなかに……サブタイトルでは……「新しい思想が生れかけたそうだが……云々」とでているのですが，役者のセリフは……

NEW IDEA云々としやべっておりました。

……

こんなアンケートの受け方は，ニューアイデアではないでしょうか？

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工

株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北㊾四一三一～四

＝特許＝
氣光式通風器 製造販売
南向式レヂスター
特許第一五一三八号
カタログ進呈
大阪市西区江戸堀下通2-17
田辺工業株式会社
電話土佐堀㊹7437—9



大阪南船場問屋街地区改造の提案

藤田邦昭

南船場地区を空からみる（上方に計画路線竣工部分がみえる。手前は御堂筋方面、左は本町線）

いわゆる船場地区とよばれる地域の南半分，そこは中小企業の問屋街である。

南久宝寺町，井池筋(どぶ池筋)に代表される，小間物，化粧品，装身具，雑貨，繊維関係等の地方向卸問屋が，ぎっしりと建てこんでいる。今回計画地の総面積は約169,900坪（内道路面積約28,200坪） 南船場全体では，さらに約100,000坪増加する。

これらの卸売問屋街の整備は，大阪の都心部改造にあたっては，まことにやっかいな地域になっている。あいも変らぬ混乱したまま，今日も街はいわゆる「にぎわい」をみせている。

この地域の改造に対する解決は，都市計画家グループの大体の意見としては，――こういった露店商の延長のような問屋街は都心部から早急に姿を消すべきであり，商品展示のための窓口だけが都心部に残されそこに設置されればいい，商品の倉庫，従業員のための住宅，製品加工場はすみやかに隣接工業地帯からはるかな郊外に移転するのが適当である。郊外地に共同の加工場，共同の従業員施設が設置されるのが，好ましい――としている。

事実世界の商業都市の発展の傾向からみても，交通の問題をも含んでこの方向に進むのは正しいことのようにも思われる。

一方，商工業従事者，大阪の経済界，経済行政部門グループの意見を求めると，これはまことに多様で，綜合した意見は求めにくいのではあるが，大体の傾向として――大阪の商業活動の中で，これら船場地区の商人の占める比率はきわめて大きい。良きにつけ悪しきにつけ，大阪の消長はこれら商人とともにあった。そこの商人の生活は船場に存するから可能なのであり，大阪の船場，日本の船場なるが故に商業活動は行なわれている。共同の作業場，共同の従業員施設は，これら中小企業グループの商業活動の根本にふれるもので実現不可能のものである。彼等の結びつきは同業者同志よりも，むしろこんにちでは，資金面を中心として大会社との系列強化が考えられる。したがって現在のまま同業～相似商業での共同した場合は混乱をまねく，各自はあくまで独立したものであることを根本として解決を求めるべきである――との意見である。

ここでこの地域において，市の都市計画実施上および現在問題になっている点をみると，将来計画のなかで一番大きい問題は，築港～深江計画線80米道路の，この船場地区通路である。大阪港と都市部を結ぶこの線は，大阪市の悲願である大阪港整備と結びついた重要幹線のひとつであり，地下鉄も併置されることになっている。しかも事業は船場地区を除いて完成に近づきつつあり，地下鉄工事も臨港地区にて既に着工されている。この計画道路に対しては業務地域を2分するものとして地元業者は困惑しているが，実現するとすれば，この計画道路の高架または地下式による地域通過を希望しており，計画当局も，用地買収の困難および地元意見の調整に苦慮し必要性は痛感しながら，道路完通の見通し



南久宝寺町問屋街



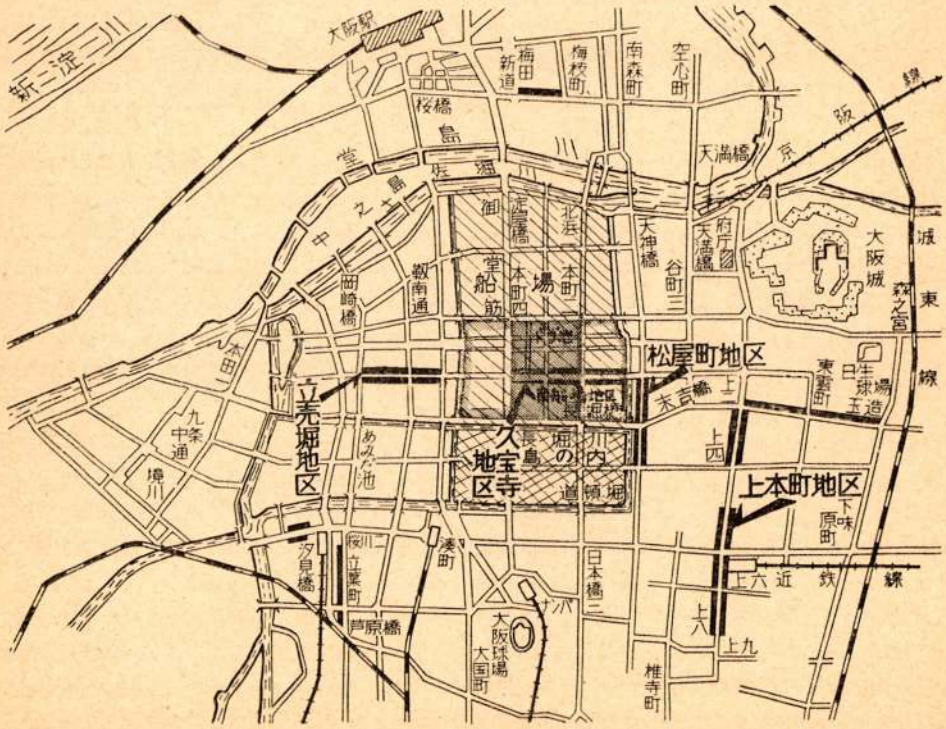
井池（どぶ池）繊維問屋街

は立たない実情にある，別に南側長堀川埋立てによる50米道路の設置および500台程度収用可能の地下モータープールの設置は近く着工されることになっている。

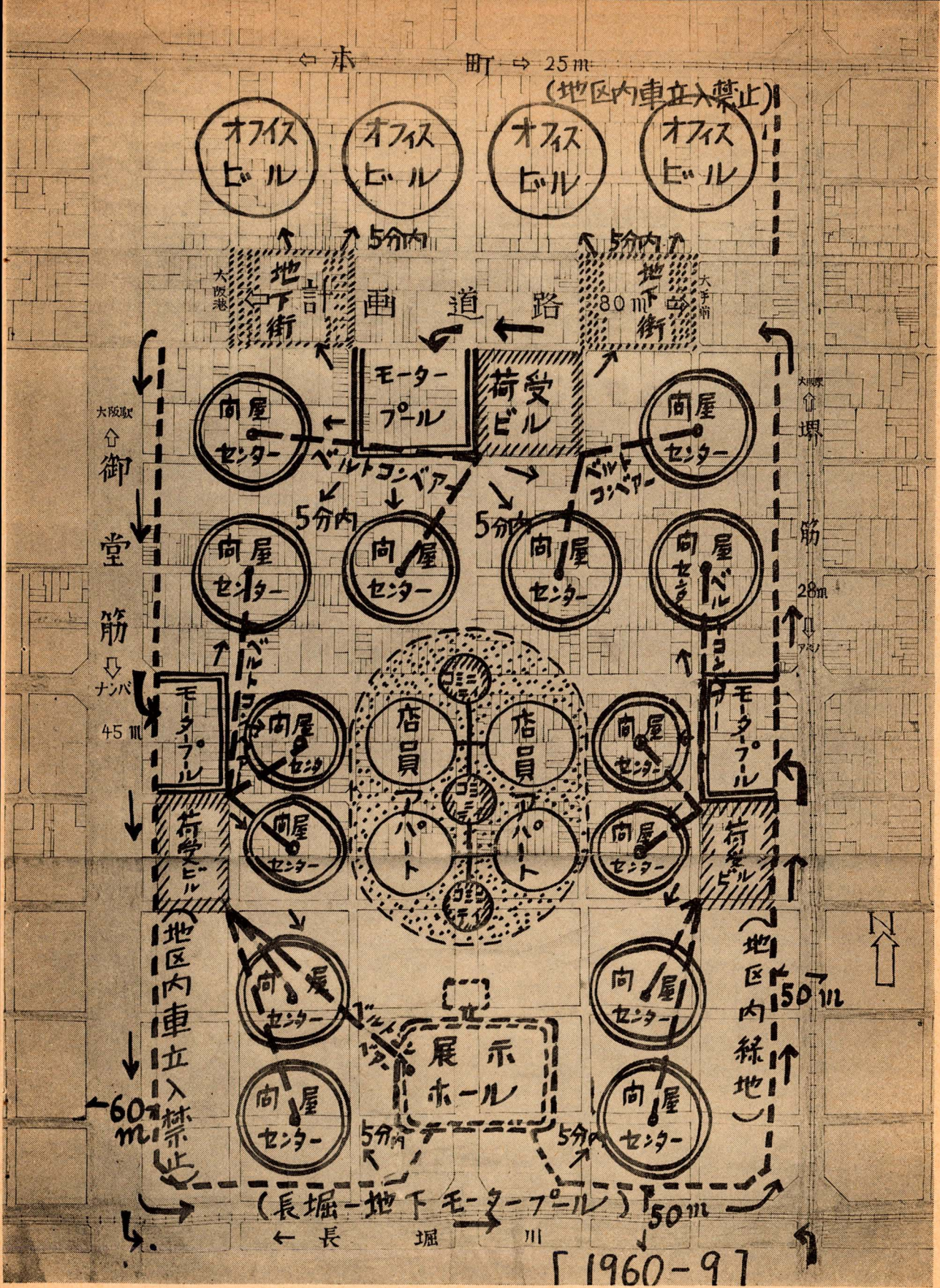
また，さしあたっての問題はあまり多いが，最大のものに交通問題がある。都心部における，通過交通は大道路の設置，バイパスの設置で解決もできるが，発生源をもつ，これら問屋街の交通は，現在商品の発送荷受が重要な仕事であり，先日の「道路を広く使う運動」も，この地域では関係者の努力にもかかわらず，実現しない現況にある地域となっており，おびただしい自転車・スクータ，さらに流行の軽貨物車から地方運搬用大型トラックまで，錯綜をきわめている。また倉庫をもった店舗も少く，これらを対象に周辺東横堀西横堀地区に大小倉庫を併設した，運送業者がならんでいる，お互にお互いがどうにもならない実情が大きな問題点である。

将来の理想像より形態上の再開発を実施して業務形態をそれに合せるアプローチをとるべきか，現在の営業形態を一応是認して，この形態にあった再開発を，形態の方で修正をしつつ，進めるべきか，大阪の問屋街の将来に革命に近い変革をもたらすだけに都市計画家〜建築家だけでは，もちろん解決しえず，いぜんこんとんとした状況がつづいている。

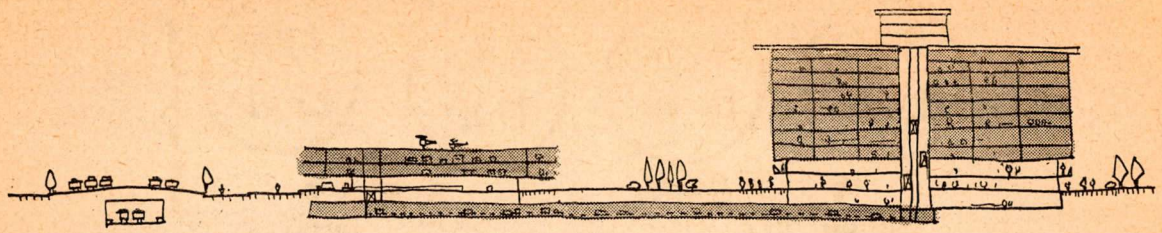
大阪ではいま，府，市，公団等計画部門，建築部門等，関係者のあいだで，都市改造計画会議が持たれ，また民間の団体として商工会議所を中心とする不燃都市建設促進協議会がある。それらのなかで都市計画家の意見と，商人連中の現場の意見の双方を勘案し，一般的な都心部問屋街改造の実現可能な理想に近い案として，①各業種，類似業種ごとに専



大阪・南船場問屋街の位置



大阪南船場問屋街地区改造の提案(1960年9月)



門商店街式のセンタービルを建設し②そのなかでセパレートされた範囲で各自が独立した業務を行ない，③展示出荷集荷荷受等は，できるだけ共同して経費をきりつめ，④従業員用の住宅も最低賃金制，週休制，退職金共同積立制等々の制度の整備と歩調をあわせ，順次共同アパートに持っていくとの，案をだしている。

以上が，ここに提案する南船場地区改造計画案の前提ないし背景である。こういった考えのなかから改造案について次の方法をとることにした。（1960年9月提案）

（1）現在の店舗，事務所はすべて土地建物とも「立体換地」の上，類似業種別に建てられた数棟のセンタービル（仮称）に統合する。現店舗を収容して余裕ができた場合は他の地域の類似業種をも吸合する。

（2）従業員用住宅（単身者）は現地居住主義をとり，整備により生みだされた地区の中心ブロックに設置する。ここには共同のレクリエーション施設を併設する。

（3）旧船場地区中を通過する80米計画路線は，これを是認し業務地域間は地下街で結ぶ。80米道路以北現本町線との間は事務所街とする。地下街には，事務所，問屋に昼間勤務する勤労者のための飲食店，ドラッグストアー，小売店を設ける。現在計画地内に点在するこれ等店舗をここに換地収容する。

（4）地域内のすべての地上交通は自転車，スクーターを含めて立入禁止区域とする。地域周辺には現況道路を含めすべて50米以上の道路で囲み，この周辺道路ぞいに荷受，発送用ビルおよびモータープールビルを設ける。荷受，発送ビルと各センタービル間は，地下ベルトコンベヤーで結び，商品発着はすべて，これを利用する。また各モータープールからセンタービルまでは徒歩5分以内で達することができる。

（5）製品加工のための作業場は，すべて隣接工業都市内に集団移転し，地域内には一切の作業場を設けない。

（6）製品等の倉庫は原則として郊外地作業場地域に設け，本地域えの持込みは最小限度とするが，荷受発送場に併設して共同倉庫をもうける。現在の運送倉庫関係業者はここに換地収容する。

（7）地域内の居住者は，従業員のうち単身者のみとし，世帯向住宅は郊外地に移す。単身者はすべて給食制をとり，その施設を共同で設ける。世帯向住宅のための学校施設，コミニテイ施設は2次的なものとしてできるだけ，地域外の施設を利用し，本地域では，とくに考慮しない。従業員のための福利施設，教育施設としてのコミニテイを設置する。

（8）立体化によって開放された地域はモータープール，緑地等都市の空間としてできるだけ開放する。とくに中心部の従業員用共同アパートの周辺はできるだけ余地をとりレクリエーション施設として開放する。

地域内全体の容積率は30％とする。

御堂筋以西の約30,000坪は地域の内容性格を異にするので，本計画からは除外した。

また堺筋以東の約70,000坪は当然本計画に含めるべきであったが，現況資料不足のため除外した。しかし堺筋線ぞいは，だいたい現況通り残し，東横堀川との間は緑地および住宅地として計画したい。

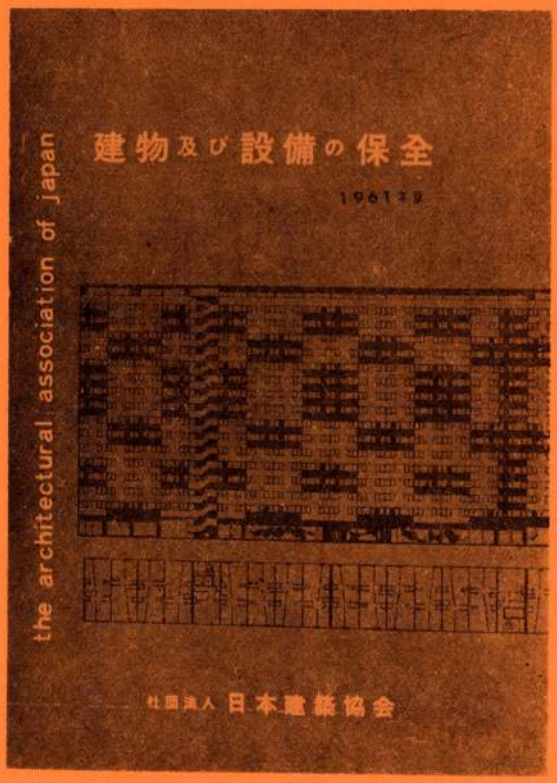
なお計画地内の家屋所有者は1,292戸であるが，家屋内で，分割，共販所が多いので店舗数については未調査である。

これの実現には，もちろん巨額の資金を必要とするが，改造後の価値，都市計画道路の完通，等々，固定資産税，営業収益税の大巾増加が考えられ，きわめて短期間に事業実施者側，商人側両方に償却が可能である。施行はすべて公共団体が行なうものが適当であろう。

実施の際の問題点として考えられる仮営業については，隣接地の築港深江80米道路の完了地域の一時使用が考えられ，また現在地域内で商人がフル利用している土地，建物等の抵当，根抵当としての価値を，再開発後いかに扱うかは，今後の研究課題であるが，全地域について「地区財団」といったようなものを法律化し，その範囲内で，自己の持分を現在よりすぐれた内容として，営業上の物権に利用することを可能としたい。

中小企業の問屋街を内容構造ともに脱皮近代化して，ここに商人の街大阪に，より繁栄をもたらすために具体的に代表的な問屋街をとりあげ，この南船場地区改造計画案を提案する。

（筆者　日本住宅公団大阪支所計画部）



目　次

第1章　清掃器材
第2章　室内仕上材の手入法
第3章　建具の保全
第4章　屋根の保全
第5章　外装の保全
第6章　木造建物の保全
第7章　便所衛生施設の保全
第8章　電気器具及および電気系統の保全
第9章　消火装置の管理
第10章　給水給湯設備の保全
第11章　厨房設備の保全
第12章　ガス設備の保全
第13章　暖冷房の管理
第14章　エレベータの管理

定　価／150円
会員特価／130円
送料　25円
A5判　90頁

改訂版担当者
大井弘治郎
(本会出版委員
大井建築士事務所長)

推薦のことば

「ビルの維持管理」の著者
本会理事
(株)鴻池組勤務
前近畿地建営繕部長
小林清周

最近ビルの清掃業者が急激に増加し，大阪だけでも数百軒にのぼるといわれているが，この方々から「施主が清掃だけでなく，修理もやってくれなくては困るといわれるので，今度工作部門を持つようになりました……」と挨拶されることがしばしばある。このことは米国式の「カストディアルーサービス」への移行の第一歩とも見られるが，いづれにしてもビルには保全管理が重要であることを示すものであろう。

一方，施主やビル管理者が，近来管理費や修繕費に対する認識を深め，直接設計にも種々注文をつけてくるようになってきた。

このようにビルの維持管理に対する関心が各方面に盛り上ってきたことは，「ビルブーム」という経済的事実が否応なしに，その必要性を認識させてきたものであるが，これに率先して対応すべき建築界の研究態勢が果して充分に整っているであろうか。

元来，維持管理に必要な研究は，まことに地味であるために，比較的重く見られず，組織もできていないのが実情で，この「ビルブーム」に対し研究の足りない部門が多く，ビル管理者が自ら苦心をしてデーターを揃えている状態である。

このように建築界の一般的態勢が極めて低調であったにもかかわらず，日本建築協会はすでに7年以前に，この問題を取上げ，出版等によって啓蒙に努められてきたことは，先覚者として高く評価されねばならない。ことに構造，設備等に飛躍的発展をとげつつあるビル界に順応して，今般本書の改訂版を上梓して頂けることは，同方面の関係者としてもまことに有難いことである。

■左官工事は建物の最終的な仕上の一要素として重要であり，それに関係する技術者にとってこの図書は重要な指針の役目を果します。

執筆者
洋壁　谷口尚武（大林組工務部次長）
日本壁　山田幸一（大阪市大講師）

本文　101頁
標準仕様書　53頁
定価　180円
会員特価　150円
送料　30円



―― 目　次 ――

第1部　洋　壁・・・・・

第1章　左官材料
品質と分類／左官用セメントの選び方／石灰プラスターの品質規格／左官用の砂パーライトと左官工事／左官材料の品質確保対策／材料貯蔵上の注意

第2章　塗下地
左官下地設計の要点／下地検査／ラスおよび木毛板の継手／異種下地の接続部／石膏ボード下地

第3章　石膏プラスター塗
石膏プラスターとドロマイトプラスターとの比較／石膏プラスターの品種／下地こすりの材料と工法／石灰クリームの代用品／塗層の乾燥時間／石膏プラスター塗天井の施工法／施工監理の要点

第4章　ドロマイトプラスター塗
品種と特性／セメント混入限度／乾燥時間／ふけの原因と対策／施工監理の要点

第5章　しっくい塗
特性および適用個所／原料とその簡易試験法／のりの濃度／各塗層調合の原則／乾燥時間／漆喰塗天井の施工／漆喰塗面の黄変／施工監理の要点

第6章　モルタル塗
各塗層の調合と乾燥／ペンキ下地のモルタル塗／色モルタルの褪色／エフロレッセンスの防止法／凍害とその防止／セメントガン工法／セメント混和物／人造石塗とテラゾー現場塗

第7章　施工上の一般問題点
左官施工時の養生／適正工期確保対策／金属型枠を用いたコンクリート面の左官施工／螢光灯照明と塗壁施工／左官工事の機械化／下げ苧の問題点／パーライト使用時の配合比

第8章　塗壁の故障と対策
地図状亀裂／網状亀裂／毛状亀裂／構造的亀裂／剝落／不硬化／ふけ／汚染／斑／凍害／白華／色斑／かび斑／硝化

第2部　日本壁・・・・

第1章　下地の種類と性質
木舞下地／木摺下地／ラスボード下地／その他の下地

第2章　下塗から中塗までの材料と施工
中塗までの施工と注意事項／荒壁土と中塗土および苆／チリ廻りと貫伏せ／木摺・ボード下地などを用いた場合の注意

第3章　上塗
土物砂壁／砂壁／大津壁／漆喰壁／繊維壁

第4章　日本壁におこりやすい欠陥とその防止方法
亀裂／黄斑と軟化現象／凍害／塗替に関する注意事項

第5章　左官工事の見積についての一試案

第3部　資　料・・・・・
左官工事用材料
規格と標準仕様書

'61 日本建築協會／出版企画図書一覧

鉄骨コンクリート構造設計実例集

昭和35年6月に好評裡に絶版となった「鉄骨構造計算と実例」の姉妹図書として，昭和35年春より企画に着手した。内容は著名な高層ビルを対象にその計算書と図面を集録して構造設計者の座右の書として価値あるものとし編集にも新しいアイディアを盛り込むことになっている。

本の型

実例図面 B4型（257×364m/m）
計算書 B5判（182×257m/m）
表紙 上質クロース（文字箔押し）紙カバー付

掲載の建物

新大阪ビルディング
構造設計 村野，森建築事務所
関電ビルディング
構造設計 株式会社竹中工務店
阪神ビルディング
構造設計 株式会社大林組
千代田生命ビルディング
構造設計 大成建設株式会社
輸出繊維会館
構造設計株式会社大阪建築事務所
大阪国際貿易センター
構造設計 日建設計工務株式会社
大阪東映会館
構造設計 清水建設株式会社

出版小委員会委員 ＜50音順＞

主査 石崎 澄雄 ＜京都大学＞
委員 芦田 弥直 ＜大成建設＞
木田 幸夫 ＜大林組＞
°倉石 秀夫 ＜竹中工務店＞
長田 正雄 ＜大阪建築事務所＞
前川 陽一 ＜村野森建築事務所＞
°宮川 達郎 ＜日建設計工務＞
°力武 利夫 ＜清水建設＞

°印 幹事

建築技術者のための 空気調和設備

改訂版のねらい・・・建築企画者（理念の整理に），建築設備担当者（実務的なデータの理解に），設備業者（入門書に）以上の対象者を統一した内容とし，初版に対する注文，意見，希望を盛り込み大々的な改訂増補をおこない，実例を多く挿入することになった。

執筆者

第1章 **空気調和の基礎科学**
前田 敏男＜京都大学＞
第2章 **暖冷房の熱負荷**
三村 胖＜須賀工業＞
吉川 照夫＜大阪電気暖房＞
第3章 **暖房**
三村 胖
第4章 **送排気および除塵**
上西 圭治＜建材社＞
第5章 **空気調和**
柴田 文三＜高砂熱学＞
上西 圭治＜建材社＞
吉川 照夫＜大阪電気暖房＞
第6章 **自動制御**
山武計器
第7章 **騒音と振動**
前川 純一＜神戸大学＞
第8章 **建築設備室**
高橋 誠義＜大林組＞
第9章 **建築設備費用の分析**
石黒 次郎＜竹中工務店＞

編集幹事会 ＜50音順＞

主査 前田 敏男 （京都大学）
幹事 高橋 誠義 （大林組）
前川 純一 （神戸大学）
三村 胖 （須賀工業）
吉川 照夫 （大阪電気暖房商会）
田本 栄一 （高砂熱学工業）
浜田 栄一 （建材社）

建築技術者のための 給排水衛生設備

企画に際して・・・空気調和設備図書の対象者と同一として，建築技術と設備との関連性についての理解，認識を深める。既刊のこの種図書とは違った内容とし，実例（写真，データなど）を豊富に挿入して実務的な表現，読みやすい，理解しやすい記述など，編集に意をもちいることにした。

内容

第1章 **衛生設備原論**
第2章 **水源**
第3章 **配管とポンプ**
第4章 **給水設備**
第5章 **給湯設備**
第6章 **排水通気設備**
第7章 **衛生器具及び附属品**
第8章 **し尿浄化設備**
第9章 **消火設備**
第10章 **サービス設備**
第11章 **排気設備**
第12章 **電動機・操作盤**
第13章 **材料の腐蝕と対策**
第14章 **給排水設備の管理・保守**

編集委員会委員 ＜50音順＞

主査 田中良太郎 （大阪市立大学）
委員 門山 哲也 （森井電業）
河津 隆之 （斉久工業）
谷川 丈夫 （西原衛生）
玉田 健 （竹中工務店）
知貝 義夫 （斎藤省三商店）
富吉志乃武 （日建設計）
樋口 成弘 （大林組）
福山 竜雄 （大阪建物）
本田 知之 （大阪電気暖房）
三村 胖 （須賀工業）
米屋喜三松 （三機工業）
渡辺 道輝 （渡辺事務所）

'61 日本建築協會／出版企画図書一覧

鉄筋コンクリート施工指針

1961年度版

執筆者

第1章　益尾　辰雄 <都島工高>
第2章　奥島　正一 <大阪大学>
第3章　谷口　尚武 <大林組>
第4章　大沢徳吾郎 <鹿島建設>
　　近藤　芳美 <清水建設>
　　百々　稔 <大成建設>
　　笠原　正幸 <竹中工務店>
　　菅田　豊重 <大林組>
第5章　六車　熙 <京都大学>
　　近藤　芳美 <清水建設>
　　高林　利秋 <吉野理化>
　　中川　中夫 <大成建設>

第1章　材　料

セメント／骨材／コンクリート混和物／混和水／鉄筋

第2章　試験法

セメント／骨材／鉄筋

第3章　調　合

普通コンクリートの調合／特殊コンクリートの調合／調合の計算例／調合の管理

第4章　工　法

材料の貯蔵／材料の計量／コンクリート混練機械器具と混練計画／コンクリート調合の現場調整／練り方／型わく工事／鉄筋工事／運搬／打込み／振動打／養生／レデミクストコンクリート／軽量コンクリート

第5章　特殊コンクリート工法

プレストレストコンクリート／プレパクトコンクリート／真空コンクリート工法／ティルトアップ工法

編集委員会委員　<50音順>

主　査　奥島　正一　(大阪大学)
委　員　笠原　正幸　(竹中工務店)
　　金子　豊　(清水建設)
　　河原　菊夫　(鹿島建設)
　　菅田　豊重　(大林組)
　　谷口　尚武　(大林組)
　　百々　稔　(大成建設)

新しい建築材料資料　第2集　建築用加工板

新しい建築材料第2集として，市場に在る建築用加工板のあらゆる商品を集録して，建築技術者に設計，施工の際商品の撰択，購入その他の利便に直接供するよう，編集その他に研究を重ねている。

内　容

概説　製造工程：JIS規格：その他の規格：施工法：
セメントボード／木毛板／合板／軟質繊維板／硬質繊維板／石膏ボード／合成樹脂板／ロックウール／アルミニウム／硝子繊維／その他

商品名一覧（約1000商品）
商品名／製造会社名／材質及び表裏面仕上り／使用個所／吸音性／断熱性／耐火防火指定等級／基準法材料指定／耐水及び耐湿性／耐候性／取付方法／塗装方法／製造定尺／最終単価

製造会社名一覧（約200社）
会社名／本社・支店・営業所・所在地／電話

販売店名一覧（約700社）
会社名／所在地／電話

商品名／製造会社名／販売店／用途別商品名：索引

資　料（広告）

新しい建築材料
資料作成小委員会　(50音順)

主　査　矢野　豊作　(藤木工務店)
委　員　岩本　尚三　(大阪市)
　　喜多　聖泰　(大日本土木)
　　坂内　幾男　(坂内事務所)
　　鈴木　洋也　(東畑事務所)
　　平田　泰次　(大成建設)
　　広瀬　修三　(小笠原事務所)
　　宮本　幸一　(大成建設)
　　山本　茂　(大日本土木)

内壁の仕上

「床の仕上」に引続いた，仕上材料についての，実務家向きの好図書。現在編集中。

執筆者　(50音順)

伊藤　幸一（清水建設）
大井弘治郎（大井事務所）
北山二十三（竹中工務店）
小泉　勝也（大成建設）
斎藤　四郎（内外木材）
後川　春雄（大阪事務所）
谷口　尚武（大林組）
豊田　三郎（塗料工業会）
山田　幸一（大阪市大）

建築基準法並に関係法規一覧

特殊建築物との対象を主にした関係法令の一覧表として実務に参考となるよう初版（昭和26年）を基礎に，建築に関係のある最も新しい法律・規則・政令・各地方の条令をも掲載する。

内容／建築物及び工作物に関する法規一覧表／特殊建築物に関する法規一覧表

執筆者

西島　勇（大阪建築事務所）

▶各図書は編集の進行につれて詳細をお知らせいたします。

▶本会で出版の図書は，会員には特価でお頒ちします。

異人館

鹿児島市

所　在　鹿児島市吉野町磯
工　期　起工　不明
　　竣工　慶応3年3月
設計者　英人技師　詳細不明
構造規模　間口60尺1寸，奥行60尺1寸，2階建，建坪104.06坪，延208.12坪，屋根四注造瓦葺，小屋組和小屋

沿　革

幕末，薩摩藩は他藩に率先して西欧文明の輸入に努め，近代的産業の興隆を図ったが，その一環として島津斉彬は田上村と永吉村に水車館を設け，木綿紡績業を起した。紡績工場をさらに近代化する計画は斉彬の死後も継承せられ，ついに磯に紡績工場を設立する運びになった。すなわち慶応元年留学生として薩摩藩より新納久修，五代友厚が渡英することになったので，藩ではこの二人に英国において紡績機械を購入することを命じた。二人は渡英するやマンチェスターのプラット兄弟から開棉機その他の機械を購入した。このため機械の据付け操業などの指導のため英国から技師が鹿児島に来ることになり，慶応2年11月頃，司長イー・ホーム，シリングフォード，サッチクリフ，ハリソンなどの技師が到着，同月勝手方御用人松岡政人，作業奉行折田年秀の監督の下に，磯に工場の建築が着工され，翌3年1月には工務長ジョン・テットロウほか技師2名が機械とともに到着，同年5月工場本館が完成して操業を開始するに至った。これがわが国における近代紡績工場のはじめである。

さて薩摩藩では，このようにして英人技師を招き紡績工場の設置に成功したが，これら英人のための宿舎を建設する必要にせまられた。これよりさき文久2年には生麦事件，3年には薩英戦争があり，英国と薩摩藩との間に紛争が起っているため英国人が薩摩を殺伐な，野蛮国であるとして恐れたのは無理もないことであった。そのためプラット会社では技師を派遣するにあたり，生命の保証を強く要望したので，藩では英人のため工場内外で常に護衛をつけるなど十分の注意をはらった。英人のためにわざわざ宿舎を建設することになったのも彼等を歓待し，工場建設の順調な進行を念願するからにほかならなかった。

宿舎は工場の西に接して設けられ，白ペンキ塗，木造2階建西洋館で，工場の本館落成に先立つこと2カ月の慶応3年3月に完成した。ここに英人技師7名が住むことになったわけだが，当時としてまったくモダーンな西洋建築が世の注目をあび，話題をまいたことはいうまでも



第1図　竣工当時の異人館（尚古集成館所蔵）

第2図　全　　景





第3図　玄　　関

第4図　1階廻廊

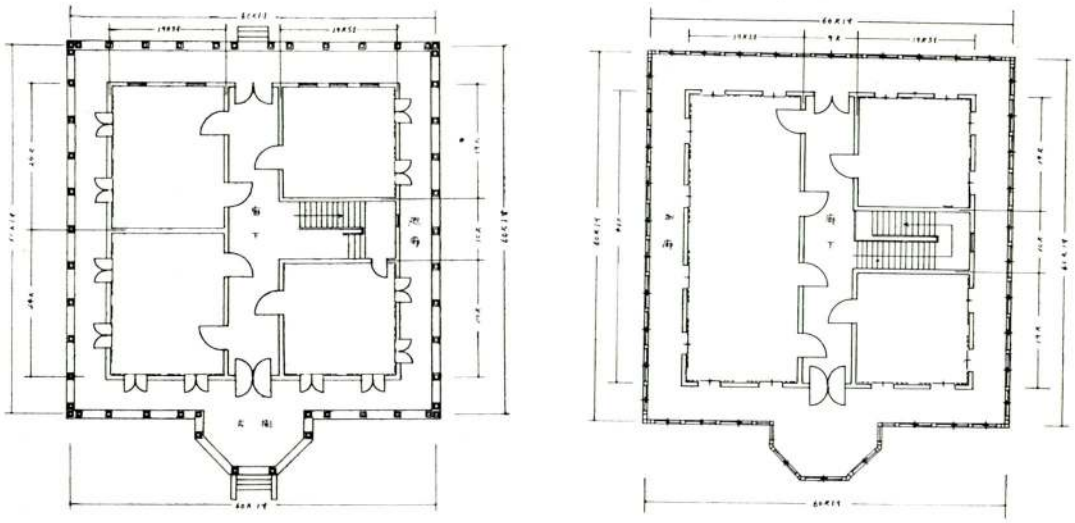


ない。英人技師の住宅であるため技師店館と呼ばれたが，いつの間にか異人館の通称をもって呼ばれるようになった。当初英人技師の雇入期間は2ケ年間であったが，後に3カ年に延期された。しかし，時あたかも維新の改変に遭遇し，国内が動揺したことと薩摩藩でも国事多難のため紡績事業を顧る暇がなかった。これらの事情から英人は不安を感じて1カ年で帰国してしまった。紡績工場のために外人技師がその後において異人館がどのように使用されたかは詳らかでない。記録に残るところで次に異人館の名が出てくるのは明治5年の明治天皇の行幸である。すなわち明治天皇は明治5年6月22日から7月2日まで鹿児島に行幸され，その間6月24日磯の紡績工場を視察された。その際異人館で休息され，中食をとられたのであった。現在磯鉄道踏切と国道とに近く，明治天皇駐蹕跡記念碑が建っているが，この地点は異人館敷地の東南隅に当るところである。

明治17年鶴丸城跡に中学造士館が設けられることになったが，この際異人館は磯から鶴丸城跡に移建された。造士館がのちに第七高等学校造士館と変ってからも同建物は七高本館として職員室，事務室などとして長く使用されたが，昭和11年その建物の価値が再認識されて再び磯の旧地点に移転され，明治天皇行幸記念館として鹿児島市の管理するところとなった。第二次大戦にも無事戦災を免かれたこの建物は，終戦後進駐軍の接収するところとなり，進駐軍宿舎として使用されたが，昭和26年秋には返還され，いま鹿児島市管理のもとに異人館として保護の手が加えられている。現在は本館は何等使用されておらず，管理人が別棟にあって管理している。なお昭和34年2月25日国の重要文化財の指定をうけた。

概　況

木造2階建，白ペンキ塗の西洋館



第5図 異 人 館 プ ラ ン

で英人の設計になるもので，わが国における西洋建築の初期のものである。構造は間口，奥行とも60尺1寸ずつの正方形で，正面玄関とその階上とがつき出ているところにまず特色がある。また，1，2階とも囲りは廻廊（幅6尺5分）であり1階はアーケード式廻廊でその床は石畳であるところにも特色がある。2階の廻廊の窓は現在四周共全部引違ガラス窓となっているが，竣工当時の写真（第1図）から見ると，窓建具はあとからとりつけたものらしい。部屋割りは1階は玄関から入って正面中央に廊下が通じ，左右に2室ずつ合計4室と，小さな物置が1室，各室の扉は廻廊側は二重となっていて外側は鎧戸両開き，内側は両引戸，中央廊下側の扉は片開き，2階にも同様に廊下があり左側は大きな1室，右側は2室に分れている。2階各室の扉は，廻廊側は両引戸，中央廊下側は1階同様片開き，七高時代はこれを1階は庶務室，会計課，教務室，応接室，2階は校長室，教員室，会議室として使用した。これらの部屋の区切りは異人館建築当時のままであるといわれる。戦後進駐軍の宿舎として使用され一部はベニヤ板の壁をもって間仕切りされたが，これは簡単に撤去できるものである。この建物の用材は良質であり，極めて安定感のある堅牢な建物である。鹿児島市に移管されてから，ペンキの塗替えなどの補修工事を行なったため，現在の保存状態は比較的良好であるが，進駐軍使用後内部荒廃のままなので目下修理費を国に申請中，近々修理予定とのことである。なおこの建物の設計はすべて英人の手になったため，呎，吋の単位が採用されている。このため尺，間単位の日本の用材では，補修などのとき思わぬ不都合が生じがちであったといわれている。

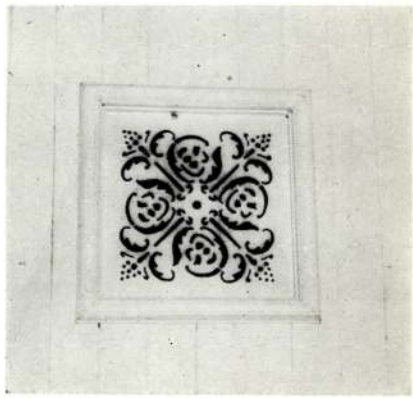
なおこの建物には，炊事場，便所などもないが，異人館の裏に二棟の家があり，その裏にさらに乗馬小屋があったといわれている。したがって，炊事など一切，別棟で行なっていたものと思われる。また当時における異人館の総敷地は699.58坪であった。現在の敷地面積は295.7坪である。

（鹿児島大・**大石　健次記**）



第6図 階　　段

第7図 天井空気抜



参考文献

(1) 薩藩の文化　鹿児島市　昭和10年
(2) 鹿児島県史　第3巻　鹿児島県　昭和16年
(3) 鹿児島県文化財調査報告書　第2輯　鹿児島県教育委員会　昭和29年
(4) 日本建築技術史　村松貞次郎　昭和34年

建築教育のこと

葛 西 重 男

大都市への人口集中は，近年ますますさかんになるばかりである。そのため，東京はすでに交通地獄を生じ，ニッチもサッチも動きがとれない状況であって，都心部では車に乗るよりも歩いた方が速いという現象を呈している。立体都市，高架道路も考えられているが，何のためにそんなことをしなければならないのか。要するに人口が多すぎるからである。しかも，政治的にも，社会的にもそうした傾向をますます助長するような政策をとっているのである。そのひとつに学校行政があろう。学校の都市集中ということが，都市の人口増加に，一層拍車をかけているのではなかろうか。地方におれば，それがよく分るのである。少し成績がよく学資に恵まれたもの，否，恵まれていないものまで苦労して中央の大学への進学を第一目標にするのである。かくして大都市に集結した学生はどうか，生活の環境に不満を持ち，学生らしからざる享楽へ足を踏み込み，学資に困ってアルバイトするのはまだしも，中には悪の道へ入ったり，危険な思想のとりことなり，学生らしからざる政治運動にまで走る結果となっているのではあるまいか。

いまの日本の社会は，あまりに中央集権的である。学校にしても，所謂優良校というものが，中央に集中しすぎている。優秀な教授を集め，恵まれた研究費（比較的）であれば自然よい研究のできるのは，当然で同じ大学といいながら，地方大学の一学科の予算は，旧制大学の一講座の予算にもおよばないという不合理は一体どこからくるのであろうか。教官定員においても，まるで比較にならない。これらの悪条件は，ますます学校差を作る原因であることはいうまでもない。そのために地方の大学は研究が低調になるのは当然であり，優秀な教官は地方へでてることをいとい，かくして同じ卒業するならよい学校という青年の希望も，あながち無理ではないのである。しかしこの傾向は決して歓迎すべきものではなく，否むしろ青年のために将来の日本のために悲しむべきことだと思う。問題を建築教育というせまい範囲にしぼってみよう。建築の教育は大建築の最も集中する大都市が教育の場としてもっとも適当と考える一面の理由はある。しかしそれが全部ではない。青年の体位向上，生活のゆとりからいえば，それは反対である。私の主張からすれば，学園はすべからく静かな環境にあるべきだと思う。大都市の狂騒のなかで勉学することは，あまり神経的に疲れすぎるであろうし，学問研究をする前に社会のどぎつい感化を受けやすい。ことに20才前後の年令というものはもっとも動き易い不安定な情況にあるのである。現代の学生が社会にでて往々欠点として批判される点は，困難をいとい，またそれにくじけ易いということ，概して打算的だということなどである。こういう点はむしろ地方の学生の方が純であり，耐久性があると自負している。

以上のような理由で地方に優秀な学校を作るということは決して我田引水ではないと思う。下の表をみていただきたい。いかに教育の場というものが，偏在であり，そのために人口の大都市への流れを助長するかそして予算と陣容の上に新制と旧制の間に，いかに大きな格差があるかをよく理解していただきたいのである。

（筆者 広島大学教授）

地方別大学建築学生数および関係建築状態との比率

地方別	学生定員 官立	公立	私立	計	人口（千人）30.10.1	着工建築量 昭和30年（千坪）	昭和33年（千坪）	1級建築士人員（34.12）	登録業者数 昭33.12. 大臣登録	知事登録	計	学生定員に対する比率 人口百万人に対し（人）	33年工事量10万坪に対し（人）	1級建築士千人に対し（人）	登録業者千に対し（人）
北海道	33	0	0	33	4,773	482	602	1,350	35	3,999	4,034	6.9	5.5	24.4	8.2
東北	33	0	0	33	10,334	726	1,026	1,709	154	5,636	5,790	3.2	3.3	19.3	5.7
関東	160	20	900	1,080	20,649	2,649	3,656	11,133	1,255	13,250	14,505	52.3	29.5	97.2	74.3
中部	75	0	50	125	17,532	2,192	2,677	3,950	372	9,999	10,371	7.2	4.6	31.7	12.1
近畿	108	25	160	293	12,811	1,627	2,322	5,913	453	12,318	12,771	20.3	12.6	49.5	23.0
中国	20	0	0	20	6,992	770	837	2,207	195	5,159	5,354	2.8 (1.8)	2.4 (1.7)	9.1 (6.2)	3.7 (2.1)
四国	0	0	0	0	4,245	334	382	1,023	94	4,128	4,222	0	0	0	0
九州	85	0	0	85	12,937	1 320	1,354	3,378	320	9,438	9,758	6.6	6.3	25.2	8.7
合計	514	45	1,110	1,669	89,276	10,100	12,857	30,653	2,878	63,937	66,815	18.6	13.0	54.4	25.0

備考：（ ）内は中国四国を一地方と考えた場合

伊奈の タイル 衛生陶器

衛陶マーク

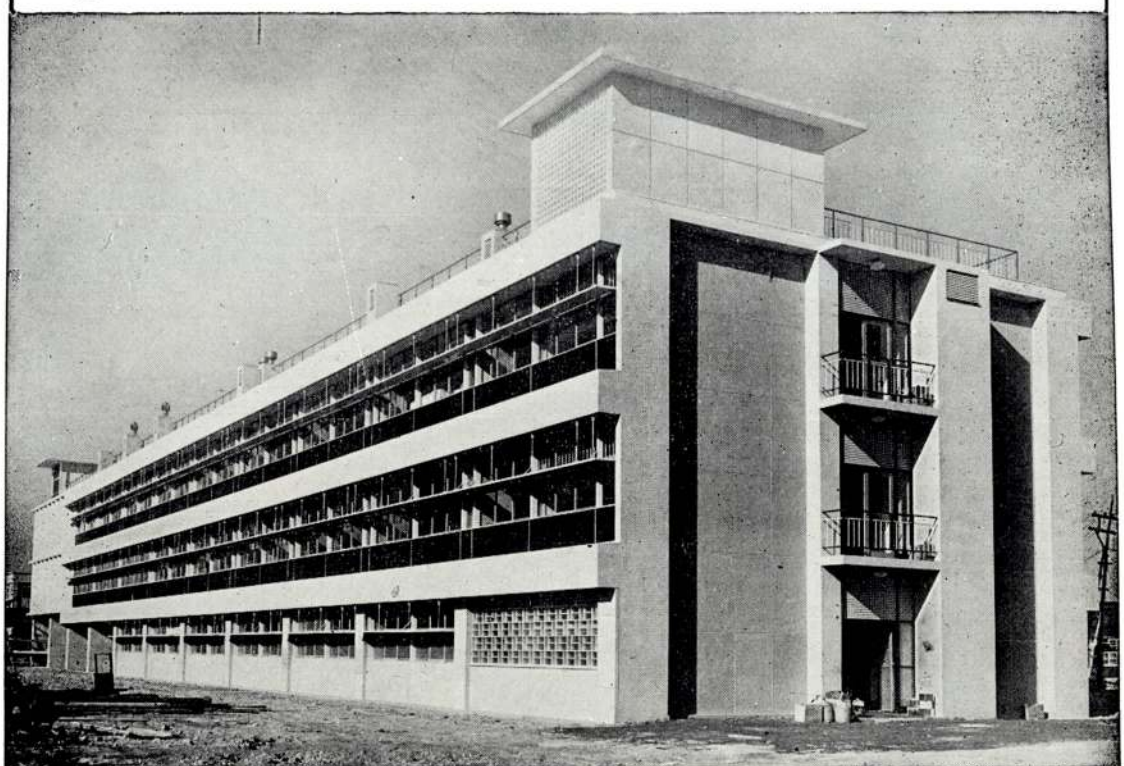
良質と量産を誇る

カタログ送呈

許可番号　第6428号

タイルマーク

衛生陶器はJIS表示の伊奈の製品を



名古屋市大学基礎医学教室
設計・市営繕課
施工・大成建設
納品・CC130

伊奈製陶株式會社

本社及工場　愛知県常滑市扇面新田　電(代)　7　0　0
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2－8　電(代)　(551) 6371
大阪事務所　大阪市西区新町南通1－23　電(代)　㉔　5484

錆びない

岩住の

サッシ・ドアー

オートメーションに依る　ボンデライトを
錆止メ塗装は　焼付塗装を
実施致しまして　完全防錆を
期しています　是非御採用の程願上ます

弊社製品の総てに

尼崎新工場稼動

株式会社 岩住鐵工所

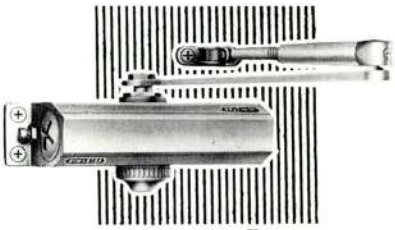
本社及本社工場　大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地　電話(47)代表5123・3000
尼崎工場　尼崎市守部字下河原一五番地　電話(40)3774

NEW★STAR

創業大正八年

ドアーチエック





（新製品）

フロアーヒンチ



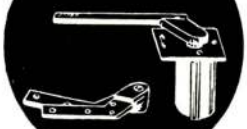
ラバトリーヒンチ



ピボットヒンチ



ピボットヒンチ



日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場	布施市横沼町3丁目11番地	電話大阪(72)代表6666－8
巽工場	大阪市生野区巽矢柄町222	電話大阪(72)6669
東京支店	東京都千代田区神田錦町1丁目23	電話東京(231)1920・4920
福岡出張所	福岡市舟津町1番地	電話福岡(4)2372・3312
名古屋出張所	名古屋市中区下園町1丁目5番地	電話名古屋(23)7361

世界に誇る驚異的建材！

ガスにも熱にもビクともしない！

40年の厂史と最新技術の産物

特許---- 耐酸・耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板

スーパー オリエンタルメタル

新時代にマッチした色つきのひふく鉄板

オリエンタル カラーメタル

美しいアルミ箔 ひふく鉄板

オリエンタル アルシート

型録送呈

責任施工

オリエンタルメタル製造株式会社

本社並工場　尼崎市大物北口　電話（48）4947～9
東京支店並工場　埼玉県蕨市大字塚越1620　電話蕨3252～4
支店、出張所　八幡・郡山・名古屋・敦賀・徳島・三原・徳山・延岡・岩国・宇部・川崎

クボタ 永久に美しい （法定不燃材料）

カラーベストス

米国J M 社技術提携製品　彩色石綿セメント板

特許公告番号　昭33－9293:9692
登録商標番号　第 498,790 号



久保田建材工業株式会社

カタログ進呈
BC係へ

本社　東京都中央区日本橋江戸橋3ノ6（久保田鉄工内電話281～5621（大代表）
支店　大阪市浪速区船出町2ノ22（久保田鉄工内）　電話 63～1121（大代表）

マルエス

永久防水材
ハイダック

特　絶対に裂けない
　　永久に腐らない
長　冷工法で施工出来る

接着剤
ハイダックセメント No, 1 ジョイント用
ハイダイン No. 2 貼付用

メルタン
ルーフィング

国内の気温較差の著しい所に於ても能くその苛酷な条件に抗して老化せず　特に寒冷地に於ける技術的困難は殆んど解決されたと云っても過言ではありません

特許
ビニエス
タイル

お部屋のポイントは
床材から

明るい配色……
落ちついたムード

マルエスルーフイング製造元

日新工業株式会社

本　　社　東京都足立区千住東町93　TEL東京(888)2101～9
大阪営業所　大阪市西区新町北通1丁目40　TEL大阪(53)5281～3
出張所　名古屋 TEL名古屋(54)9996・広島 TEL中(2)1019
　　九州 TEL 福岡 (5) 0768・札幌 TEL (5) 6885

会　　報　（11月分）

定時評議員会

25日　12時40分―1時　於会館集合室
出席者　五十嵐，寺島正副議長外評議員13名
委任状出席49名　合計64名
岩崎理事外4理事
議　事（1）昭和36年度評議員選出数決定の件
（2）理事欠員補選延期承認の件

理　事　会

10日　4時半―5時半　於会館会議室
出席者　尾崎会長外5理事
議　事（1）定時評議員会開催の件
（2）阪神都市圏調査報告書に対する意見申出の件
（3）要望書提出の件
（イ）建築研究所支所設置に関する件
（ロ）大阪市の地域指定の修正に関する件
（4）午餐会開催の件
（5）忘年懇親会開催の件
（6）建築学会の大学卒業設計展示会後援の件
（7）本会の年中行事に関する件
（8）入退会者承認の件
（9）報告事項

事業委員会

4日　5時半―7時　於会館集会室
出席者　岩崎委員長外9委員
議　事（1）忘年懇親会の件
（2）昭和36年1月の事業の件
（3）その他

小委員会（忘年懇親会）

2日　正午―1時半　於会館会議室
出席者　政岡主査外8委員

15日　正午―1時　於会館会議室
出席者　政岡主査外5委員

22日　正午―1時半　於会館会議室
出席者　政岡主査外6委員

忘年会の実施について協議

小委員会（新建材資料作成）

14日　5時―9時　於会館会議室
出席者　山本主査代理外6委員

28日　5時半―8時　於会館会議室
出席者　鈴木主査代理外5委員

調査表の検討並に編集について協議

小委員会（若い会員の集い）

30日　正午―1時半　於会館会議室
出席者　松村主査外3委員

1月―3月の事業企画について協議



編集委員会

幹事会

2日　5時半—7時　於会館会議室
出席者　泉幹事外2幹事

11日　4時—6時　於会館会議室
出席者　上林副委員長外6幹事

正月「アイディア特集」号について審議

委員会

12日　4時—7時　於会館会議室
出席者　森，上林正副委員長外3委員
議　事（1）経過報告
（イ）12月「児童福祉施設特集」号
（ロ）正月「アイディア特集」号
（ハ）2月「居留地建物特集」号
（2）木毛セメント板に関する投稿原稿の措置に関する件
（3）3月号企画の件審議
（4）4月号企画の件審議
（5）5月以降の特集テーマについて

小委員会（表紙デザイン）

18日　4時—6時　於会館会議室
出席者　山本，佐久間，小島各委員

20日　12時—1時半　於会館会議室
出席者　山本，佐久間両委員外2氏

昭和36年1月よりの表紙デザインについて協議

教育委員会

衛生設備図書出版準備会

10日　2時半—4時半　於会館集会室
出席者　田中主査外8委員

28日　2時—5時半　於会館会議室
出席者　田中主査外8委員

給排水及び街生設備図書の編集項目その他について審議

鉄筋コンクリート施工指針編集委員会

16日　正午—1時半　於会館会議室
出席者　奥島主査外5委員

出版工程並に収支予算その他について審議

法規委員会

29日　4時—5時半　於会館会議室
出席者　石川委員外7委員　大阪府及市の監査係官2氏
議　事（1）要望書提出報告の件
（2）違反建築是正に関する件
大阪府及市並に市消防局担当官から違反建築の実態について説明を聞き，是正策につき検討

第代建築調査委員会

17日　3時半—6時　於会館集会室
出席者　滝沢委員長外10委員
議　事（1）報告事項
（2）3月号発表建物の件
（3）居留地建物特集号の件
（4）先輩より話を聞く企画に関する件

ブロックの防水塗料！
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り　常備淡彩12色
安　価・速　乾・美　麗
水谷ペイント

テレビ委員会

18日　6時―9時　於会館集会室
出席者　佐野委員長外6委員
　　今田プロデューサー外
議　事（1）委員並に委員長委嘱の件
　　（2）第2次放送企画に関する件
　　（3）放送時間に関する件

24日　6時―9時　於会館集会室
出席者　佐野委員長外6委員
　　今田プロデューサー
議　事（1）12月放送企画の件
　　（2）1月以降の放送テーマと分担者の決定

高校生デザインコンクール入選者表彰式

11日　2時―3時　於会館集会室
出席者　中原教育委員長，伊藤審査委員長
　　杉本，長沢審査員　入選者9名

中原委員長から表彰状及び記念品を交付し，伊藤審査委員長が審査報告並に選評を行った。式後座談会を開催しなお富士銀行ビル，高麗橋ビルを見学。入選者中東京，横浜からの出席者もあった。

展　覧　会

「新しい都市と建築展」
期　間　10月31日――11月13日
会　場　大阪国際貿易センター
共　催　大阪不燃都市建設促進協議会
　　近畿六府県建築士会協議会
　　大阪建設業協会
　　日本建材協会
　　日本建築学会近畿支部
　　日本建築家協会関西支部
　　本　会

「ル・コルビュジエ大阪展」
期　間　11月6日――12月18日
会　場　大阪市立美術館
共　催　大阪市立美術館
　　日本建築学会
　　日本建築士会連合会
　　日本建築家協会
　　日本建材協会
　　大阪建設業協会
　　綜合デザイナー協会
　　近畿デザイナー協会
　　世界デザイン会議
　　本　会

要望書提出

「建設省建築研究所支所設置に関する要望書」
大阪府建築士会　大阪建設業協会
日本建材協会　日本建築学会近畿支部
日本建築家協会関西支部　本会の6会連署
提出日　11月10日
提出先　内閣総理大臣
　　大蔵大臣及同省関係官
　　建設大臣及同省関係官
　　参議院正副議長及関係常任委員長
　　自民党三役

「用途地域の改正及び防（準防火）火地域の拡大指定に関し要望の件」
1.提出日　11月12日
1.提出先　大阪市長　大阪市会議長
　　大阪市会消防建設委員長

日本建築協会優良認定
外部用壁塗料
ダイヤアルテックス
恒和化学工業株式會社
本　社　豊中市豊南町南6－16　電話(39) 0666～8
東京支店　東京都太田区北糀谷町287　電話(741) 2145～8

午餐会と映画会

29日　午餐会　正午—1時　於大阪建設会館
映画会　1時半—3時　於同上

本年国家褒章を受けられた会員と，26日早朝帰国された本会欧米建築事情視察団の団員を招待して開催。受章者出席4名。視察団出席8名，一般会員の出席34名。

映画「海に築く製鉄所」天然色 16mm
八幡製鉄所提供

若い会員の集い

見学と批評の会・近鉄学園前登美ケ丘分譲住宅

12日　1時—6時

大林組提供の貸切バスによって開催。
参加者 160名

見　学　会

第20回工場見学会

「ニッカウイスキー西宮工場見学会」

18日　2時—4時　　参加者　27名

「大阪神鋼ビル・北海道拓殖銀行北浜支店・大井ビ見学会」

設計監理　　三菱地所株式会社
施　　工　　清水建設株式会社

24日　3時—5時　参加者　26名

古建築見学会

「日本民家聚落博物館見学会」

26日　1時半—4時　於服部緑地公園

大阪市大浅野教授の解説によって見学。参加者 9名

後援した会

「全国都市不燃化大阪大会」

1.日時　　11月9日　1時半—4時
1.会場　　大阪朝日会館
1.主催　　大阪不燃都市建設促進協議会
1.後援　　本会外関係官庁，公団，公庫，団体

「全国大学卒業設計展示会」

1.日時　　11月19日　20日
1.会場　　大阪工業大学工学部
1.主催　　日本建築学会

編　集　後　記

新年おめでとうございます。1961年がさらによき年になりますように，心から願つております。みなさまのご奮斗とご健康をいのつてやみません。

さて，「アイデアを求めるアンケート」で集まつたアイデアを整理して，なんとか正月のこたつにあたりながらの読物にでもできたら…というアイデアの発想はよかつたのだが，さて，これがうまく成功したかどうか。どうもはなはだ心もとない感じである。

"世はまさにアイデア時代である"とかにつられたのではないにしても，アイデア負けをしたのではないか……「アイデアはただでは売りません」ときめつけられては，どうもやるせないものである。

しかし，建築の発展する方向へ，しかも，社会のしくみ，ならびに生産上のしくみの法則にのつとつたアイデアが生れたならば，すばらしいことである。こういう意味でたんなる思いつきとかでなく，建築の発展にあつた貴重なアイデアないしイメージを若干頂載したことはうれしい限りである。

また，でるべくして，でないアイデアが沢山あつたにちがいない。これらは，もつと違つた形で紹介されるべきものであつた。決してアイデアの貧困ではなかつたことをことわつておきたい。

それから，漫画を入れてより面白くしようとしたが，なかなか，面白い漫画がえられず，これはどうやら失敗だつたようだ。

なお，藤田さんの「問屋街改造計画」は，特別提案として独立してあつかわせていただいた。

「アンケート」にご協力いただいた方，ならびに総論やまとめを整理していただいた幹事の方々に厚くお礼を申します。

特許 防火シャッター全般
小俣式
電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖・オートマチック
ステンレス・アルミニウム・シャッター
株式会社小俣製作所大阪支店
大阪市北区若松町30　電話(34) 9004・9016・4825
本社及工場・埼玉県与野町
東京事務所及工場・東京都北区田端町

屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器 連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

大島応用化学工業株式会社

本 社 大阪市城東区野江東之町4の104 ㉝3679・4481・8471
支 店 新 居 浜・名 古 屋・四 日 市・広 島

田中式 スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK **田中工業株式会社大阪出張所**

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2～89

TEL 大阪(40)6341(代表)・(40)6342

本社 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1～25
東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4～122
小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37
川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3～43
札幌出張所 北海道札幌市北上通東4丁目4
盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設(株)
名古屋代理店 愛知県名古屋市西区西菊井町2～12・岡田建材KK
米子代理店 鳥取県米子市祇園町2～93・吉田工務店
長崎代理店 長崎県長崎市要町11・関西工業(有)

TEL 東京(623)代表0106～0108・(622)0790
TEL 東京(611)2118～9
TEL 小倉0653・2833
TEL 川崎 ② 4540
TEL 札幌 ③ 6762・0515
TEL 盛岡 7642
TEL 名古屋(53)0121・2057
TEL 米子 4683
TEL 長崎 ② 6046

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地 電話大阪(34)207～8・4836～7

賀　正

建設業者有志

株式会社 **浅沼組**

取締役社長　浅沼猪之吉

本　社・大阪市天王寺区石ケ辻町・電話代表㉕730・737～9番
支　店・東京都新宿区荒木町五番地・電話（351）4141～4番
　　名古屋市中村区太閤通り一丁目・電話(54)4020・4021
営業所・鳥取・広島・金沢・郡山・奈良・京都・神戸・仙台
　　札幌・静岡・津・岐阜

株式会社 **新工務所**（アタラシ）

取締役社長　新順一

本　店・大阪市北区曽根崎中一丁目四三・電話代表大阪（34）9151番
支　店・東京都千代田区神田猿楽町二丁目七・電話 代表（291）3741
出張所・神戸・広島・奈良

株式会社 **安藤組大阪支店**

取締役支店長　瀬川博

大阪市西区江戸堀上通一丁目十八番地
電話 大阪（44）3788（代表）　（44）2602番　（45）393番
本社・東京都中央区八重洲四丁目七番地
支店・出張所・名古屋・仙台・静岡・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸

株式会社 **大林組**

取締役社長　大林芳郎

本　店・大阪市東区京橋三丁目七五番地
　　電　話 大代表（94）861番
支　店・東京・札幌・仙台・横浜・名古屋・岡山・広島・福岡・高松
出張所・神戸

株式会社 **奥村組**

取締役社長 奥村太平

本店・奈良県北葛城郡香芝町逢坂 電話奈良県下田局 477
営業所・大阪市阿倍野区松崎町一丁目五一 電話 大阪 ㊼ 0336 代表
支店・東京・名古屋・広島・高松・八幡
出張所・奈良・堺・西宮・光・松山・福岡

鹿島建設株式会社

会長 鹿島守之助

本社 東京都中央区八重洲五の三
大阪支店 大阪市阿倍野区阿倍野筋二の三三
電話 大阪 (77) 代表 3737 番

株式会社 **勝呂組大阪支店**

大阪市東区石町二丁目五十番地 電話 (94) 6861・6862番
本社・静岡市日出町一ノ二 電話静岡 (2) 7171～5番
支店・東京・名古屋・大阪・福岡・札幌
営業所・会津若松・沼津・岐阜
出張所・滋賀・広島・八代・熊本・鹿児島・宮崎・函館・北見

株式会社 **神崎組大阪支店**

取締役支店長 大西繁市

大阪市北区曽根崎新地1丁目21
電話 (34) 7837～8番
本店・姫路市北条口86—3 電話代表姫路2020

株式会社 **熊谷組大阪支店**

大阪市東区備後町一丁目十三番地 (電話大阪㉖1726・1926番)
本社 福井市豊島上町一番地 (市外専用 12・4800～2)
営業所 東京都新宿区築土八幡町二二番地 (電話大代(332)5111番)
支店 東京・名古屋・広島・福岡・札幌
出張所 横浜・仙台・静岡・佐久間・下関・神戸・岡山・福井・長野
青海・山形・高知・宮崎・旭川・鳥取・高松・諫早・北山川

株式会社　鴻　池　組

本　店　大阪市此花区伝法町北３－６７
電　話　代表　㊻　２６３１番
支　店　東京・名古屋・福岡・広島

佐藤工業株式会社 大阪支店

取締役社長　佐藤欣治　・　大阪支店長　北村平作
大阪市東区北浜一ノ二五　電話 大阪 (23) 6731～3, 7293
本　　社・富山市総曲輪二三〇
東京支店・東京都中央区日本橋本町一ノ二　本社分室・　同　左
名古屋支店・名古屋市中区仲ノ町一ノ一　富山工場・富山市稲荷元町九六
札幌支店・札幌市南七条西十一丁目
出張所・神戸・横浜・岐阜・三重・仙台・盛岡・宇都宮・浦和・横須賀・静岡・四日市
春日井・金沢・高岡・新潟・今庄・川口・和田川・黒部・御母衣・岩清水

清水建設株式会社

社　長　清　水　康　雄
本　社・東京都中央区宝町二ノ一
常務取締役支店長　城　戸　七太郎
大阪支店・大阪市西区土佐堀通リ二ノ二
電話 (44) 1531 (10) 夜間専用 (44) 1531—32

株式会社 錢高組

取締役社長　銭高輝之
本　　店　大阪市西区阿波座上通三丁目二番地　電話代表大阪㊹8178番
東京支店　東京都中央区銀座東五丁目二番地ノ一二
名古屋支店　名古屋市中区材木町一丁目五番地
福岡支店　福岡市箔屋町一六番地
山張所　札幌・盛岡・仙台・前橋・新潟・千葉・神奈川・三島・京都
神戸・岡山・広島・徳島・松山・小倉・熊本・長崎・沖縄

大成建設株式会社

常務取締役
大阪支店長　石井源一
大阪支店　大阪市東区南本町４丁目20番地　(有楽ビル内)
電話 大阪(25)0778・4254(代)

大日本土木株式会社大阪支店

取締役支店長　桜井　徹良

大阪市北区堂島北町九番地　電話㉞代表5931
神戸営業所・神戸市生田区下山手通八丁目四二番地ノ一　電話元町④2114番
和歌山営業所・和歌山市小松原通一丁目一番地　和歌山②9869番
本　社・岐阜市長住町二丁目三番地　電話岐阜②代表6141～6145番
支　店・東京・名古屋

株式会社 竹中工務店

本　店・大阪市北区堂島中2丁目30番地
電　話　大代表大阪（312）1251番
営業所・札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋
京都・神戸・広島・高松・岡山・福岡・八幡

大鐵工業株式会社

大阪市北区茶屋町38番地
電　話　㊱1711～5番
支　店　大阪・天王寺・津・名古屋・米子・福知山

鉄道建設興業株式会社大阪支店

取締役支店長　西島尚義

大阪市大淀区天神橋筋六丁目五番地（天六阪急ビル七階）
電　話（35）6830・883・2427・2693
本　社　東京都千代田区神田三崎町二丁目六番地
電　話　東京（301）3411

株式会社 戸田組大阪支店

常務取締役支店長　石丸正名

大阪市北区真砂町三二番地・電話㊱5951～8番
本　社・東京都中央区京橋一丁目三番地
支　店・札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡
大阪支店営業所・京都・神戸・福井・金沢・富山

日産建設株式会社大阪支店

取締役支店長　武藤幸一

大阪市大正区小林町188
電話大阪(55)2781・2050番
本社東京都港区赤坂青山南町1—1
電話東京(408)代表4161番

西松建設株式会社関西支店

取締役支店長　蛯原逸雄

本社　東京都港区芝西久保桜川町13番地
支店　大阪市東区釣鐘町2丁目41番地
電話 大阪 代表 (94) 8431 番

株式会社間組大阪支店

取締役支店長　牧村利勝

大阪市東区横堀町二丁目七〇番地（電話㉓代表5035）
本店・東京都港区赤坂青山南町一丁目一番地（電話東京(408)代表2171）
支店・仙台・名古屋・大阪・福岡

株式会社藤木工務店

本店・大阪市東区両替町一丁目一三　電話(94)451～4番
支店・東京都新宿区三栄町二三番地
岡山県倉敷市旭町六六〇
香川県高松市丸ノ内十一番地ノ十二
出張所・津・岡山・新居浜・徳島・京都

株式会社藤田組大阪支店

取締役支店長　村島良雄

大阪市北区堂島中二丁目三八番地　電話(代表)㉞0757㊱5379
本社・東京都中央区八重洲四の五
支店・横浜・仙台・名古屋・大阪・広島・九州・札幌

別子建設株式会社

社　長　斎藤武幸
専務取締役（大阪支店駐在）　上野正夫

本　社　東京都新宿区荒木町13
大阪支店　大阪市東区北浜5丁目22

株式会社 眞柄組大阪支店

取締役支店長　漆村重一

大阪市天王寺区生玉前町九五番地　電話㈰1272・1273・1274番
本　社　金沢市弓ノ町二五番地　電話 金沢 代表 ③ 1266番
支　店　東京・大阪・名古屋
営業所　金沢・富山・福井・大津・京都・岡崎・神戸・和歌山

株式会社 松村組

取締役社長　松村雄吉

本　社・大阪市東区京橋二丁目二八番地　電話 代表大阪 ㊾ 3171
支　店・東京・札幌・名古屋・広島・福岡
営業所・水戸・京都・福知山・岡山・呉・高松・八幡・大分・沖縄

三井建設株式会社 大阪支店

取締役支店長　伊豆倉武一

大阪市西区江戸堀下通一丁目五三番地　電話大阪(44)代表 8951
本　社　東京都中央区日本橋室町二ノ一(三井ビル)　電話東京(241)代表3261
支店所在地　札幌・横浜・名古屋・広島・福岡・大阪
大阪支店管轄営業所　京都・神戸・和歌山・奈良・岡山

株式会社 青山工務店

代表取締役　湯原来

大阪市北区茶屋町37番地
電話　大阪 ㊲ 1314・1315番

株式会社 井上組

代表取締役 井上福蔵

本店 大阪市都島区東野田町二丁目一五番地 電話㉟0530・2823・4038・4782
出張所 神戸市生田区加納町三丁目一番地 電話葺合 ② 0914

株式会社 今西組

取締役社長 佐藤音松

本社 大阪市天王寺区上本町七丁目三四番地 電話 ㊼ 8231～3
支店 東京都新宿区内藤町一番地 電話(341)4476
出張所 神戸市生田区下山手通四丁目四番地ノ一 電話 ③ 6060
出張所 奈良市学園町南二丁目九一五番地 電話富雄309
営業所 芦屋市山手町一二〇番地 電話芦屋2226

株式会社 岡組

取締役社長 岡三郎

本店 大阪市北区堂山町八九番地 電話大阪(312) 0776 (代表) ～ 0779番
支店 京都市右京区嵯峨明星町一 電話 (86) 415・218番
工作所 大阪市大淀区中津本通二丁目 電話大阪(37) 5493番

栗本建設工業株式会社

取締役社長 村上勇

本社 大阪市西区北堀江通一丁目三一番地 電話 ㊸ 代表5801
東京出張所 東京都中央区日本橋江戸橋栗本鉄工所内 電話(271)代表6371
和歌山出張所 和歌山市関戸高松二五六番地 電話 ② 8777

株式会社 小坂井組

代表取締役 川崎盛治

本店 大阪市北区太融寺町八三番地 電話㉞9331～4
出張所 京都市上京区寺町今出川下ル扇町二六七 電話③ 3928



大洋建設工業株式会社

取締役社長　木戸口信義

本　店　大阪市天王寺区北河堀町五四番地　電話大阪㊼代表2672・3880
支　店　和歌山市南材木町三丁目二番地　電話和歌山②3225
営業所　京都市下京区揚梅通烏丸西入　電話京都㉟0479
出張所　泉大津市我孫子六九番地　電話泉大津1675



株式会社 大末組

取締役社長　山本末男

本　社　大阪府松原市丹南町635　電話松原526・黒山135・61
大阪事務所　大阪市南区大和町1　電話㉕代0555・6345・6346
東京支店　東京都豊島区池袋東1の43　電話(971)3658・3958
出張所　神戸・奈良



株式会社 西田工務店

取締役社長　西田義郎

本　社　岸和田市加守町六二六の一番地　電話岸和田貝塚②代表7221
大阪営業所　大阪市浪速区元町四丁目二二七の一番地　電話㊹代表4454
和歌山出張所　和歌山市新堀北の丁三丁目一七番地　電話②9404



株式会社 長谷川工務店

取締役社長　長谷川武彦

本　社　大阪市東区淡路町五丁目二番地　電話㉓7646～9・3200・8239・7650
東京支店　東京都千代田区神田美土代町二　電話(231)1591～8

建設工業技術研究補助金受領　コンポザー工法



不動建設株式会社

取締役社長　庄野勝

本　社　大阪市南区鰻谷仲之町五七番地　電話㉗代表4771～7
東京支店　東京都中央区銀座東八丁目四番地(燃料会館内)　電話(541)5711～21・直通0967
神戸営業所　神戸市灘区大和町一丁目六番地　電話⑧9605

長谷川組株式会社

取締役社長　長谷川為一

本　社　大阪市天王寺区大道町四丁目七九
電　話　(77) 4148・7322・9929
工作場　大阪市天王寺区大道二丁目三
電　話　(77) 9044番

水野建設株式会社大阪支店

取締役副社長　水野久一

取締役支店長　水野正三

大阪市北区太融寺町120 電話大阪 (34) 2107・2816・(36)3987
工作場　同北区鶴野町71 電話 大阪 (37) 1921
本　店　京都市下京区西七条市部町17 電話(37)8052・8277
営業所　横浜市・平塚市

望月建設株式会社

取締役社長　望月小太郎

本　社　大阪市北区堂島上一ノ一八　電話㉞614～5・3805・7883・7913
工作所　豊中市庄内東町2丁目37　電話 ㊴ 115・116番

株式会社八木工務店

取締役社長　八木一郎

本　社　大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目25番地
電　話 ㊼ 1626・5772・9256・8990
倉庫・工作場　大阪市阿倍野区松崎町3丁目10番地
電　話 ㊼ 1053
大阪市住吉区加賀屋町3－5

矢島建設株式会社

取締役社長　矢島萬助

本　社　東京都千代田区内幸町一丁目一番地　電話東京(591)代4181番
大阪支店　大阪市南区北炭屋町八番地　電話大阪 ㉗代5837番
常務取締役　仁平信也
支店長
支店・営業所　仙台・名古屋・福岡・蒲郡

運　搬　機　械

エレベータ・コンベヤー
ホイスト・リフト・クレーン・エスカレータ

設計・製作・据付・修理

日本エレベータ工業K.K.

本　　社　大阪市大淀区天神橋筋六丁目天六阪急ビル
　　電話　大阪(35) 3812・4987・9339・7071
東京営業所　東京都台東区仲御徒町1—66　電話東京(831) 7949
工　　場　大阪市東淀川区小松中通5丁目6番地ノ2 電話(38)0363

最古の歴史・最高の品質

カーペット、タフトン　綴　通、モケット
椅子張地、カーテン地　別　珍、紡　毛　糸

住江織物株式会社

本　　社　大阪市南区安堂寺橋通4（御堂筋）（電）大阪（25）代表81番
東京支店　東京都港区芝田村町4番地　（電）東京（431）代4166番

専売特許　ウカ式化学防水工事　グラウチング防水工事
　　グナイト工事　アスファルト防水工事
　　薬液注入防水工事

株式会社 **大阪防水建設社**

本　　社　大阪市天王寺区餌差町42番地　電話 南㊼2595・2572・㉗5486番
支　　店　名古屋市中区和泉町一丁目九番地　電話本局㉓5075・1048番

防　水・防　熱
石綿スレート工事

株式会社 **井上浄夫商店**

本　　社　大阪市西区江戸堀下通り一丁目七　電話大阪㊹8351～5番

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

代表取締役　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪㊲7575(代表)
京都市東山区大和大路大仏前・電話京都⑥4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 大阪電気商会
株式会社 大阪暖房商会

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
　　電話大阪㊹大代表8231番
支店　東京・名古屋
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡
　　熊本・札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話大阪㉙代表4496～8・4993～4番
本店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
　　電話(281)局6505～8番
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井2436
高松出張所　高松市二番丁九　電話高松②5195

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
　　電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
　　電話大阪㊹1568・1569・2594
札幌店　札幌・北四・西四(札幌駅前)
　　電話札幌②0010・0956③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代
　　田ビル522号　電話中局㉔1766

暖冷房・環境衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
鋼管・荷役機械・製造販売

三機工業大阪支店

大阪市東区高麗橋三丁番壱番地・電話代表26局{2951 3076
本社　東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島
工場　川崎・鶴見・中津・六郷

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀通1丁目14番地
電話㊹代表5171番

東京支店　東京都港区芝田村町6丁目　電話(431)代表7121
名古屋支店　名古屋市中区材木町1丁目　電話㉓代表7856
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル電話⑤1989・2255
神戸支店　神戸市生田区北長狭通2丁目　電話③代表5101
福岡支店　福岡市千代栄町　電話㊺代表4731

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通2丁目51　電話大阪㊺3415
東京事務所　東京都港区西芝浦3の1電話東京(451)5281
広島出張所　広島市空鞘町99の1　電話広島③7544
福岡出張所　福岡市下呉服町2の9　電話福岡②5389
　　祐徳ビル

空気調和装置・塗装乾燥装置
設計施工

株式会社 建材社
大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目(新朝日ビル5階)
　　電話大阪㉓6041(代)
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営業所　名古屋市中区西万町二丁目一

暖冷房・温湿度調整
水道・衛生・環境衛生装置
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀上通1丁目7
　　電㊹(代表)2613・(代表)9431
営業所　神戸市生田区北長狭通7丁目1の1
　　電④1778・4386
出張所　名古屋市中村区牧野町1－6　電話㊺0966
〃　東京都北区上十条1の10　電(911)2346
〃　広島市西魚屋町31　電②1375

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社　大阪市北区富田町一六　㉞7031㊱6793
出張所　東京都中央区宝町二・六(村幸ビル2階)(561)5441
　　名古屋市中区新栄町二丁目一　⑨1820
　　福井市宝永上町一〇五　1596
　　松江市東本町四丁目一四九　5098
　　広島市紙屋町八　②1938
　　福岡市養巴町二二　④1158

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設計施工

高砂熱学工業株式会社大阪支店

大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル8階）
電話大阪㉓7641(大代)
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店

大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電話大阪㉞局8356(代表)
本社 東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支店 東京・名古屋 出張所 九州
工場 東京都足立区下沼田町360番地

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市西区江戸堀北通3丁目46番地
電話大阪㊹(代表)3818
本社 東京都文京区元町2丁目17番地
電話(921)(代表)6294
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

冷暖房・温湿度調整装置・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪営業所 大阪市北区宗是町1(大ビル)
電 大阪代(44)8621番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の3
電 東京代(901)3191番
本社・分室 東京都港区芝佐久間町1の46(大同ビル)
電 東京代(501)3156番
営業所 名古屋・仙台 連絡所 福岡

暖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 栄興商会

取締役社長 中山敏正
本店 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊺3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話(351)2177～8番
神戸出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三 電話元町④3035番
京都出張所 京都市中京区高倉通三条下ル 電話上③2869番
三沢出張所 青森県三沢市上久保三一 電話大三沢36番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工

株式会社 朝日工業社

大阪市北区中之島4—39 電㊹6671～5
東京支店 東京都港区芝浜松町2—7 電(431)7341～5
北海道出張所 札幌市北四条西15丁目 電②2203・③5374・5969
仙台出張所 仙台市元寺小路(五城ビル) 電②8061・③9261
名古屋出張所 名古屋市中区東陽町6—5 電㉔1270・1484
広島出張所 広島市大手町8—155 電③7949
福岡出張所 福岡市薬研町3 電④0788・⑤0296

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30 電話大阪㉞{(代表)0977 {0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内2—10
電話(281)2631—5
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話732
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3—6
電話⑨2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川進男
本社 京都市中京区両替町通リ姉小路上ル
電話㉒(代表)7975・(夜間専用)5532
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話㉟8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2—111 電話3610

暖冷房・換気・空気調和
給排水・衛生・電気
設計施工

日本熱学工業株式会社

取締役社長 牛田正郎
本社 大阪市東区唐物町5丁目10
電話大阪㉕(代)5171～3・3643
東京支店 東京都千代田区神田和泉町1
電話東京(866)7683・7716・2594
西部営業所 下関市大和町33 大和ビル23号室
電話②7306

煖房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設計施工

大嘉熱工業株式会社

取締役社長 嘉幡政四郎
大阪 大阪市北区万才町四三浪速ビル六階
電話 大阪㊱直通2085・5725
(代)9851～9・9951～9
東京 東京都千代田区西神田町一ノ八
電話 東京(291)8002～3
出張所 愛媛県川之江市・九州福岡市

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町八〇
電話・大阪㊱2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄
本社 大阪市東区北浜二丁目六九
電話大阪㉓5273—5・5451—2
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)1316・2536・4715・3573
営業所 名古屋・札幌・沖縄・福岡

電気工事設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英
大阪市北区永楽町8番地(日産生命館)
電話 大阪㉞代表 1234～9
支社 東京都港区芝浜松町(大門ビル)
出張所 名古屋・舞鶴・広島・八幡
福岡・富山

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰
本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話 大阪㉞8131代表～4 ㊱7263
営業所 東京・名古屋・新宮・御坊

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

森井電業株式会社

東京本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451)9611～5番
工場 東京都港区麻布新広尾町一丁目一三四番地
電話 東京(451)0535番
大阪支店 大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(44)9516～8番夜間専用(44)502番
名古屋出張所 名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話 笹島(54)6865・9495番
福岡出張所 福岡市東職人町二七番地
電話(4)7813番(5)3516番
広島出張所 広島市三川町二六番地電話(4)2449番

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎
本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話 大阪㉞代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京(541)7464
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三
本社 大阪市北区絹笠町50(堂ビル3階)
電話 (312)1471(代)～5
倉庫 大阪市大淀区浦江北2丁目51
電話 (45)5148・6646
支店 東京都中央区西八丁堀4丁目10番地
(後関ビル3階) 電話(551)5590～2
営業所 名古屋市中村区泥江町2ノ1
電話 (55)7146

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三
本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル7階
電話 大阪局㉙9531(大代表)
営業所 大阪市西区土佐堀通リ四丁目十一番地
電話 大阪局㉞5201番(代表)～3
出張所 京都市右京区西院今田町六番地
電話 京都局㉞3481番

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎
本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話 (716)4035(代)～8
支社 東京都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気設備工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明
本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 ㉝5143・5373・9594・2134
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話 ㉝2193

鈴木式防火シヤタア

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話 ㊲ 0098・5837・8729

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）

八千代電設工業株式会社

取締役社長　**梶本秀尾**

大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 (94) 6531 (代) ～5
支店　名古屋
出張所　東京・岡山・門司

軽量鉄骨
設計・施工

新鋼建設工業株式会社

取締役社長　**吉田信武**

本社　大阪市西区新町通2丁目25
電話 ㊸ 7418・609・6575
工場　神戸市東灘区本庄町青木古堂町53
電話　神戸 ⑧ 616
広島県御調郡向島町立花3010
電話 尾道2868　向島西19

コペンハーゲンリブ

商月報無料送呈
井田ペンキ
井田商事株式会社
大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅貨物入号門前
電話 (53) 4890　(54) 0808~9

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

本店　大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話 大阪 ㊸ 3426～7

青写真とマイクロフイルム

株式会社　**内外写真**

製図・トレース・複写写真

大阪市北区堂島北町16　TEL ㊱ 9055 (代表)

電気工事設計施工

阪急電気工事株式会社

TEL 大阪 (301) 1757 (代)　名古屋 ⑨ 5980

PAINTING CONTRACTOR

塗装工事請負

株式会社　**林塗装店**

TEL. 大阪 ㉕ 1756—7・東京 ㉙ 1335

諸官庁御指定
吹付及び掻落ソリジットスタイン
床材（合同リグノイド）マグネシート
外壁シリコン防水
製造。販売。責任施工

合同特許建材工業株式会社

取締役社長　山下謙治

本社　大阪市東住吉区田辺東之町3—109　電大阪 ㊻ 9086
営業所　大阪市東住吉区駒川町3—54　電大阪 ㊼ 4370・7660
出張所　広島市比治山本町1180　電広島 ④ 4967
出張所　東京都新宿区花園町46　電東京(351)5298・5264

T K K

アルミニウム
ステンレス　サッシ・ドアー
スチールシヤッター

東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話　(891) 8131～7
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚喜ビル3階）
電話　㊱ 9154～7
名古屋支店　名古屋市中区大池町24（丸菱ビル）㉔3048・4593
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）　④8825

工業用及建築用各種石灰製造販売
セメント
小野田 レミコン 特約販売店
ブロック
セントラル硝子特約販売店

樫野石灰工業株式会社
大阪支店

大阪市北区曽根崎新地三丁目十四番地
（桜橋電停曽根崎新地西入）　電話大阪㉞1274～6
支店・東京・神戸・姫路・徳島・高松

平安瓦・大安瓦

各種瓦葺工事請負業
合資会社　佐村木商店
大阪市東区京橋前之町2（市電京阪東口停前）
電話　㉔ 7016・7017・1528番



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
三幸商會
大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話　大阪　㉞ 3145

プリント合板
ビデオンボード
リブ付塗装合板
美装パネル
吸音多孔合板
ベニヤトーン
織物の壁貼材料
オーツカクロース
九つの特長を誇る
九徳天井板
線條塗装合板
ラインボード
ビニール合板
ビニライト
立体塗装合板
カーベライト

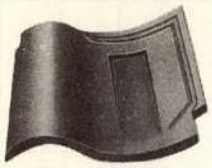
クトク



浪速合板
大阪市浪速区幸町通3丁目20
電話 新町(53) 2201－3番
工場　大阪市住吉区西加賀屋町4丁目81
電話　住吉(67)　5109

特許
白蟻
松平式白蟻殺滅予防所
奈良市南城戸南方町28　電話奈良4098
（近日移転先）
奈良市登大路二番町（博物館前）電話 奈良4098
出張所　奈良市春日町尾田組内　電話6011・6012
本部　高知県宿毛市宿毛町2639

FUTABAYA DECORATORS, LTD.
建築物船舶等造作工事
家具・建具・室内装飾工事　設計施工
内外織物・敷物類一式
（創業大正7年）
若 二葉屋装備工業株式会社
取締役社長　若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
（天六電停西北2丁）
電話・大阪 ㊲ 3321～3・3630



だいわ
大和洋瓦

雨風に強く緩勾配に最適
超軽量荷重（坪当37貫）
和型より安い

発売元
大仏組
大仏瓦，各種和洋瓦
工事請負一式

本店　京都市東山区今熊野池田町九　⑥ 3555
大阪営業所　大阪市東区内淡路町一丁目　㊾ 975

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店



株式会社 吉田芳雄商店

大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪㉞2403・3904

奉仕感謝の店

タイル 衛生陶器

㊿ 株式会社 川岸窯業商店

大阪市西区靱南通２丁目21　市電靱南通り電停前
電話大阪・(54)2435・2788・8597番

株式会社 矢橋大理石商店

大阪出張所

大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話大阪㉓４２５７－８番

特許植物性　型枠離剝塗料

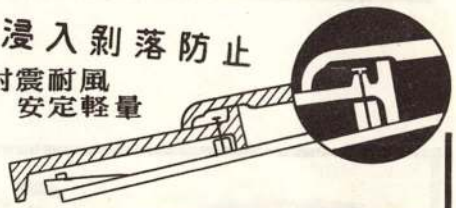
サンヒット

メタルフォーム用特号

関西代理店　株式会社 金剛商会

大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道　野里電停前
製造元　東京サンヒット商会　電 大阪㊼0417・4091

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



大阪市南浪速区元町二丁目七四二番地(64)五六五

ナニワ瓦株式会社

ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾配最適軽量水止付(空葺)瓦



吸音テックス

株式会社 室谷商店

本社　神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL神戸 ③ 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町五〇　堂ビル5階
TEL大阪 (312) 2031～4

燃えない建築資材



タイガー印

耐火ボード

石膏ラスボード
タイガートーン

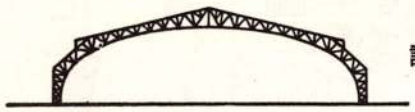
絶対に亀裂を生じない劃期的下塗壁材

Y.N石膏プラスター

キーンズセメント
各種焼石膏

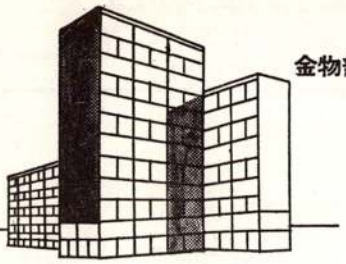
吉野石膏大阪支店

大阪支店　大阪市西区土佐堀通1－1(大同ビル)
電話（44）8912～4
本社　東京都丸ノ内・三菱東九号館四号
電話 東京（281）2391(代表)
福岡営業所　福岡市相生町1－1 電話 (58) 631～3



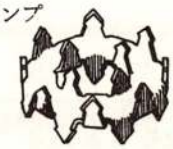
綜合建築設計への道

設計部 1. 各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2. ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理

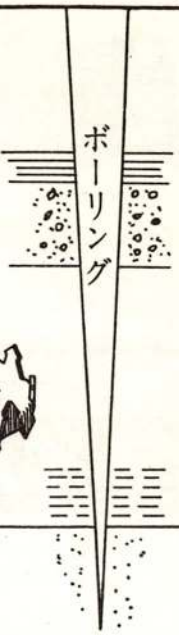


金物部 耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT.O式（織本式）ヂベル及クランプ





地質部 ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査



株式会社 **織本建築事務所** 所長 織本道三郎
（旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体）
東京都中央区日本橋かきがら町３の２ 電話（671）6443・7007・7062



塗りつける 織物壁

★化学繊維の特長を生かした高級化粧壁材！

パピロン壁

（カタログのお申込みは全国有名建材店へ）

★純和壁の最高級……
日本壁

★日本座敷に優美な……
錦上壁

★近代文化建築の塗壁材……
いすゞ壁

株式会社 **新興建材工業所**
本　　社 大阪市西区四ッ橋 TEL（54）5756～9番
九州出張所 福岡市西唐人町１番地 TEL 福岡(4)4651番

謹賀新年

昔からの建材店ゆるがぬ信用　　建材信和会　（いろは順）

岩元式スカイライト
岩元式通風装置（ベンチレーター）
その他建築材料

岩元工業株式会社
社長 岩元熊雄

大阪市東成区東今里町四丁目40
電話 ㊽ 0616～7

Ⓢ印ルーフイング・フエルト
Ⓢ印砂付ルーフイング
Ⓢ印石綿ウエルドルーフイング
陸屋根・地下室防水及耐酸工事　責任施工

日新工材株式会社
社長 井場績

大阪市西区新町北通一丁目53
電話 ㊹ 2721

衛生陶器・同附属器具
製造販売

東洋陶器株式会社大阪営業所
所長 中松通明

大阪市東区高麗橋5－32
電話 ㉓ 4518～9・1424

東洋フレンチ瓦・S型瓦
東洋スパニッシュ瓦
東洋日本型瓦・陶器瓦
製造販売・責任施工

東洋洋瓦株式会社
社長 青木友一

大阪市天王寺区大道三丁目125
電話 ㊼ 3076～8

暖冷房・給排水・換気・衛生
汚水浄化装置・大正便所
設計・施工

株式会社大阪城口研究所
社長 城口庸平

大阪市北区高垣町1
電話 ㊲ 7575～7

ガス圧接
建築金物

株式会社小野弥商店
社長 小野甚蔵

大阪市西区立売堀北通一丁目24
㊹ 1443・5066
電話 ㊸ 1212・1667

日進式軽量鉄骨
日進式リプラス
日進式メタルラス
日進式クリップ

株式会社奥村重兵衛商店
社長 奥村重兵衛

大阪市北区木幡町56
電話 ㉞ 4131～3

室内装飾設計施工
窓掛・リノリューム・アスタイル
オリエンタルクロス・ニッポンクロス
カラークロス　製造発売元

河津装飾株式会社
社長 河津喜之助

大阪市北区堂島上一丁目24
電話 ㉞ 1351～4

プラスチック防水耐酸工事
各種レヂンライニング
ペプコグリップデック
ダウラテックス560

耐酸化学工業株式会社
社長 松井邦彦

大阪市北区高垣町80
㉞ 4957・4958
電話 ㊱ 0178～9・4161

石灰・セメント・壁材料
大阪窯業セメント(株)　代理店
大阪生コンクリート(株)
コガネライト（粧石）　製造販売

玉置産業株式会社
社長 玉置孝太郎

大阪市南区鰻谷仲之町25
電話 ㉗ 5675～7

一般塗装工事
請負業

竹林塗装工業株式会社
社長 竹林昭二

大阪市北区茶屋町78
電話 ㉞ 6431～3

各種ベニヤ板丸徳製品
ヤマハボード・ハードボード
ホモゲンホルツ
オーツカクロース総代理店

浪速合板株式会社
社長 村石秋吉

大阪市浪速区幸町通三丁目20
電話 ㊸ 代表 2201

各種板硝子・鏡販売・施工
各務クリスタルKK代理店
ガラスブロック・プリズム
製造・販売・設計・施工

村田硝子株式会社
建材特殊硝子部
社長 村田経政

大阪市南区北炭屋町7
電話 ㉗ 4580・3367

艶出ケントク（白木・家具・塗物用）
液体ケントク（フローリング・アスタイル・リノリューム用）
フロアオイルケントク
床清掃請負・掃除器具販売

株式会社ケントク
社長 鈴木清市

大阪市東淀川区新高南通一丁目14
電話 ㊴ 0864～6・1416・1658

建築金物・建具金物
サッシ金物
製造販売

株式会社日垣本社
社長 日垣太市郎

大阪市南区安堂寺橋通二丁目3
電話 ㉖ 5091～6

タイル工事一式

株式会社平田タイル
社長 平田伊三郎

大阪市西区阿波座中一丁目5
電話代表 ㊸ 1003
㊹ 8731

デラックス床材の決定版！



御一報次第係員参上致します

TLモザイク・フローリング
TLモザイク・ブロック

新製品

★**フローリング**はランパーコア合板式で狂いがなく簡単に張る事が出来ます寸法が一定していますから取扱が便利ですその上値段は寄木の½位の格安です
★**ブロック**はタイル式でコンクリートや板の上に接着剤で簡単に安価に豪華な寄木張の床が出来ます。
（各々樹種はなら、さくらがございます）

製造元　天塩川木材工業株式会社
関西総代理店　**太洋木材工業株式会社**
大阪市東区横堀6丁目21　電話　大阪㉕1025・5127

カタログ進呈

特別広告目次（順不同）

大成建設kk …… 9
kk戸田組 …… 10
kk奥村組 …… 11
kk竹中工務店 …… 12
kk大林組 …… 13
kk間組 …… 14
kk浅沼組 …… 15
kk長谷川工務店 …… 16
栗本建設工業kk …… 17
不動建設kk …… 18
kk銭高組 …… 19
清水建設kk …… 20
kk竹中工務店 …… 21
kk大阪硝子店 …… 22
不二サッシ工業kk大阪支店 …… 23
kk淀川製鋼所 …… 23
田島応用化工kk …… 24
日本板硝子kk …… 25
近藤金属工業kk …… 26
kk矢橋大理石商店 …… 26
関ケ原石材kk …… 26
浪速建材工業kk …… 26
大阪三越 …… 27
kk三木塗装店 …… 27
日本油脂kk …… 27
高島屋大阪支店装飾部 …… 28
能美防災工業kk大阪営業所 …… 28
日本ドアーチェック製造kk …… 28
旭硝子kk …… 29
東洋リノリュームkk …… 29
大建ウォールボード工業kk …… 30
kk熊取谷石材店 …… 30
kk室谷商店 …… 30
石産商事kk …… 31
朝日石綿工業kk …… 31
淡陶kk …… 32
山武ハネウエル計器kk …… 32
須賀工業kk …… 33
kk大阪電気商会大阪暖房商会 … 34
高砂熱学工業kk …… 35
kk熊平製作所 …… 36
kk日立製作所 …… 37
新晃工業kk …… 38

アスファルト防水工事

年限仕様の理論と実際

¥400 〒60
建築家に限り2割引

何よりも安心できる
年限仕様
アスタイト防水

防水工事施工に望む

防水工事は建築工事の最も枢要な部門の一つでありその良否は建築物の死命を制すると言っても過言ではない。

外部に見えないと言う理由で或は又その効果が年月を経てはじめて表われると言う理由で不当な競争の結果粗雑な工事に趨り或は一部に防水工事はいくらでも安く出来ると云う概念すらあることは極めて危険であり建築技術の向上を阻害すること甚しいものである。

アスファルト防水工事は今更こと新しく言うまでもなく適切な材料の選択は勿論その施工が最も大切であり、しかもそれは明確な責任を伴うものでなければならない。

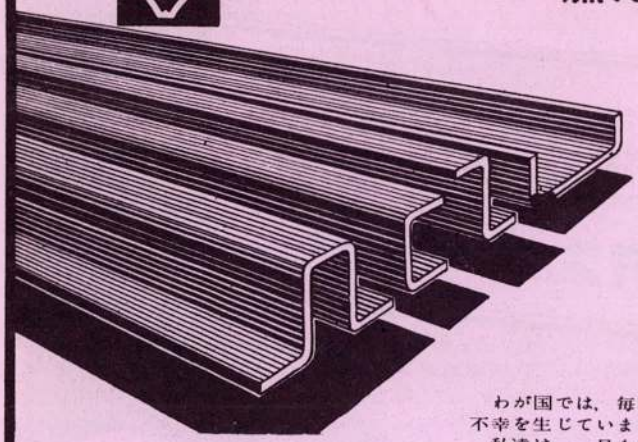
茲に三星西日本アスファルト事業協同組合が「アスファルト防水工事・年限仕様の理論と実際」なる冊子を発行し責任のある防水工事の実態を詳説致します。

建設省阪建22号認可　　出資金600万円

三星 西日本アスファルト事業協同組合

大阪市西区京町堀上通1ノ14　TEL㊹代表5951 夜間管理人室用 (44) 9910
東京連絡所　東京都足立区小台町633（田島応用内）　TEL ㊾ 代表 1181
北陸・東海・近畿・中国・四国・九州

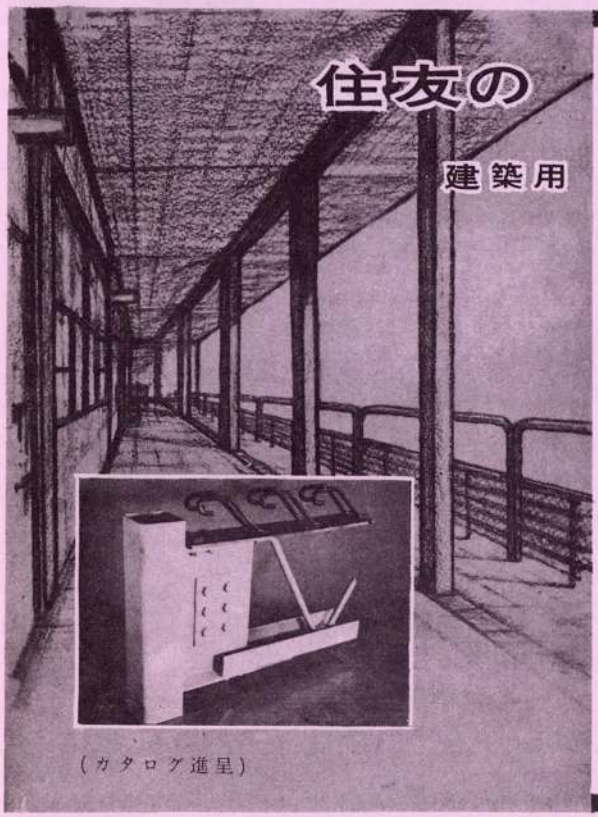
燃えない家を造りましょう





わが国では，毎年火災のために400億円に近い莫大な損失と，大きな不幸を生じています。
私達は，一日も早くこのようなことから解放されなければなりません そのためには燃えない建築材料が必要です。
当社では，この要望に応えるために，最適の建築材料として，すでに欧米で大量に使用されている「軽量形鋼」を，当社川崎製鋼所の新鋭設備で生産しております。
この「軽量形鋼」は，軽くて丈夫な「薄鋼板」を冷間成型して，各種の形鋼を大量に生産するもので価格も低廉です。

富士製鐵の軽量形鋼



（カタログ進呈）

角形鋼管

「鋼管を素管とした
継目角形鋼管」

形鋼を組合わせて溶接した角形鋼管と比べると
均質で、**軽量**で、**経済的**な(高級)継目角形鋼管

住友金属工業株式会社

本　社 大阪市東区瓦町4丁目31電話(大代表)大阪(27)2201
支　社 東京都千代田区丸ノ内1丁目8ノ6(新住友ビル)電話(大代表)東京(211)2211
福岡営業所　福岡市天神町58番（天神ビル8階）　電話福岡(5)5190・3582
広島営業所　広島市紙屋町8番地（広電ビル内）　電話広島(2)7471・7596
名古屋営業所　名古屋市東区久屋町5-9(住友商事名古屋ビル)　電話 名古屋(97)1490・6222
仙台営業所　仙台市東1番町11東1番丁ビル内　電話仙台(3)3501-(5)2643
札幌営業所　札幌市北大通西4丁目6(住友生命札幌ビル内)　電話 札幌(4)0378

電気工事 ✣ 設計★施工

適正配線の
御相談と御用命は
是非当社へ

近畿電氣工事株式會社

取締役社長　佐藤　太

本　店　大阪市北区南扇町12　電話(大代表)大阪 312—1281
支店*支社　大阪北・大阪南・京都・神戸・姫路・奈良
和歌山・滋賀*名古屋・広島・東京

DON'T DRILL IT DRIVE-IT JAPAN DRIVE-IT CO.

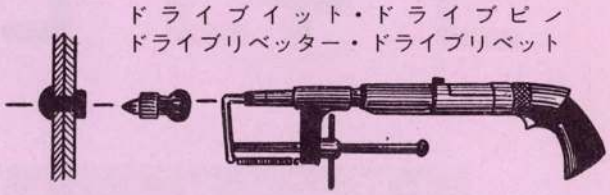
建設用鋲打銃ドライブイットが
軽量鉄骨業界に贈る新工法!

ドライブリベット工法

(PATENT. PEND)

御手持ちのドライブイット（三三〇型及四四〇型）にドライブリベット用アタッチメントを取付けるだけで電気も、ドリルも、コンプレッサーも使はずに薄鋼板金属板に、瞬間に、強固に経済的にリベット打ちが出来る特殊リベット法が完成致しました。

ドライブイット・ドライブピン
ドライブリベッター・ドライブリベット



製造元
日本ドライブイット株式会社
東京・大阪・名古屋
大阪市北区絹笠町11　TEL　34—6444
36—8709

アサノ セメント

日本セメント株式会社

関西事務所　大阪市北区梅田町47番地　新阪神ビル6階　電話大阪（36）3351～6

本　　社　東京都千代田区大手町2丁目9番地
事 務 所　北海道・東　京・関　西・九　州
出 張 所　仙　台・名古屋・広　島・高　知
包 装 所　釧路・函館・青森・下板橋・横浜・新潟・名古屋・小倉

ヨーギヨーセメント

大阪窯業セメント株式会社

本　　社　大阪市北区堂島浜通1丁目25新大ビル内
東京支店　東京都千代田区丸の内郵船ビル内
名古屋支店　名古屋市中村区 住友銀行 名古屋駅前支店 ビル内
工　　場　大　　阪　　伊　　吹

小野田

PORTLAND CEMENT
商標登録
ONODA

小野田	普通	ポルトランドセメント
小野田	早強	ポルトランドセメント
小野田	ダム用(中庸熱)	ポルトランドセメント
小野田	シリカ	セメント
小野田	高炉	セメント
小野田	フライアッシュ	セメント
小野田	白色	ポルトランドセメント
小野田	カラー	セメント

小野田セメント

社長　安藤豊祿

東京本部　丸ノ内・鉄鋼ビル
大阪支店　梅田・第一生命ビル

宇部セメント

CEMENT
CEMENT

宇部普通セメント
宇部超高級セメント
宇部中庸熱セメント
(混合セメント)　宇部ポゾランセメント
(セメント混和材 Fly Ash) 宇部ポゾラン

ご一報しだい説明書急送します

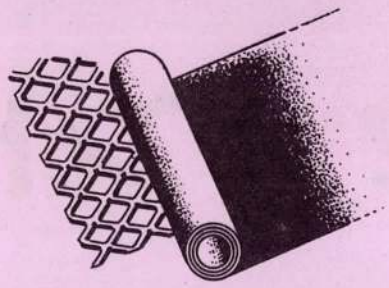
セメント・石炭・化学肥料・カプロラクタム・機械

宇部興産

山口県宇部市・資本金９６億９千２百万円

タムラ 最高の品質・新しい建築資材

壁下地材



日東ラスボード
日東ボード用プラスター
リブプレックス
ヨツメリブラス
ヤハズラス
ワイヤーラス
軽量鉄骨ラス張
フエルト・ルーフイング

創業 明治24年
貿易・木材・建材

田村商會 建材部

本店 神戸市生田区京町七二（クレセントビル） 電話 (39) 代表0881－6
支店 東京都中央区八重洲一丁目西河岸橋西詰 電話東京 (271) 6181・6182

イワキセメント

ポルトランドセメント
生コンクリート
波形スレート
パイル・ポール

磐城セメント株式會社

取締役社長 斎藤次郎

本社	栃木県安蘇郡葛生町	電話葛生450～5
東京支社	東京都台東区北稲荷町13	電話浅草 (841) 8121～9
大阪営業所	大阪市東区北浜4丁目26 新日本汽船ビル	電話北浜㉓7246～9・7072・4973
出張所	青森・仙台・金沢・名古屋・小倉	

トムレックス
吹付石綿
吸音 断熱 耐火材

日本アスベストの新建材

時代の要求は
・静かな！
・夏涼しく冬暖かい！
・燃えない！

軽い耐火板 建築基準法定不燃材料

ファイアボード

厚さ(mm) 4. 6. 8. 10. 12
大さ(mm) 910×1820
1210×2420
吸音板 303×303
大さ(mm) 910×1820
釘打・鋸引・取付……施工容易
重量……木材以下

日本アスベスト株式会社
N.A.K.
本社 東京都中央区銀座西6丁目3番地
仮事務所 東京都港区芝公園5号地12番地9号
電話・銀座(571)5701(代表)
大阪支店 (25) 5491・九州支店 (4)1747
名古屋支店 (32) 6591・札幌出張所 (3) 520

本誌名記入お申越次第資料を送呈致します。

防水工事の一大革命

プラスチックス防水帯

最も新しい防水工法
強靱、耐薬品性で老化しない
火熱を要しないので施工容易

責任施工

耐酸化学工業株式会社

大阪市北区高垣町八十番地 電話代表㊱0178・4161番㉞4957・4958番

今年度も

サッシ・ドアの設計・施工は

伝統と信用のある

下記協会員へ

西日本規格サツシ（株）
大阪市北区神山町26（富国ビル） ㊱6501

朝日建材工業（株）
高松市木太町洲端2169 高松 ③3181

旭鋼鈑工業（株）
大阪市城東区野江西之町1ノ44 ㉝3561

麻村サツシユ工業（株）
大阪市城東区野江東之町1ノ12 ㉝3351

尼鉄建材工業（株）
尼崎市西向島町270 ㊵6301

（株）岩住鉄工所
大阪市西淀川区千舟東2ノ31 ㊼5123

栄進鋼業（株）
大阪市城東区野江西之町1ノ44 ㉝8261

（株）栄進社大阪営業所
大阪市大正区南恩加島1 ㊺7170

大阪機工（株）
大阪市大淀区豊崎西通1ノ4 ㊲0664

大阪建材工業（株）
堺市松屋町1ノ6 (022) ②3323

（株）大阪鉄工所
大阪市西区本田町1ノ44 ㊸1254

大阪理研工業（株）
豊中市大字洲到止359 ㊴0661

加地シヤツター工業（株）
大阪市生野区中川町3ノ15 ㊸1020

川鉄建材工業（株）
神戸市東灘区魚崎町魚崎 (08) ⑧4343

（株）関西鋼業製作所
大阪市城東区野江中之町2ノ5 ㉝5508

（株）建鋼社
広島市中広町1002 広島 ③6616

三機工業（株）大阪支店
大阪市東区高麗橋311（東綿ビル） ㉖2951

昭和鋼機（株）大阪支店
大阪市西淀川区佃町21ノ155 ㊼1441

谷山鋼機（株）
大阪市城東区野江東之町2ノ2 ㉝7125

中国理研サツシユ（株）
広島市舟入幸町612ノ1 広島 ③2081

東京鋼鈑工業（株）大阪支店
大阪市北区絹笠町18（聚楽ビル） ㊱9154

（株）中本鉄工所
大阪市福島区海老江下2ノ74 ㊺6464

浪速建材工業（株）
大阪市城東区野江中之町1ノ9 ㉝1171

日本建鉄（株）大阪営業所
大阪市北区堂島上2ノ39(毎日産業ビル) ㊱6758

日本スピンドル製造（株）
大阪市東区備後町（綿業会館） ㉓8562

（株）汎建製作所
大阪市此花区思貴島北之町11 ㊻2903

不二サツシ工業（株）大阪支店
大阪市西淀川区御幣島中3ノ4 ㊼1454

（株）三高製作所
大阪市東淀川区西中島町7ノ69 ㊲1754

理研鋼機（株）大阪営業所
大阪市北区宗是町1（大阪ビル） ㊹8621

社団法人
日本サッシ協会 関西支部
大阪市北区神山町26（富田ビル）（36）6501

広告目次 (50音順)

建築と社会 昭和35年 Vol. 42 No. 1

ア 浅海電気kk……14
kk 朝日工業社……13
朝日石綿工業kk …… 表4
伊奈製陶kk……中挟
井田商事kk……15
井上浄夫商店 ……11
磐城セメントkk……26
kk 岩住鉄工所……中挟
岩元工業kk……34
宇部興産 ……25
宇部スレート工業 kk……本文
kk 栄興商会……13
オリエンタルメタル製造kk 中挟
大阪コンベス建材社 ……32
大阪建材工業kk……36
kk 大阪城口研究所……12
大阪鉄工所 ……30
kk 大阪電気暖房商会……12
大阪耐酸工業所 ……34
大阪防水建設社 ……11
大阪窯業セメントkk ……24
大島応用化工業kk …… 1
kk 奥村重兵衛商店……本文
奥山化工業kk……35
織本建築事務所 ……18
小野田セメント ……25
カ 樫野石灰工業kk……16
kk 川岸窯業……17
川口ゴム工業kk……前付
関西暖房工業kk……30
関西三星タイル会 …… 表4
kk 桂商会……前付
亀井kk……33
近畿電気工事kk……23
工藤電気kk……14
kk 久保商店…… 1
久保田建材工業株式会社 …中挟
黒川化学工業所…… ……33
栗原工業kk……14
kk 建材社……12
建材信和会 ……19
慧精工業kk……30
江東電気kk……14
小西儀助商店 ……36
合同特許建材工業kk ……15
kk 小俣製作所……本文
恒和化学工業 ……本文
kk 金剛商会……17
サ 斎久工業kk……12
kk 斎藤省三商店……12
「材料と設計」 ……本文
三機工業kk……12
kk 三幸商会……16
kk 三晃商会……12
三宝電機kk……14
合資会社佐村木商店 ……16
kk 三和シヤッター製作所…前付
敷島金物kk……前付
昭和アルミニウムkk ……31
新鋼建設工業kk……15
kk 新興建材工業所……18
須賀工業kk……12
住江織物kk……11
鈴木シヤタア商会 ……15
住友金属工業kk……22
タ 田島応用化工kk …… 表2
田中工業kk …… 1
kk 田中風呂製作所……33
田辺工業kk……本文
田村商会建材部 ……26
kk 谷山製作所……本文
第一企業kk……13
第一工業kk……13
大嘉熱工業kk……13
大日本硝子工業kk……34
太洋木材工業kk……20
大仏組 ……17
耐酸化学工業kk……27
高砂熱学工業kk……13
kk 武智工務所……本文
淡陶kk……挟込
中央電気工業kk……14
朝陽電気kk……14
東京鋼板工業kk……16
東洋キヤリア工業kk……13
東洋シャッターkk……前付
東洋陶器kk……前付
東洋リノリュームkk……前付
東洋レーヨンkk……前付
ナ ナニワ瓦kk……17
内外工業kk……15
内外土木建材社 ……31
内外写真 ……33
中本電気kk……14
浪速合板 ……16
浪速建材工業kk……35
日共冷熱機材kk……前付
日新工業kk……中挟
日本アスベストkk ……27
日本エレベータ工業kk ……11
日本管工業kk……13
日本建鉄 …… 表3
kk 日本金具製作所……前付
日本サッシ協会関西支部 ……28
kk 日本シヤッター製作所… 表3
日本セメントkk……24
日本セメント防水剤製造所…表3
日本ドアーチエツク製造KK ……中挟
kk日本ドアーチエツク製作所 ……17
日本ドライブイット ……23
日本熱学工業kk……13
日東紡績kk……前付
日瀝化学工業kk……前付
西日本アスファルト事業協同組合……21
kk 西原衛生工業所……12
ハ kk 林塗装店……15
阪急電気工事 ……15
kk 日立製作所……前付
kk 平川鉄工所……前付
平田タイル ……34
富士製鉄kk……22
フタバ黒板 ……33
福屋工業kk……15
藤森建材kk……前付
平和工業kk……33
北陸軽金属工業 ……20
水島商店 ……32
マ 前田白蟻 ……挟込
水谷ペイントkk……本文
kk 三高製作所……31
三井金属鉱業kk……前付
美素工業所 ……前付
kk 室谷商店……17
明正社 ……32
kk メルコン……33
森井電業kk……14
ヤ 山田工業kk……12
八橋大理石商店 ……17
八幡製鉄 ……前付
kk ヤマト電気商会……14
八千代電設工業kk……15
kk 山本建材社……前付
kk 油脂化工社…… 表3
kk 吉田芳雄商店……17
吉野石膏kk……17
kk 寄木商店……31
ラ 理研鋼機kk……13

◎恒例の**新年広告**（5日会・10日会）は紙面の都合上、目次は省略させていただきます。ただし普通紙広告の2頁から10頁までに記載してあります。

古き歴史と斬新な技術を誇る大鉄製品

営業品目

スチール
アルミ
サッシュ
ドアー
シャッター

ステンレス製品
美術金物
金庫 金庫室扉

設計 製作 取付

株式會社

大阪鉄工所

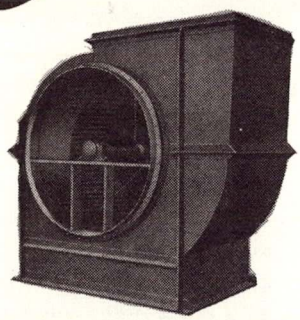
取締役社長 冨田豊松

大阪市西区本田町一丁目四四番地 電話 大阪 ㊸ 1254・4615 ㊹0910・0919

津守工場 大阪市西成区千本通七丁目二四番地 電話大阪㊻ 1418

KANDAN

煖冷房温湿度調整
設計 施工



各種送排風機
設計 製作

関西煖房工業株式会社

本社 大阪市住吉区万代東6丁目3番地
電話 大阪 67－6751(代表) ～4・1590
堺工場 堺市浜寺石津町中二丁目二四〇番地
電話 堺 ① 1213 ③ 1322
出張所 福岡 徳島

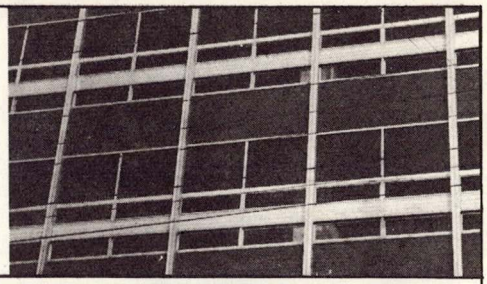
減らず・滑らず・美しい
モルタル打と同時仕上る 美装床材 カラー・コンク

超硬骨材に顔料、薬品等を配合した粉末剤でその儘水練り、金鏝仕上げの為特に技術を要せず、色ムラ、ノ口汚れ等の缺点がない耐磨耗性特に強大、表面滑らかで美しく清潔、耐水性に富み価格低廉であります。（坪当り材料代¥ 950）仕上り厚さ約2 ㎜程度
学校、工場、病院、事務所、商店、ガレーヂ、ガソリンスタンド、住宅の玄関、流し、浴室等に最適であります。

（求代理店）

慧精（ケイセイ）工業株式会社 大阪市此花区四貫島旭町1－3
TEL 大阪（46）3594

三高式 サッシュ.ドアー.シャッター
オペレーター
ドアーハンガー
TRADE MARK
M.T.K.S
株式会社 三高製作所
本社工場 大阪市東淀川区西中島町7—69
電 話 大 阪 37—1 7 5 4 (代 表)

SAK
アルミニウムの総合メーカー
昭和アルミの 押出型材

昭和アルミニウム株式会社
本 社 堺市海山町6の224 電話 堺(3)1181(大代表)
大阪営業所 大阪市東区唐物町2の47 電話 大阪(26)1991～7
東京営業所 東京都中央区日本橋堀留町1の12 電話 東京(661) 6541(代表)

内外式 バーチカル ベンチレーター
電気扇付 屋上強制換気装置
建築基準法にフリーパスのガラス屋根
内外式スカイライト
工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適
内外式
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター
設計 施工
内外建材株式会社
旧名 (株) 内外土木建材社
大阪市西区土佐堀船町23 (大阪商工ビル) TEL (44) 3983
工場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL (98) 1149

寄木貼床板
フローリング 施工請負
ブロック
ベニヤフラッシュドアー 造作取付
グラインダー床削
株式会社 寄木商会
営業所 大阪市東区横堀6—49
電話 ㉕3731・3960
工場 大阪市浪速区勘助町1

良心的な工事と材料

アスファルト
防水工事．耐酸工事

ブリヂストンの
エバーソフト
最も進んだゴムのクッション

志垣の 明正社
大阪市東区高麗橋詰町21
TEL (94) 8125～8・0761(夜間用)

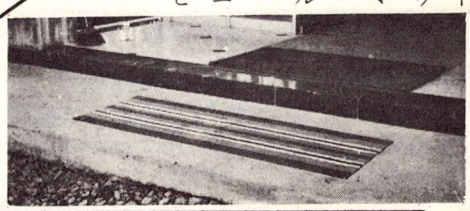
責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C式
N.G.インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ.コンパウンドアスファルト販売
内外工業株式会社
脇山静夫
本社 大阪市阿倍野区旭町一ノ五一 電話㊸3434～6
工場 大阪市阿倍野区旭町二ノ六六
N.G.インシュライト断熱材製造発売元

経験と技術
Y.C.コンベス(リグノイド)
ゴムタイル
プラスチックラブ
スポンヂシート
アスファルトタイル
大阪コンベス建材社
大阪市北区浪花町三五 電話 豊崎㊲6760・7063

MIZUSHIMA
おそうじ百貨ミヅシマ
'61年型ミヅシママット
ユービマット
ラインママット
マジックラインマット
ニューラインマット
ビニールマット

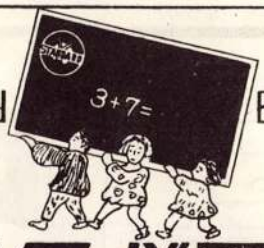




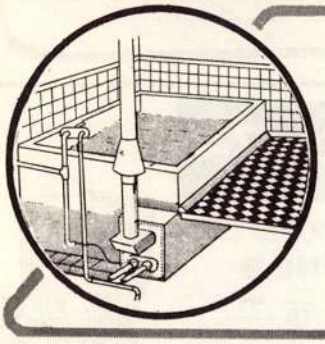
常にトップデザインのミヅシママット

株式会社 水島商店
大阪 大阪市西区北堀江上通り一丁目 TEL(53)3514・8246
京都 京都市中京区蛸薬師通り烏丸西入 THE(22)5363・0214
福岡 福岡市下村馬小路一二八の四 TEL (3) 2706
工場 京都市右京区西院松井町八 TEL (84) 1697
展示場 大阪市西区北堀江上通り一丁目 TEL (53) 9347

標準セメント防水材・特許ニッポン
特許ニッポン防水液 ・ 急結液一号（噴水急止）
二号（湧水防止） ・ 姉妹品粉末ニッポン
施工指導並ニ責任模範施工
黒川化学工業所
（国立大阪工業試験所創製）セメント防水材特許権実施工場
（大阪営業所）北区芝田町六八　電話大阪㊱7916
（本社・工場）神戸市灘区住吉町反高林1876・
神戸⑧2723



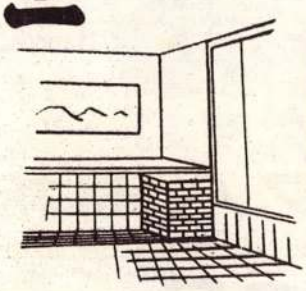
Standard Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地　電話天王寺(74)4692番


田中のガス風呂
各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂
大阪ガス会社指定
田中風呂鑵作所
大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　電話㊸5313・8128

窓掛、緞帳、日除、壁紙 室内装飾 絨氈、舗床材一般
東洋レーヨンのナイロン緞通と絨氈 発売元
亀井株式會社
大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)
電話 大阪（25）1353～5番


平和式
親切・丁寧
ご御照会
軽量シャッター
平和工業株式会社
大阪工場　大阪市浪速区河原町2丁目 電(64)5750・8444
東京工場　東京都太田区糀谷町4丁目 電(741)0160・1733

トイレの脱臭に
電気脱臭器
メルコン
熱海 莱の宮ホテル 全室装備
製造元　株式会社 メルコン
大阪市東区今橋一ノ一〇
(朝日生命ビル)TEL 大阪㉓5110



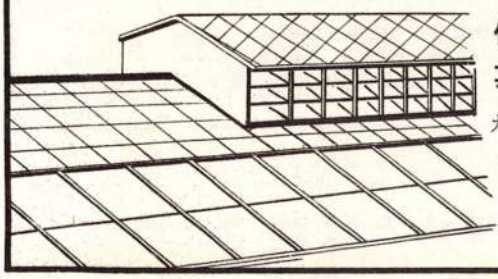
タイル・衛生陶器

株式會社

平田タイル

岩元式 **スカイライト** 並 固定筒型 コンチニアス **ベンチレーター**

サッシュ、ドアー、シヤッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工





カタログ進呈

岩元工業株式会社

本社 大阪市東成区東今里町4の40
電話 ㊽0616・0617

光り 波型ガラス

（網入及網ナシ）

ダイニチライト

ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板



製造元 **大日本硝子工業株式会社**

大阪支店 大阪市北区玉江町2—4（三菱倉庫ビル）電話 大阪 ㊹3389・1389
本　社 東京都中央区京橋3—6　電話(281)6926～8

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　電話大阪㊲1333番

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE ◆ MARK

● 黄綬褒章受賞

陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

カッパー防水帯

コーパータイト

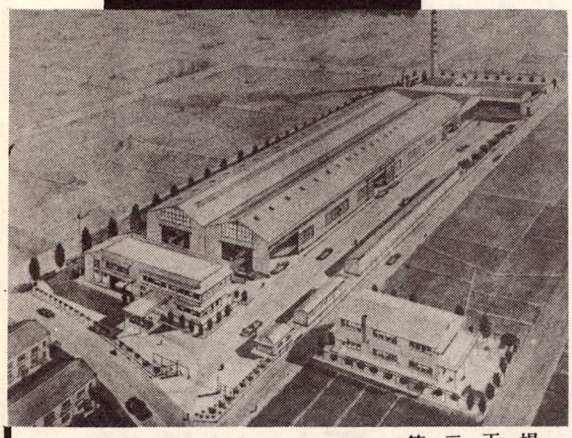
特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8の3
TEL 銀座(571)2703～4・2370・4064・0264

●御申越次第カタログ進呈

NK



第二工場

浪速式

アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シャッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
— 製造販売 —

NANIWA
大正十四年
創業

日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地 電話 大阪㉝1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地 電話大阪㉝6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館 607号室 電話 東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地(サンビル内)電話 福岡 ④ 8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地 電話 大分 1366番

建築用の接着剤には

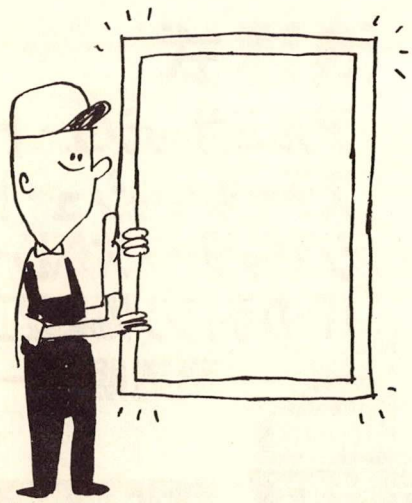
Bond ボンド

木工用	ボンド CH_2	ハードボード用	ボンド CV_{2000}	
テックスボード用	ボンド K	化粧板用	ボンド G_5	
セメントモルタル補強用	ボンド CZ	ビニタイルサラン用	ボンド G_{100}	その他
コンクリート石材用	ボンド E	木材構造用	ボンド KR	170種

製造元　株式会社 小西儀助商店 ボンド工場

見本カタログ進呈

営業所
大阪市東区道修町2丁目6番地　電話（23）2047，2057（代表）
東京都中央区日本橋本町3丁目1番地　電話（241）5524～8，
分室・東京都中央区日本橋本町1丁目7番地　電話（241）2191～4，2541
名古屋市西区西菊井通り8丁目21番地　電話（53）7183～4
工場　大阪・東京



近代建築に….

大建の アルミサッシ

住友軽金属工業株式会社と提携

■錆びないスチールサッシは

オートメーション焼付塗装ラインに依る

大建の 2重焼付塗装で

■部材で1回、成品で1回

建 大阪建材工業株式会社

営業所 大阪市南区九郎右衛門町21番地 TEL 大阪 ⑮ 0836～9

本社工場 堺市松屋町1丁目6番地 TEL 堺 ② 3323～7

出張所 名古屋 TEL 名古屋 ⑨ 4884 金沢 TEL 金沢 ③ 3427～8

昭和36年度版会員名簿についてのお願い

さきにご配付申しあげました昭和36年度版会員名簿につきまして，下記箇所に変更，訂正がございました。まことに恐縮ではございますが，下記のとおりご訂正願います。

（個人正会員）

頁	氏　名	出身校	出身地	勤務先又は職業	住　所	備　考
110	西岡　康夫	昭35 大市大	大阪	東区大手前之町 大阪府企業局宅地開発部 建設課 (94—2863)	布施市中小阪579	(記入洩)
140	村島　彰	昭12 京大	東京	東区京橋2—28 ㈱松村組設計課長 (94—3171)	阿倍野区阿倍野筋2-51	(記入洩)
140	村瀬　鉱一	昭5 関西工	大阪	東区京橋2—28 ㈱松村組工務部次長 (94—3171)	布施市菱屋西145-35 (72—0989)	(記入洩)
140	村瀬　文雄	昭16 岐阜2工	滋賀	北区曽根崎新地1—21 ㈱神崎組大阪支店工事部長 (34—7837)	東淀川区元今里南通3-63	(記入洩)

（団体正会員）

頁	名　称	業種	代表者	所在地	電　話	備　考
172	三建設備工業㈱ 大阪支店	管工	支店長 白井　徳蔵	東区伏見町2-22　青山ビル	㉓0542・5779 8746	(記入洩)

（個人正会員）

頁	名　称	正	誤
25	秋山修蔵	八幡市清納町5　大林組社宅	戸畑市明治町2-3　大林組戸畑工事事務所
26	浅野新一	工博 熊本大学工学部教授 熊本市黒髪町宇留毛212	(記入洩) 熊本大学教授 熊本市黒髪町宇留毛212
26	東　孝光	西区京町堀通2—12 坂倉準三建築研究所 (44—0022)	東区京橋3—22 大阪郵政局建築部設計課 (94—6151)
32	石井建光	石井建光	石井健光
35	出水正良	北区中之島1 大阪市計画局整地部移転補償課 (23—5551)	港区西市岡町1—5 大阪市計画局整地部港土地区画整理事務所 (57—5500)
38	兎本精二	兎本精二	兎木精二
39	上里忠吉	東京都港区芝新橋2—30 ㈱東京興業貿易商会	福岡市上辻堂ナショナルビル ㈱東京興業貿易商会福岡支店
43	小栗賛吾	小栗賛吾	小粟賛吾

頁	名　　称	正	誤
43	小栗治平	小栗治平	小栗治平
47	大貫啓嗣	南区南炭屋町32　日光商事内	芦屋市平田町44　大阪ガス寮 (2—6464)
47	大野勝三郎	鹿島建設㈱	鹿児建設㈱
52	押川新一	宮崎市老松通1-8	宮崎市栄町2-1
52	加藤毅夫	近畿電通局建築部新営課調整係長	近畿電通局建築部灯管課調整係長
53	狩野隆一	貝塚市大字半田675　府住41号	岸和田市五軒屋町346
55	片山紀明	枚方市中宮5051 公団中宮第2団地15-306	枚方市中宮50-1
57	神谷光市	名古屋市東区新出来町1—35 大林組　柏友寮	京都市左京区田中里之内町10
61	木地晴彦	(出身校) 阪大 ㈱竹中工務店設計部	大工大 ㈱竹中工務店見積部
61	木野勝二	(出身地) 和歌山 岸和田市加守町626—1 ㈱西田工務店 (岸貝局2—7221)	福井
61	木村勝一	橋本市菖蒲谷952	布施市中小阪560
62	菊地克	建財設計工務㈱	建材設計工務㈱
64	北山二十三	宝塚市米谷東山26 (宝塚4436)	阿倍野区相生通3-30 (66—2606)
65	汲川圭司	和泉市太町41-28	大阪府泉北郡信太村聖岡11
66	黒田忠哉	枚方市香里ケ丘3　B4-508	芦屋市公光町16
68	小西岬	西区阿波座南通2-60	西区阿波座下通2-28-1
271	㈱田中小西建築事務所	西区阿波座南通2-60	西区阿波座下通2-28-1
69	小林周一郎	堺市日置荘北町70-196	東区南新町2-19

頁	名　　称	正	誤
71	神前良治	㈱春本鉄工所専務取締役	㈱春本鉄工所常務取締役
74	佐藤　徹	東区京橋3—22 大阪郵政局建築部　(94—6151)	東区備後町1 東郵便局会計課
74	佐野正一	㈱安井建築設計事務所代表取締役 (西宮 2-1569)	㈱安井建築設計事務所取締役 (西宮1569)
75	坂内幾三郎	池田市畑町78-6	西淀川区野里東3-13　(47—0129)
77	沢井平一	(茨木　0262-2871) (65-6251)　(自宅)	(茨木0734)
79	品川二三男	福井市原下町1-2-6	福井市明里町32
81	下良之克	西宮市東町3-17　上月方	神戸市灘区弓の木町4-21 弓の木荘17
84	鈴木晴弐	東区南本町4—20　有楽ビル 大成建設㈱大阪支店　(25—4254)	東区釣鐘町2—29 大成建設㈱大阪支店　(94—0321)
87	田土春一	枚方市大字山の上538	西宮市甲子園口2-211
88	田中弘成	吹田市大字垂水42-3 大林組花壇寮	寝屋川市字郡1322　大林組香里寮
89	田辺正雄	阿倍野区文の里1—15 ㈱田辺工務店　(77—2732)	阿倍野区松崎町3—189 ㈱田辺工務店　(77—9797)
89	田辺　昭	(出身校) 兵庫工	第1神工
90	多屋幹夫	多屋幹夫	多尾幹夫
93	竹内　潮	(691-2347)	
93	竹腰敏繩	春日井市寿町122	春日井寿町122
94	竹村吉高	伊丹市稲野7-38	宝塚市米谷飛松14-1　児島方
94	竹本丈太郎	東区淡路町2—34 ㈱安井建築設計事務所　(26—2839)	東区京橋2—28 ㈱松村組設計課　(94—3171)
95	武田光好	吹田市大字片山921　大林組豊津寮	池田市大字片山921　大林組豊津寮

頁	名　　称	正	誤
95	棚橋正清	東区京橋3—75 ㈱大林組　(94—0861) 吹田市字垂水42-2　大林組花壇寮	名古屋市中区朝日町1—15 ㈱大林組名古屋支店　(9—2611) 名古屋市東区新出来町1　大林組寮　(4—9716)
96	玉置　明	大阪府建築部指導課	大阪府建築部営繕課
96	玉真秀雄	東京都中央区宝町2—1 清水建設㈱取締役　(561—4181) 東京都台東区上野桜木町23	福岡市社家町21 清水建設㈱取締役九州支店長　(3—1831) 福岡市西新町汐入110　(4—2383)
97	津曲俊二	東住吉区平野大通33-3　白扇内	住吉区東長居町36　小谷方
98	佃　忠夫	京都市伏見区深草瓦町35-4	神戸市垂水区舞子町公団東舞子団地7-309
98	塚本定治	(97-1830)	(75-5830)
105	中沢伸二	東京都杉並区荻窪1-119　常盤方	東京都杉並区西田町1-439　山岸方
107	中村直治郎	東区釣鐘町1—27 関西不破戸襖販売所　(94—1993)	西区江戸堀下通2—38　西船場ビル 関西不破戸襖販売所　(44—2898)
110	西川鶴吉	西宮市甲子園町85	西宮市鳴尾町西鳴開105
112	野崎謙三	東京都港区芝南佐久間町1—46 ㈱山下寿郎設計事務所　(501—2461)	東京都千代田区丸ノ内2—8　仲12号6 ㈱山下寿郎設計事務所　(281—8551)
113	野中昭成	尼崎市上の島451	尾崎市上元島451
114	波多野康彦	八尾市大字萱振710	箕面市箕面町半町522-3
116	浜田和夫	(出身校) 鹿工専	麗児島工
117	早野　暲	(54-6717)	(44-5885)
118	原田貞雄	原田貞雄	原田真雄
118	伴　潔	伊丹市伊丹284-1	伊丹市284-1
119	伴野貞三	守口市豊秀町2-67	守口市豊秀町7-67
120	平内祥央	(出身校) 大市大	京大

頁	名　　称	正	誤
122	扶川　明	昭32 大工大	昭27 都島工
122	福井多嘉夫	伊丹市稲野住宅3号地	伊丹市御願塚勘定舗450-96
125	藤原　巧	奈良市菅原町963-232（住所）	
128	前田浩輔	吹田市高畑町1437	城東区西鴫野町3-472
130	増田建太郎	増田建太郎	増田健太郎
131	松井義孝	名古屋市中区菅原町2—11 ㈱竹中工務店名古屋支店　(23—7181) 刈谷市豊田自動織機前竹中工務店内	北区茶屋町38 大鉄工業㈱　(36—0171) 和歌山市松江679
131	松岡通夫	西宮市里中町3-31	浪速区下寺町3-30
133	松谷　弘	堺市東之町西1—5 ㈱松谷工務店 専務取締役　(堺3—3170) 堺市材木町東4-6　(堺3—1733)	堺市材木町東4—7 ㈱松谷工務店　専務取締役　(堺3699)
135	三浦久男	東住吉区長居町東7-45　公住38-316	豊中市本町4-140　菅瀬陽方
135	三原清敬	（卒業年）昭30	昭11
135	三宅吉明	東淀川区淡路本町2-170（住所）	
137	南　広吉	京都市東山区本町19丁目	京都市東山区本町1丁目
137	箕曲在信	東京都江東区深川平井町3—3 ㈱竹中工務店建築技術研究所　(644—3266) 横浜市神奈川区斉藤分町74　(49—1172)	東京都千代田区大手町1—6 ㈱竹中工務店東京支店　(231—0131) 東京都江東区深川平井町3-3
139	宮脇和正	神戸市生田区下山手4 諏訪山県公舎11号	福島市松浪町71
140	村岡正義	吹田市千里山南之町122	吹田市千里山122-1
140	村井健三	東区南久宝寺町2—56　竹田ビル 伊吹設計事務所　(27—8071)	浪速区元町1—742　藤本ビル ㈱泉設計事務所　(54—5196)
140	村田　武	綾部市青野	緩部市青野
141	村野藤吾	宝塚市米谷蔵座西1-1	宝塚市米谷蔵座西24

頁	名　　称	正	誤
142	森　忠一	阿倍野区阿倍野筋2—31 村野森建築事務所　(77—0926) (西宮2-8617)	阿倍野区阿倍野筋2—3 村野森建築事務所　(77—2352) (西宮5117)
142	森岡武夫	神戸市東灘区御影町掛田1157-9	神戸市長田区天神町2-18
144	矢ノ上滋郎	目黒区下目黒3-652　西部荘（住所）	
146	藪中良彦	住吉区南住吉町1-44	東住吉区山坂町4-59
148	山田為行	福岡市三宅銭通133 ㈱高島屋工作所福岡工場	西成区梅南通7—5 ㈱高島屋工作所　(65—0665)
154	吉村忠男	（出身校）大工芸高	大工大高
157	渡辺幸蔵	兼喜産業㈱	善喜産業㈱
157	渡辺典雄	小牧市北外山字早崎3005 ㈱大林組小牧工事々務所	富士市鮫島2—1 ㈱大林組富士工事々務所
157	渡辺啓之	東京都調布市金子町1896 東急柴崎団地76	東京都大田区御園2-30
159	沖中　健	（出身校）京大院	京大
160	小林義春	大阪鉄道管理局大阪建築区	国鉄大阪工事局設計課
162	吉増盛夫	吉　増　盛　夫	古　増　盛　夫

（団体正会員）

167	㈱**岡　　組**	㊊㊋(代)0776	㊏2967・2984 ㊐7720・9496
170	㈱**互光商会**	㊊㊋4958(代)	㊏3063 ㊍3064
170	**小山設備工業㈱**	神戸市葺合区布引町2-3	神戸市布引町2-3
172	㈱**斉藤省三商店** **大阪店**	（業種）管工 支店長 知見義夫	（業種）建材 社長 斉藤省三
173	㈱**新興建材工業所**	社長 福頼圭蔵	社長 福瀬圭蔵

頁	名　　称	正	誤
174	新生電業㈱ 広島支店	広島市二葉の里1	広島市二葉町里1
179	東洋陶器㈱ 大阪営業所	所長 中松通明	所長 中村通明
181	日本金具製作所 大阪出張所	代表者 赤堀留吉	赤堀富吉
181	日本ゼニスパイプ ㈱大阪営業所	西区京町堀上通2-26	西区江戸堀北通1-18　小谷ビル
182	日本曹達㈱ 大阪支店	日曹マスタービルダーズ㈱ 大阪出張所 所長 高木　稔	日本曹達㈱大阪支店 支店長 吉田　誠
183	阪急電気工事㈱	(301-1757)	㊲5474(代)-6
184	東日本化学工業㈱ 大阪支店	南区順慶町通4-32	南区順慶町1-5
185	㈱平安建材商店	京都市中京区河原町通夷川上ル	京都市河原町通夷川上ル
187	三菱電機㈱大阪 営業所施設部	部長 岡崎二郎	所長 伊藤泰雄
188	八幡製鉄㈱ 八幡製鉄所	八幡市枝光814-1	八幡市枝先814-1

(准会員・学校)

198	吉村国昭	(在籍校) 名城大	大工大
204	浜本宣昭	北区北錦町31	東淀川区浜町50
237	大阪大学工学部	(35-6351)	(35-6531)

(業者案内欄)

276	㈱今西組	支店　東京都新宿区内藤町1 (341—4476)	東京都渋谷区南平台町12
280	大洋建設工業㈱	支店　和歌山市南材木町3-2 京都営業所　㉟0479	本店　和歌山市南材木町3-2 ㉟　0470

頁	名　　称	正	誤
291	**磐城セメント**㈱	大阪営業所　㉓4973	㉓4975
314	㈱**諏訪商会**	㊾(代)9951-3 9802	㊸3687・5733 ㊾1053
351	**東洋空気調和**㈱	**東洋空気調和**㈱	**東京空気調和**㈱
369	㈱**塩田工業所**	営業種目 特許出願中**KSK**式竪温水缶製作据付 36年3月より　⑥(代)8191に変更	特許出中願 **KSK** 式竪温水道製作据付
384	**オリエンタル** **メタル製造**㈱	・**型状**の欄（上から21行目） 長さ 60**m**	長さ　60㎜
417	㈱**平田タイル**	マークが上下逆	
99	角　田　　栄	東京都大田区田園調布 3-352	東京都千代田区田園調布3-352
100	寺　島　三　雄	阿倍野区阪南町中1-12	阿倍野区阪南町1-12
83	菅　　陸　二	阿倍野区文の里3-105 （住所） (77—5519)	
119	伴　野　政治郎	㈱大林組	㈱大村組

日本建鉄の

PS型レデイメードサッシ

アルミサッシドア

日本建鉄株式会社

本　　社　東京都千代田区大手町2～8　TEL東京（201）0341（代）
大阪営業所　大阪市北区堂島上2～39　TEL大阪（36）6758（代）

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚（079）2153
大阪連絡所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話 ㊾ 2626（直通）
出張所電話　東京（431）0874・名古屋 ㉜ 1331
ウォータイト式防水工事代行店電話　仙台 ③ 0721・札幌 ⑤ 7171
大三工業 高松 ② 8697　安藤工事　福岡 ③ 5765
豊永建材　広島 ④ 3567

仕様書型録贈呈

紫綬褒章に輝く

責任・施工・請負

JIS合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

株式会社 油脂化工社

本　　社　東京都品川区二葉町1－441　電話東京（781）1715
取締役社長　矢中龍次郎　大阪営業所　大阪市東成区西今里町2－48　電話 ㊼ 4765・0063

防火シヤッター

甲種
乙種

☆電動式
☆手動式
☆バランス
☆パイプ

株式會社 日本シヤッター製作所

本社工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地
電話（大阪）（301）代3656～9番
工場　東京　福岡　支店営業所　名古屋　高松　岡山　高知
代行販売店　全国主要都市ニアリ

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可
昭和三十六年一月二十日印刷
昭和三十六年一月廿五日発行（毎月廿五日発行）

総てのビルに住宅に法定不燃建材を

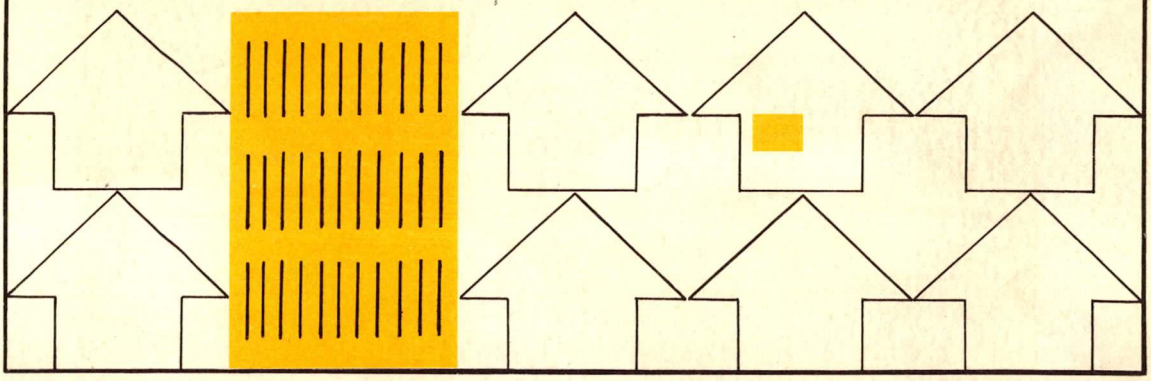
朝日フレキシブルボード
姉妹品　朝日カラーボード

朝日スレート
大浪7.5山・小浪

吹付石綿 **朝日プロベスト**

通産省認定 不燃 NO.3012

ASK
朝日石綿工業株式会社
大阪営業所　大阪市北区神山町四六　電話 大阪㉞ 7236 2095 代表～9 夜間専用
本　社　東京銀座七
営業所　東京、横浜、名古屋、岡山、新居浜、門司、札幌
工　場　東京、横浜、山梨、名古屋、大阪、岡山、門司、宮城



三星の床材
ソフトンタイル

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話 ㊹ 5408・5486

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話 ㉞ 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪営業所
大阪市西区南堀江大通1の19 電話 ㊹ 6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20（道頓堀電停前）
電話 ㉕ 0471～2・0371 ㉗ 7604
京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル 電話 ㉓ 3277

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話 ㊸ 0137 ㊹ 3286

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話 ⑤ 2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル 電話 ㊹ 4468

岡田建材株式会社
名古屋市西区西菊井町2ノ12 電話㊸0121・2057

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2 電話㉔1329・2106・2817

日東物産株式会社
本社・名古屋中区東瓦町39 電話 ㉔ 6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27 電話③2201・2360

青盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町108 電話 ② 2281～4
岡山・岡山市東田町3 電話②7911・8169
福岡・福岡市万行寺前町14 電話 ③ 1225～6

関西三星タイル会員

売価　一部　金百五十円（送料共）

御入会の御申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3—37　電話北浜 ㉓ 9648・9649・9640
振替口座 大阪39975番